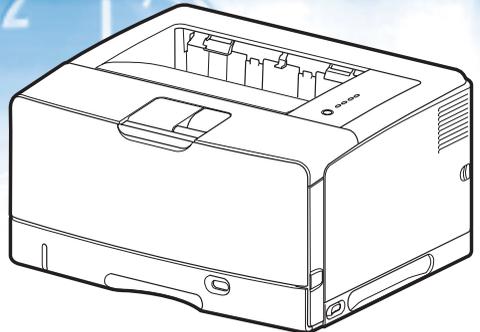
Canon

レーザビームプリンタ

Satera

LBP3500

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **コンピュータと接続するには**
- **印刷できるようにするには**

設置時にお読みください

- **プリンタの簡単なメンテナンス方法を知るには**

かんたんメンテナンスガイド

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書）

- **ネットワーク環境で印刷するための準備をするには**
  オプションのネットワークボードを装着している場合のみ
  （オプションのネットワークボードに同梱されています）

ネットワークガイド／スタート編

- **ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには**
- **ネットワーク環境でプリンタを管理するには**
  オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

ネットワークガイド／本編

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**
  オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

リモート UI ガイド

Macintosh の取扱説明書

オンラインマニュアル

Macintosh 用プリンタドライバの使用方法を説明しています。「オンラインマニュアル」は、付属の CD-ROM　内の［CAPT］-［Japanese］-［Documents］フォルダに、［GUIDE-CAPT-JP.pdf］というファイル名で収められています。

Macintosh をお使いの場合、「設置時にお読みください」、「ユーザーズガイド」、「ネットワークガイド／本編」、「リモート UI ガイド」は、付属の CD-ROM 内の［Manuals］フォルダに収められています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

目次

第４章　Windows から印刷するには

はじめに

このたびはキヤノン LBP3500 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>＋（キー名称）
  例：◎（ジョブキャンセル）
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]
  例：[OK]
  [設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

10 **[次へ] をクリックします。**

操作時にクリックするボタン

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7
Microsoft Windows operating system：	Windows

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot、PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

IBM、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

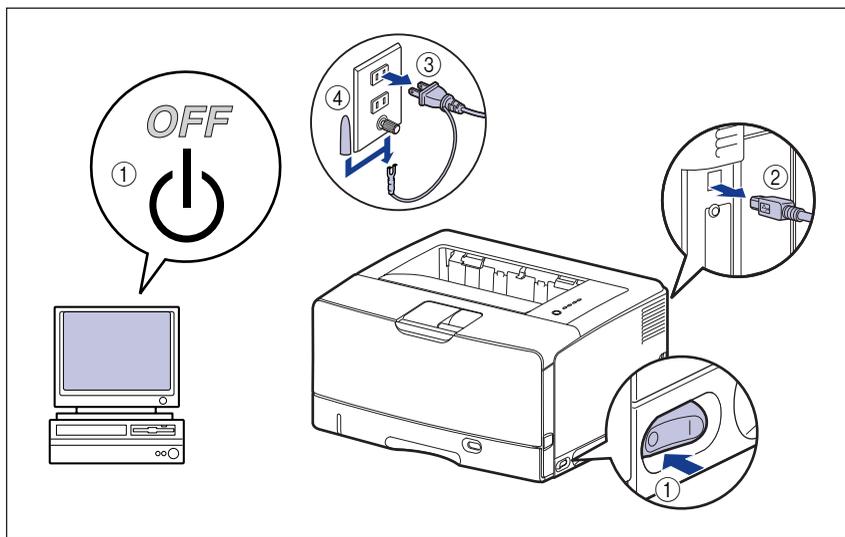
関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

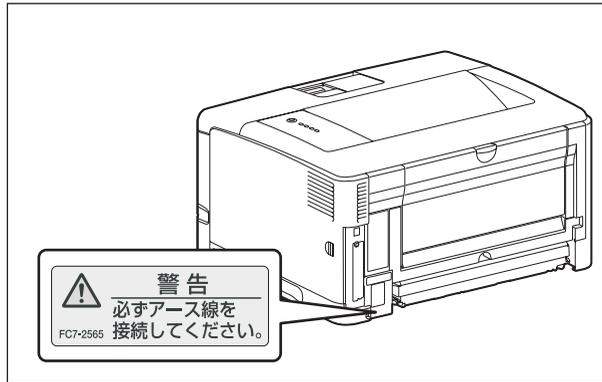
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。（➞ プリンタを移動する：P.5-25）

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり､その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品内部に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品内部に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

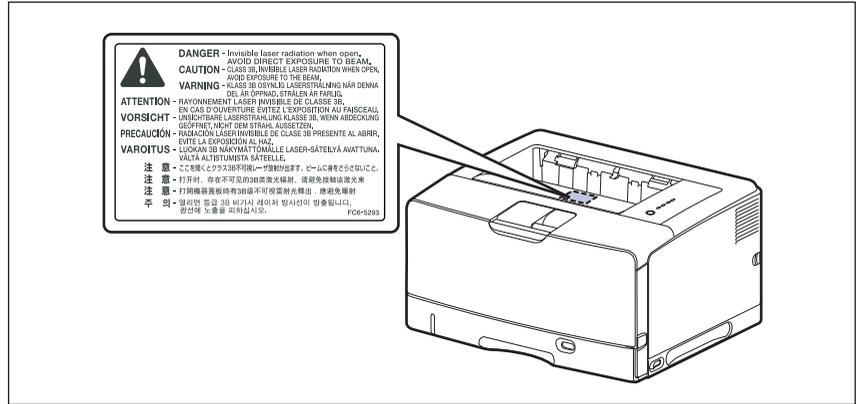
警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 拡張ボードの取り扱いには注意してください。拡張ボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

- この製品はIEC60825-1:2007においてクラス1レーザ製品であることを確認しています。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。
  掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。
  掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

⚠ 警告

トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ **ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載**

Windows OS および Mac OS に対応したキヤノン最新のハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」(Canon Advanced Printing Technology)を搭載。このシステムは従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をコンピュータで一括処理するため、コンピュータの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、重いデータでもプリンタ側のメモリの追加なしに処理できます。

■ **USB 2.0 Hi-Speed 標準搭載**

最高 480Mbps の高速 I/F USB 2.0 Hi-Speed への対応により高速転送を実現しています。

■ **充実したソフトウェア**

付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」には、本プリンタをお使いになる上で不可欠な「CAPT ソフトウェア」をはじめ、ドキュメントの文字表現を豊かにする「FontGallery(TrueType フォント)」などが収録されています。

■ **高速印刷&超高画質印刷**

毎分25枚の高速印刷を実現。印刷待ちのストレスを感じさせません。印字機構に600dpiのプリントエンジンを搭載。さらに、キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジー技術により、2400dpi 相当× 600dpi の超高画質を実現しました。

■ **容易なメンテナンス&プリンタステータスウィンドウ**

本プリンタ用トナーカートリッジ(キヤノン純正品)はトナーと感光ドラムの一体型で、簡単に交換できます。

印刷時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、グラフィックスと音(サウンド)により的確な判断が容易に行え、本プリンタの操作性を向上させております。

■ **省電力設計&クイックスタート**

「オンデマンド定着方式」の採用により省電力とクイックスタートを実現しました。「オンデマンド定着方式」とは、定着ヒータを印刷時のみ瞬間的に加熱するキヤノン独自の方式です。

■ **さまざまなマテリアルに対応**

普通紙、厚紙、はがき、封筒(洋形 2 号、洋形 4 号、角形 2 号)、ラベル用紙、OHP フィルムなどさまざまな用紙に対応しています。

■ **ネットワーク対応プリンタ**

オプションのネットワークボードを装着することで、Ethernet のネットワークプリンタとして使用できます。また、ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、ジョブが終了したり、エラーが発生したときに E-mail にて通知する E-mail 通知機能があります。

メモ

- オプションのネットワークボードの対応 OS、設定のしかた、詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合、Mac OS X 10.4.9 以降のみネットワーク接続に対応しています。

各部の名称と機能

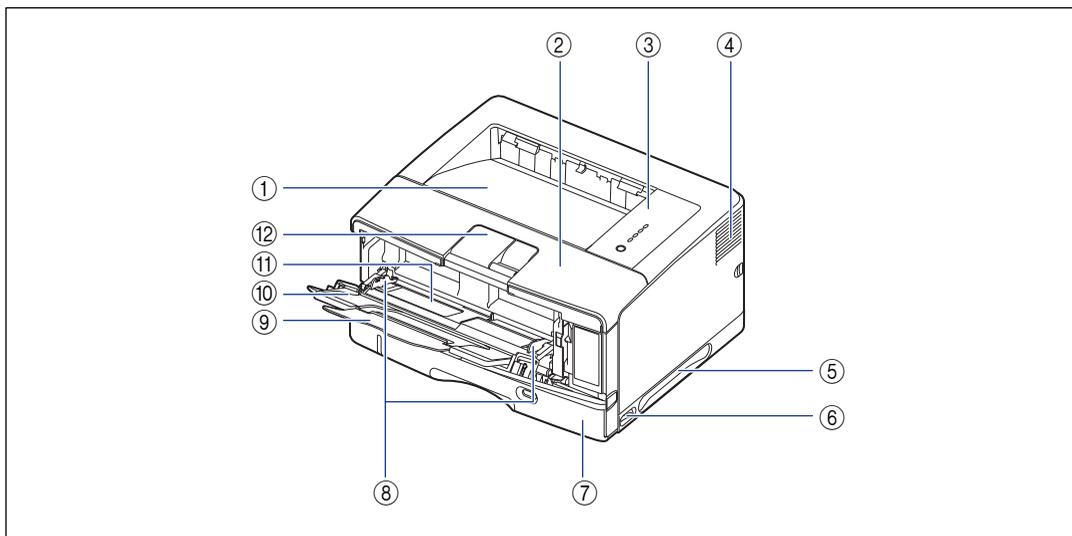
本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体

プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

⚠注意 本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

① **排紙トレイ**
印刷された用紙が下向きで排紙されます。(➞P.2-18)

② **前カバー**
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(➞P.5-3)

③ **操作パネル**
プリンタの状態を示すランプとジョブをキャンセルすることができるキーです。(➞P.1-7)

④ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

⑤ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。(➞P.5-27)

⑥ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。(➞P.1-10)

⑦ **給紙カセット**
普通紙（64g/m² の場合）で最大 250 枚までの用紙をセットすることができます。(➞P.2-26)

⑧ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限ガイドが付いており、このガイドの下まで用紙をセットできます。

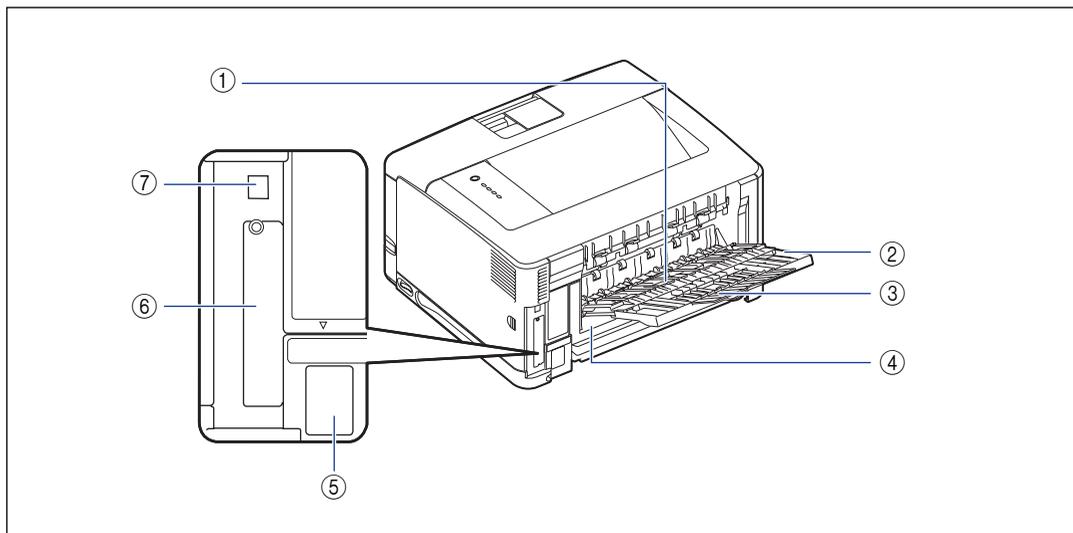
⑨ **延長トレイ**
A3 サイズの用紙など長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

⑩ **補助トレイ（手差しトレイ）**
手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

⑪ **手差しトレイ**
用紙を手差しトレイから給紙するときに、用紙をセットします。(➞P.2-45)

⑫ **補助トレイ（排紙トレイ）**
A3 サイズの用紙など長いサイズの用紙を排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。

① **サブ排紙トレイ**
印刷された用紙が上向きで排紙されます。
(➞P.2-19)

② **補助トレイ**
A4 サイズの用紙など大きいサイズの用紙をサブ排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

③ **延長トレイ**
A3 サイズの用紙など長いサイズの用紙をサブ排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

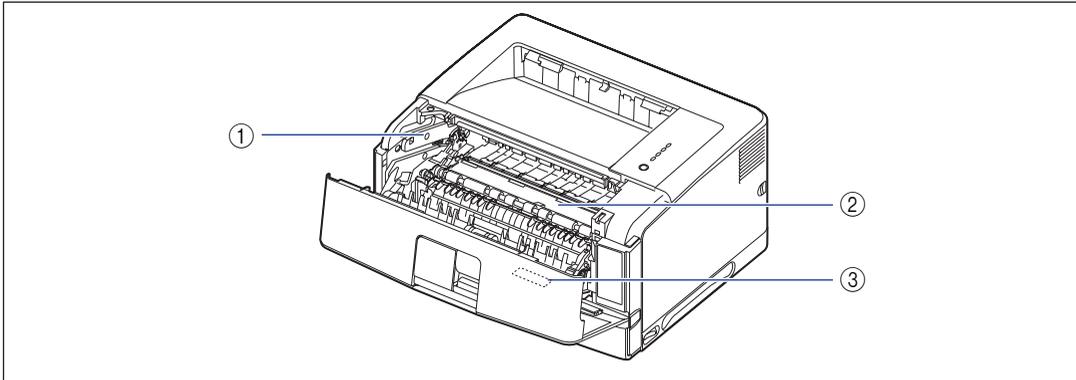
④ **両面ユニットカバー**
オプションの両面ユニットを取り付けるときに、取り外します。両面ユニットを取り付けていない場合は、必ず両面ユニットカバーを取り付けてください。

⑤ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑥ **拡張ボードスロット**
オプションのネットワークボードを取り付けます。

⑦ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。コンピュータなどの USB ポートに接続します。

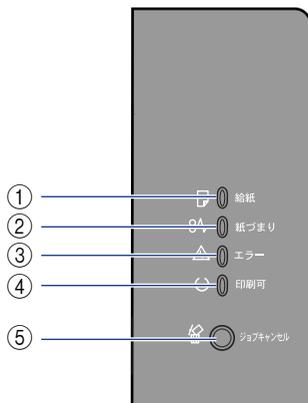
プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称と機能を説明しています。

① **トナーカートリッジガイド**
トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。

② **搬送ガイド**
前カバー内部の紙づまりを除去するときに、ここを持ち上げて作業します。(→P.7-17)

③ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。

操作パネルについて

メモ　プリンタ状態の詳しい情報は、お使いのコンピュータからプリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）で確認することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（➞P.4-80）を参照してください。ステータスモニタについては、オンラインマニュアル「第4章便利な印刷機能」を参照してください。

① **給紙ランプ（オレンジ色）**
点灯：すべての給紙部に用紙がない状態、または給紙できない状態。
点滅：用紙なしの状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。

② **紙づまりランプ（オレンジ色）**
点滅：紙づまりが発生していて印刷できない状態。

③ **エラーランプ（オレンジ色）**
点灯：サービスコールが発生している状態。
点滅：エラーが発生していて印刷できない状態。

④ **印刷可ランプ（緑色）**
点灯：印刷可能な状態。
点滅：印刷中、ウォームアップ中、クリーニング中、一時停止中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。

⑤ **ジョブキャンセルキー／ジョブキャンセルランプ（オレンジ色）**
このキーを押すと、エラーが発生しているジョブや印刷中のジョブをキャンセルすることができます。キーを押している間はランプが点灯します。ジョブのキャンセル処理中はランプが点滅します。
（➞P.4-15）

電源コード、アース線を接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（→P.xiii）を参照してください。

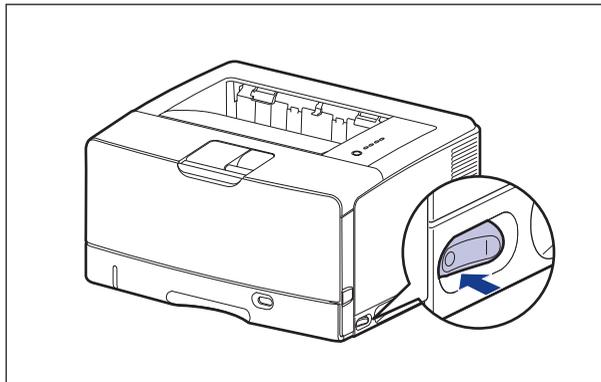
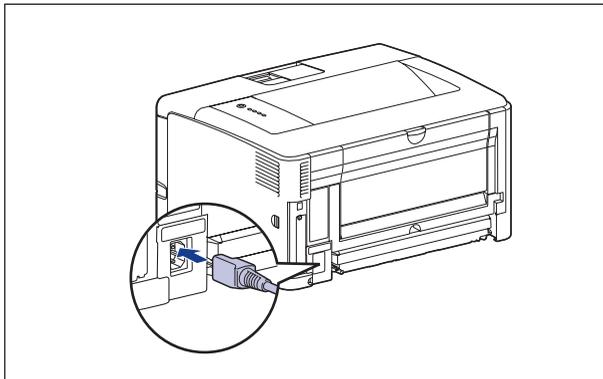
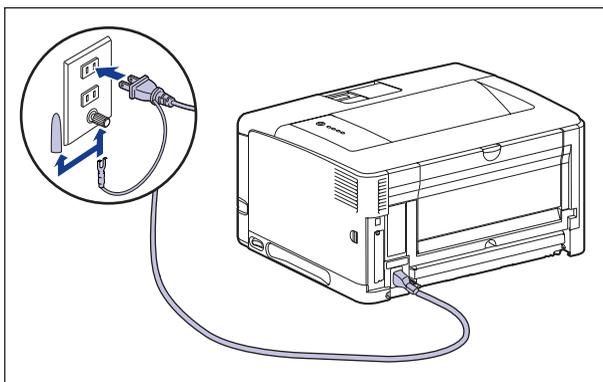
注意

- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

重要

- アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

1 **プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。**

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

3 アース線のキャップを外してアース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

重要

- 取り外したキャップは、大切に保管してください。
- 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

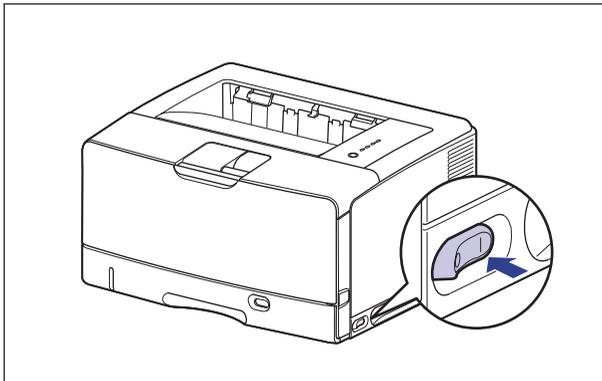
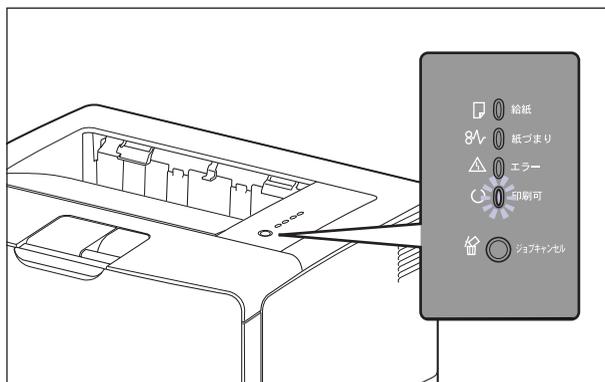
電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチの“I”側を押して、オンにします。本体やオプション品の状態チェック（自己診断）を実行したあと、印刷可能な状態になります。

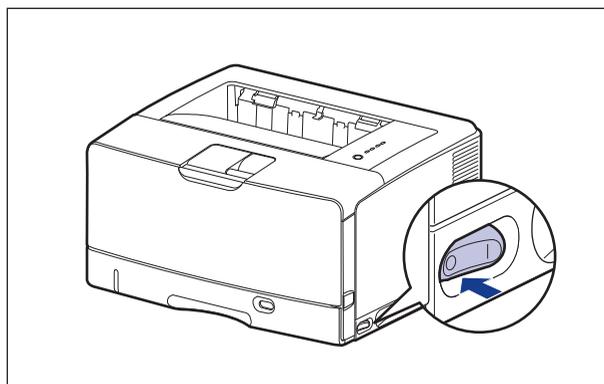
重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 10 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）にエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（➞P.7-1）を参照してください。

1 **プリンタの電源スイッチの“I”側を押します。**

プリンタのすべてのランプが点滅し、本体やオプション品の状態を自己診断します。
自己診断の結果に異常がなければ、印刷可ランプ（緑色）が点灯し、印刷可能な状態になります。

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要

- ネットワークに接続している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- プリンタの電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、 出力し終わるまで待ってから電源をオフにしてください。
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・印刷中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中

1 **プリンタの電源スイッチの“○”側を押します。**

消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタが動作していないときや、ご使用になっていないときに、スリープモードにすることで効率的に節電することができます。スリープモードを使用する場合は、以下の手順で行います。

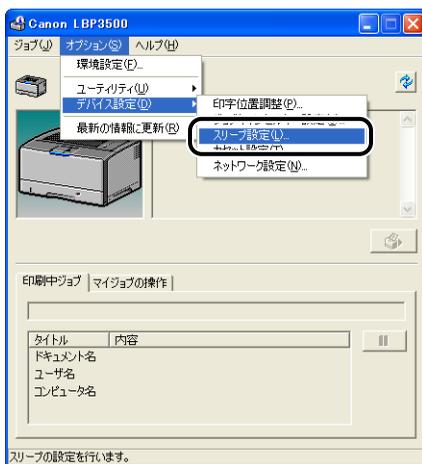
重要　電源スイッチをオフにした場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

メモ
- スリープモードの［移行時間］の設定は、［5 分］、［10 分］、［15 分］、［30 分］、［60 分］、［90 分］、［120 分］、［150 分］、［180 分］ から選択できます。
  * 本項目は、工場出荷時の設定でお使いになることをおすすめします。
- スリープモードは、次のような状態になった場合に解除されます。
  ・印刷が実行された
  ・クリーニングが実行された
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

---

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

メモ　プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-82）を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］➞［スリープ設定］を選択します。

3 ［スリープ設定］ダイアログボックスの［スリープモードを使用する］にチェックマークを付け、［移行時間］でスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

4 ［OK］をクリックします。

コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータやネットワークに接続します。

本プリンタは標準で USB コネクタを装備していますので、USB ケーブルでコンピュータに接続します。また、オプションのネットワークボードを装着すると、LAN ケーブルで直接ネットワークに接続することができます。

USB ケーブルで接続する場合

USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。

警告

- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で　USB　ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で　USB　ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

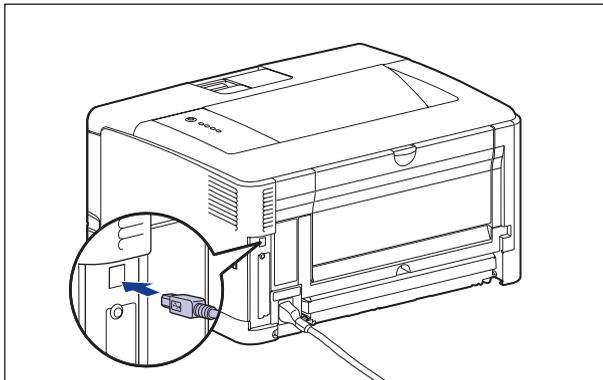
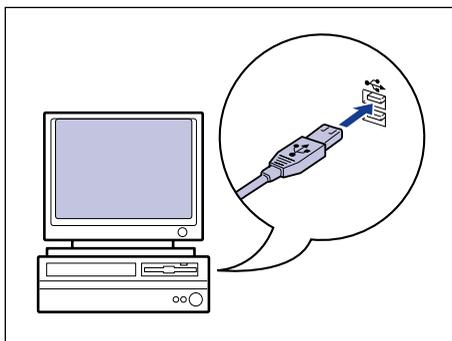
重要

- コンピュータまたはプリンタの電源がオンになっている状態でUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリンタの故障の原因になります。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

メモ

- 本プリンタのUSBインタフェースは、接続するコンピュータのOSによって以下のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ・Windows：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS 9、X（10.3.2 以前）：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS X（10.3.3以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタをUSBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているコンピュータをご使用ください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。USB ケーブルは、以下のマークがあるケーブルをご使用ください。

1 プリンタとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続します。

3 USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をコンピュータのUSB ポートへ接続します。

メモ

- Windows の場合は、USB ケーブルの接続後に、プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、以下のいずれかの方法で本プリンタのソフトウェアをインストールしてください。詳しくは、「CAPT ソフトウェアをインストールする」（→P.3-5）を参照してください。
  ・［キャンセル］をクリックして、CD-ROM Setup からインストールする
  ・プラグ・アンド・プレイでインストールする
- お使いのコンピュータに対応したUSB ケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入した販売店にお問い合わせください。

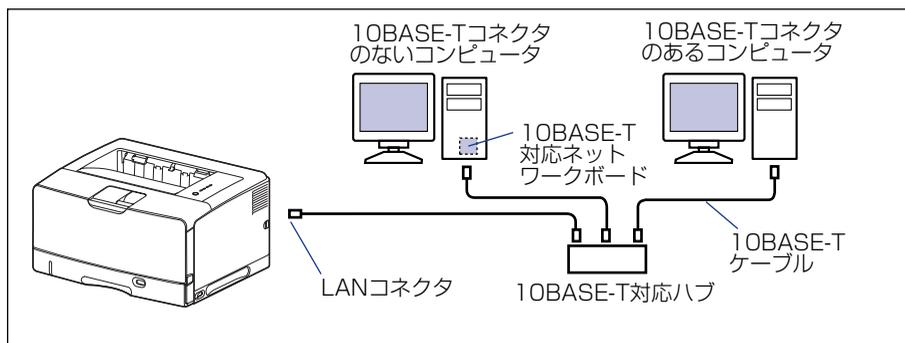
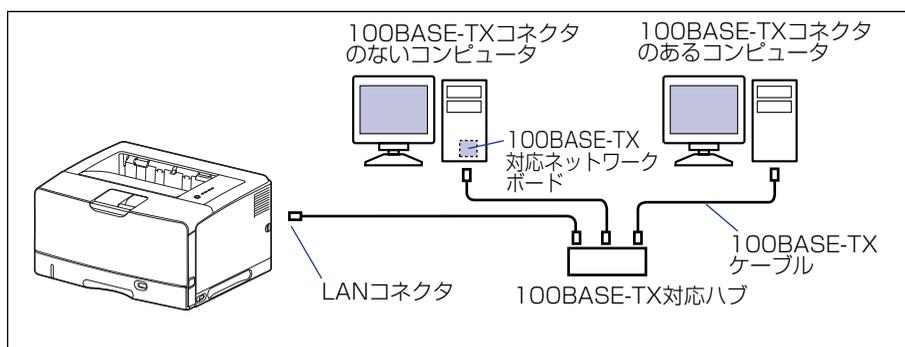
LAN ケーブルで接続する場合

オプションのネットワークボードを装着した場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

メモ
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード」（→P.6-33）を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合、Mac OS X 10.4.9 以降のみネットワーク接続に対応しています。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワーク OS の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワーク OS に付属の取扱説明書や「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

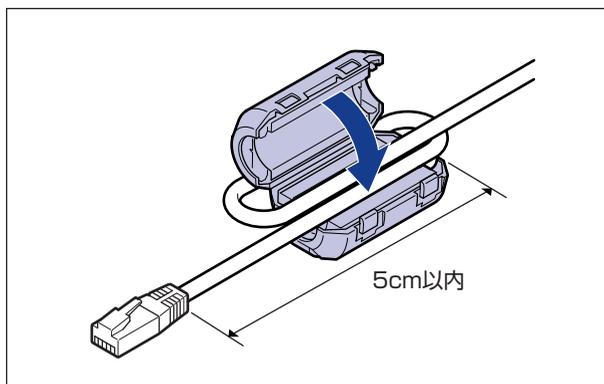
■ **ネットワークの環境について**

オプションのネットワークボードは、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

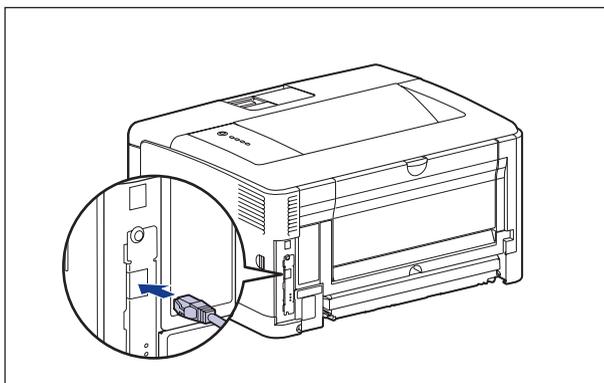
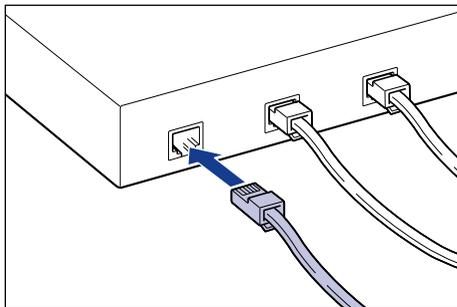
- 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合

- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

重要
- 本プリンタのネットワークボードは、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。

メモ　100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

1 NB-C1をお使いになる場合は、図のようにLANケーブルにフェライトコアを取り付けます。

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタから 5cm 以内の場所に取り付けます。

メモ　フェライトコアは、ネットワークボードに同梱されています。フェライトコアが同梱されていない場合は、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

2 ネットワークボードのLAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

3 LANケーブルの反対側をハブに接続します。

給紙／排紙のしかた

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 印刷速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
- 幅がA4サイズ（297.0mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約1.9ppmまで遅くなることもあります。）

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷とオプションの両面ユニットを使った自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙元		
	手差しトレイ	カセット1	カセット2（オプション）
A5*1	◎	◎	*2
B5*1	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎
B4*3	◎	◎	◎
A3*3	◎	◎	◎
レター *1	◎	◎	◎
エグゼクティブ *1	◎	◎	◎
リーガル *3	◎	◎	◎
レジャー（11 × 17）*3	◎	◎	◎
ユーザ定義用紙	◎ *4	◎ *5	◎ *6
はがき *3 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき *1 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
4面はがき *1 200.0mm × 296.0mm	○	×	×

用紙サイズ	給紙元		
	手差しトレイ	カセット１	カセット２（オプション）
封筒 *3			
洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×
洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×
角形２号 240.0mm × 332.0mm	○	×	×

*1 横置きのみセット可能です。

*2 ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）に A5 サイズはセットできません。オプションの500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD を装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）。

*3 縦置きのみセット可能です。

*4 以下のサイズのユーザ定義用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～470.0mm
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

以下のサイズのユーザ定義用紙（普通紙）を自動両面印刷することができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*5 以下のサイズのユーザ定義用紙をセットすることができます。
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm*
　* 幅が 279.5 ～ 297.0mmの場合、長さは 210.0～420.0mm になります。
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

*6 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD をお使いの場合
・縦置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG をお使いの場合
・縦置きの場合：幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm
・横置きの場合：幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。表中の◎は片面印刷とオプションの両面ユニットを使った自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙タイプ		プリンタドライバの設定	給紙部		
			手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙	60 ～ 90g/m^2	［普通紙］	◎	◎	◎
		［普通紙 L］*1	◎	◎	◎
		［普通紙 H］*2	◎	◎	◎
厚紙	91 ～ 199g/m^2	［厚紙 L］	○	×	×
		［厚紙 H］*3	○	×	×
OHP フィルム		［OHP フィルム］	○	×	×
ラベル用紙		［ラベル用紙］	○	×	×
はがき		［はがき］	○	×	×
封筒		*4	○	×	×

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは［普通紙 L］に設定してください。

*2 ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［普通紙 H］に設定してください。

*3 ［厚紙 L］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してください。

*4 封筒の場合は、用紙サイズの設定をすると自動的に封筒に適した印刷モードで印刷されます。用紙サイズの設定は以下の項目で行います。
- Windowsの場合：
  ［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］
- Mac OS 9 の場合：
  ［基本設定］パネルの［出力用紙サイズ］
- Mac OS X の場合：
  ［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］（Mac OS X 10.4 以降の場合は［用紙処理］パネルの［出力用紙サイズ］でも設定できます）

メモ　用紙の厚さは、1m^2 あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。用紙の厚さについては用紙メーカーにお問い合わせください。

■ 普通紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの定形用紙、およびユーザ定義用紙の重さ 60 ～ 90g/m^2 の普通紙を使用できます。

普通紙は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。また A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、レター、リーガル、エグゼクティブサイズ、および以下のサイズのユーザ定義用紙は、自動両面印刷が可能です。

縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

■ 厚紙

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの定形用紙、およびユーザ定義用紙の重さ 91 ～ 199g/m^2 の厚紙を使用できます。厚紙は、手差しトレイから給紙し、片面印刷のみ可能です。

■ OHPフィルム

本プリンタでは、A4またはレターサイズのOHPフィルムを使用できます。
OHPフィルムは、手差しトレイから給紙できます。

重要
- OHPフィルムは、「キヤノン推奨品LBP用OHPフィルムA4」を使用してください。キヤノン推奨品LBP用OHPフィルムA4の重さは1枚8.7gです。
- OHPフィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。

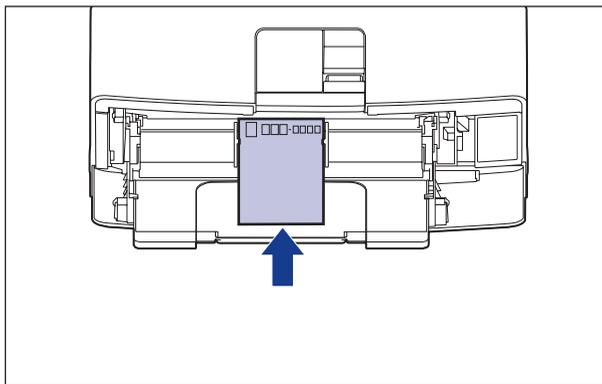
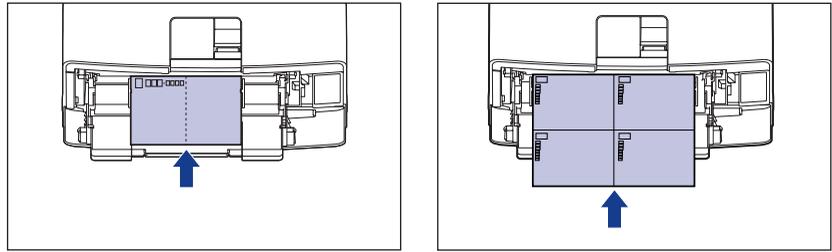
■ ラベル用紙

本プリンタではA4またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。
ラベル用紙は、手差しトレイから給紙できます。

重要
- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙A4」の重さは1枚7.8gです。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙

■ はがき/往復はがき/4面はがき

本プリンタでは、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便4面はがきとキヤノン推奨4面はがきを使用できます。はがき、往復はがき、4面はがきは印刷面を上にして手差しトレイにセットします。

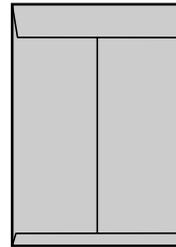
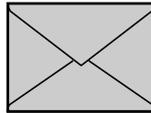
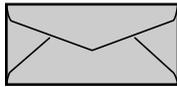
重要
- 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便4面はがき、およびキヤノン推奨の4面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。
- はがきは横置きにはセットできません。印刷する面を上にして、必ず縦置きにセットしてください。
  (⬅:給紙方向)

- 往復はがき、4 面はがきは縦置きにはセットできません。印刷する面を上にして、必ず横置きにセットしてください。
（⬅：給紙方向）

- はがきや往復はがき、4 面はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ 封筒

本プリンタで使用できる封筒は、洋形 4 号、洋形 2 号、角形 2 号で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面（貼り合わせのない面）を上にして手差しトレイにセットします。

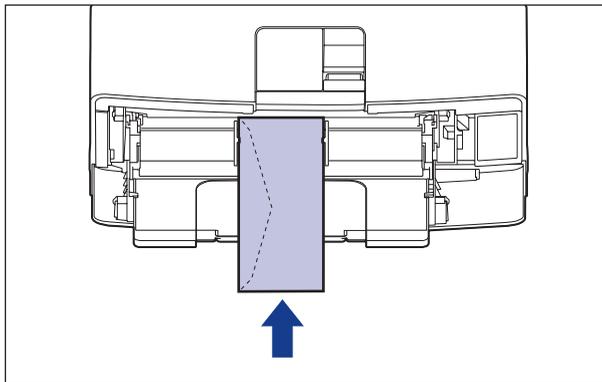
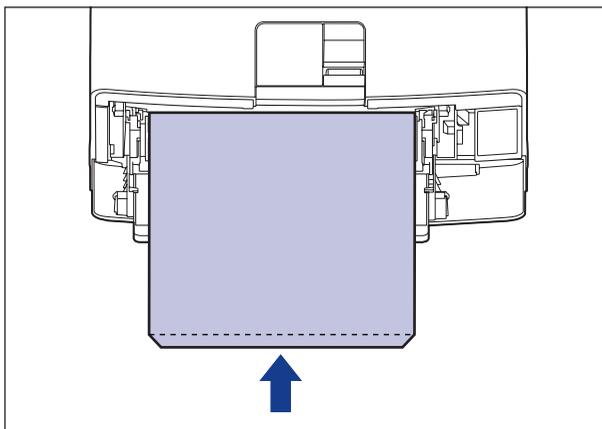
洋形4 号（105mm×235mm ）

洋形2 号（114mm×162mm ）

角形2 号（240mm×332mm ）
（キヤノンLBP専用封筒K-201G／推奨品）

※洋形4号および洋形2号の封筒は、
短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ･窓付きの封筒
  - ･糊付きの封筒
  - ･しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ･折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ･長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。

- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 洋形 4 号､洋形 2 号の封筒をセットする場合は､ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。
（ ：給紙方向）

- 角形 2 号の封筒をセットする場合は､ふたを開けたまま､底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。
（ ：給紙方向）

- 封筒に印刷する場合、 印刷速度が遅くなります。

封筒に印刷した場合、 しわがよる場合があります。

用紙サイズの略号について

給紙カセットのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

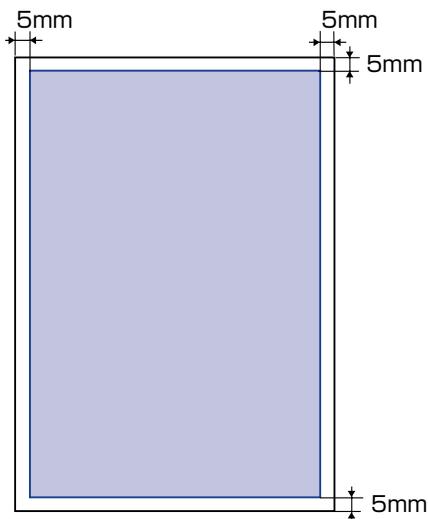
用紙サイズ	給紙カセットの用紙サイズ表示
レジャー（11 × 17）	11 × 17
リーガル	LGL
レター	LTR

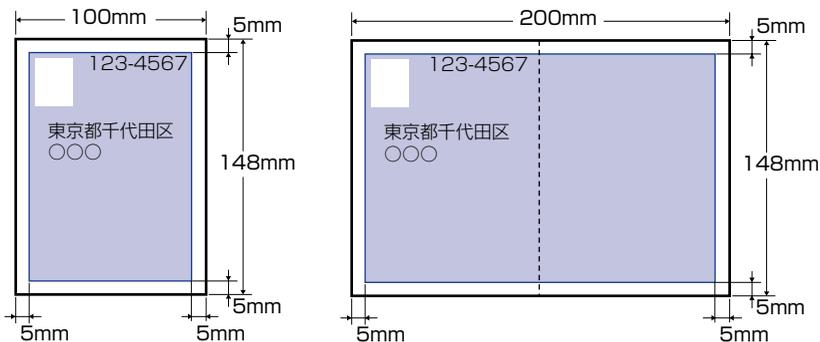
用紙サイズ	給紙カセットの用紙サイズ表示
エグゼクティブ	EXEC
ユーザ定義用紙	Custom

印刷できる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。ただし、プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付けた場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

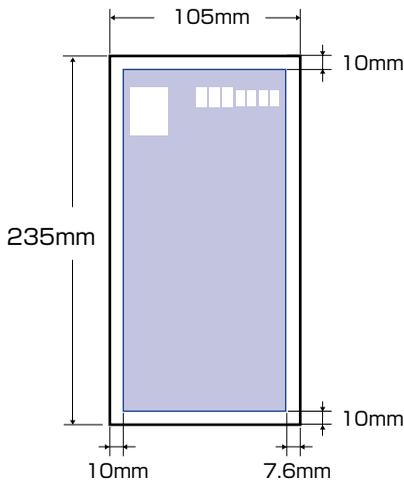
■ **普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙**

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

■ はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

重要　はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

■ 封筒

封筒の周囲10mm(洋形４号と洋形２号の右は7.6mm)より内側の範囲に印刷できます。お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）

重要　封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データを封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ･厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ･不規則な形の用紙
  - ･湿っている用紙、濡れている用紙
  - ･破れている用紙
  - ･表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ･バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ･カールした用紙や折り目のある用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - ･バリのある用紙
  - ･しわのある用紙
  - ･角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ･定着器の加熱温度（約 270 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ･感熱用紙
  - ･表面加工したカラー用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ･カーボン紙
  - ･ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ･ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

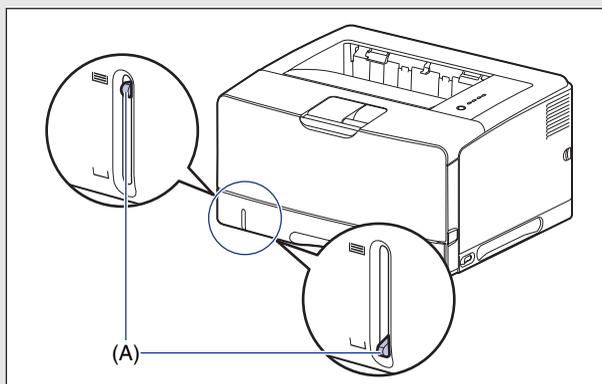
重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 印刷した用紙を指や布などでこすると、トナーで汚れたりトナーがはがれたりすることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

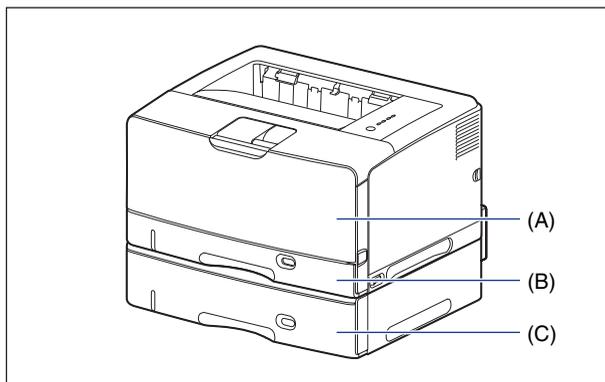
給紙部について

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2）を装着することにより、最大 3 つの給紙部を使用することが可能です。

● 用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示（A）があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。

給紙部の種類

本プリンタには、次の給紙部があります。

(A)：手差しトレイ
(B)：カセット 1
(C)：カセット 2（オプション）

給紙部の積載枚数

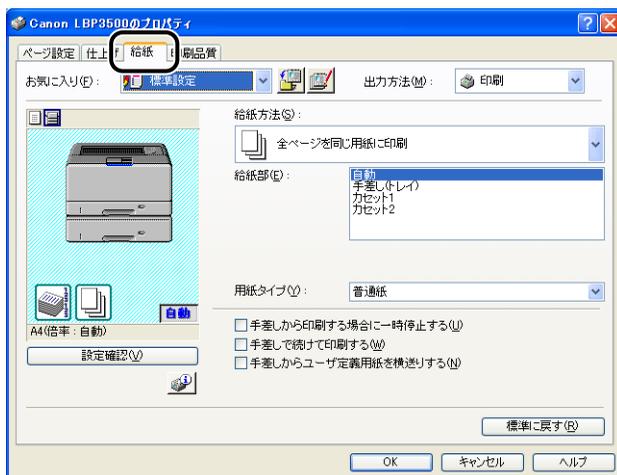
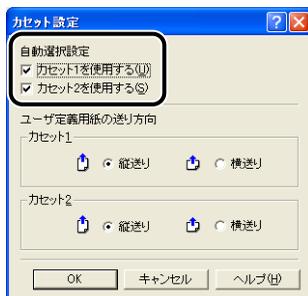
用紙の種類	給紙元		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙（64g/m^{2}の場合）	約 100 枚	約 250 枚	約 500 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 50 枚	×	×
OHP フィルム	約 50 枚	×	×
ラベル用紙	約 40 枚	×	×
はがき	約 40 枚	×	×
往復はがき	約 40 枚	×	×
4 面はがき	約 40 枚	×	×
キヤノン推奨 4 面はがき	約 40 枚	×	×
封筒	約 10 枚	×	×

給紙部の選択

給紙部の選択は、プリンタドライバの［給紙］ページで行います。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

1　**［給紙］ページを表示して、給紙部の設定を行います。**

プリンタドライバの［給紙］ページの表示方法は、「印刷条件を設定する」（➞P.4-8）を参照してください。

メモ　［給紙部］の設定を［自動］にした場合（自動給紙選択時）に、どの給紙カセットを自動給紙選択の対象とするかを、プリンタステータスウィンドウの［デバイス設定］メニューにある［カセット設定］で選択することができます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定項目	設定値	説明
[給紙方法]	[全ページを同じ用紙に印刷]	すべてのページを同じ給紙部から給紙します。ただし、[給紙部] が [自動] に設定されていて、[手差しで続けて印刷する] にチェックマークを付けた場合は、カセット 1、2 の用紙がなくなると手差しトレイから給紙します。
	[最初と最後の用紙を指定して印刷]	表紙を異なる用紙に印刷するときなど、ページごとに用紙を指定して印刷します。
	[最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷]	
	[表紙の用紙を指定して印刷] *1	
	[OHP フィルムの間に用紙をはさむ]	OHP フィルムの間に用紙をはさんで印刷します。
[給紙部]	[自動] [手差し（トレイ）] [カセット 1] [カセット 2] *2	どの給紙部から給紙するかを設定します。[給紙方法] の設定によって表示される設定項目が変わります。
[最初のページ]		
[2 枚目のページ]		
[表紙] *1		
[その他のページ]		
[最後のページ]		
[中差し用紙]	[自動] [カセット 1] [カセット 2] *2	
[用紙タイプ]	[普通紙] [普通紙 L] [普通紙 H] [厚紙 L] [厚紙 H] [OHP フィルム] [ラベル用紙] [はがき]	使用する用紙のタイプを選択します。(➞P.2-4)
[手差しから印刷する場合に一時停止する]	–	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。
[手差しで続けて印刷する]	–	給紙カセットからの給紙中に用紙がなくなり、[ページ設定] ページの [出力用紙サイズ] で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。
[手差しからユーザ定義用紙を横送りする]	–	手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。 ・幅 148.0 ～ 297.0mm、 ・長さ 210.0 ～ 297.0mm

*1：オプションの両面ユニットが装着されていて、［仕上げ］ページの［印刷方法］で［製本印刷］を選択している場合にのみ設定できます。

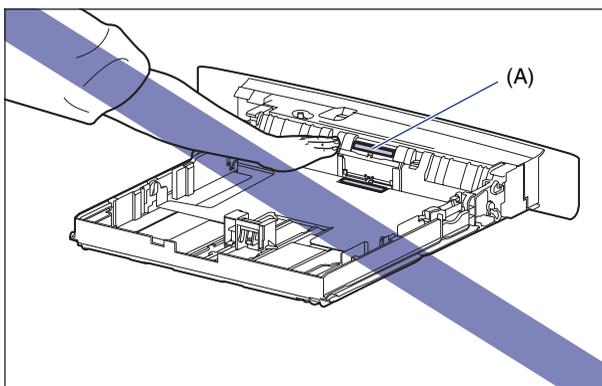
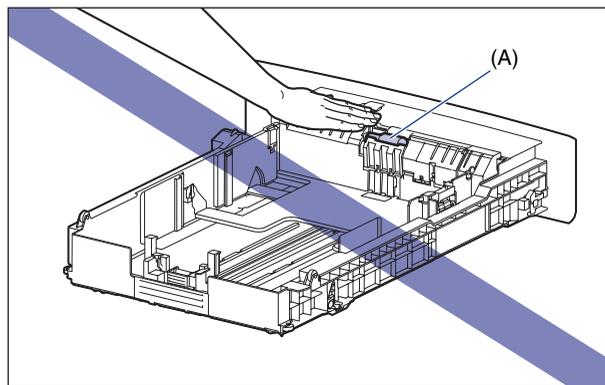
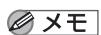
*2：オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ設定できます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意

手差しトレイや給紙カセットを取り扱うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

重要

- 印刷中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 印刷中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。
- 給紙カセットに用紙を補充する場合は、セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- 手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。
- カセット 1 の黒いゴムパッド（A）には触れないでください。給紙不良の原因になります。

- カセット 2 の給紙ローラ（A）には触れないでください。給紙不良の原因になります。

- ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。

メモ　手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

排紙先について

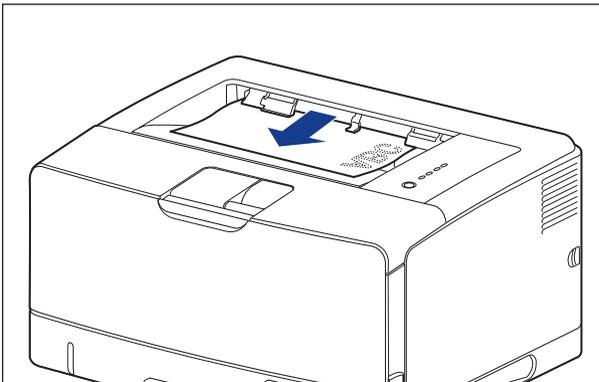
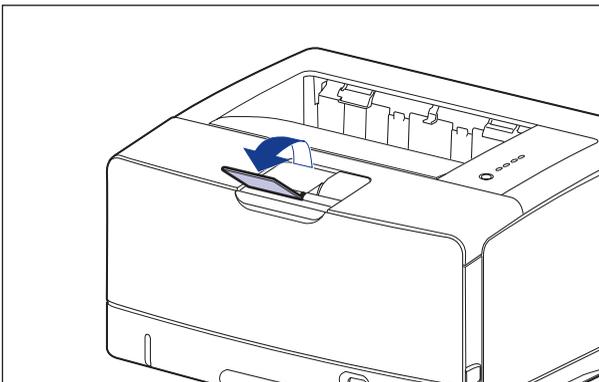
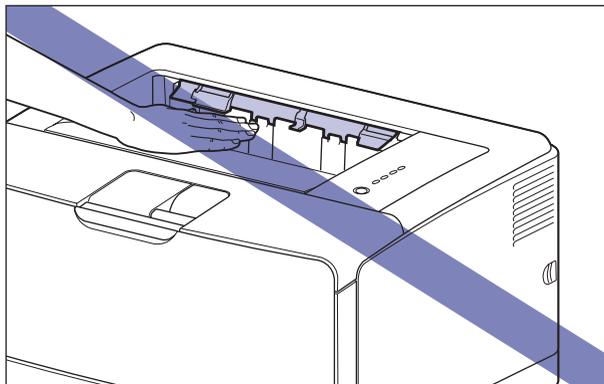
排紙先の種類

本プリンタには、本体上面の「排紙トレイ」と本体背面の「サブ排紙トレイ」の 2 つの排紙先があります。

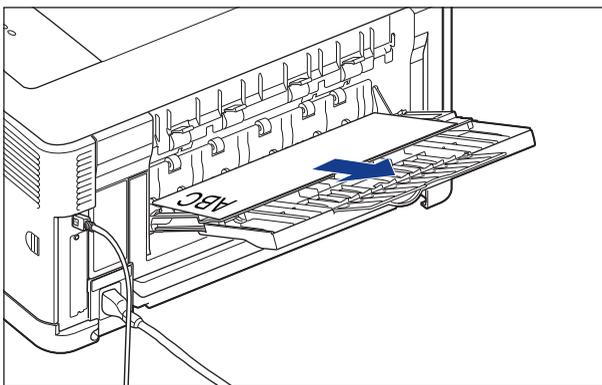
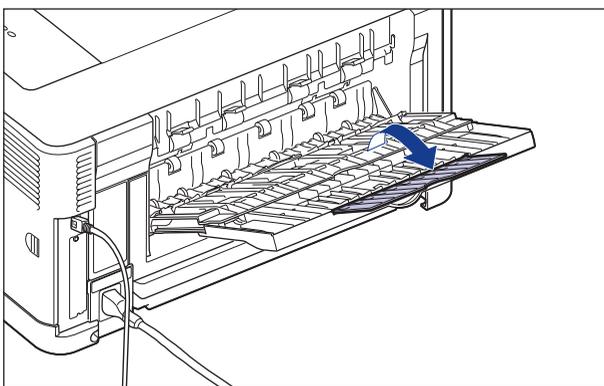
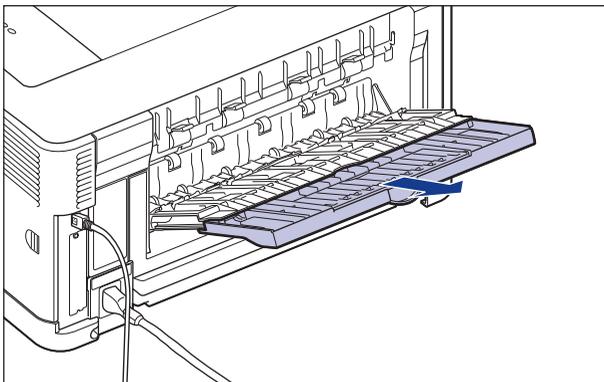
印刷中に排紙先の切り替えは行わないでください。紙づまりの原因になります。

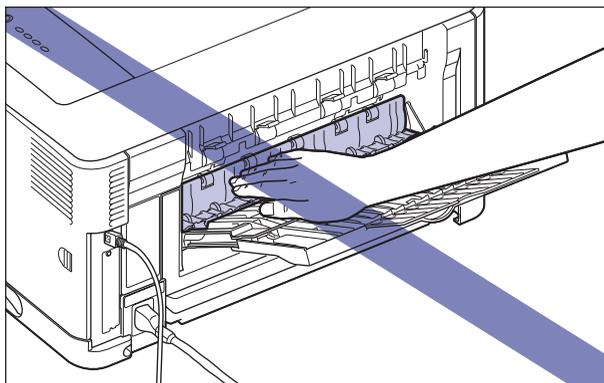
⚠注意 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

排紙トレイ

排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。

A3 サイズの用紙などの長いサイズの用紙を排紙トレイに排紙するときは、用紙が垂れ下がらないようにするために補助トレイを開けます。開けるときは、止まるまでゆっくり開けてください。

重要
- 自動両面印刷するときは、排紙トレイにのみ排紙できます。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。
- プリンタの使用中や使用直後は、排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

メモ
排紙トレイには、普通紙で約 250 枚（64g/m² の用紙）まで積載することができます。用紙タイプや用紙サイズにより積載枚数は異なります。詳しくは「排紙先の積載枚数」（➞P.2-21）を参照してください。

サブ排紙トレイ

本体背面のサブ排紙トレイに印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。用紙はページ順とは逆に積み重なります。サブ排紙トレイへの排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすい OHP フィルムやラベル用紙、封筒などに印字するときに向いています。

A4 サイズの用紙など大きいサイズの用紙をサブ排紙トレイに排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように補助トレイを引き出します。A3 サイズの用紙など長いサイズの用紙をサブ排紙トレイに排紙するときには、延長トレイを開けます。開けるときは、止まるまでゆっくり開けてください。

重要

- 自動両面印刷するときは、必ずサブ排紙トレイを閉じてから行ってください。
- 自動両面印刷中には、サブ排紙トレイを開けないでください。
- プリンタの使用中や使用直後は、サブ排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、サブ排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

サブ排紙トレイには、普通紙で約50枚（64g/m^2の用紙）まで積載することができます。用紙タイプや用紙サイズにより積載枚数は異なります。詳しくは「排紙先の積載枚数」（➞P.2-21）を参照してください。

排紙先の積載枚数

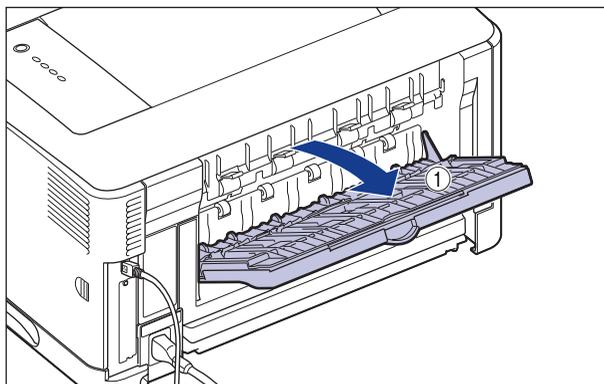
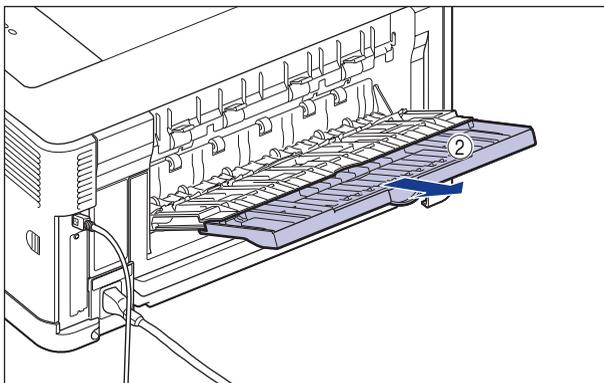
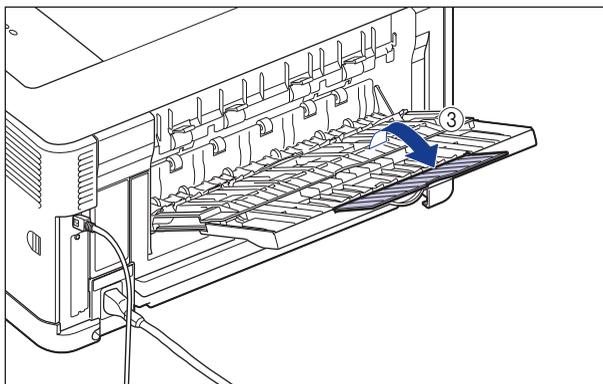
用紙の種類	排紙先 *	
	排紙トレイ	サブ排紙トレイ
普通紙（64g/m^2の場合）	約250枚	約50枚
厚紙（128g/m^2の場合）	約150枚	約30枚
OHPフィルム	約100枚	1枚
ラベル用紙	約100枚	約20枚
はがき	約100枚	約20枚
往復はがき	約100枚	約20枚
4面はがき	約100枚	約20枚
キヤノン推奨4面はがき	約100枚	約20枚
封筒	約50枚	約10枚

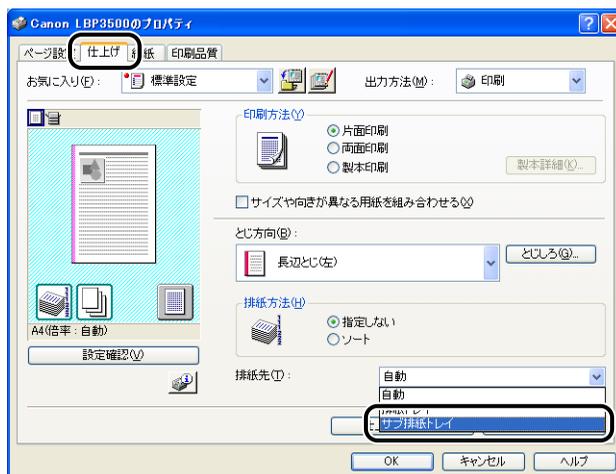
* 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。

排紙先の選択

サブ排紙トレイに切り替える

排紙先をサブ排紙トレイに切り替えるときは、以下の手順で行います。

1 **サブ排紙トレイを開けます ①。**

A4 などの大きい用紙を排紙する場合は、補助トレイを引き出します ②。

A3 などの長い用紙を排紙する場合は、延長トレイを開けます ③。

2 プリンタドライバの［仕上げ］ページにある［排紙先］で［自動］または［サブ排紙トレイ］を選択します。

［自動］を選択する場合は、サブ排紙トレイが開いていることを確認してください。サブ排紙トレイが閉まっている場合は、排紙トレイに排紙されます。

重要

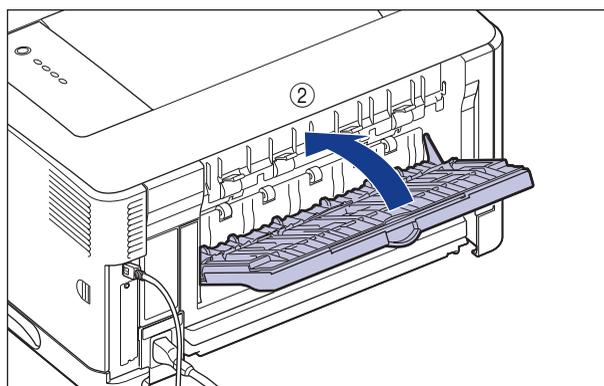
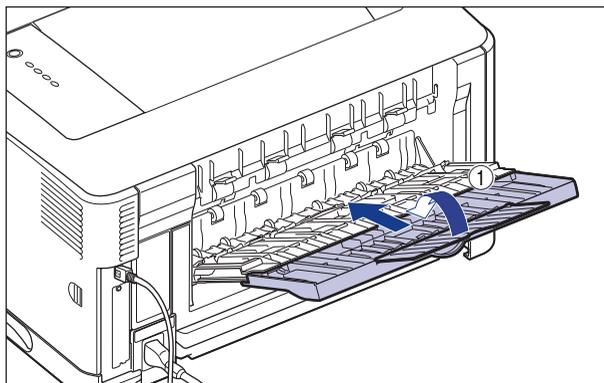
サブ排紙トレイは、上向き（フェースアップ）で排紙されるため、1 ページ目から印刷するとページ順が逆に積み重なって排紙されます。ページ順を揃えて排紙したい場合は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ダイアログボックスにある［サブ排紙トレイ使用時に排紙順序を逆にする］にチェックマークを付けると、最終ページから印刷するため、ページ順を揃えて排紙することができます（［サブ排紙トレイ使用時に排紙順序を逆にする］の初期設定値は、チェックマークが付いている状態です）。

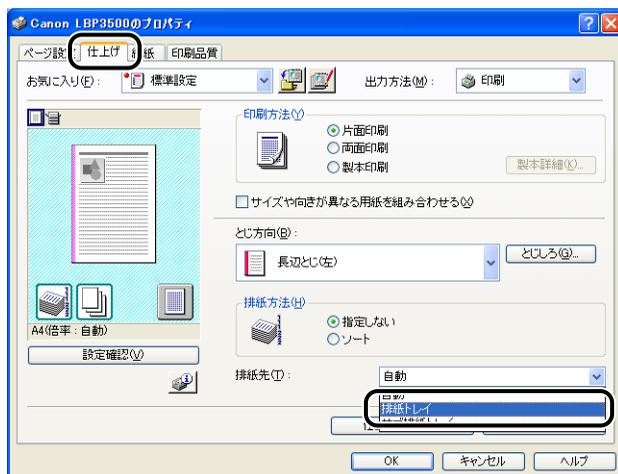
メモ

ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

排紙トレイに切り替える

排紙先を排紙トレイに切り替えるときは、以下の手順で行います。

1 延長トレイ、補助トレイを閉じて ①、サブ排紙トレイを閉めます ②。

2 プリンタドライバの［仕上げ］ページにある［排紙先］で［自動］または［排紙トレイ］を選択します。

［自動］を選択する場合は、サブ排紙トレイが閉まっていることを確認してください。サブ排紙トレイが開いている場合は、サブ排紙トレイに排紙されます。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5*、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブと以下のサイズのユーザ定義用紙を普通紙（64g/m²）で約 250 枚までセットできます。

* ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）に A5 サイズはセットできません。オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD を装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）。

- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm*

  * 幅が 279.5 ～ 297.0mm の用紙をカセット 1 にセットする場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm になります。

- 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

給紙部にセットした用紙がなくなると、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示され、給紙ランプ（オレンジ色）が点灯または点滅しますので用紙をセットしてください。

定形の用紙とユーザ定義用紙とではセット方法が異なりますので、次の手順で正しく用紙をセットしてください。

- 定形の用紙をセットする場合（➞P.2-27）
- ユーザ定義用紙をセットする場合（➞P.2-35）

重要

- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.2-2）を参照してください。
- 給紙カセットの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.2-16）を参照してください。
- 普通紙（60 ～ 90g/m²）以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。

メモ

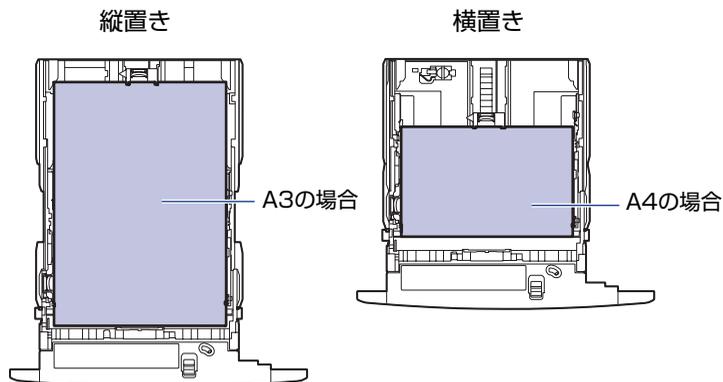
オプションの 250 枚ユニバーサルカセット UC-67D は、カセット 1 の用紙のセット方法と同じです。
オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD/UC-67KG は、カセット 2 の用紙のセット方法と同じです。

定形の用紙をセットする場合

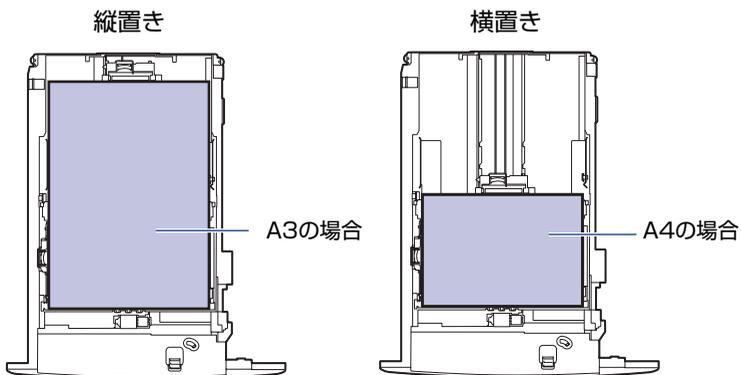
定形の用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

■ **用紙の置き方（セットする向き）について**

用紙は、縦置きまたは横置きにセットします。セットする用紙サイズによって置き方が次のように異なります。

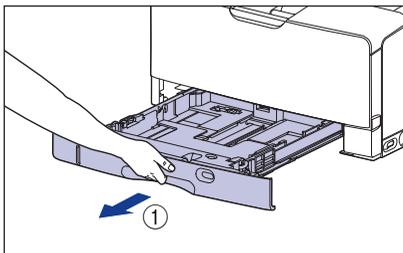
カセット１

・縦置きできる用紙
A3、B4、
レジャー（11×17）、リーガル

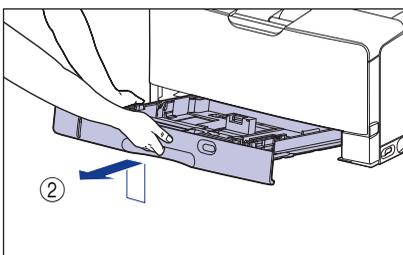
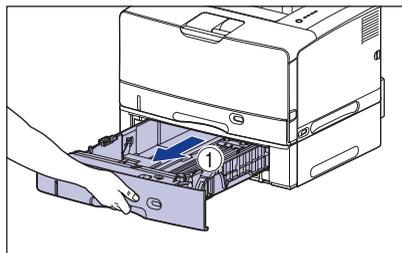
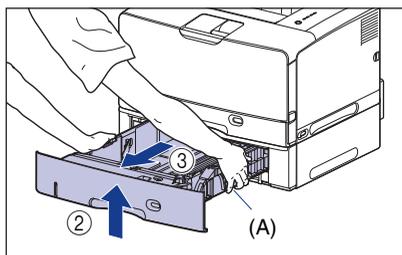
・横置きできる用紙
A4、B5、A5、レター、
エグゼクティブ

カセット２

・縦置きできる用紙
A3、B4、
レジャー（11×17）、リーガル

・横置きできる用紙
A4、B5、A5、レター、
エグゼクティブ

1 給紙カセットを引き出します。

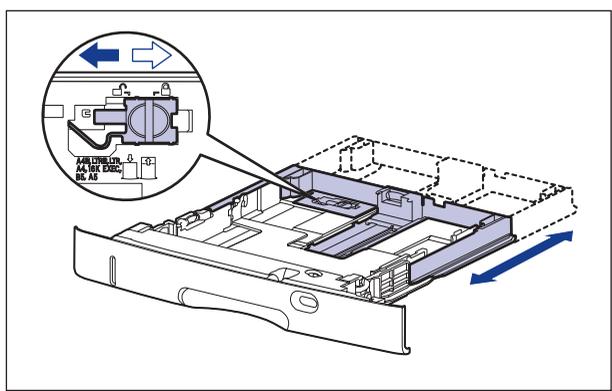
カセット 1
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します ①。

カセット 2
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します ①。

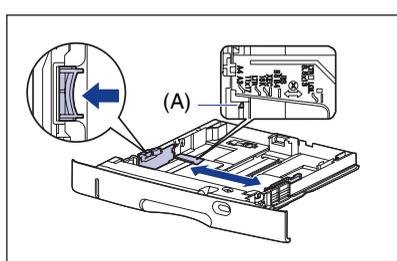
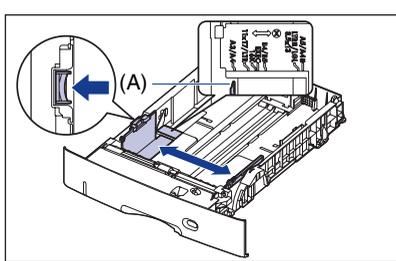
手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、完全に引き出します ③。

注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

● カセット 1 に用紙をセットする場合は、セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

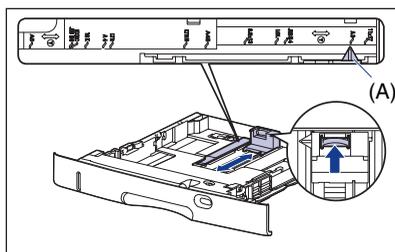
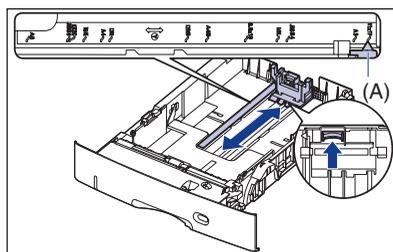
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙をセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズの用紙をセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーを「🔓」に合わせてロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを「🔒」に合わせてロックします。

● 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1

カセット 2

重要 A4、レターサイズの用紙は、横置きのみ可能なため、「A4R」、「LTRR」の位置は使用しません。また、16K、8.5 × 13 サイズの用紙はセットできないため、「16K」、「8.5 × 13」の位置も使用しません。

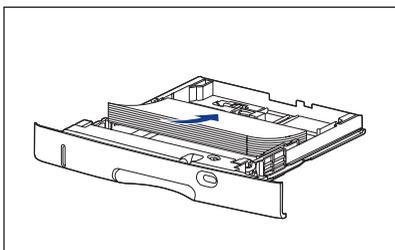
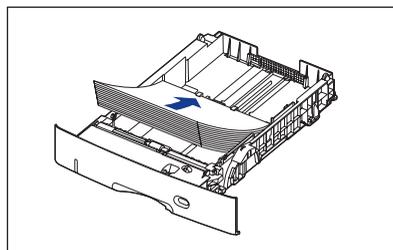
● **後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。**

（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット 1

カセット 2

重要　A4、レターサイズの用紙は、横置きのみ可能なため、「A4R」、「LTRR」の位置は使用しません。また、16K、8.5 × 13 サイズの用紙はセットできないため、「16K」、「8.5 × 13」の位置も使用しません。

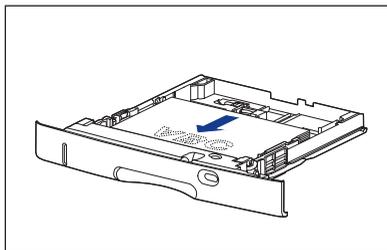
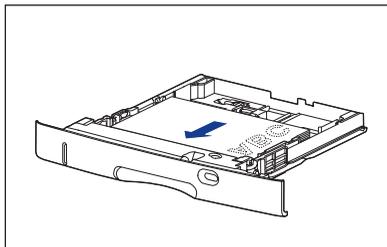
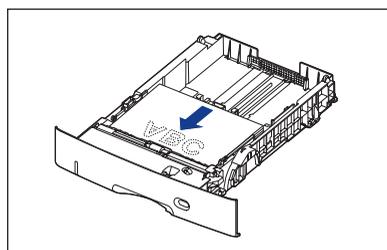
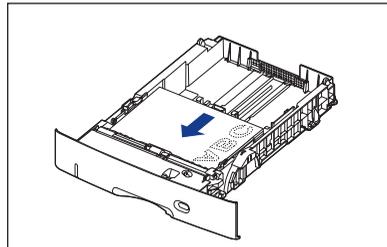
3 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

カセット 1

カセット 2

注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

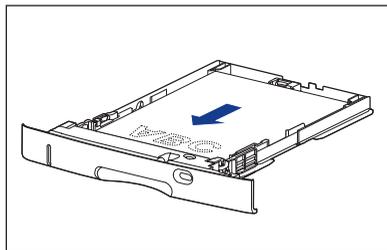
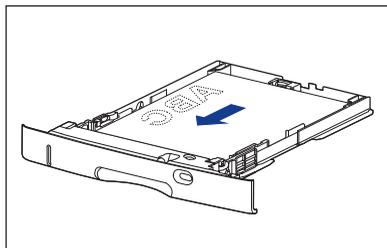
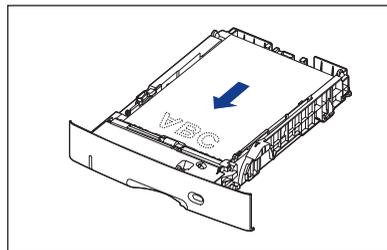
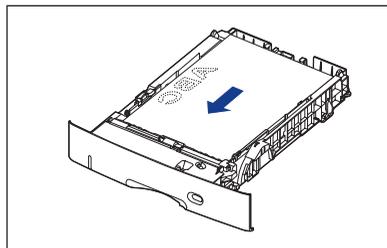
- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因となります。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
（⬅：給紙方向）

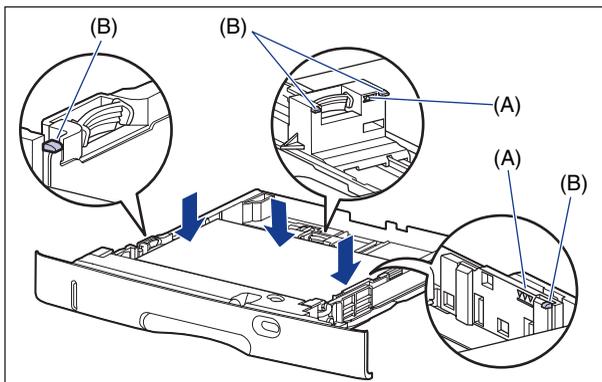
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙は、横置きで、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

カセット 1

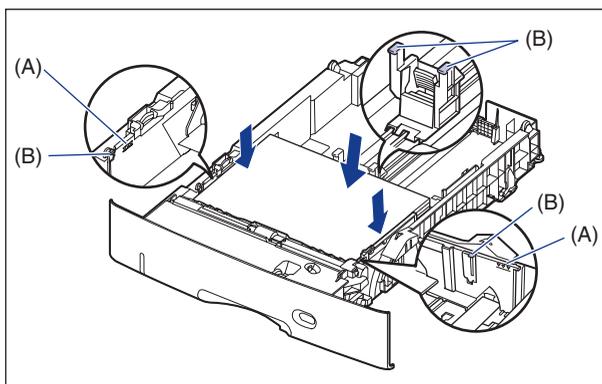
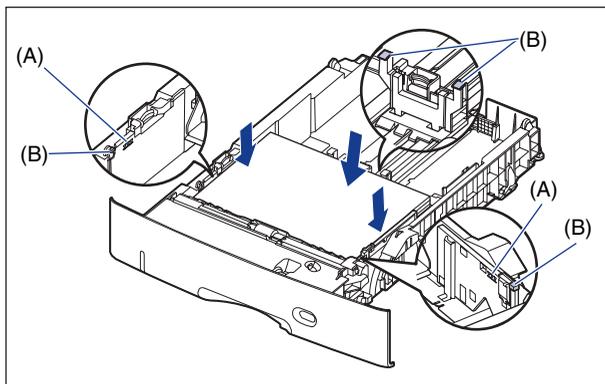
カセット 2

・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズの用紙は、縦置きで、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

カセット 1

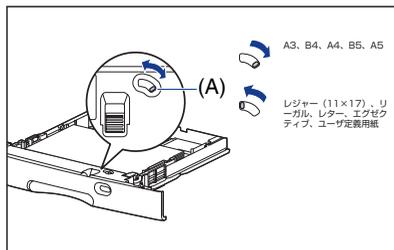
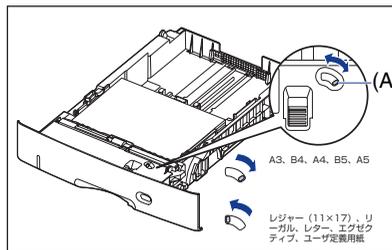
カセット 2

4 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

カセット 1

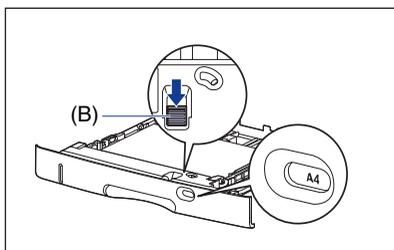
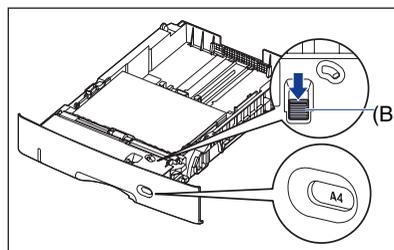
カセット 2（500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG の場合）

カセット２（500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD の場合）

重要　カセット 1 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 250 枚、カセット 2 にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m² の場合）で約 500 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

5 **セットする用紙のサイズを変更したときは、用紙サイズ設定スイッチと用紙サイズ登録ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせます。**

● **用紙サイズ設定スイッチ（A）の取っ手を持って、用紙サイズ設定スイッチをセットした用紙のサイズに合わせます。**

カセット１

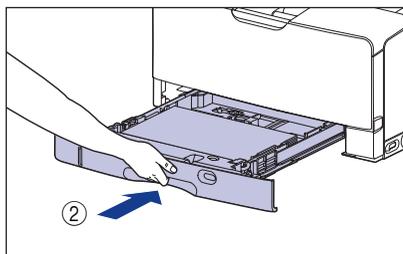
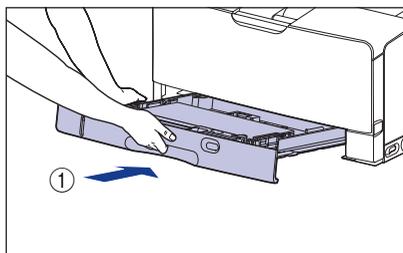
カセット２

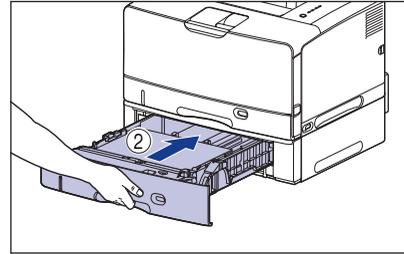
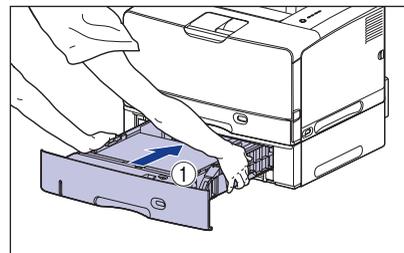
● **用紙サイズ登録ダイヤル（B）を調節して、セットした用紙のサイズに合わせます。**

カセット 1

カセット 2

重要

- セットした用紙のサイズと用紙サイズ登録ダイヤルが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ登録ダイヤルが合っていないと、誤動作の原因になります。
- 「A4R」、「LTRR」、「16K」、「8.5 × 13」は使用しません。

6 給紙カセットを図のように斜めに差し込み ①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体またはペーパーフィーダにセットします ②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

カセット 1

カセット 2

注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

次にプリンタドライバの設定を行います。（➞P.2-64）。

ユーザ定義用紙をセットする場合

ユーザ定義用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

重要　以下のユーザ定義用紙をセットすることができます。

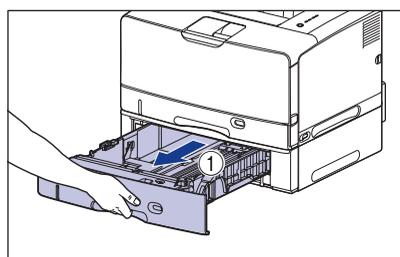
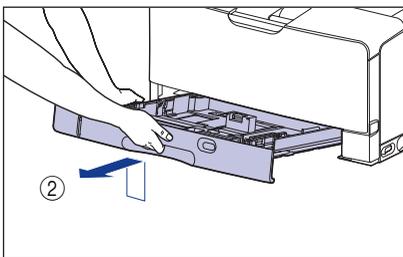
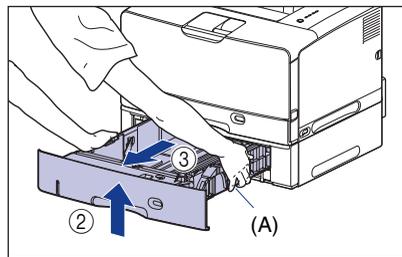
セットするカセット	ユーザ定義用紙のサイズ
カセット 1 （250 枚ユニバーサルカセット UC-67D）	・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm * 幅が 279.5 ～ 297.0mm の場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm になります。 ・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
カセット 2 （500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD）	・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm ・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm
カセット 2 （500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG）	・縦置きの場合：幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm ・横置きの場合：幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm

メモ　ユーザ定義用紙をセットしたときは、Windows をお使いの場合、プリンタステータスウィンドウの［デバイス設定］メニューにある［カセット設定］で、給紙カセットにセットしたユーザ定義用紙の送り方向（置き方）を設定してください。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

1 給紙カセットを引き出します。

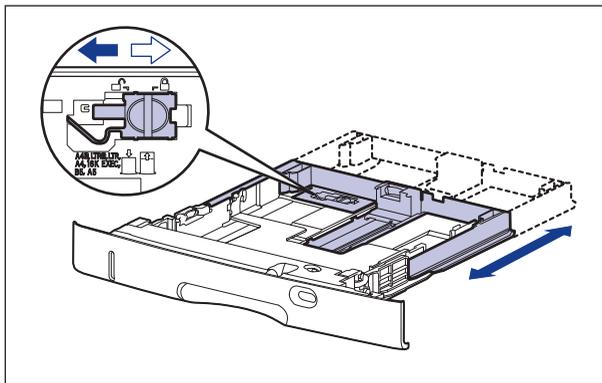
カセット 1
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します ①。

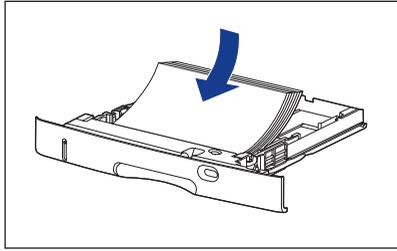
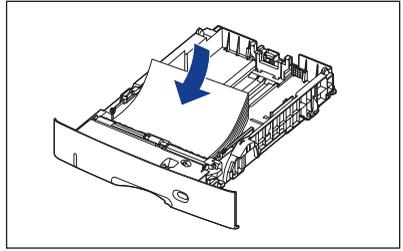
カセット 2
給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出します ①。

2
給紙／排紙のしかた

手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します②。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから②、完全に引き出します③。

注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。

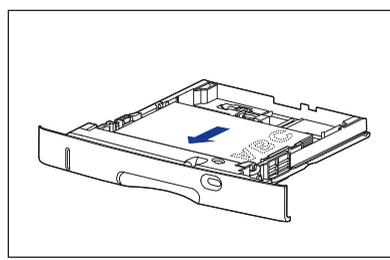
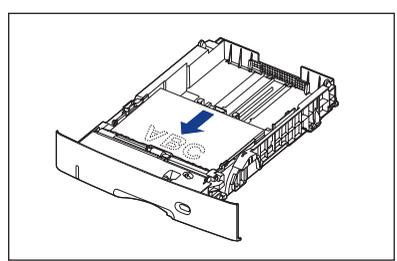
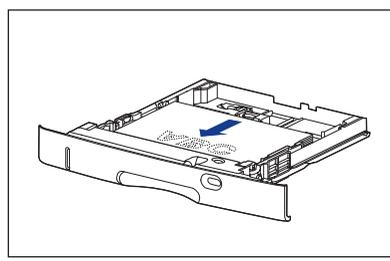
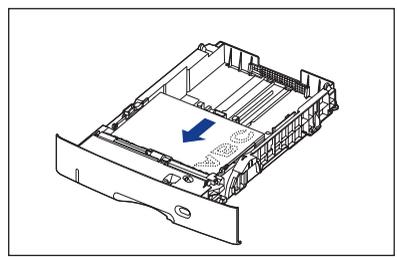
2 カセット 1 に用紙をセットする場合で、長さが A4 サイズ（297.0mm）よりも大きいサイズの用紙をセットするときは、給紙カセットの長さを調節します。

給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーを「　」に合わせてロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを「　」に合わせてロックします。

3 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

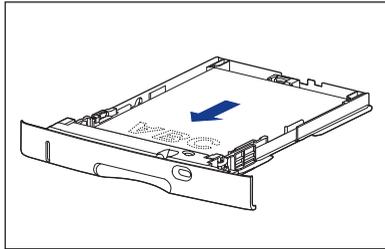
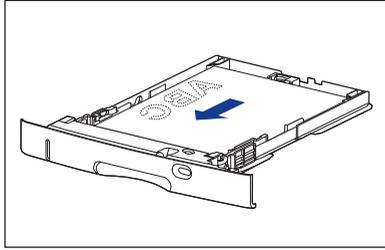
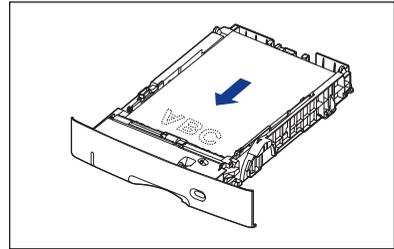
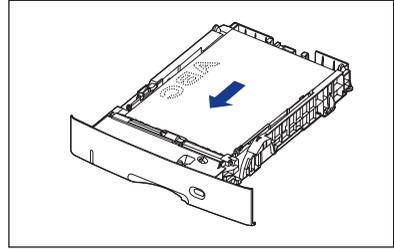
カセット 1

カセット 2

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
（：給紙方向）

・横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

カセット 1

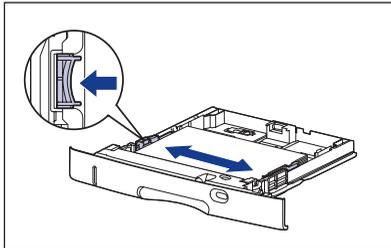
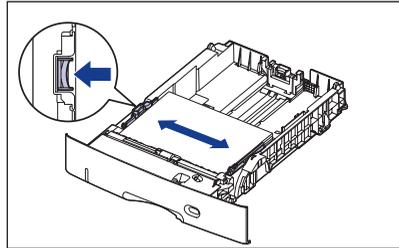
カセット 2

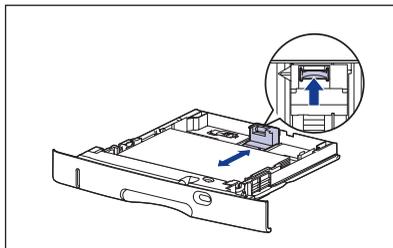
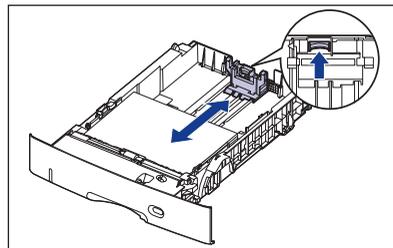
・縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。

カセット１

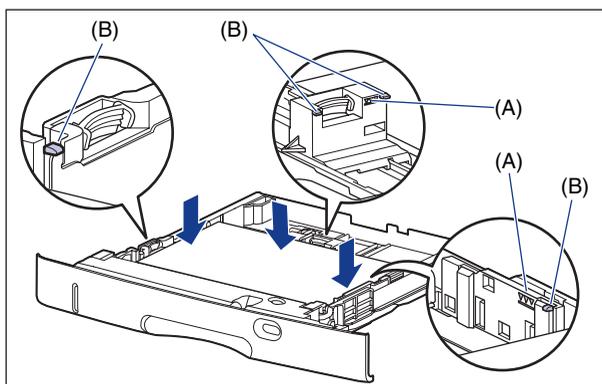
カセット２

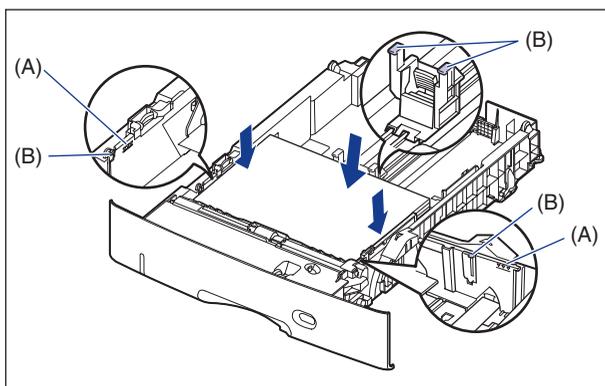
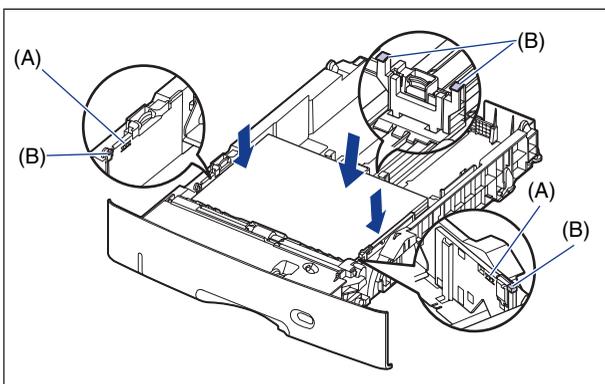
4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

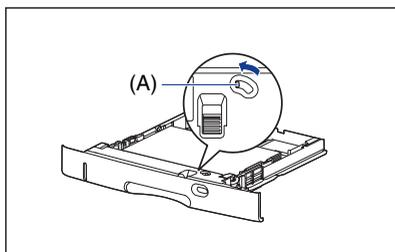
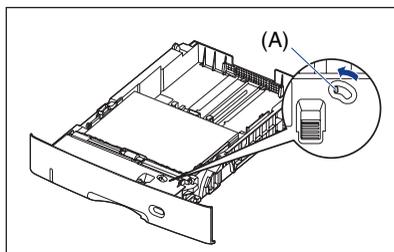
カセット１

カセット２

5 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

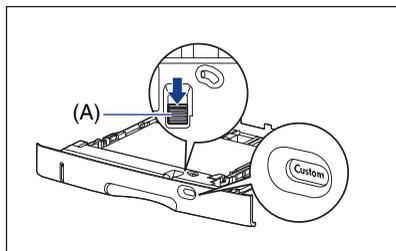
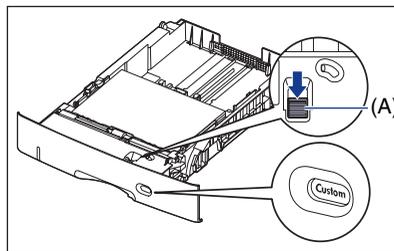
カセット１

カセット２

6 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

カセット１

カセット２（500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG の場合）

カセット２（500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD の場合）

カセット１にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 250 枚、カセット２にセットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m^2 の場合）で約 500 枚です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

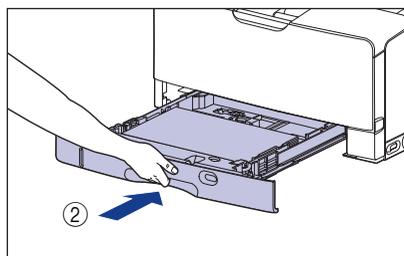
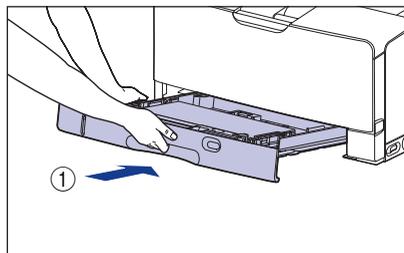
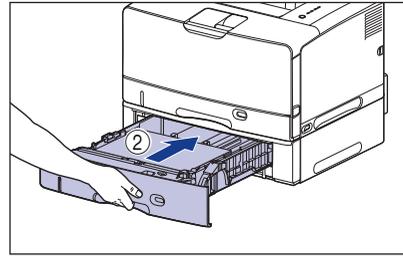
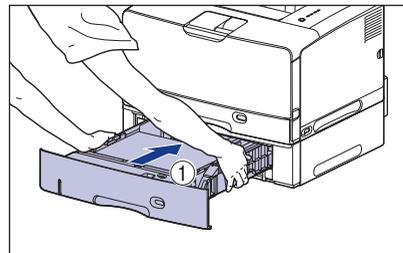
7 用紙サイズ設定スイッチ（A）の取っ手を持って、左側に合わせます。

カセット１

カセット２

8 用紙サイズ登録ダイヤル（A）を「Custom」に合わせます。

カセット 1

カセット 2

重要 用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ登録ダイヤルが合っていないと、誤動作の原因になります。

9 給紙カセットを図のように斜めに差し込み ①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体またはペーパーフィーダにセットします ②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

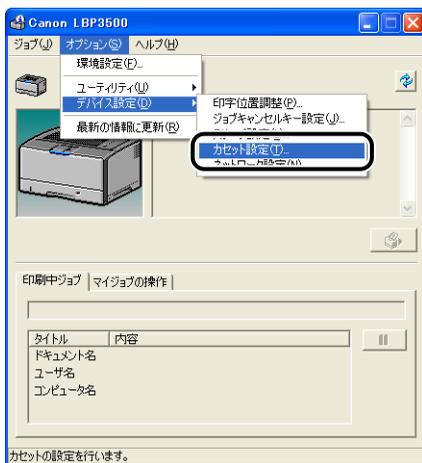
カセット 1

カセット 2

注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

10 以降の手順でセットした用紙の送り方向（置き方向）の設定を行います。

メモ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

11 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-82）を参照してください。

12 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］→［カセット設定］を選択します。

［カセット設定］ダイアログボックスが表示されます。

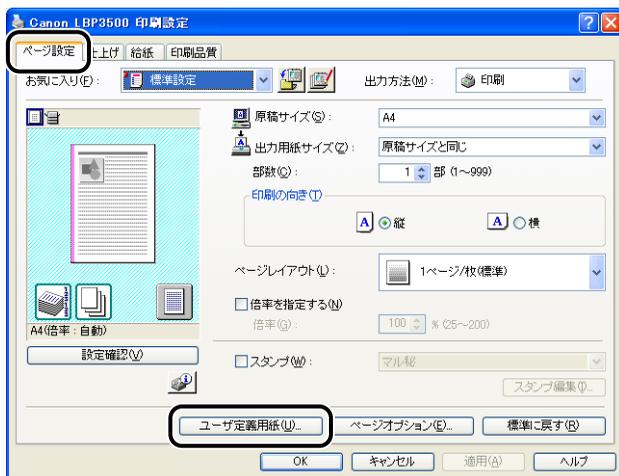
13 ［カセット設定］ダイアログボックスの［ユーザ定義用紙の送り方向］でセットした用紙の送り方向（置き方）を設定して［OK］をクリックします。

14 以降の手順でセットしたユーザ定義用紙の登録を行います。

ユーザ定義用紙を印刷する場合は、あらかじめユーザ定義用紙のサイズをプリンタドライバに登録しておく必要があります。

メモ

- ユーザ定義用紙の設定は、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000/Vista は［プリンタ］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して行います。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

15 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

16 必要に応じて以下の項目を設定します。

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。半角 / 全角 31 文字まで入力できます。

［単位］：　ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（［ミリメートル］または［インチ］）を選択します。

［用紙サイズ］：　ユーザ定義用紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

17 ［登録］をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、ご使用のシステム環境によって異なります。

18 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

次にプリンタドライバの設定を行います（➞P.2-64）。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブと以下のサイズのユーザ定義用紙を普通紙（64g/m^2）で約 100 枚までセットできます。

- 縦置きの場合：幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 470.0mm
- 横置きの場合：幅 148.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 312.0mm

厚紙や OHP フィルム、はがき、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。

用紙の種類によってセット方法が異なりますので、それぞれの手順を参照してください。

- 普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙（➞ 普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙をセットする場合：P.2-46）
- はがき、封筒（➞ はがき、封筒をセットする場合：P.2-52）
- ユーザ定義用紙（➞ ユーザ定義用紙（不定形用紙）をセットする場合：P.2-58）

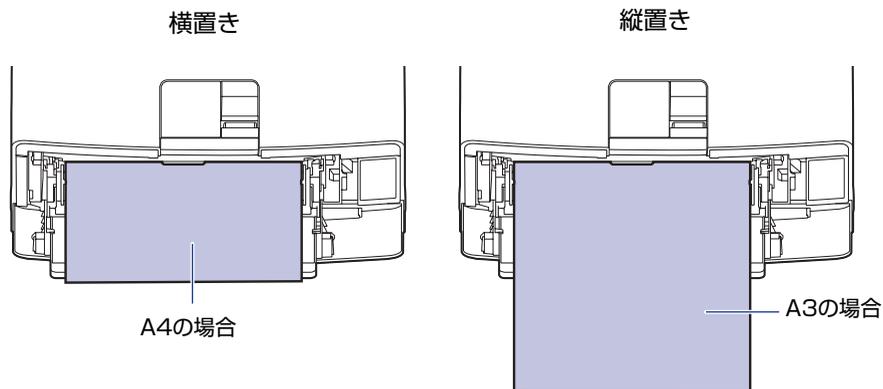
重要

- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.2-2）を参照してください。
- 手差しトレイの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.2-16）を参照してください。

普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙をセットする場合

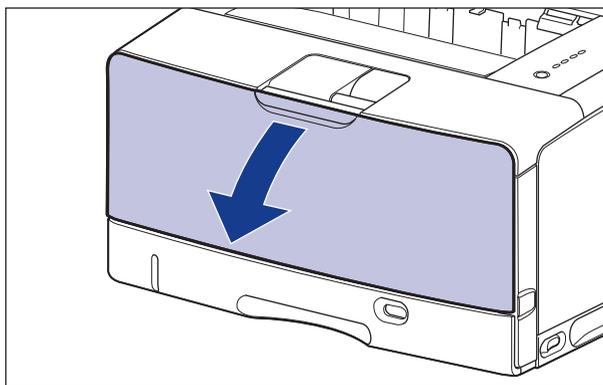
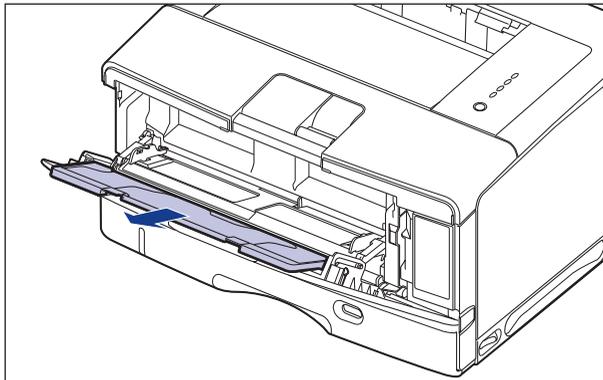
手差しトレイに普通紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

■ 用紙の置き方（セットする向き）について

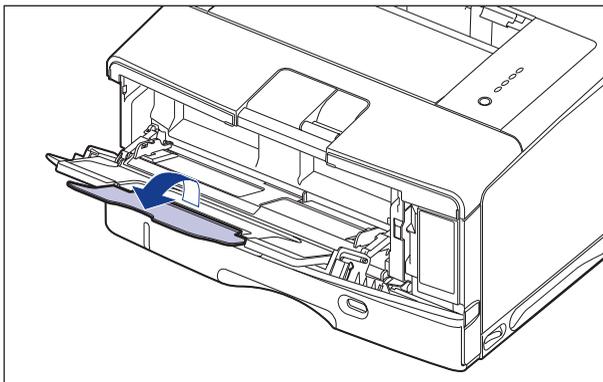
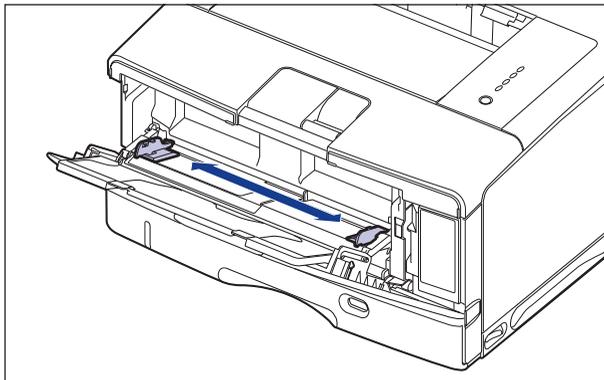
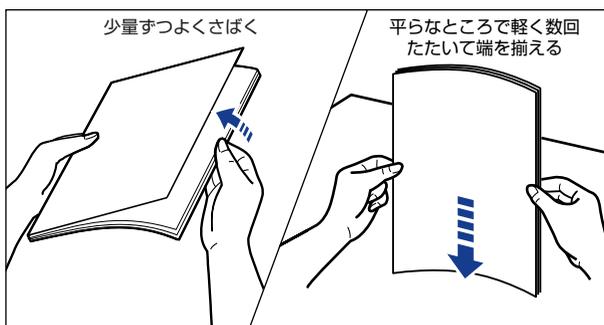
用紙は、縦置きまたは横置きにセットします。セットする用紙サイズによって置き方が次のように異なります。

- 横置きできる用紙
  A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ
- 縦置きできる用紙
  A3、B4、レジャー（11×17）、リーガル

---

1 手差しトレイを開けます。

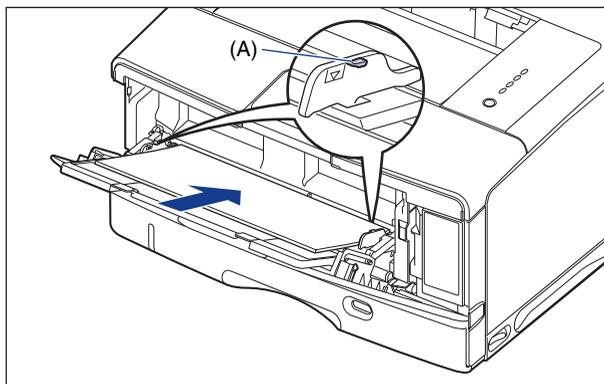
手差しトレイは中央の青色の取っ手を持って開けます。

2 補助トレイを引き出します。

重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

3 A3 や B4 などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

4 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

5 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

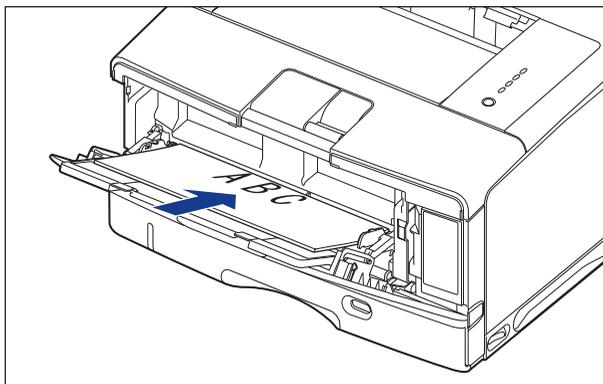
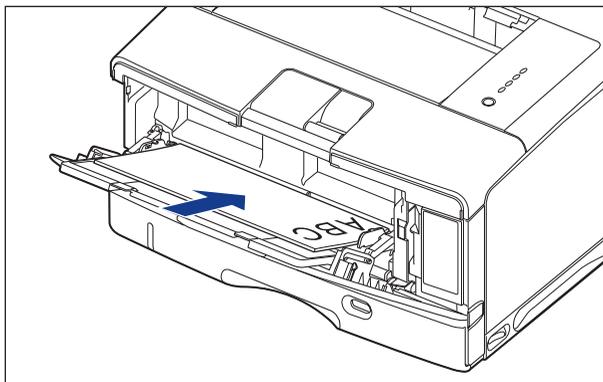
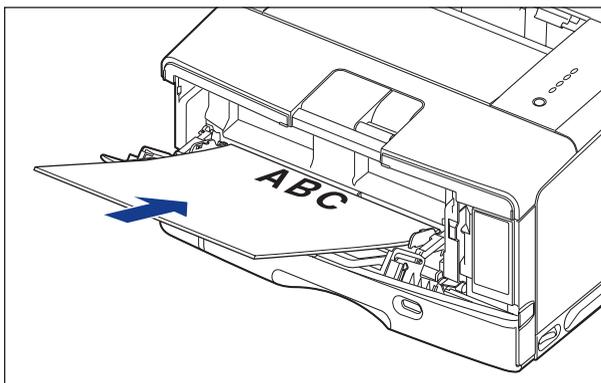
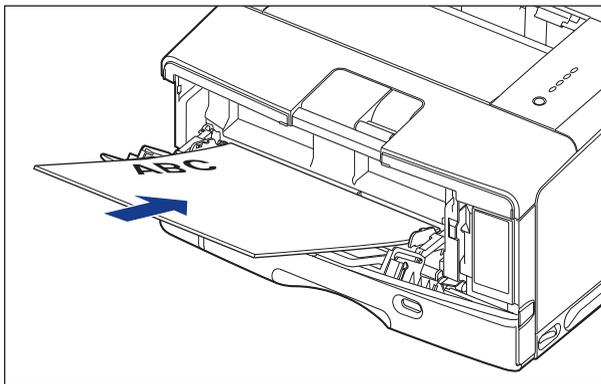
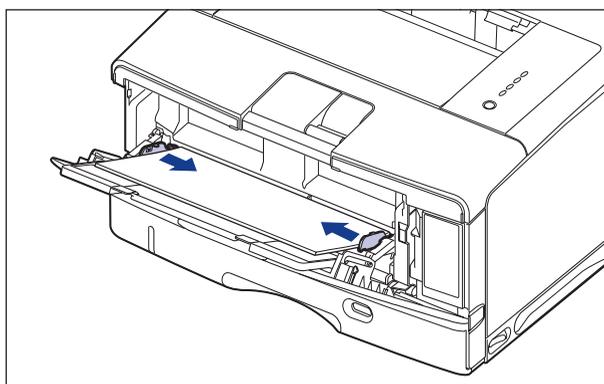
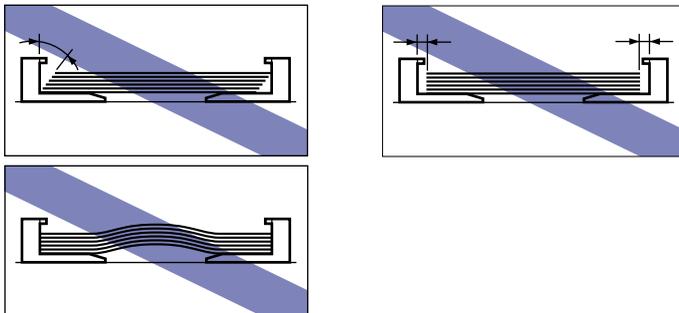
6 用紙の印刷面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 手差しトレイには、次の枚数までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
  - ･普通紙　：約 100 枚（64g/m^2 の場合）
  - ･厚紙　：約 50 枚（128g/m^2 の場合）
  - ･OHP フィルム　：約 50 枚
  - ･ラベル用紙　：約 40 枚
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
（⬅：給紙方向）

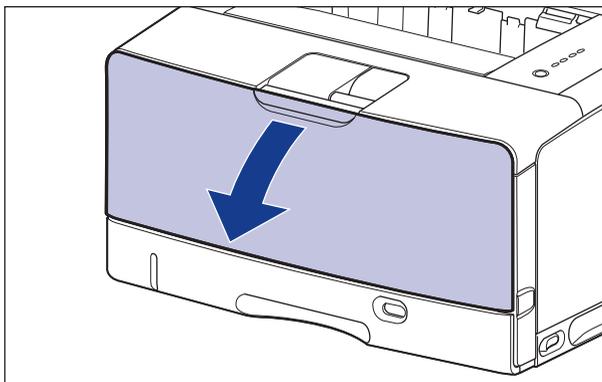
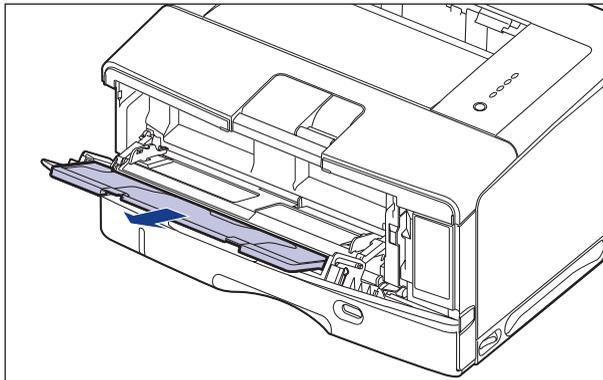
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙は、横置きで、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。

・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズの用紙は、縦置きで、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。

7 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

次にプリンタドライバの設定を行います（→P.2-64）。

はがき、封筒をセットする場合

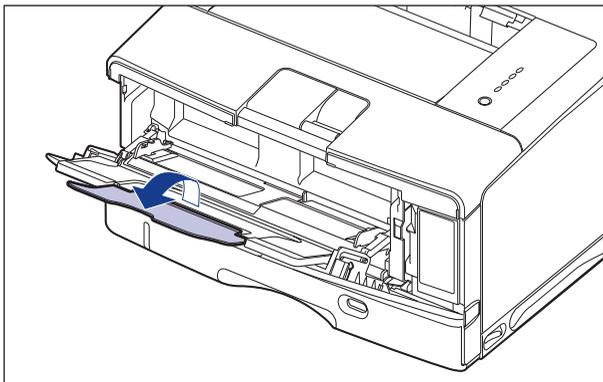
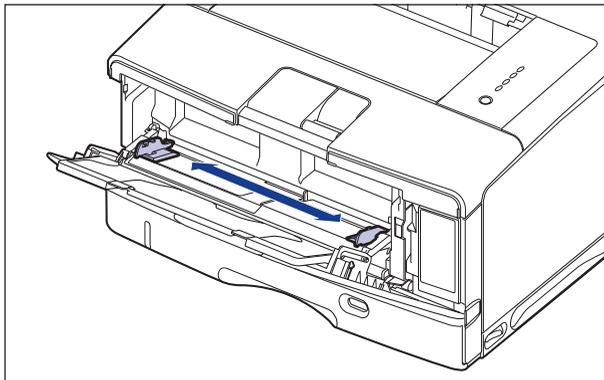
手差しトレイには、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、キヤノン推奨４面はがき、洋形４号、洋形２号、角形２号の封筒をセットできます。はがき、封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

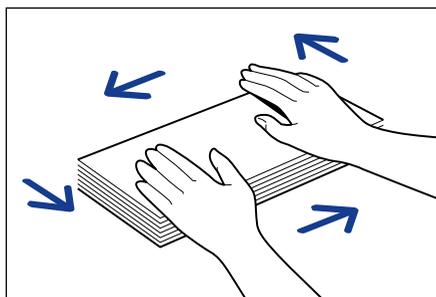
メモ　本プリンタは、はがき、往復はがき、４面はがきサイズの普通紙（60～90g/m²）、厚紙（91～199g/m²）に印刷することもできます。はがき、往復はがき、４面はがきサイズの普通紙、厚紙に印刷する場合は、「普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙をセットする場合」（→P.2-46）を参照してください。

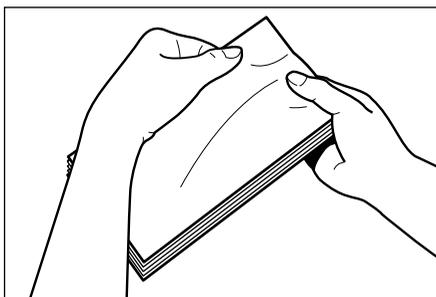
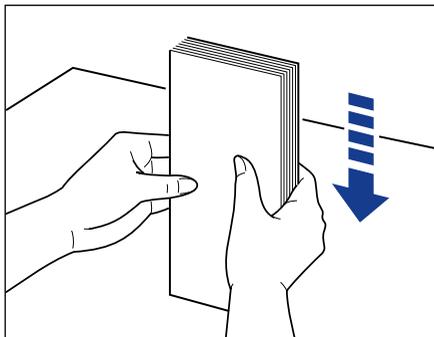
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の青色の取っ手を持って開けます。

2 補助トレイを引き出します。

重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

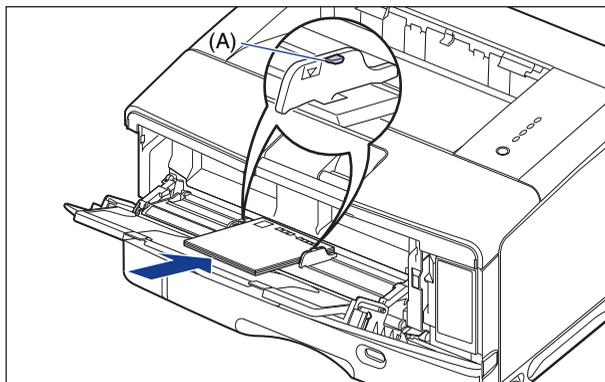
3 角形2号封筒などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

4 用紙ガイドの幅を用紙の幅より少し広めにセットします。

5 封筒をセットする場合は、次のように揃えます。

● 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

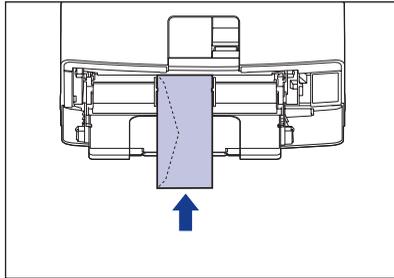
● 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

● 封筒を平らな場所で揃えます。

6 **印刷する面を上向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。**

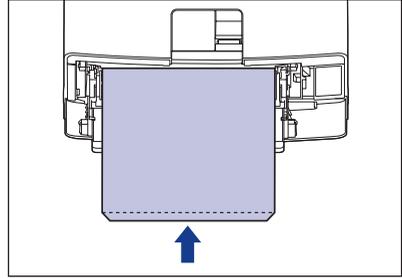
用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

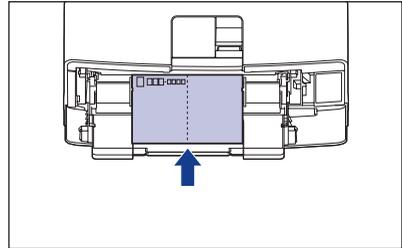
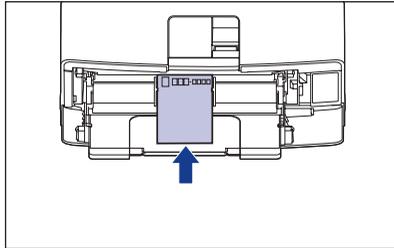
⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

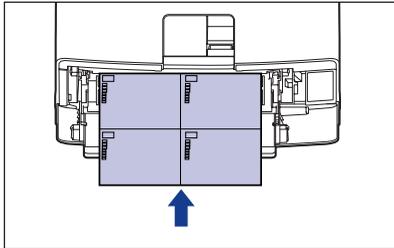
重要

- はがき、封筒は以下のようにセットします。
（←：給紙方向）

・洋形４号／洋形２号

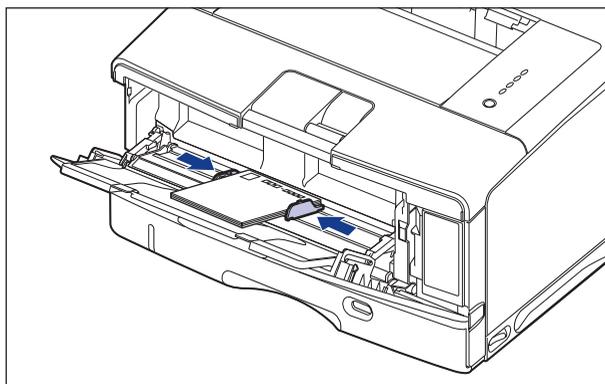
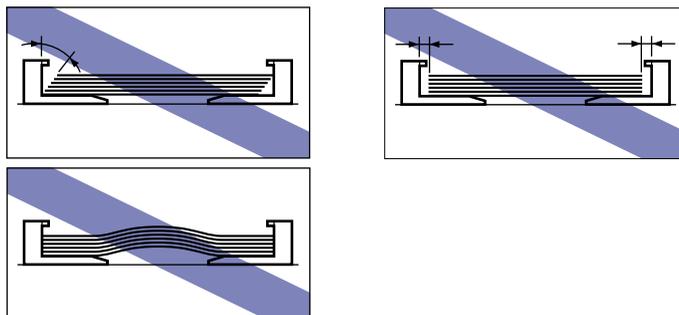
ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

・角形２号

底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

・はがき／往復はがき

はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

・４面はがき

はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

- 手差しトレイには、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき、キヤノン推奨４面はがきを約 40 枚まで、封筒を約 10 枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：「往復はがき横」）
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。

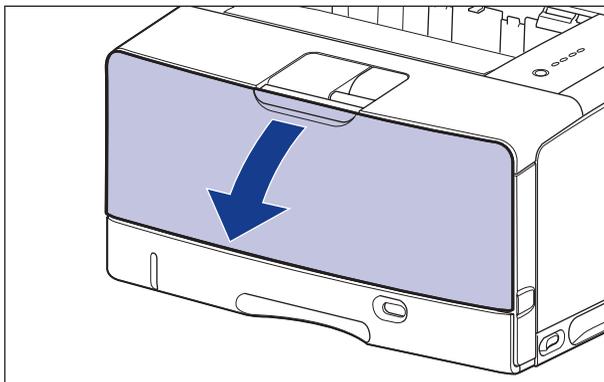
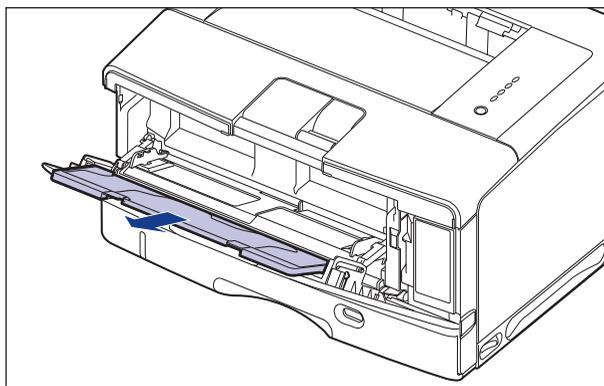
- 裁断状態の悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

7 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

次にプリンタドライバの設定を行います（➞P.2-64）。

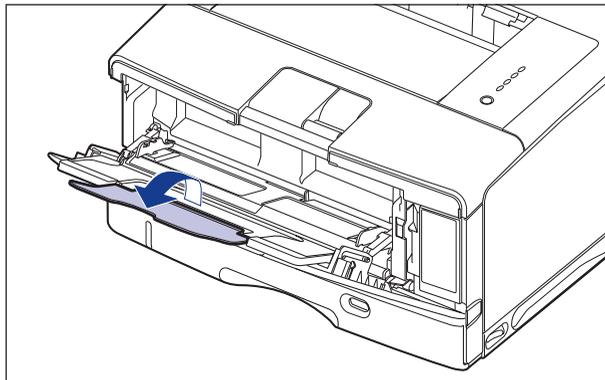
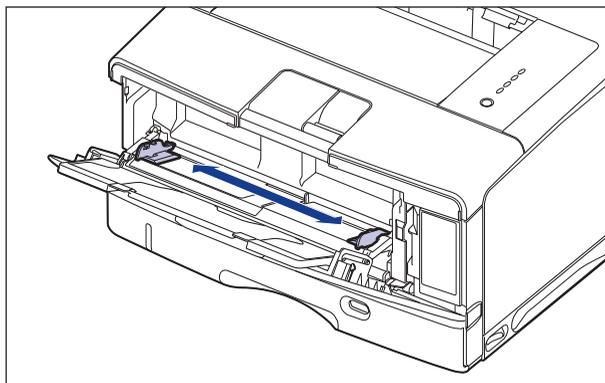
ユーザ定義用紙（不定形用紙）をセットする場合

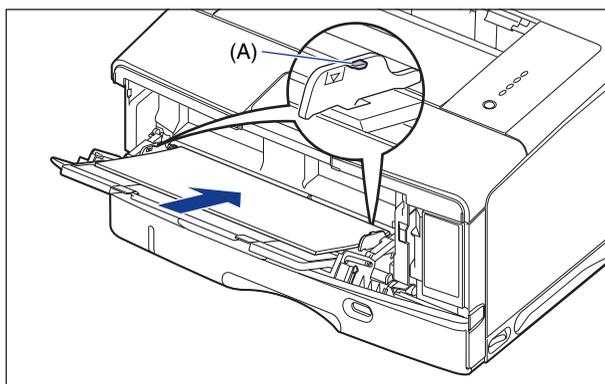
手差しトレイにユーザ定義用紙をセットするときは、以下の手順で行います。

1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の青色の取っ手を持って開けます。

2 補助トレイを引き出します。

重要 手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

3 長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

4 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

5 用紙の印刷面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

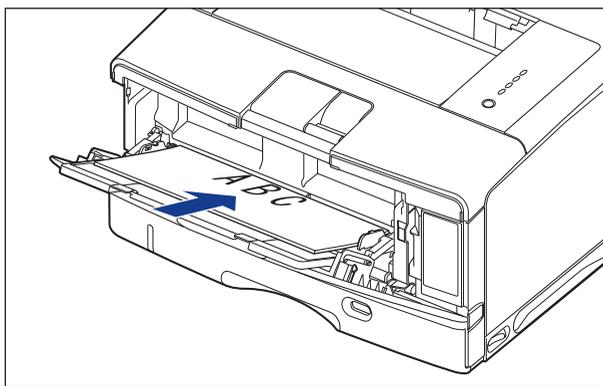
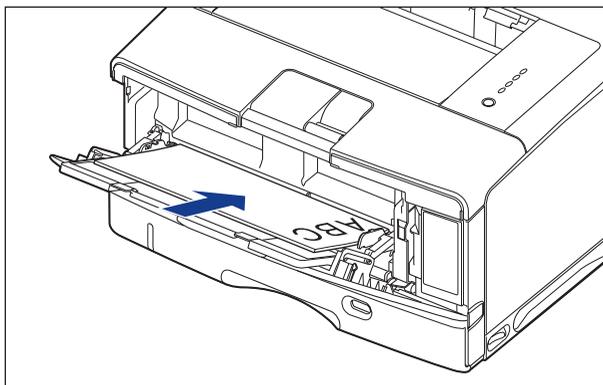
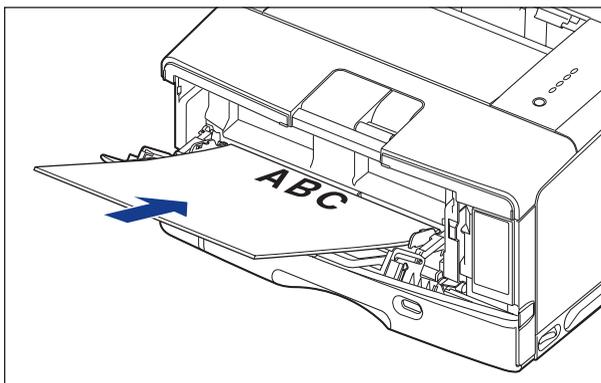
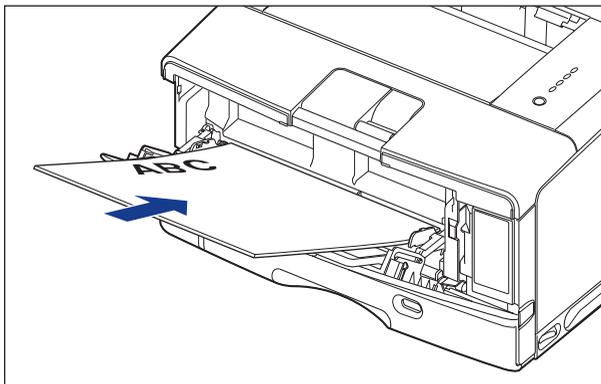
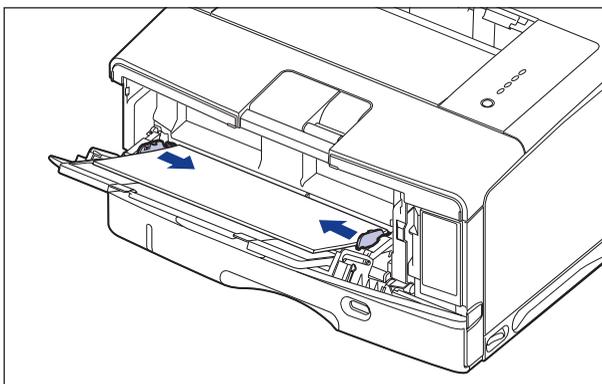
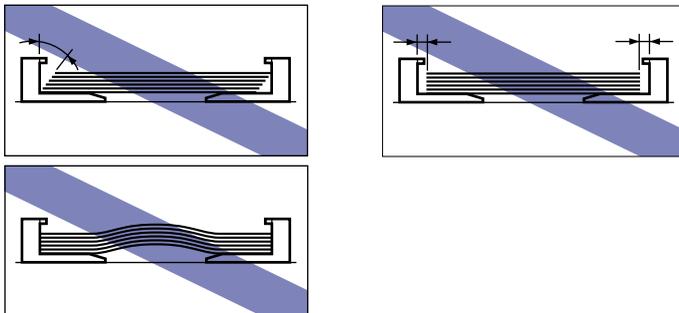
用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- 手差しトレイには、普通紙を約 100 枚（64g/m^2 の場合）までセットできます。用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

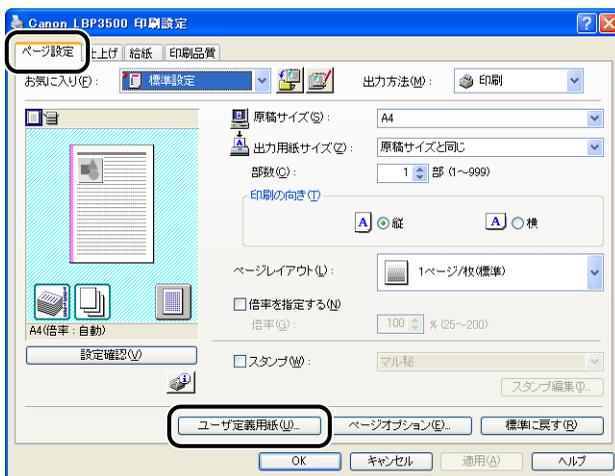
メモ

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。
（⬅：給紙方向）

・用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。

・用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。

6 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

7 以降の手順でセットしたユーザ定義用紙の登録を行います。

ユーザ定義用紙を印刷する場合は、あらかじめユーザ定義用紙のサイズをプリンタドライバに登録しておく必要があります。

メモ
- ユーザ定義用紙の設定は、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000/Vista は［プリンタ］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して行います。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

8 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

9 必要に応じて以下の項目を設定します。

[用紙一覧]：	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。
[ユーザ定義用紙名]：	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。半角 / 全角 31 文字まで入力できます。
[単位]：	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（[ミリメートル］または［インチ]）を選択します。
[用紙サイズ]：	ユーザ定義用紙の高さと幅（[高さ] ≧ [幅]）を設定します。用紙サイズは、縦長（[高さ] ≧ [幅]）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

10 ［登録］をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、ご使用のシステム環境によって異なります。

11 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

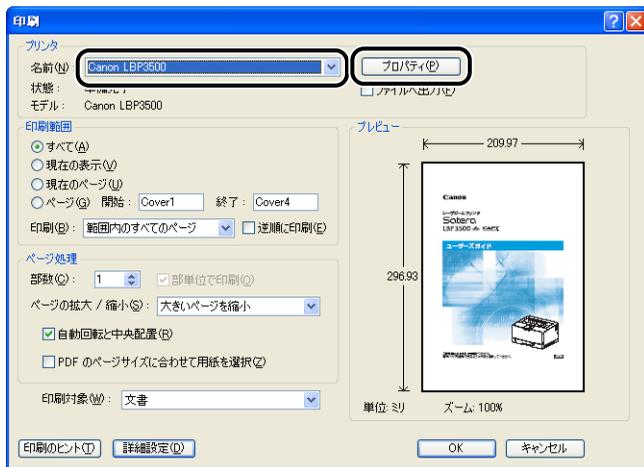
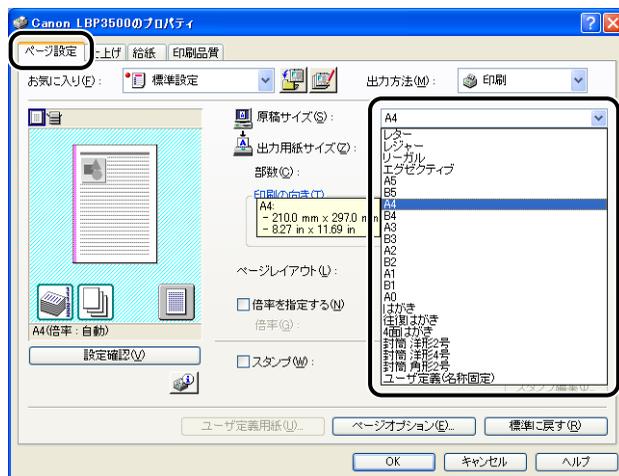
次にプリンタドライバの設定を行います（➞P.2-64）。

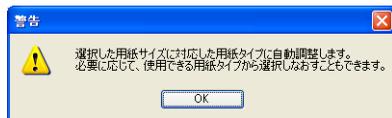
プリンタドライバの設定をして印刷する

用紙を給紙部にセットしたあと、次の手順でプリンタドライバの設定をして印刷します。

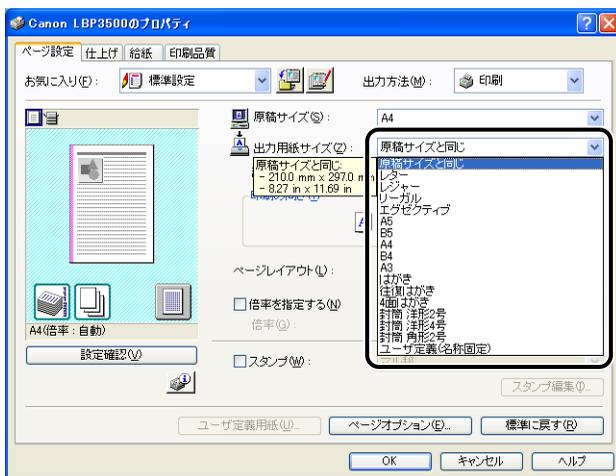
メモ

- プリンタドライバの設定項目の詳しい説明については、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプの表示方法については、「オンラインヘルプの使いかた」（➞P.4-70）を参照してください。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

メモ

- ［原稿サイズ］を［はがき］、［往復はがき］、［4 面はがき］に設定すると、以下のメッセージが表示され自動的に［用紙タイプ］が設定されます。

- ［原稿サイズ］を［封筒洋形 2 号］、［封筒洋形 4 号］、［封筒角形 2 号］に設定すると、以下のメッセージが表示され自動的に［用紙タイプ］が設定されます。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙部にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。

5 [用紙タイプ] でセットした用紙のタイプを選択します。

メモ [用紙タイプ] に応じて、次のように設定してください。

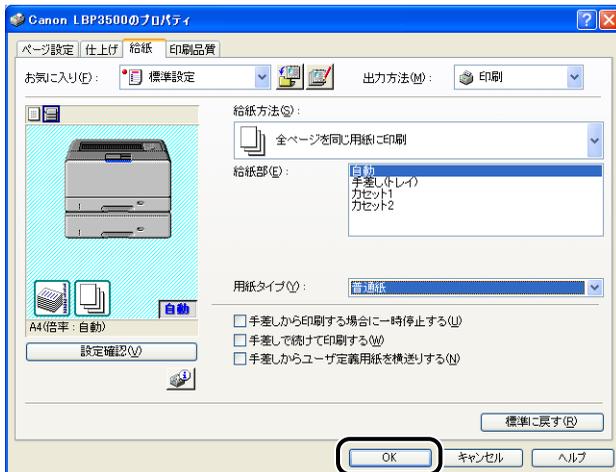
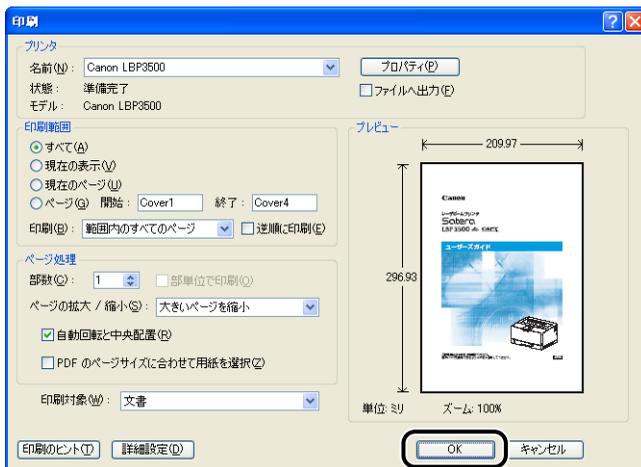
用紙タイプ		プリンタドライバの設定
普通紙	60 ～ 90g/m²	[普通紙]
		[普通紙 L] *1
		[普通紙 H] *2
厚紙	91 ～ 199g/m²	[厚紙 L]
		[厚紙 H] *3
OHP フィルム		[OHP フィルム]
ラベル用紙		[ラベル用紙]
はがき		[はがき]
封筒		*4

*1 [普通紙] に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは [普通紙 L] に設定してください。

*2 [普通紙] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[普通紙 H] に設定してください。

*3 [厚紙 L] に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、[厚紙 H] に設定してください。

*4 封筒の場合は、[ページ設定] ページの [出力用紙サイズ] を設定すると自動的に封筒に適した印刷モードで印刷されます。

6 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

7 [OK] をクリックして、印刷を実行します。

両面に印刷する

本プリンタはオプションの両面ユニットを取り付けると、自動で両面印刷することができます。自動両面印刷で使用できる用紙は、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー（11 × 17）、レター、エグゼクティブサイズの普通紙です。また、以下のサイズのユーザ定義用紙を自動両面印刷することもできます。

- 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

重要
- 厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、はがき、封筒には、自動両面印刷できません。
- 自動両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。自動両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。
- 自動両面印刷するときは必ずサブ排紙トレイを閉じてから行ってください。
- 自動両面印刷中には、サブ排紙トレイを開けないでください。
- 手動両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

メモ
［両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する］にチェックマークを付けると、両面印刷ジョブの最後のページが片面の場合、通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。ただし、パンチ紙やプレプリント紙（あらかじめ印刷している紙）に両面印刷する場合、最後のページの向きや表裏が他のページと異なることがあります。そのときはチェックマークを消してください。［両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する］は、以下の画面で設定します。

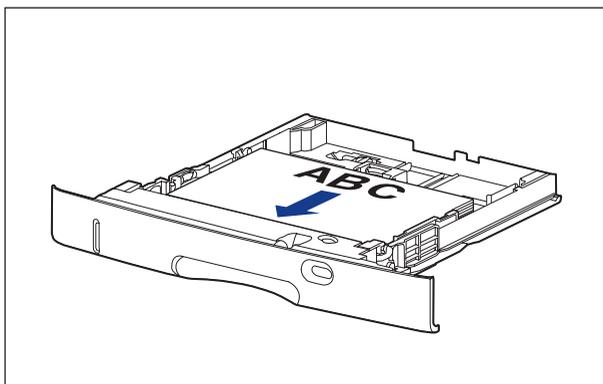
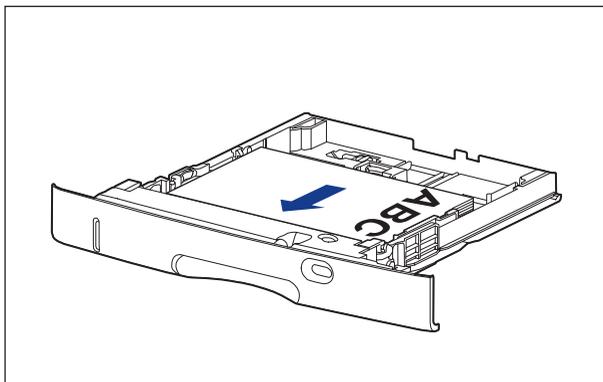
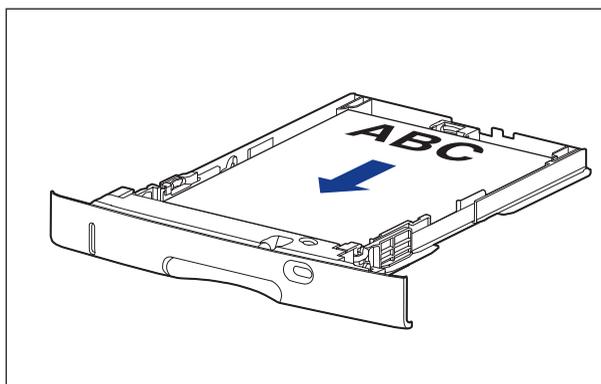
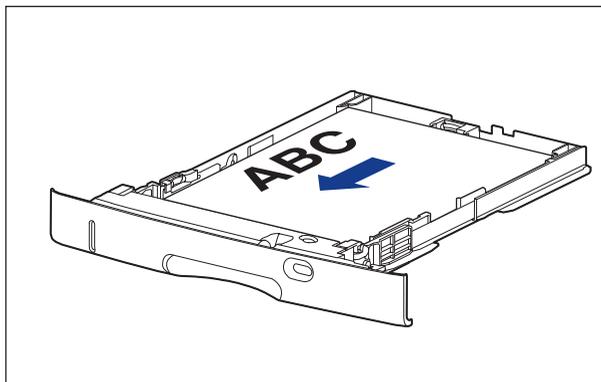
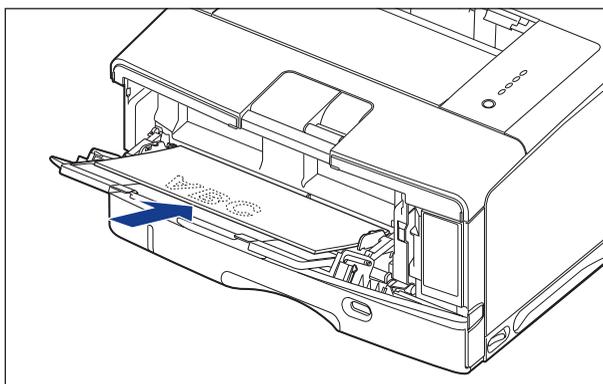
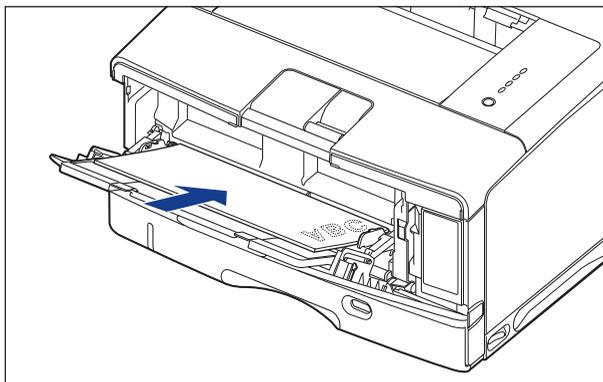
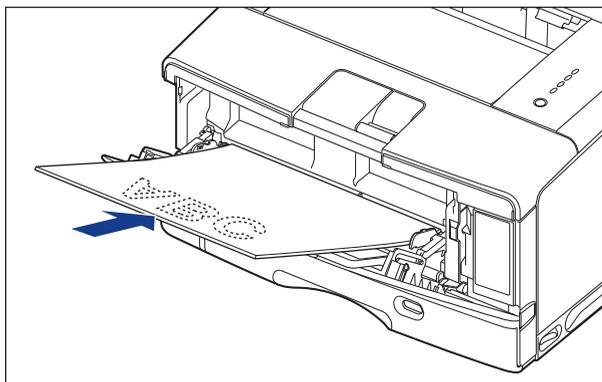
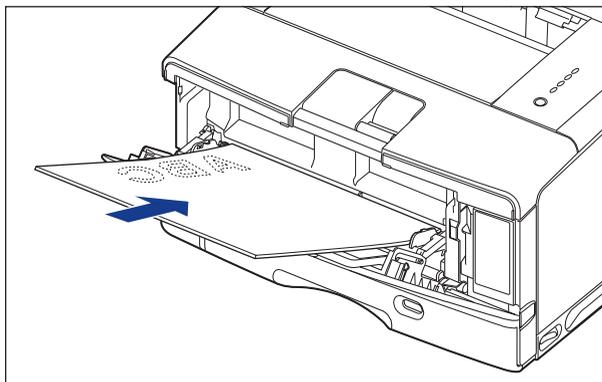
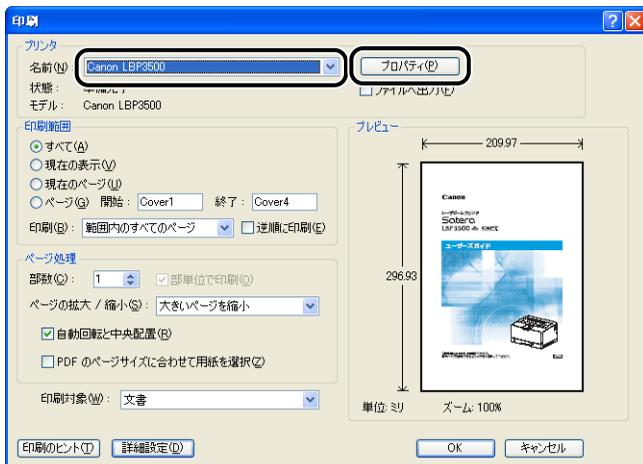
・Windows の場合：
［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックし、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックすると表示される［処理オプション］ダイアログボックス

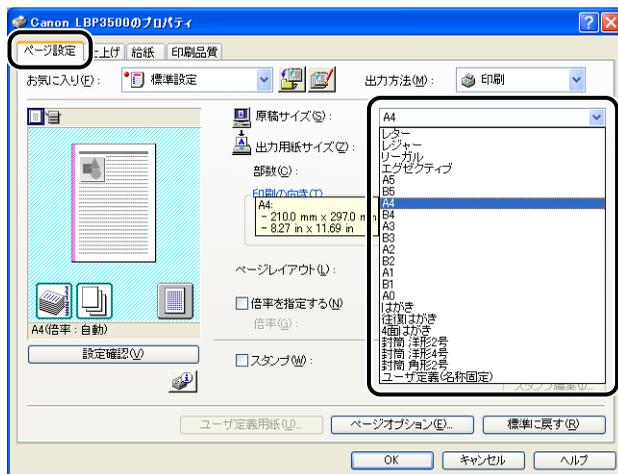
・Macintosh の場合：
［仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］をクリックし、［仕上げ詳細］ダイアログの［処理オプション］をクリックすると表示される［処理オプション］ダイアログ

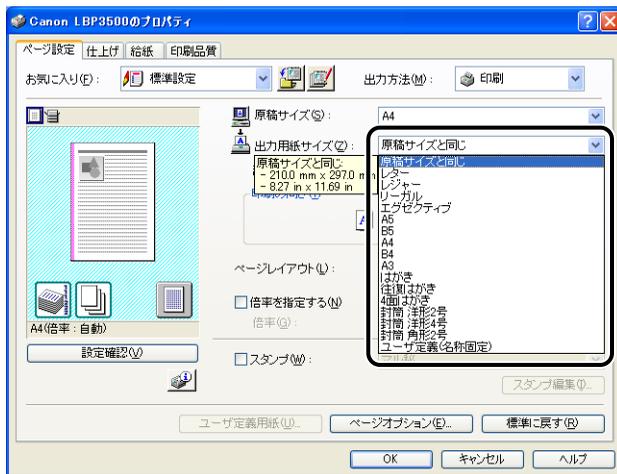
自動で両面に印刷する

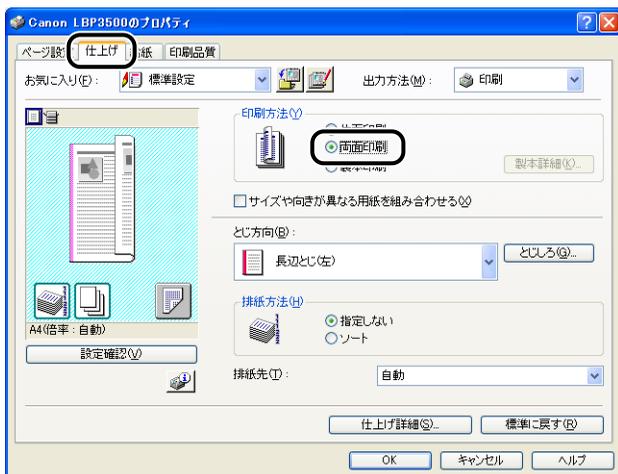
1 **手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。**

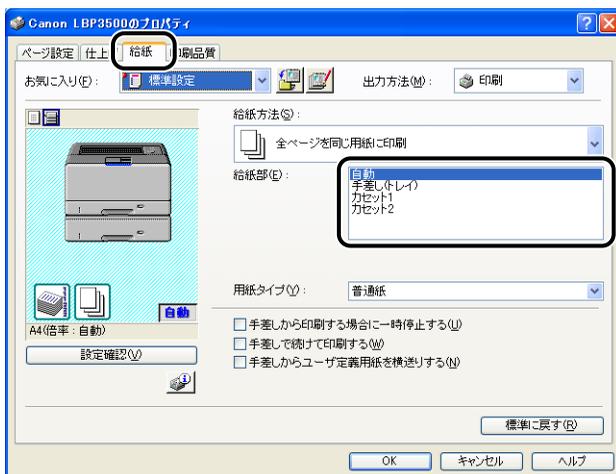
メモ
- 自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは次のように用紙をセットします。

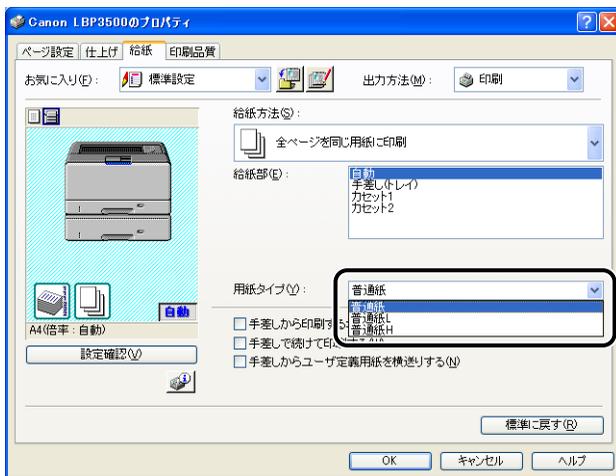
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、横置きで、用紙の表面を上に向け、以下のようにセットします。
（ ⬅ ：給紙方向）

・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、縦置きで、用紙の表面を上に向け、以下のようにセットします。
（ ：給紙方向）

・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙を手差しトレイにセットする場合は、横置きで、用紙の表面を下に向け、以下のようにセットします。
（ ⬅ ：給紙方向）

・A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズの用紙を手差しトレイにセットする場合は、縦置きで、用紙の表面を下に向け、以下のようにセットします。
（ ：給紙方向）

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと給紙部にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

5 ［仕上げ］ページを表示して、［印刷方法］で［両面印刷］を選択します。

6 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

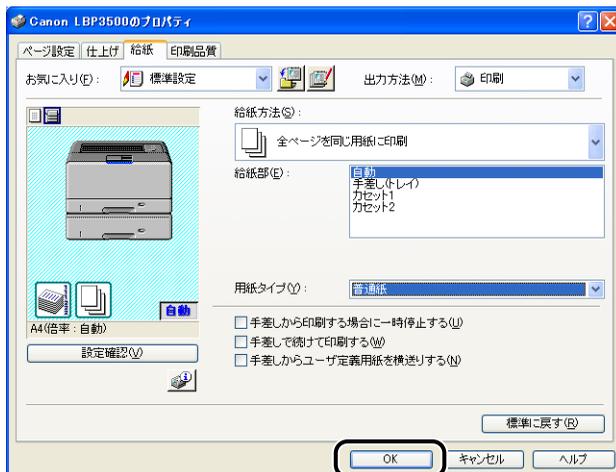
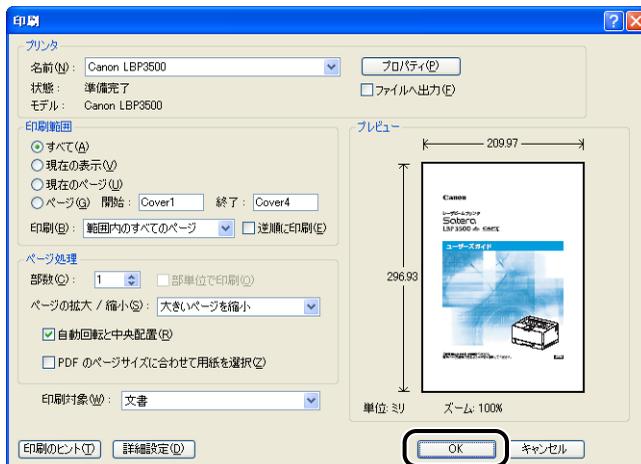
［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。

7 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

メモ

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

用紙タイプ		プリンタドライバの設定
普通紙	60～90g/m^2	［普通紙］
		［普通紙 L］*1
		［普通紙 H］*2

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは［普通紙 L］に設定してください。

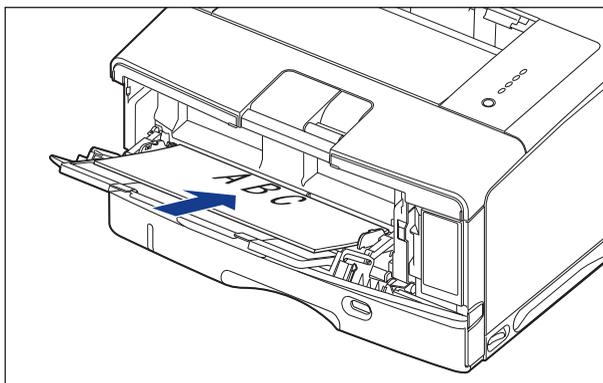
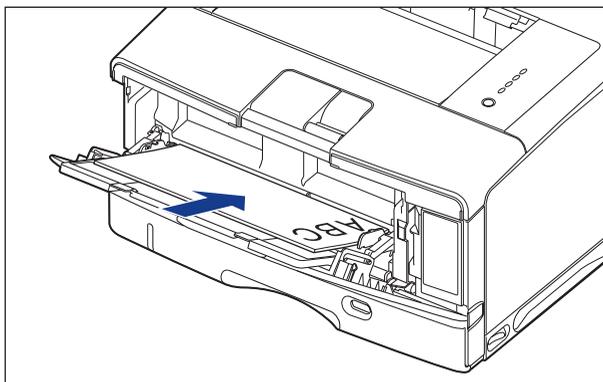
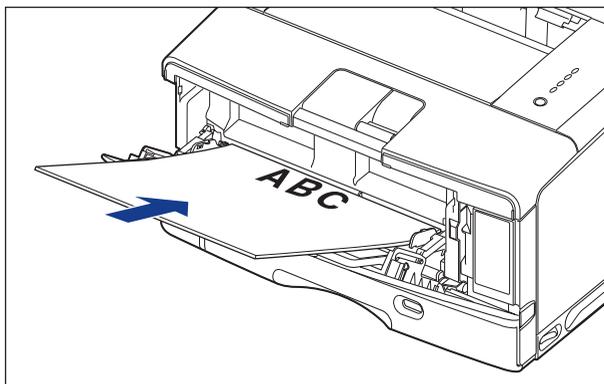
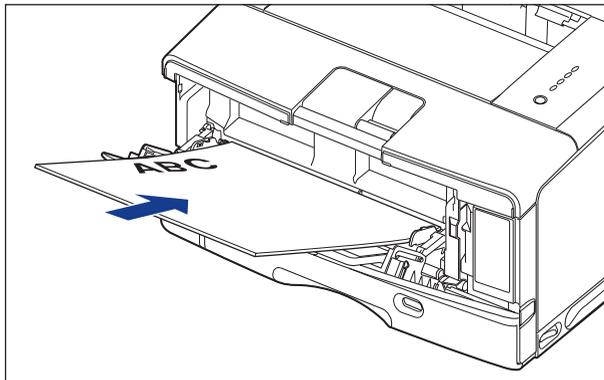
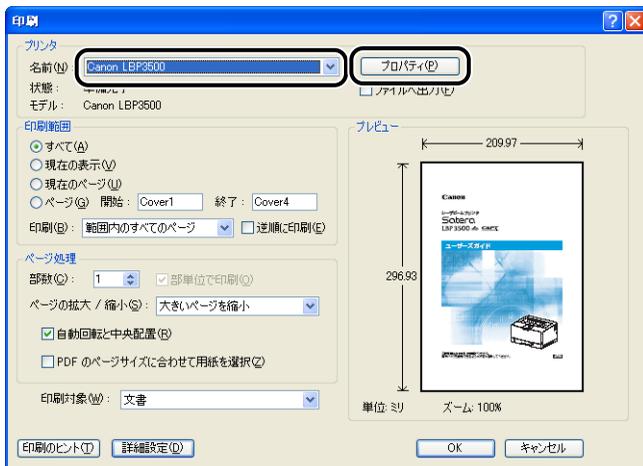
*2 ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［普通紙 H］に設定してください。

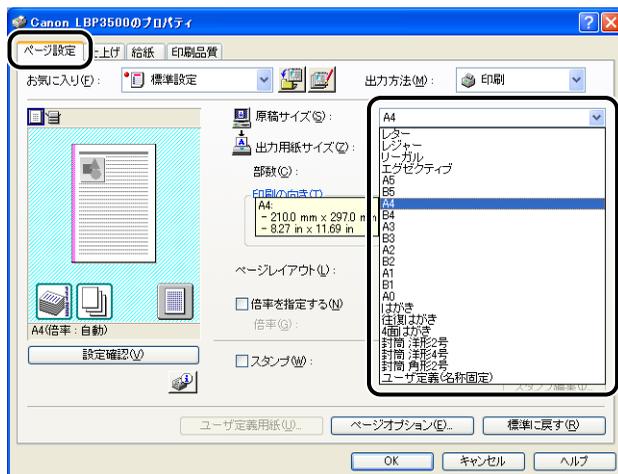
8 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

9 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

手動で両面に印刷する

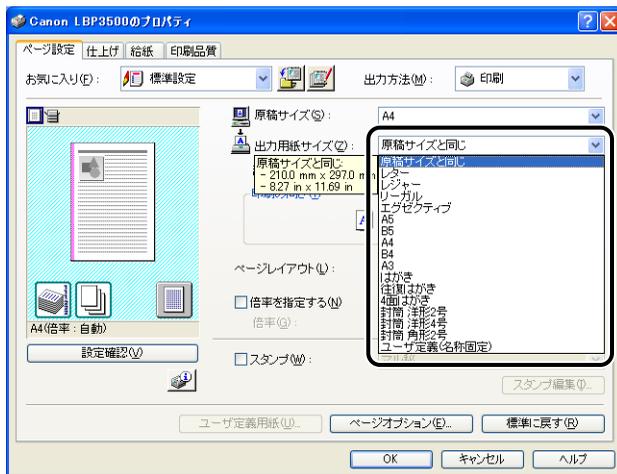
本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。

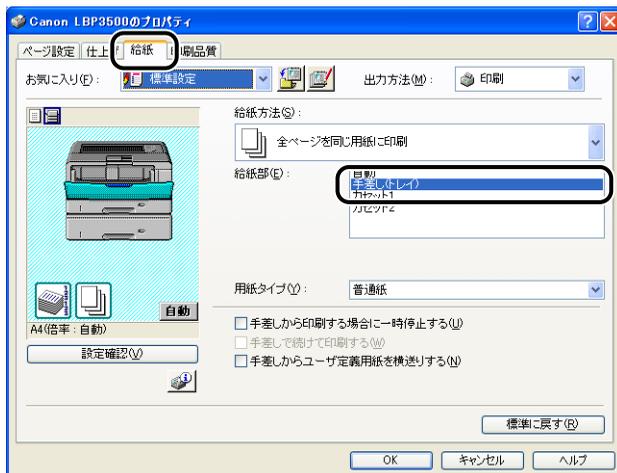
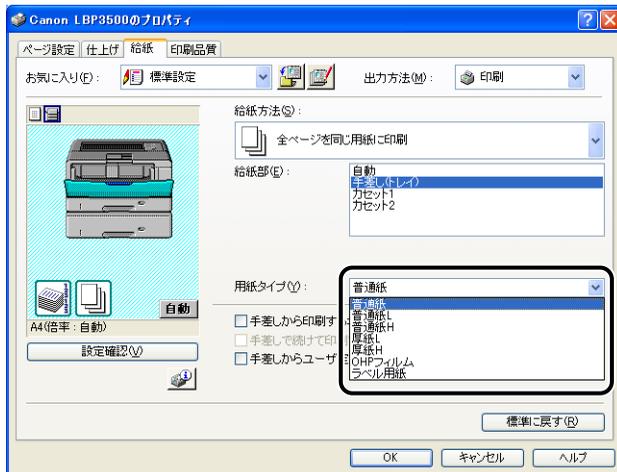
重要
- はがきに両面印刷する場合、裏面（文書側の面）から先に印刷したあと、表面（宛名側の面）を印刷してください。
- 手動両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

1 手差しトレイに用紙をセットします。

メモ
- A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズの用紙は、横置きで、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。
（⬅：給紙方向）

- A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガルサイズの用紙は、縦置きで、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。
（：給紙方向）

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

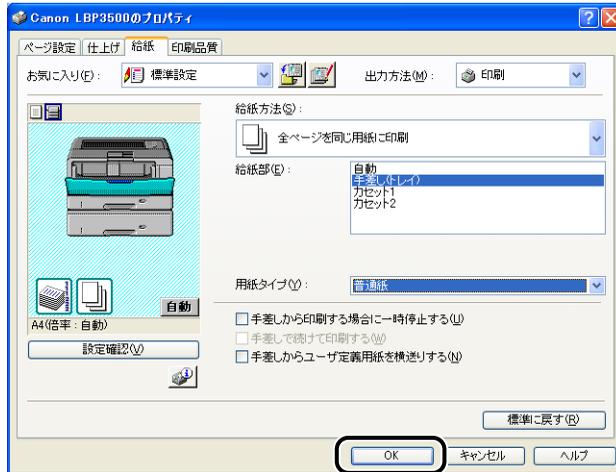
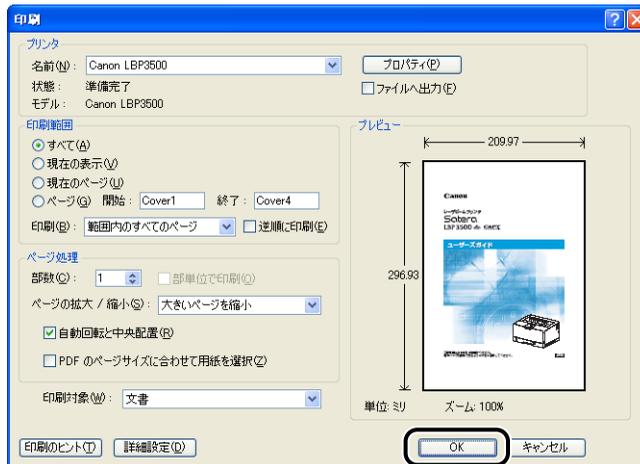
5 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択します。

6 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

メモ ［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

用紙タイプ		プリンタドライバの設定
普通紙	60 ～90g/m^2	［普通紙］
		［普通紙 L］ *1
		［普通紙 H］ *2
厚紙	91 ～199g/m^2	［厚紙 L］
		［厚紙 H］ *3
はがき		［はがき］

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは［普通紙 L］に設定してください。

*2 ［普通紙］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［普通紙 H］に設定してください。

*3 ［厚紙 L］に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、［厚紙 H］に設定してください。

7 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

8 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

Windows の印刷環境を設定するには

3
CHAPTER

この章では、Windows にプリンタドライバをインストールする手順、プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷するための設定について説明しています。
Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

印刷するときに必要な作業

メモ　Macintoshをお使いの場合は、オンラインマニュアル「第2章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ **プリンタドライバをインストールする**

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。プリンタドライバのインストール方法はご使用の環境によって異なります。

- プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続して、印刷する場合（→P.3-5）
- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータをLANで接続し、印刷する場合（→ネットワークガイド／本編）

■ **コンピュータでプリンタの共有機能を使用する（→P.3-55）**

コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、本プリンタをネットワーク上のコンピュータから使用する場合に、コンピュータの設定やクライアントへプリンタドライバをインストールします。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ **印刷設定をする**

プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ **印刷を実行する**

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Windows XP Professional x64 Edition 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版
- Windows Server 2003 x64 Editions 日本語版
- Windows Vista 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows Server 2008 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows 7 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）

※ Windows 7/Server 2008 をお使いの場合の操作方法や説明などは、Windows Vista の記載をご参考ください。

※ 最新の OS および Service Pack の対応状況については、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

重要　日本語以外の OS には対応していません。

・最低動作環境

	Windows 2000/XP/Server 2003	Windows Vista
CPU	Pentium II 300MHz 以上	Windows Vista の最低システム要件に準拠
メモリ（RAM）*1	128MB 以上	
ハードディスク空き容量 *2	120MB 以上	120MB 以上

（IBM-PC 互換機）

*1 お使いのコンピュータのシステム構成やアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

*2 おまかせインストールでプリンタドライバと取扱説明書をインストールする場合に必要なハードディスクの空き容量です。必要なハードディスクの空き容量は、お使いのシステム環境やインストールの方法によって異なります。

・推奨動作環境

	Windows 2000/XP/Server 2003	Windows Vista
CPU	Pentium III 600MHz 以上	Windows Vista の推奨システム要件に準拠
メモリ（RAM）	256MB 以上	

■ インタフェース環境

USB 接続時

USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

ネットワーク接続時（接続するにはオプションのネットワークボードが必要です。）

- コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
- プロトコル：TCP/IP

メモ

- サウンドをお使いになる場合は、PC 音源(および PCM 音源のドライバ)が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ(speaker.drv など)はお使いにならないでください。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタをお使いのコンピュータに USB ケーブルで直接接続するときの、ソフトウェアのインストール方法を説明します。

インストール方法には以下の種類があります。

インストール方法	インストールの内容	参照ページ
おまかせインストール	プリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバのインストールと同時に、取扱説明書もインストールします。	P.3-6
選んでインストール	プリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバのみインストールするか、取扱説明書のみインストールするかを選択できます。*1	P.3-6
プラグ・アンド・プレイでインストールする	プリンタを自動的に検索して、プリンタに付属の CD-ROM からインストールに必要なファイルを選択し、プリンタドライバをインストールします。	Windows Vista：P.3-14
		Windows XP/Server 2003：P.3-21
		Windows 2000：P.3-26
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする *2	［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタの追加］を使用して、プリンタに付属の CD-ROM からインストールに必要なファイルを選択し、プリンタドライバをインストールします。	Windows Vista：P.3-30
		Windows XP/Server 2003：P.3-36
		Windows 2000：P.3-43

*1 取扱説明書のみをインストールする場合は、「取扱説明書をインストールする」（➞P.4-75）を参照してください。

*2 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

重要

- CAPT ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ

- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN で接続するときの、ソフトウェアのインストール方法は「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、ネットワーク上のコンピュータから印刷するときの、ソフトウェアのインストール方法は、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」（➞P.3-55）を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

- プリントサーバ環境で、64ビット版の Windows Vista がプリントサーバの場合、追加ドライバ（代替ドライバ）を更新（アップデート）するときは、次の操作を行います。
  1. プリントサーバで使用しているプリンタドライバをアンインストールする（→P.3-81）
  2. プリントサーバに新しいプリンタドライバをインストールする（→P.3-5）
  3. 「プリントサーバの設定」（→P.3-56）を参照して再度追加ドライバをインストールしなおす
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。USB ケーブルは、以下のマークがあるケーブルをご使用ください。

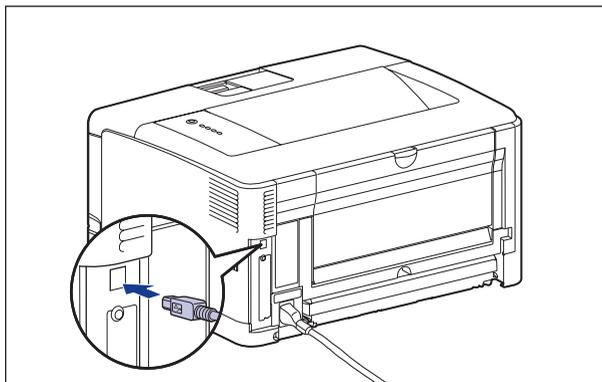
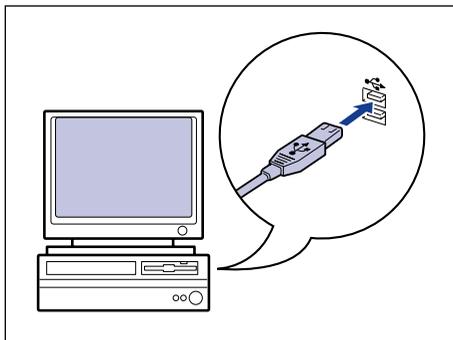
3

CD-ROM からインストールする

ここでは、Windows XP の画面例で手順を説明します。

Windows を起動した際に、必ず Administrators のメンバとしてログオンしてください。

1 プリンタとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタの USB コネクタへ接続します。

3 USB ケーブルの A タイプ(平たい)側をコンピュータのUSB ポートへ接続します。

4 コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードやダイアログボックスが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

5 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要

- Windows Vista をお使いの場合、[自動再生] ダイアログボックスが表示された場合は、[AUTORUN.EXE の実行] をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
  - ・Windows Vistaの場合は、[スタート]メニューの[検索の開始]に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

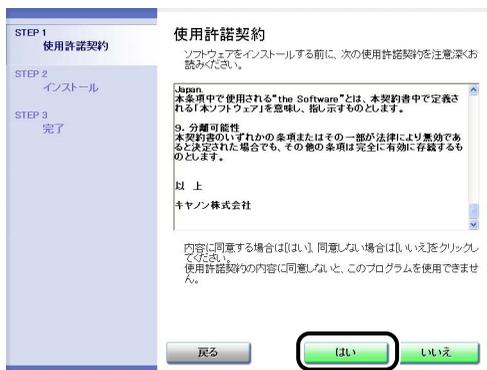
メモ　Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[許可] をクリックします。

6 ［おまかせインストール］または［選んでインストール］をクリックします。

［おまかせインストール］は、プリンタドライバの他に取扱説明書も同時にインストールできます。取扱説明書をインストールしない場合は、［選んでインストール］を選択します。

7 ［インストール］をクリックします。

手順６で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

8 内容を確認して、［はい］をクリックします。

9 ［Readme ファイルの表示］をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

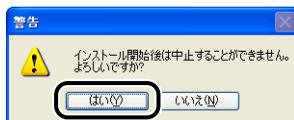
10 ［次へ］をクリックします。

11 ［USB 接続でインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

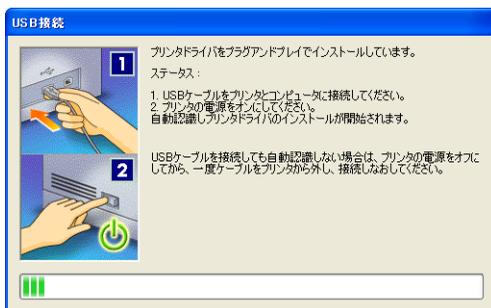
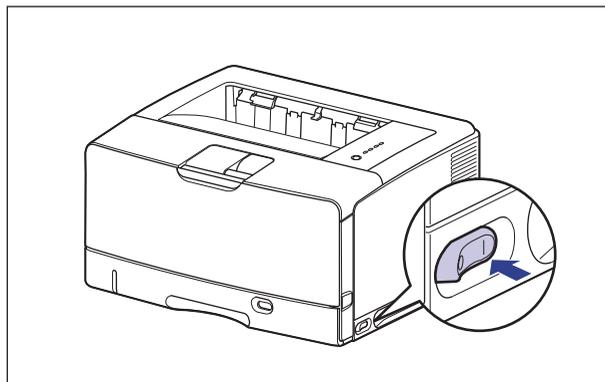
お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合、以下の画面が表示されますので、プリンタ共有時のクライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除するかどうかを設定します。
プリンタの共有機能を使用する場合は、［はい］をクリックします。インストールが完了したあと、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」（→P.3-55）を参照してプリンタの共有機能の設定を行ってください。
プリンタの共有機能を使用しない場合は、［いいえ］をクリックします。

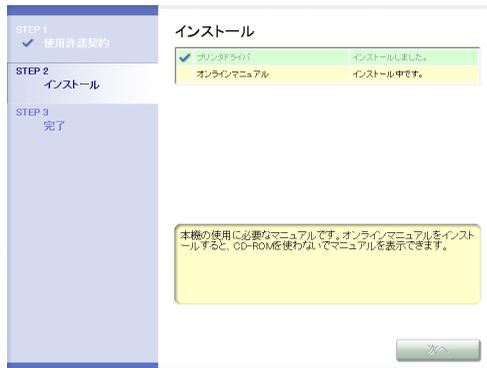
メモ　インストール後でも、付属の CD-ROM に収められている「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、Windows ファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「Windows ファイアウォール機能について」(➞P.8-13) を参照してください。

12 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

メモ

- Windows 2000 をお使いの場合、［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Windows Vista をお使いの場合、[Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

13 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れます。

プリンタの電源スイッチの“I”側を押し、プリンタの電源をオンにします。

USB クラスドライバおよびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ
- USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（➞P.7-47）を参照してください。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。
- Windows Vista をお使いの場合、[Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

14 手順 6 で [おまかせインストール] を選択した場合は、取扱説明書がインストールされます。

15 インストール結果を確認して、[次へ] をクリックします。

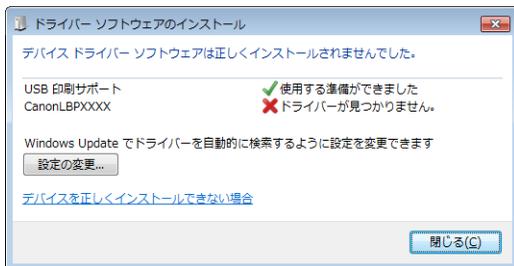
メモ
正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（➞P.7-47）を参照してください。

16 ［今すぐコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けたあと、［再起動］をクリックします。

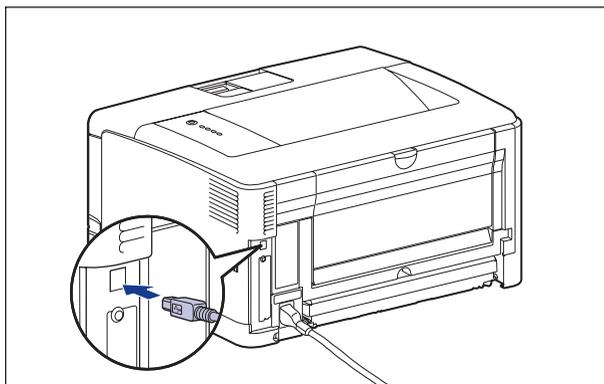
Windows が再起動します。

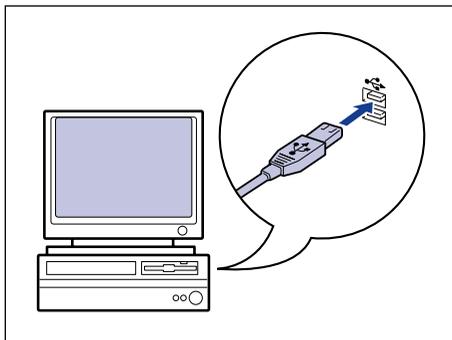
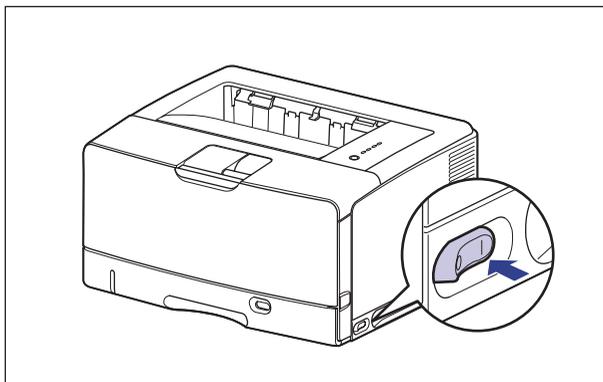
USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要　Windows 7 をお使いの場合、プラグ･アンド･プレイでプリンタを検出しても Windows の制限により正しくインストールできないことがあります。

［デバイスを正しくインストールできない場合］をクリックして、Windows のヘルプを参照するか、「CD-ROM からインストールする」（➞P.3-6）でインストールしなおしてください。

Windows Vista の場合

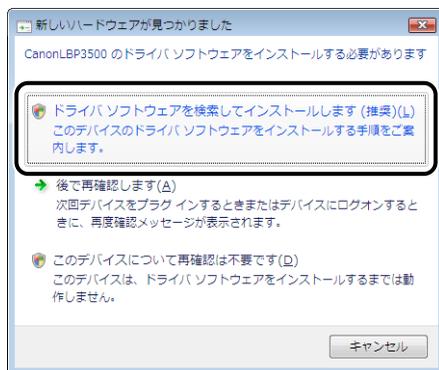
1 プリンタとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタの USBコネクタへ接続します。

3 USBケーブルのAタイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

4 プリンタの電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

5 コンピュータの電源を入れて、Windows Vistaを起動します。

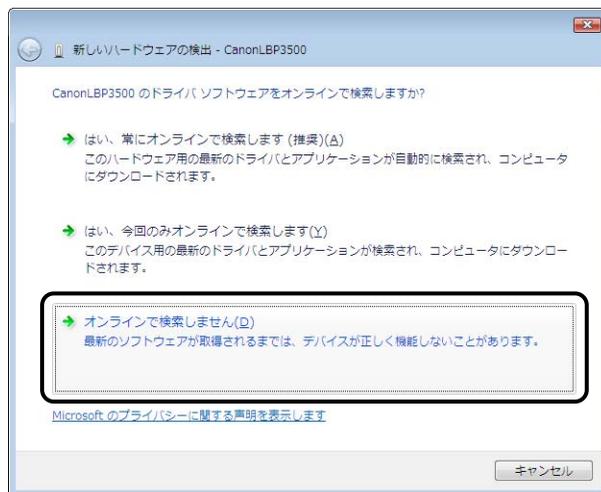
6 Administratorsのメンバとしてログオンします。

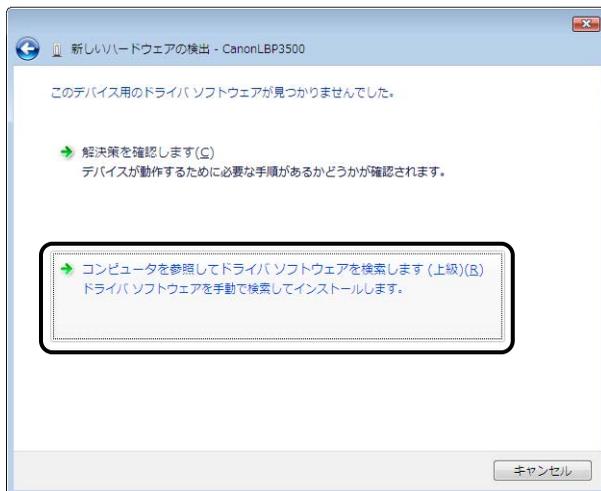
[新しいハードウェアが見つかりました]ダイアログボックスが表示されます。

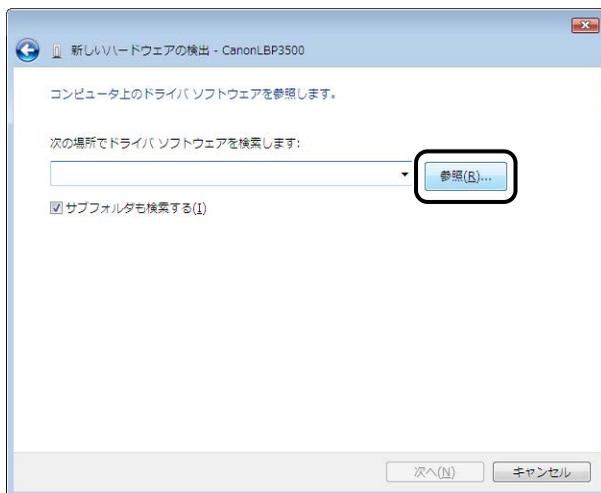
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

7 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)]をクリックします。

メモ

[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された場合は、[続行]をクリックします。

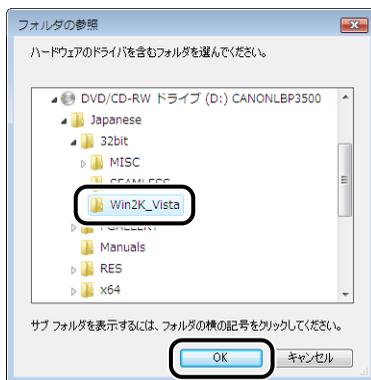
8 次の画面が表示された場合は、[オンラインで検索しません]をクリックします。

9 [ディスクはありません。他の方法を試します] をクリックします。

10 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)] をクリックします。

11 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

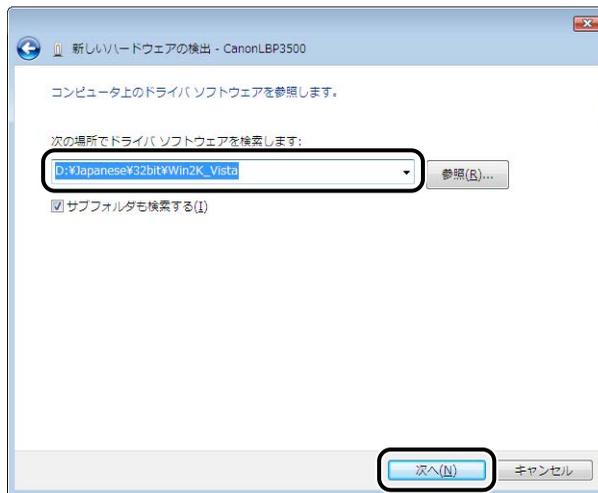
CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了] をクリックします。

12 プリンタドライバが収められているフォルダを選択します。

お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」(→P.8-19)を参照してください。

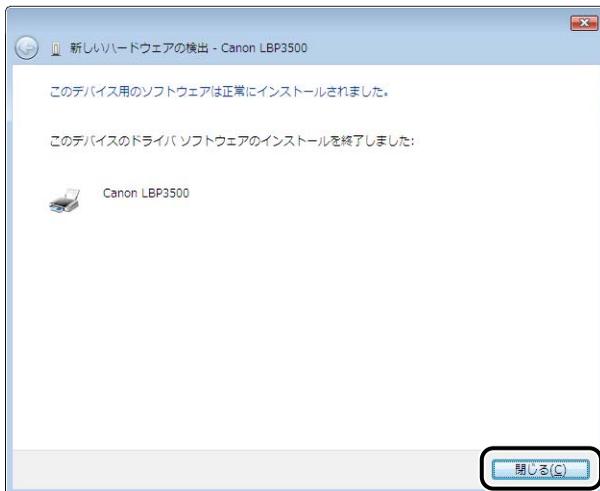
● 32 ビット版の Windows Vista をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の [Japanese] - [32bit] - [Win2K_Vista] フォルダを選択して、[OK] をクリックします。

● 64 ビット版の Windows Vista をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［x64］-［Driver］フォルダを選択して、［OK］をクリックします。

13 ［次の場所でドライバソフトウェアを検索します］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

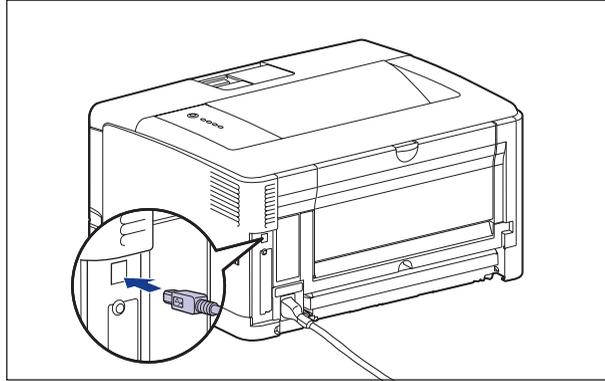
メモ　［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

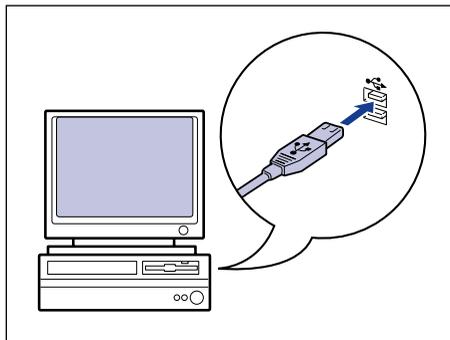
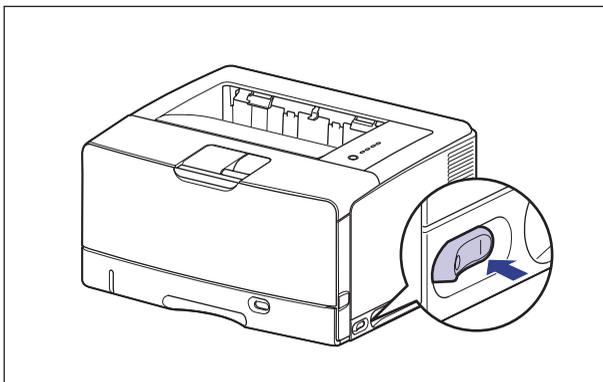
14 ［閉じる］をクリックします。

重要　プリンタドライバをインストールしたコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→P.8-13）

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows XP/Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP の画面例で手順を説明します。

1 プリンタとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタのUSB コネクタへ接続します。

3 USBケーブルの A タイプ(平たい)側をコンピュータのUSB ポートへ接続します。

4 **プリンタの電源スイッチの“Ⅰ”側を押して、プリンタの電源をオンにします。**

5 **コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

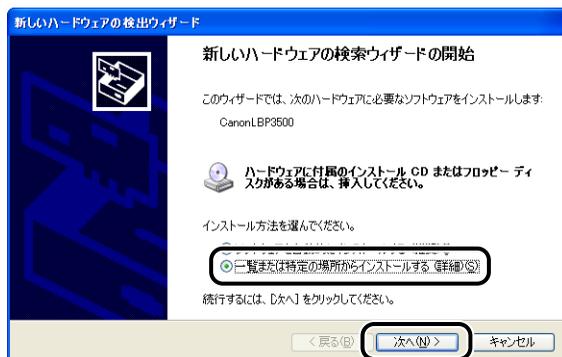
6 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

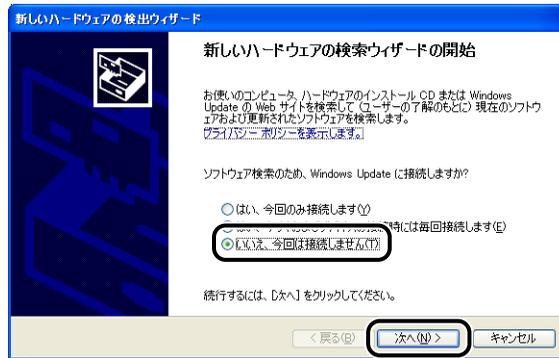
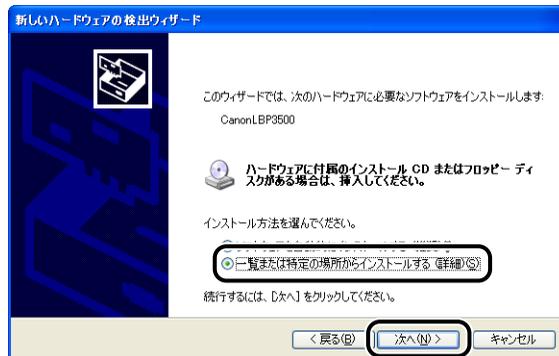
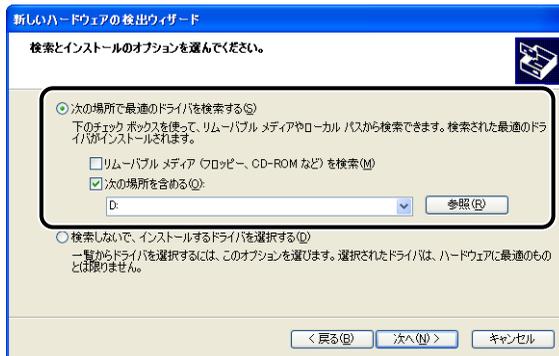
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

7 **付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

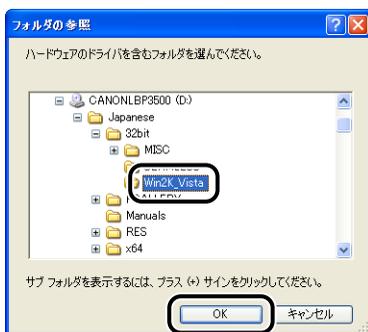
● **次の画面が表示された場合**

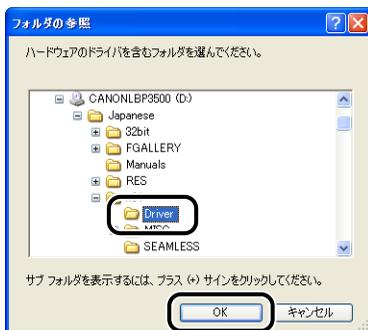
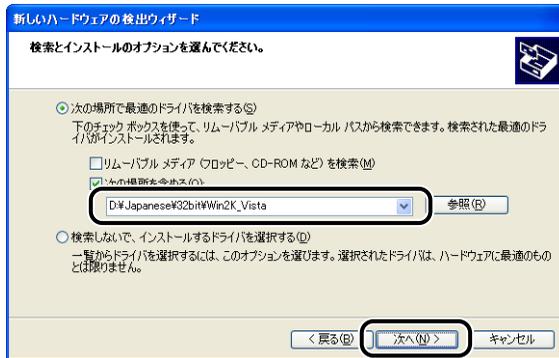
❏ ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択して［次へ］をクリックします。

● 次の画面が表示された場合

❑ ［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックします。

❑ ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択して［次へ］をクリックします。

8 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックマークを消し、［次の場所を含める］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

9 プリンタドライバが収められているフォルダを選択します。

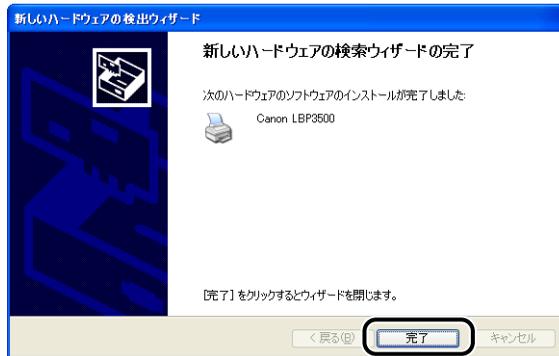
お使いのWindows が、32 ビット版と64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.8-19）を参照してください。

● 32 ビット版の Windows XP/Server 2003 をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを選択して、［OK］をクリックします。

● 64 ビット版の Windows XP/Server 2003 をお使いの場合

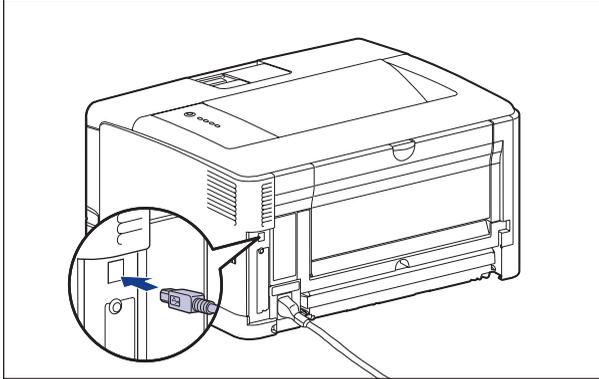
付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［x64］-［Driver］フォルダを選択して、［OK］をクリックします。

10 ［次の場所を含める］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

インストール中の画面が表示されます。

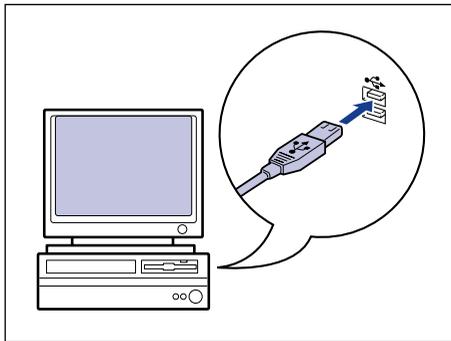
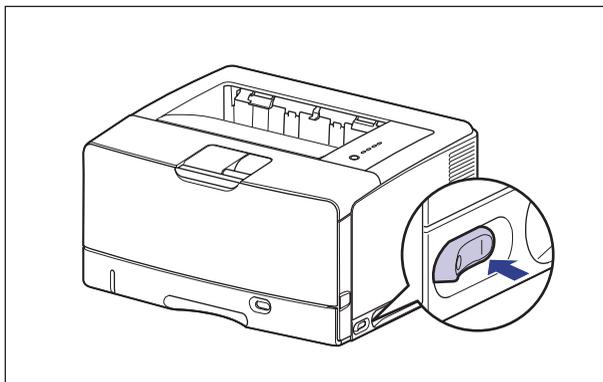
メモ　［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

11 ［完了］をクリックします。

重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→P.8-13）

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

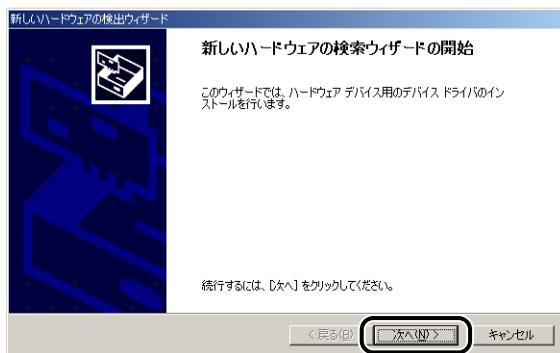
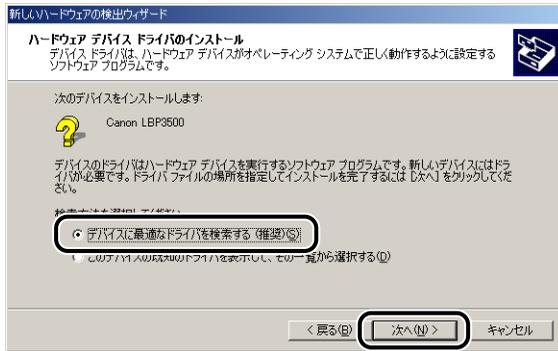
1 プリンタとコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタの USBコネクタへ接続します。

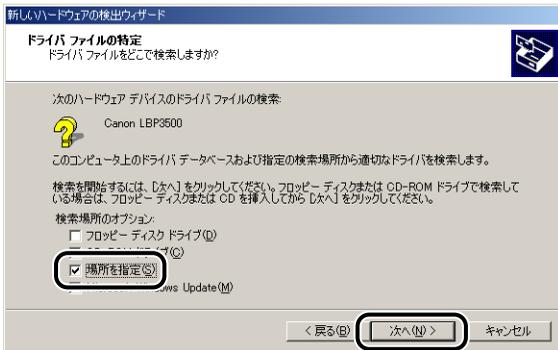
3 USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をコンピュータのUSB ポートへ接続します。

4 プリンタの電源スイッチの“|”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

5 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

6 Administrators のメンバとしてログオンします。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

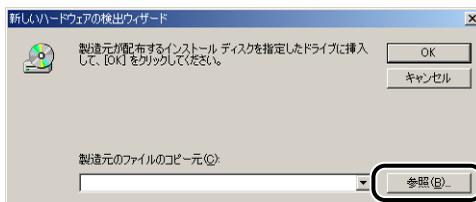
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

7 ［次へ］をクリックします。

8 [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ　デバイスの名称が[不明]と表示されることがあります。

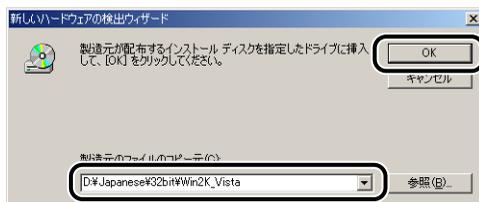
9 [フロッピーディスクドライブ]と[CD-ROM ドライブ]のチェックマークを消し、[場所を指定]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックします。

10 付属のCD-ROM「LBP3500 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、[参照]をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、[終了]をクリックします。

3

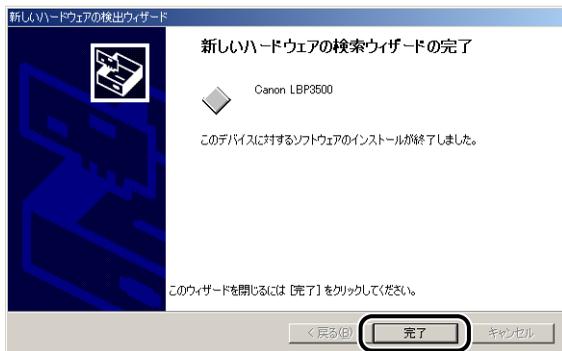
Windowsの印刷環境を設定するには

11 [D:¥Japanese¥32bit¥Win2K_Vista] を選択します。[CNAB6STK.INF] を選択し、[開く] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

12 [製造元のファイルのコピー元] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

13 [次へ] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

メモ [デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

14 ［完了］をクリックします。

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする

メモ　［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

Windows Vista の場合

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

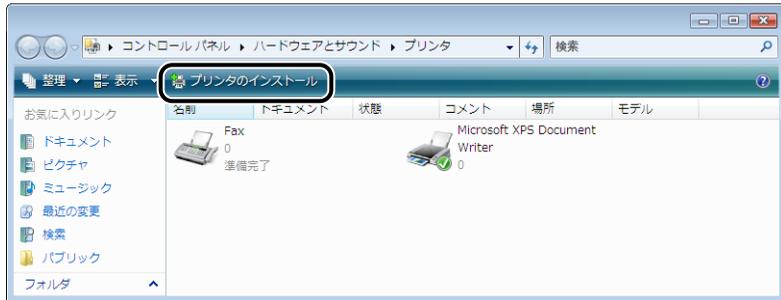
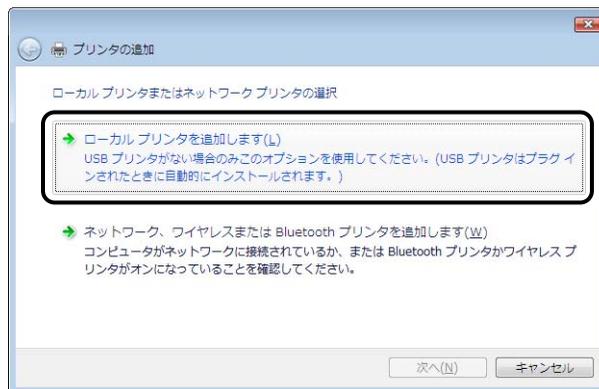
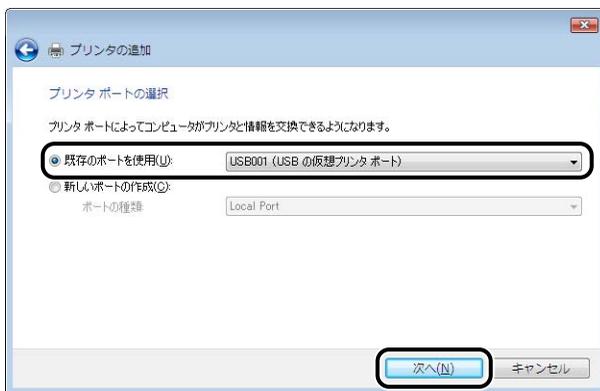
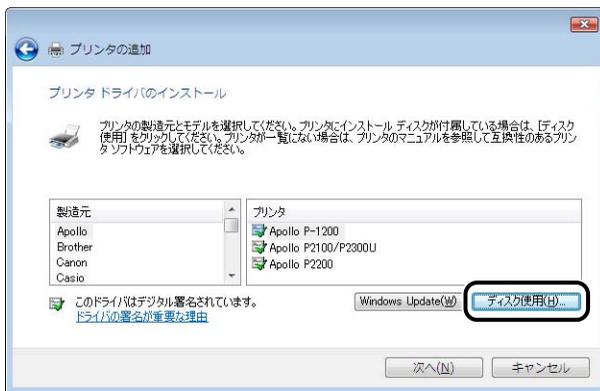
1 コンピュータの電源を入れて、Windows Vista を起動します。

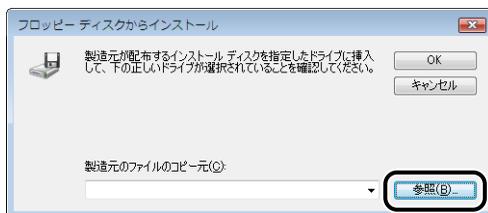
2 Administrators のメンバとしてログオンします。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ダイアログボックスが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

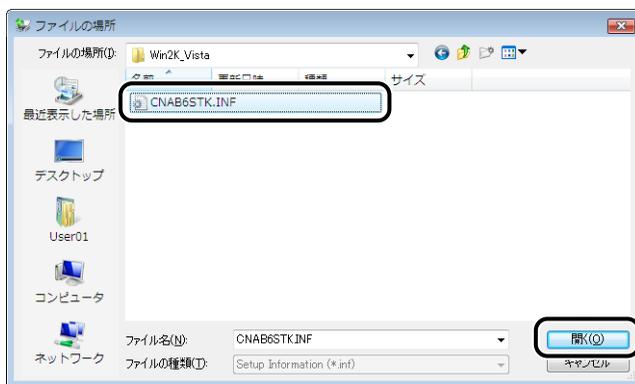
3 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックして、［プリンタ］フォルダを表示します。

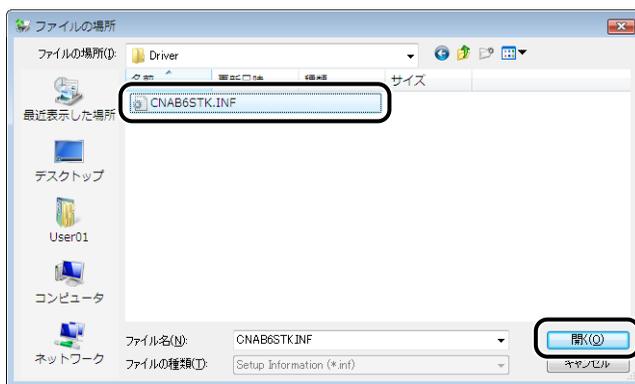
4 ［プリンタのインストール］をクリックします。

5 ［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。

6 ［既存のポートを使用］が選択されていることを確認し、本プリンタを接続する USB ポートを選択して［次へ］をクリックします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

9 プリンタドライバが収められているフォルダを選択します。

メモ　お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」(→P.8-19) を参照してください。

● 32 ビット版の Windows Vista をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを選択します。[CNAB6STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

● 64 ビット版の Windows Vista をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［x64］-［Driver］フォルダを選択します。[CNAB6STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

10 [製造元のファイルのコピー元]に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。

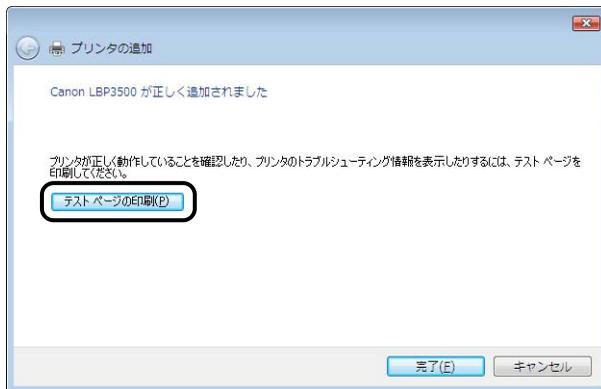
11 [次へ]をクリックします。

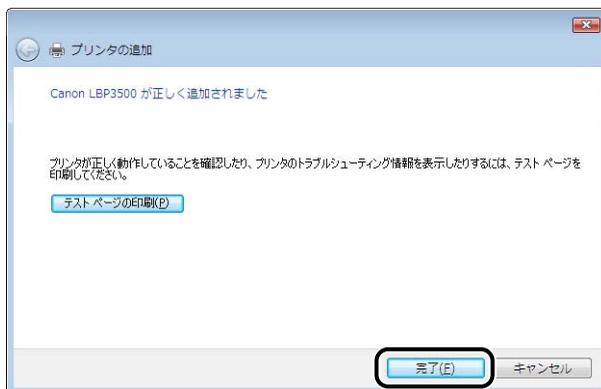
12 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名]に新しい名前を入力して[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

メモ

- すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、［通常使うプリンタに設定する］が表示されます。通常使うプリンタに設定する場合には、［通常使うプリンタに設定する］にチェックマークを付けます。
- ［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- ［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

13 テストページを印刷する場合は、［テストページの印刷］をクリックします。

印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。［閉じる］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

14 ［完了］をクリックします。

15 **プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、コンピュータの電源をオフにして、USB ケーブルで接続し、コンピュータとプリンタの電源をオンにします。**

重要　プリンタドライバをインストールしたコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。(➞P.8-13)

プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows XP/Server 2003 の場合

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

2 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

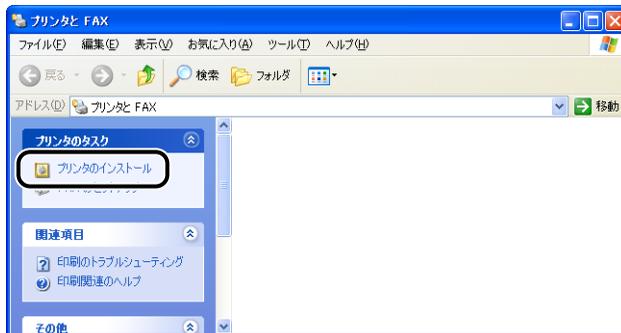
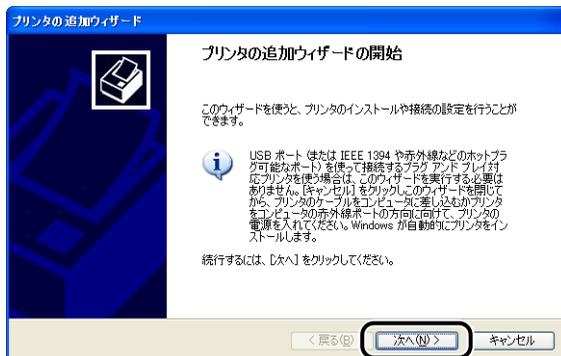
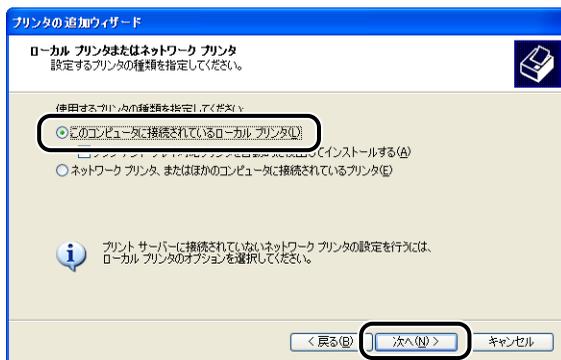
重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

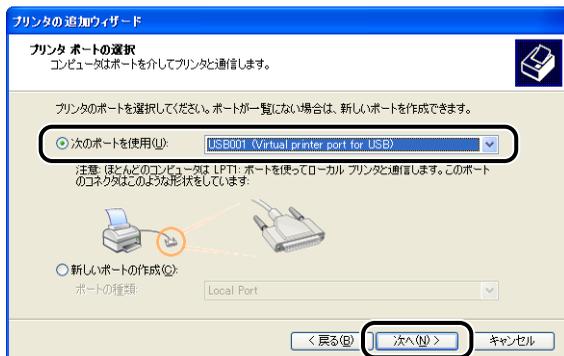
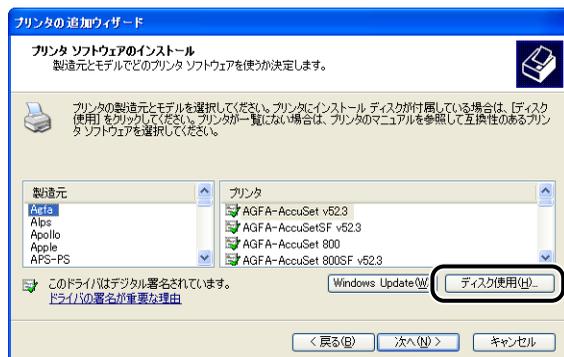
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

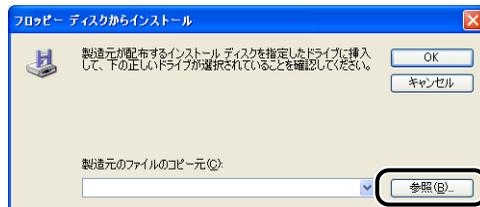
3 **[プリンタと FAX] フォルダを表示します。**

Windows XP Professional/Server 2003 の場合
[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合
[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➞ [プリンタと FAX] の順にクリックします。

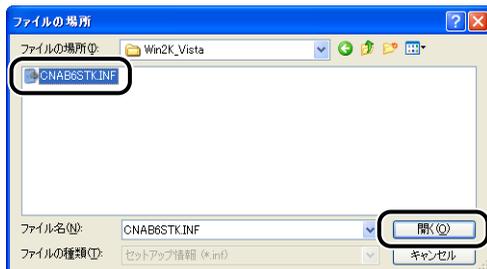
4 ［プリンタのインストール］をクリックします。

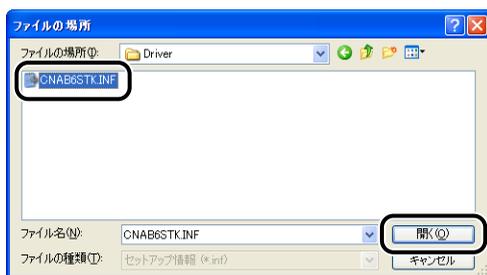
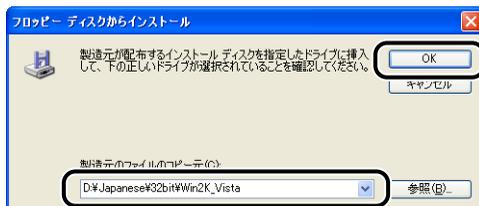
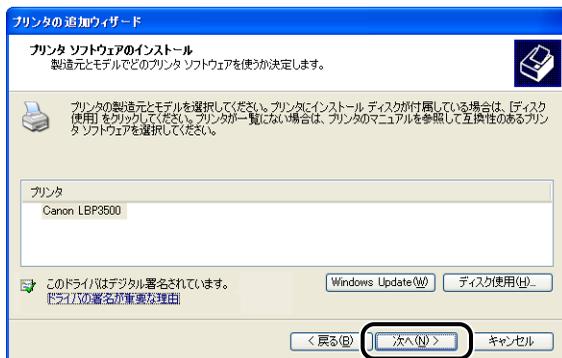
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

メモ　［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

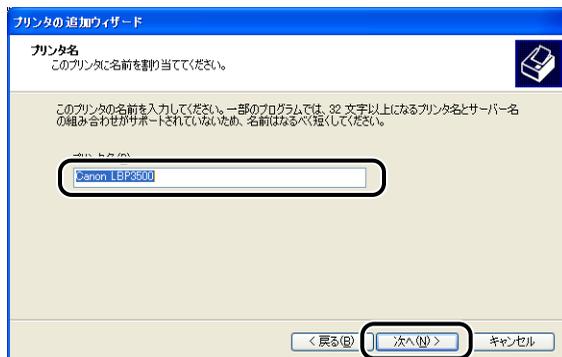
7 ［次のポートを使用］が選択されていることを確認し、本プリンタを接続する USB ポートを選択して［次へ］をクリックします。

8 ［ディスク使用］をクリックします。

9 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

10 プリンタドライバが収められているフォルダを選択します。

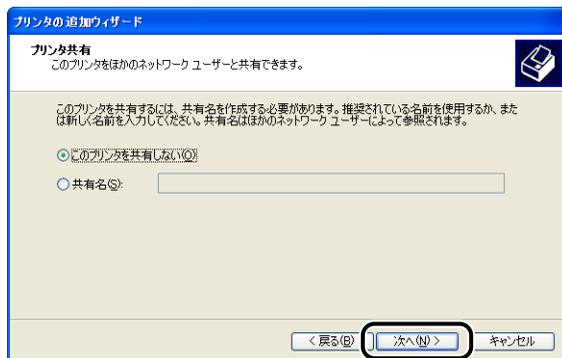
● 32 ビット版の Windows XP/Server 2003 をお使いの場合

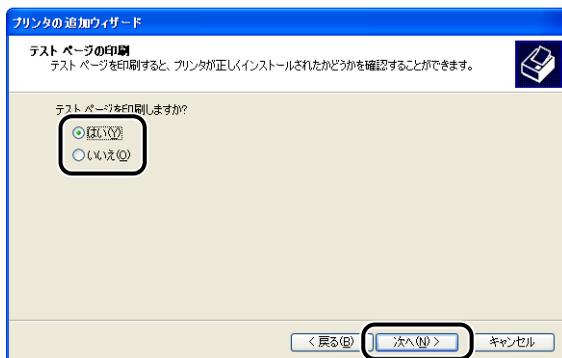
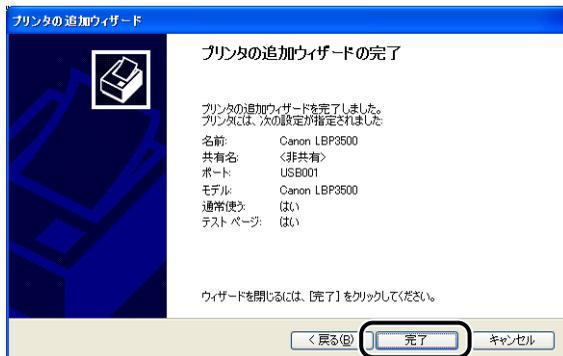
付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを選択します。［CNAB6STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

● 64 ビット版の Windows XP/Server 2003 をお使いの場合

付属の CD-ROM　内の［Japanese］-［x64］-［Driver］フォルダを選択します。［CNAB6STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

11 ［製造元のファイルのコピー元］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

12 ［次へ］をクリックします。

13 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力して［次へ］をクリックします。

メモ

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。

14 ［次へ］をクリックします。

メモ

本プリンタをネットワークで共有する場合には、［共有名］を選択して［次へ］をクリックします。［場所］と［コメント］を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し［次へ］をクリックします。

15 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。

16 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ ［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

17 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、コンピュータの電源をオフにして、USB ケーブルで接続し、コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

重要 Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞P.8-13）

プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

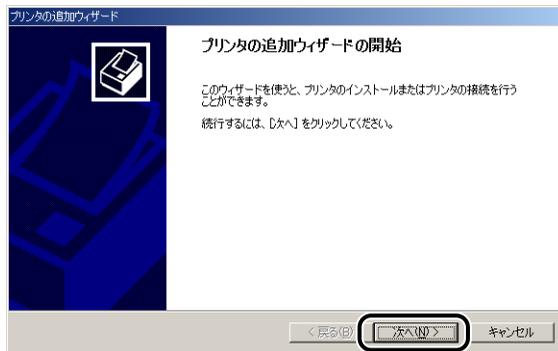
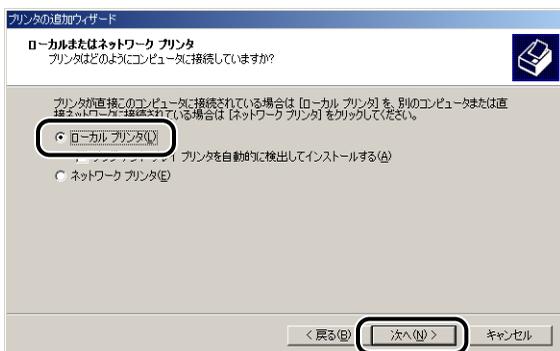
1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

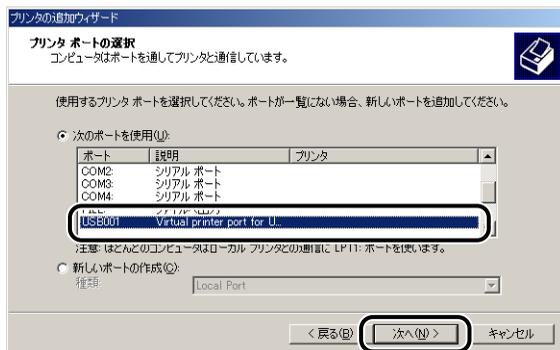
2 Administrators のメンバとしてログオンします。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

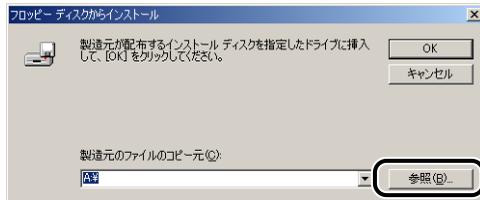
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

4 [次へ] をクリックします。

5 ［ローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

メモ　［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

6 本プリンタを接続するUSBポートを選択し、［次へ］をクリックします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

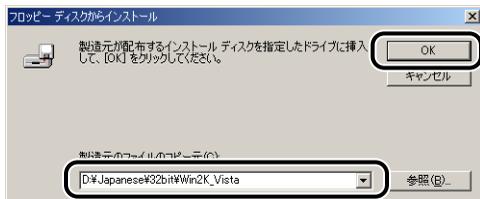
8 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

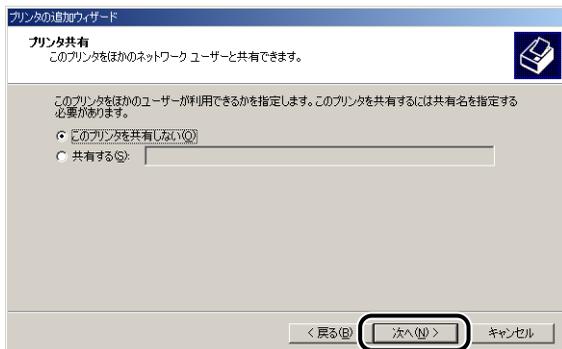
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

9 付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを選択します。［CNAB6STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

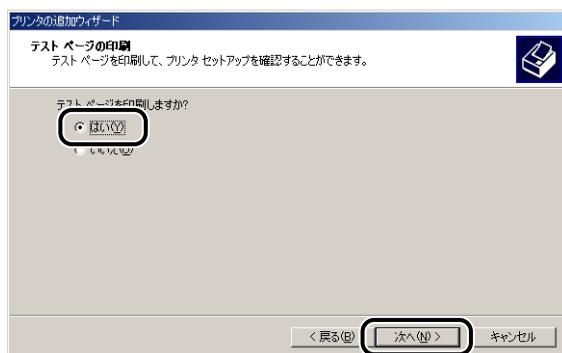
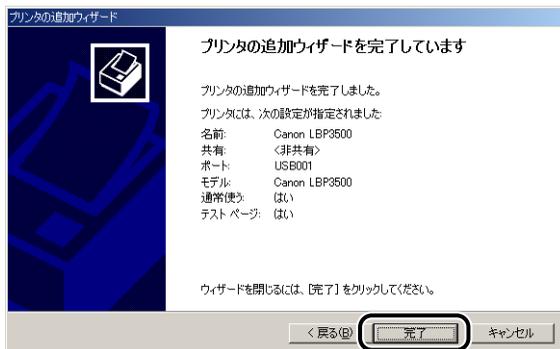
10 ［製造元のファイルのコピー元］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

11 ［次へ］をクリックします。

12 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力して［次へ］をクリックします。

メモ

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。

13 ［次へ］をクリックします。

メモ　本プリンタをネットワークで共有する場合には、［共有する］を選択して［次へ］をクリックします。［場所］と［コメント］を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し［次へ］をクリックします。

14 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。

15 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

16 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、コンピュータの電源をオフにして、USB ケーブルで接続し、コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

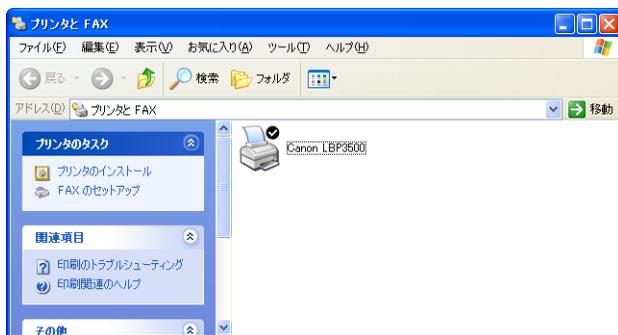
Windows Vista の場合

- ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBP3500 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBP3500］-［LBP3500 取扱説明書］が追加されます。

Windows XP/Server 2003 の場合

- ［プリンタと FAX］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBP3500 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBP3500］-［LBP3500 取扱説明書］が追加されます。

Windows 2000 の場合

- ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBP3500 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon LBP3500］-［LBP3500 取扱説明書］が追加されます。

プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する

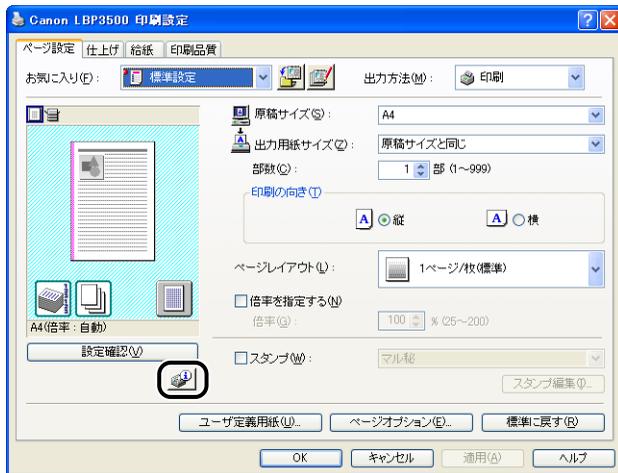
初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずプリンタステータスプリントを印刷して動作を確認してください。プリンタステータスプリントには、プリンタのオプション設定や［総印刷ページ数］などのプリンタの情報が印字されます。

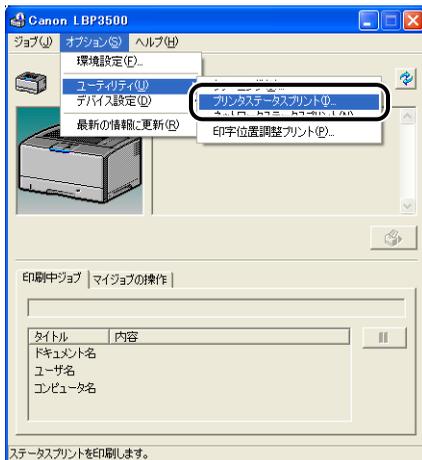
メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、Windows XP Professional をお使いの場合の画面で説明します。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

3 ［ページ設定］ページを表示させ、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（→P.4-80）を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］を選択します。

5 [OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

Canon ステータスプリント

項目	値
オプション機器	
カセット2	： あり
両面ユニット	： あり
ネットワークボード	： あり
デバイス設定	
スリープ設定	
スリープモード	： 使う
スリープモード移行時間	： 30 分
自動選択	
カセット1	： する
カセット2	： する
ユーザ定義用紙の送り方向	
カセット1	： 縦送り
カセット2	： 縦送り
印字位置調整	
手差し(トレイ)	： 0.52 mm
カセット1	： 0.69 mm
カセット2	： 0.69 mm
両面ユニット	： -0.52 mm
ジョブキャンセルキー設定	
エラー中のジョブキャンセル	： する
印刷中のジョブキャンセル	： する
プリンタ日時	： 2005/11/18 14:50
製品名	： LBP3500
コントローラバージョン	：
エンジンバージョン	：
ドライババージョン	：
USB	
ベンダーID	： 0x04a9
プロダクトID	： 0x268b
シリアルナンバー	：
カウンタ	
日時	： 2005/11/18 14:50
総印刷ページ数	： 17 ページ
両面印刷枚数	： 0 枚
ジョブ数	： 10 ジョブ

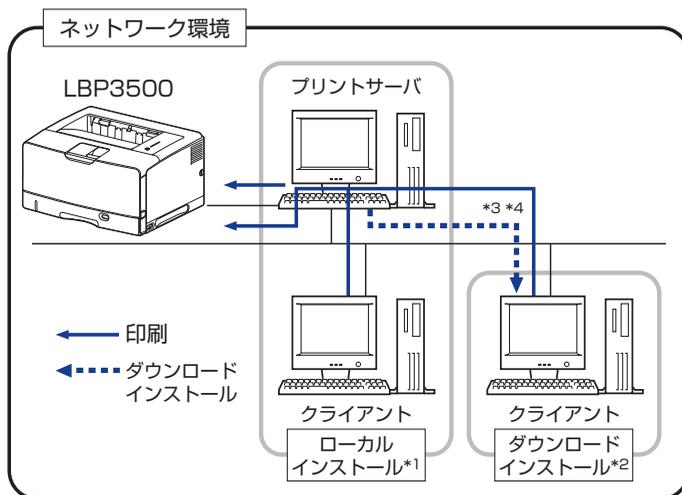
Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

重要 ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

メモ プリンタステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第７章 困ったときには」を参照してください。

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する

プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有としてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータをプリントサーバ、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータをクライアントと呼びます。

*1 ローカルインストールとは、付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールすることです。

*2 ダウンロードインストールとは、付属の CD-ROM を使わずに、プリンタドライバをプリントサーバからクライアントへダウンロードしてインストールすることです。

*3 プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合、64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista へのダウンロードインストールはできません。

*4 プリントサーバが 64 ビット版 OS の場合、次の 32 ビット版 OS のクライアントへのダウンロードインストールには、Windows の制限により対応しておりません。
- Windows 2000
- Windows XP（サービスパック未適用および SP1）
- Windows Server 2003（サービスパック未適用）

上記の 32 ビット版 OS のクライアントにダウンロードインストールすると、インストールに失敗して、プリンタドライバの画面などが開かないことがあります。

プリントサーバ環境を使用する場合は次の設定を行ってください。

設定内容		参照先
1	**プリントサーバへのプリンタドライバをインストールする**	
	・プリンタとプリントサーバを USB ケーブルで接続している場合	→P.3-5
	・オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとプリントサーバを LAN ケーブルで接続している場合	→ ネットワークガイド／本編
2	**プリントサーバの設定**	→P.3-56
3	**クライアントへのインストール**	→P.3-68

メモ　Macintosh をお使いの場合、プリンタの共有機能を使用しての印刷はできません。

プリントサーバの設定

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

プリンタの共有設定の準備

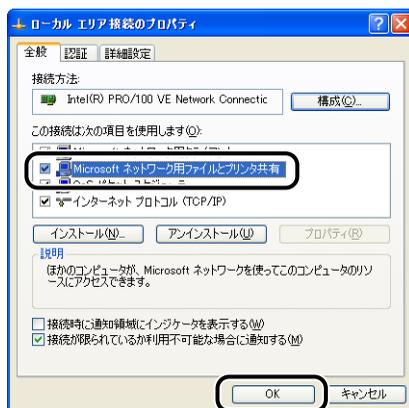
1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ネットワーク接続］→［ローカルエリア接続］を選択し、［プロパティ］をクリックして手順 3 へ進みます。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］→［ネットワーク接続の管理］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークとダイヤルアップ接続］フォルダが表示されます。
Windows XP/Vista の場合は、［ネットワーク接続］フォルダが表示されます。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

3 ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

プリンタの共有設定

プリンタの共有設定は、お使いの OS によって異なります。お使いの OS に応じた設定方法を参照してください。

• Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合（→P.3-58）
• Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合（→P.3-61）

メモ

お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.8-19）を参照してください。

■Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合

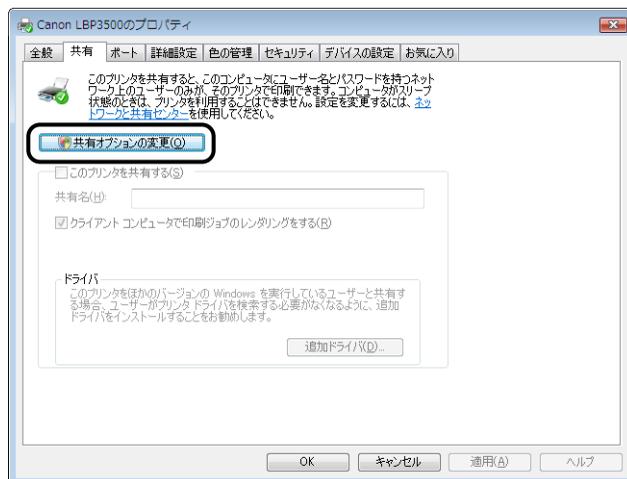
メモ

Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

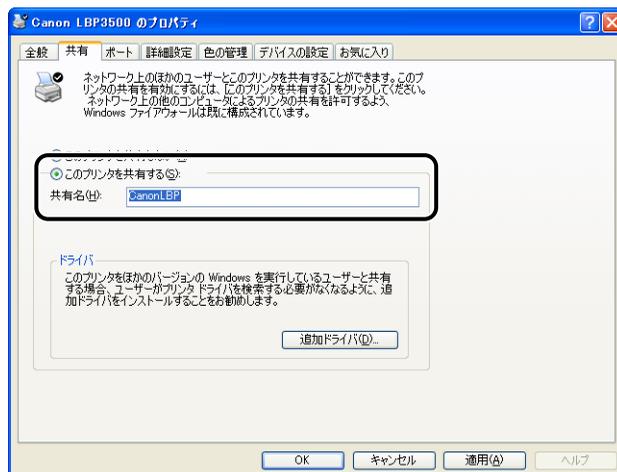
1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

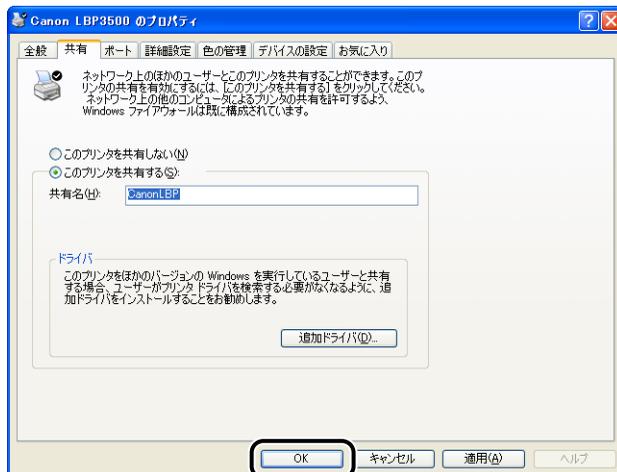
Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、[共有オプションの変更] が表示されているときは、[共有オプションの変更] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら、[続行] をクリックします。

3 **[このプリンタを共有する] を選択します。必要であれば共有名を変更します。**

Windows 2000 の場合は [共有する] を選択します。
Windows Vista の場合は [このプリンタを共有する] にチェックマークを付けます。

メモ
- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。

重要　プリンタの共有設定は、次の方法で解除します。

- Windows Vista 以外の OS の場合は、［共有］ページで［このプリンタを共有しない］（Windows 2000 は［共有しない］）を選択します。
- Windows Vista の場合は、［共有］ページで［このプリンタを共有する］のチェックマークを外します。（［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックし、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。）

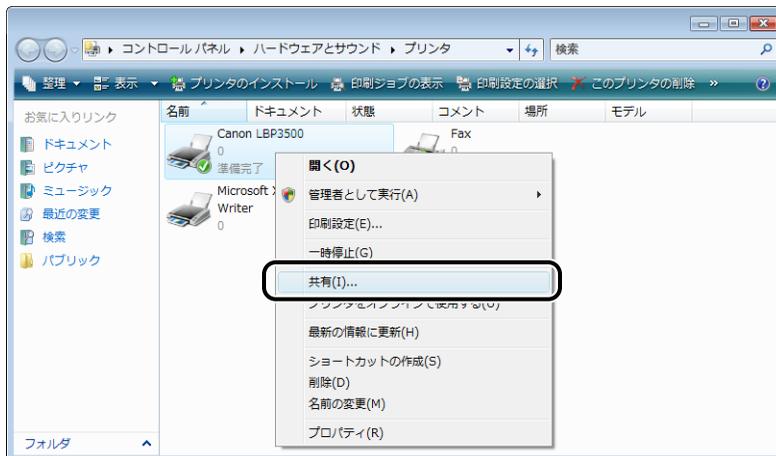
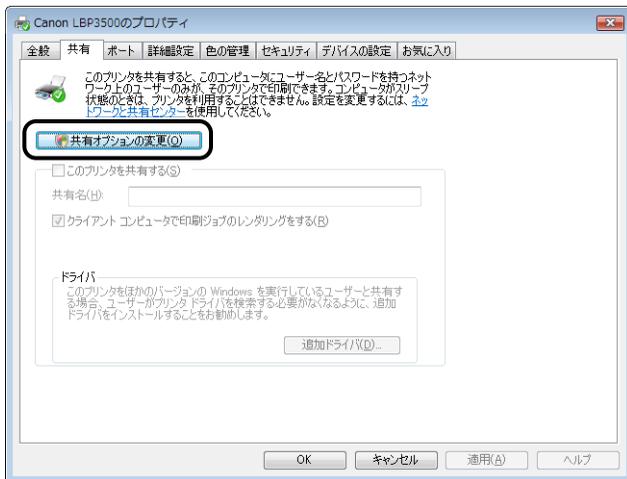
Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS でプリンタの共有設定を解除した場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、Windows ファイアウォールに登録されている設定を削除する必要があります。(→P.8-13)

■Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合

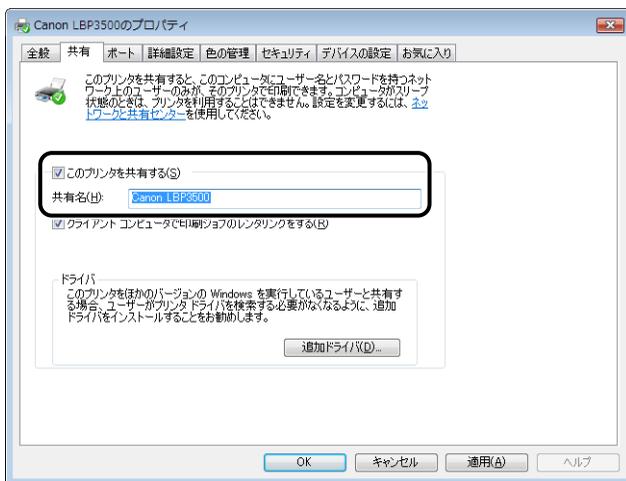
メモ　Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

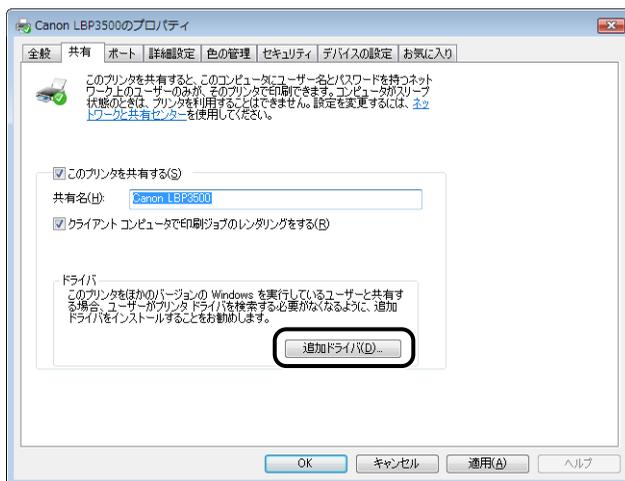
2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。

3 ［このプリンタを共有する］を選択します。必要に応じて共有名を変更します。

Windows Vista の場合は［このプリンタを共有する］にチェックマークを付けます。

メモ
- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 次の操作を行います。

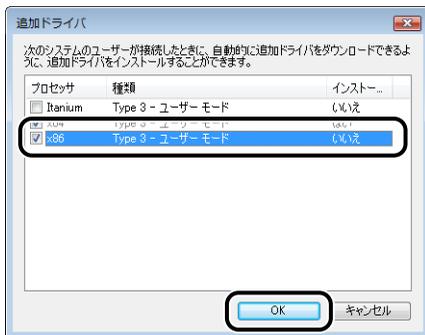
● クライアントで Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）を使用しているユーザがいる場合

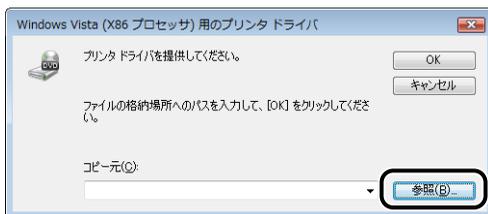
［追加ドライバ］をクリックします。

メモ　追加ドライバ（代替ドライバ）を更新（アップデート）するときは、次の操作を行います。

1. プリントサーバで使用しているプリンタドライバをアンインストールする（→P.3-81）
2. プリントサーバに新しいプリンタドライバをインストールする（→P.3-5）
3. 再度追加ドライバをインストールしなおす

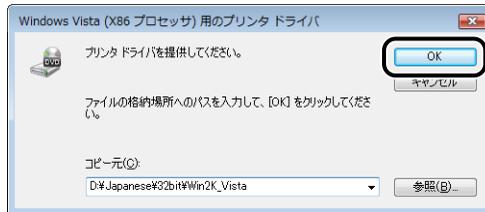
● クライアントで Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）を使用しているユーザがいない場合

手順 10 へ進みます。

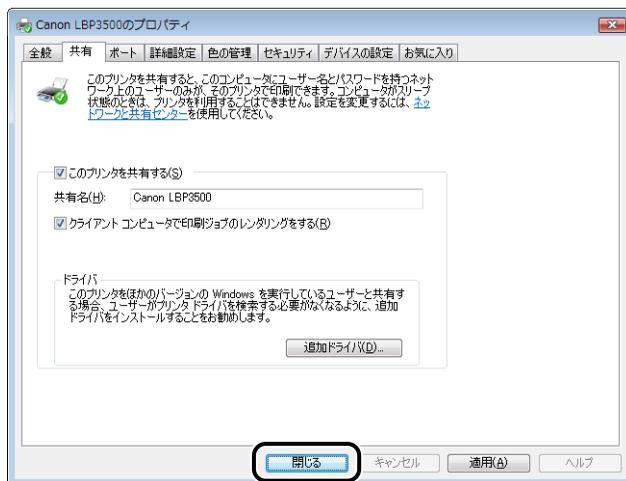
5 ［バージョン］が［Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003］の項目または、［プロセッサ］が［x86］の項目にチェックマークを付けて、［OK］をクリックします。

6 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットして、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

7 付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを開きます。

8 ［CNAB6STK.INF］を選択して、［開く］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。
コピーの完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

メモ　［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

10 ［閉じる］または［OK］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。

重要　プリンタの共有設定を解除するには、［共有］ページで［このプリンタを共有する］のチェックマークを消します。（［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックして、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。）

Windows ファイアウォール機能の設定

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する必要があります。

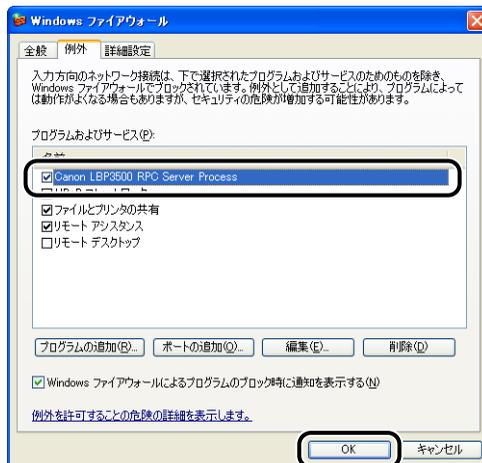
以下の方法で、Windows ファイアウォールのブロックが解除されていることを確認してください。

- CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールしたときに、［警告］ダイアログボックスが表示されます。

- ［はい］を選択した場合は、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックは解除されています。
- ［いいえ］を選択した場合は Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されていますので、以下の方法でブロックを解除してください。

1. ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスを表示します。

    - Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
    - Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［Windows ファイアウォール］を選択します。
    - Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

2. ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページで、［Canon LBP3500 RPC Server Process］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

- CD-ROM Setup 以外の方法で CAPT ソフトウェアをインストールした場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞P.8-13）

クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストール方法には、ローカルインストールとダウンロードインストールがあります。

■ ローカルインストール（→P.3-69）

付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールします。

■ ダウンロードインストール

付属の CD-ROM を使わずに、プリントサーバからプリンタドライバをダウンロードしてインストールします。ダウンロードインストールには以下の 2 種類があります。

- ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする（→P.3-76）
- ［エクスプローラ］からインストールする（→P.3-80）

重要

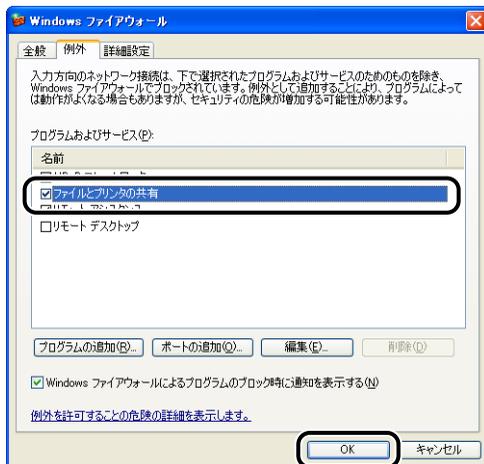
- Windows を起動した際に、必ず Administrators のメンバとしてログオンしてください。
- Windows XP Service Pack 2 などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合、以下の設定を行ってください。クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

1. ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスを表示します。

   ・Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。

   ・Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［Windows ファイアウォール］を選択します。

   ・Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

2. ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

メモ

- プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32ビット版）の場合、64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista へのダウンロードインストールはできません。
- プリントサーバが64ビット版OSの場合、次の32ビット版OSのクライアントへのダウンロードインストールには、Windows の制限により対応しておりません。
  - ・Windows 2000
  - ・Windows XP（サービスパック未適用および SP1）
  - ・Windows Server 2003（サービスパック未適用）

  上記の 32 ビット版 OS のクライアントにダウンロードインストールすると、インストールに失敗して、プリンタドライバの画面などが開かないことがあります。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要

- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示された場合は、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ・Windows Vista の場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

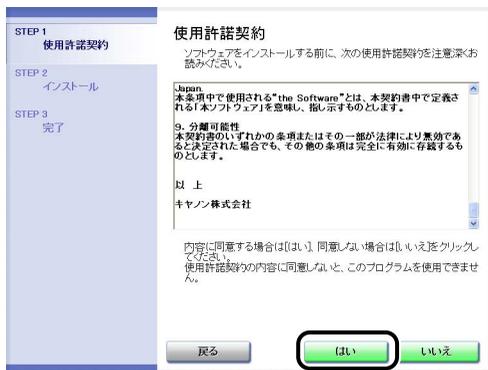
メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［許可］をクリックします。

2 ［おまかせインストール］または［選んでインストール］をクリックします。

［おまかせインストール］は、プリンタドライバの他に取扱説明書も同時にインストールできます。取扱説明書をインストールしない場合は、［選んでインストール］を選択します。

3 ［インストール］をクリックします。

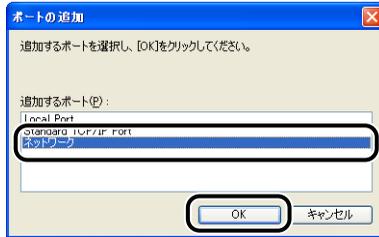
手順２で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

4 内容を確認して、［はい］をクリックします。

5 ［Readme ファイルの表示］をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

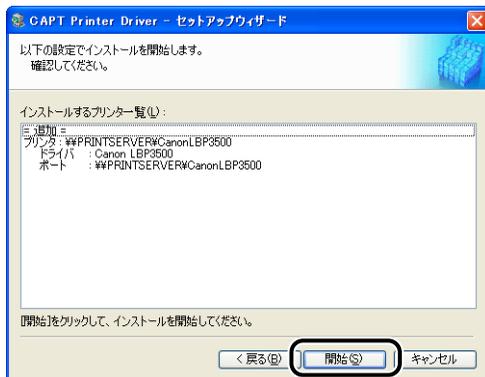
6 ［次へ］をクリックします。

7 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

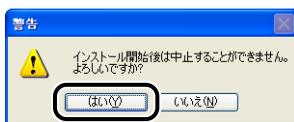
8 ［ポートの追加］をクリックします。

9 ［ネットワーク］を選択して、［OK］をクリックします。

10 プリントサーバの中の共有されたプリンタのアイコンを選択して、［OK］をクリックします。

11 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

12 ［開始］をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などの Windowsファイアウォール機能を持っている OSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、［いいえ］をクリックします。

［はい］は、インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合にのみ選択してください。

13 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

Windows Vista の場合は、［プリンタ］ダイアログボックスが表示されますので、［ドライバのインストール］をクリックします。

14 手順２で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書がインストールされます。

15 インストール結果を確認して、［次へ］をクリックします。

メモ　正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（→P.7-47）を参照してください。

3 Windowsの印刷環境を設定するには

16 [今すぐコンピュータを再起動する] にチェックマークを付けたあと、[再起動] をクリックします。

Windows が再起動します。

重要

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(➞P.8-13)

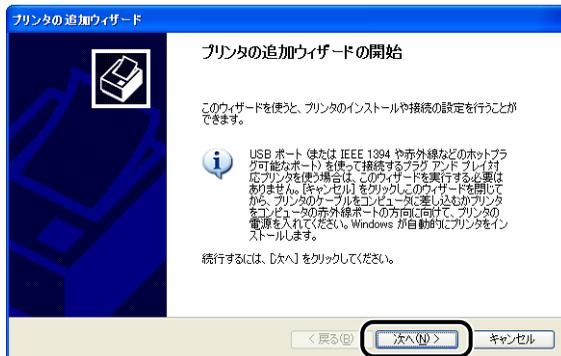
[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダからインストールする

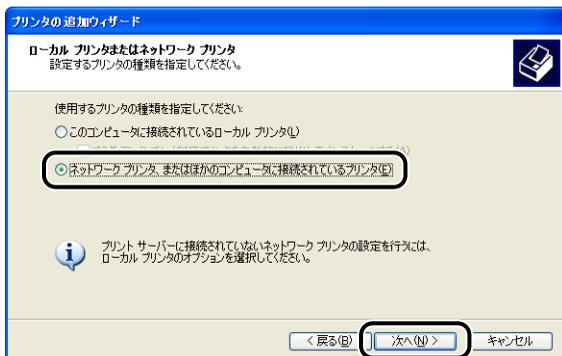
1 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➞ [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➞ [プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

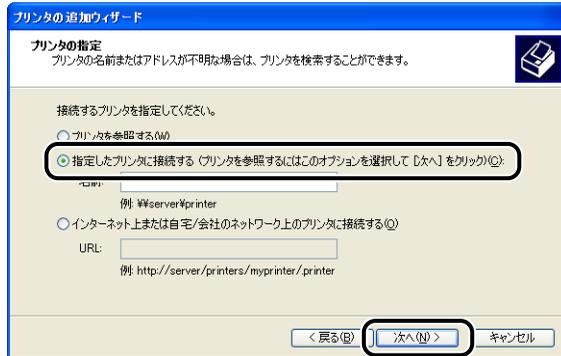
2 [プリンタの追加ウィザード] または [プリンタの追加] ダイアログボックスを表示します。

Windows 2000 の場合は、[プリンタの追加] をダブルクリックします。
Windows XP Professional/Home Edition の場合は、[プリンタのインストール] をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] をダブルクリックします。
Windows Vista の場合は、[プリンタのインストール] をクリックして手順 4 へ進みます。

3 ［次へ］をクリックします。

4 ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。Windows Vista の場合は、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。

Windows Vista をお使いの場合、ネットワーク上のプリンタの検索が自動的に開始されますので、［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。

5 [指定したプリンタに接続する（プリンタを参照するにはこのオプションを選択して［次へ］をクリック)］を選択し、[次へ］をクリックします。

Windows Vista の場合は、[共有プリンタを名前で選択する］を選択し、[次へ］をクリックします。

6 プリントサーバ内のプリンタを選択して、[次へ］をクリックします。

Windows Vista の場合は、プリントサーバ内のプリンタを選択して、[選択］をクリックします。

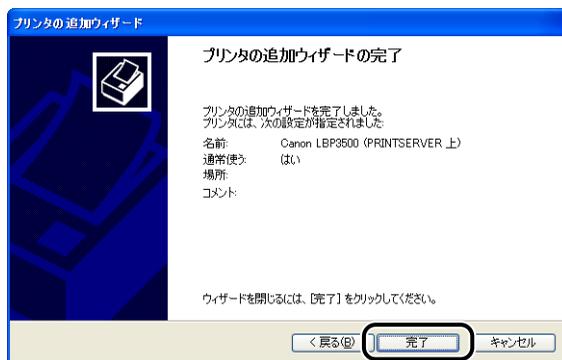
Windows Vista の場合は、[プリンタ］ダイアログボックスが表示されますので、[ドライバのインストール］をクリックします。（[ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、[続行］をクリックします。）

メモ Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、[プリンタの接続］ダイアログボックスが表示された場合は、メッセージにしたがって操作してください。

7 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

Windows Vista の場合、プリンタ名を変更するときは、[プリンタ名] に新しい名前を入力します。通常使うプリンタに設定する場合には、[通常使うプリンタに設定する] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックします。

Windows Vista の場合に、テストページを印刷するときは、[テストページの印刷] をクリックします。印刷終了後にダイアログボックスが表示されますので、[閉じる] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

8 [完了] をクリックします。

重要

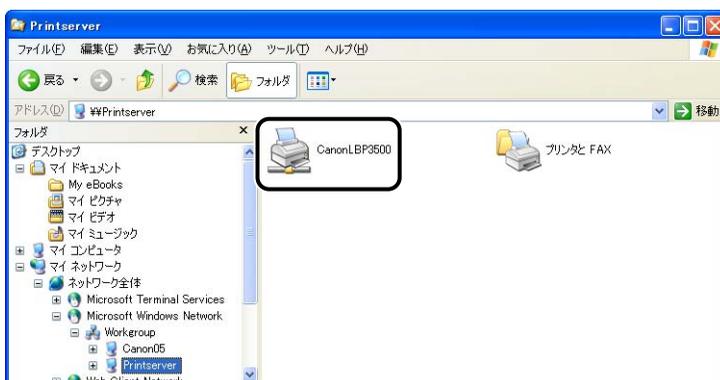
Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(→P.8-13)

［エクスプローラ］からインストールする

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［エクスプローラ］を選択します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［エクスプローラ］を選択します。

2 ［マイ　ネットワーク］（Windows Vista の場合は［ネットワーク］）からプリントサーバを選択し、本プリンタのアイコンをダブルクリックします。

または、本プリンタのアイコンを［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップします。

3 画面の指示に従って操作してください。

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。（➞P.8-13）

CAPT ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

重要
- プリンタドライバが Administrators の権限で Windows にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。
- Windows 7 をお使いの場合、プリンタドライバをアンインストールするときは、必ずUSB ケーブルを抜いてから、プリンタドライバをアンインストールしてください。
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合、プリンタドライバをアンインストールすると、インストールした取扱説明書もアンインストールされます。
  64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista の場合、プリンタドライバをアンインストールしても、インストールした取扱説明書はアンインストールされません。取扱説明書のアンインストールについては、「取扱説明書をアンインストールする」（→P.4-78）を参照してください。

  * お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.8-19）を参照してください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータを使用している場合、［Windows ファイアウォール］（Windows Vistaは［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページに本プリンタが登録されています。アンインストーラで CAPT ソフトウェアのアンインストールを行なうことで、［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページの本プリンタの設定も削除されます。

メモ
Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

---

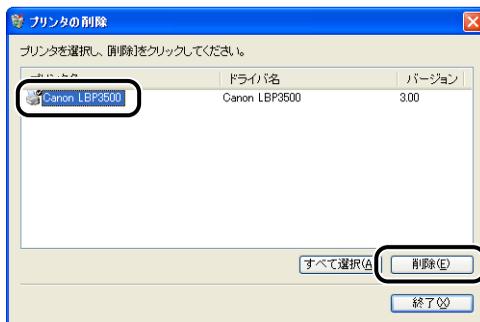
1 次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP3500 Uninstaller］を選択します。

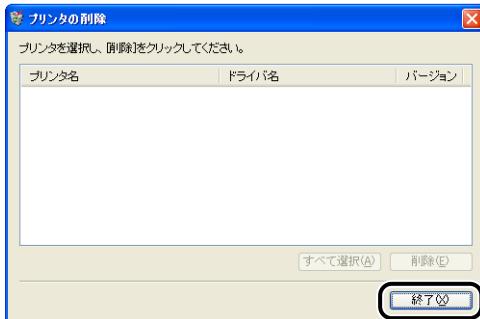
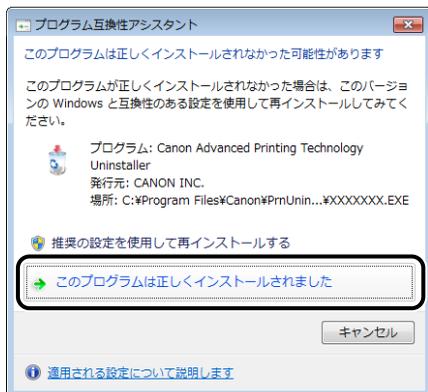
Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP3500 Uninstaller］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［許可］をクリックします。

3 本プリンタを選択し、［削除］をクリックします。

メモ　［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに［Canon LBP3500］が表示されていない場合でも、［削除］をクリックすると本プリンタに関連するファイルおよび情報を削除することができます。

4 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

重要　本製品のドライバをアンインストールしたあとで、コンピュータに［プログラム互換性アシスタント］ダイアログボックスが表示される場合があります。

［プログラム互換性アシスタント］ダイアログボックスが表示された場合でも、ドライバのアンインストールは正常に完了していますので、［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」(➞P.7-48) を参照してください。

Windows から印刷するには

4
CHAPTER

この章では、Windows から印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。
Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

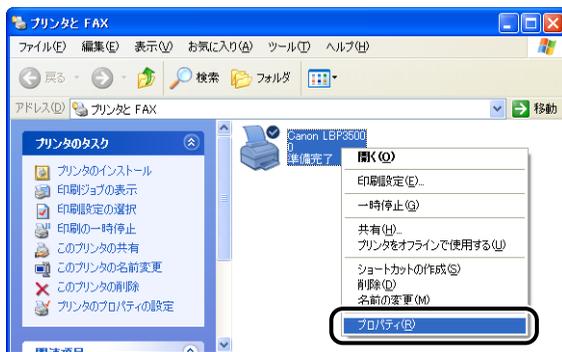
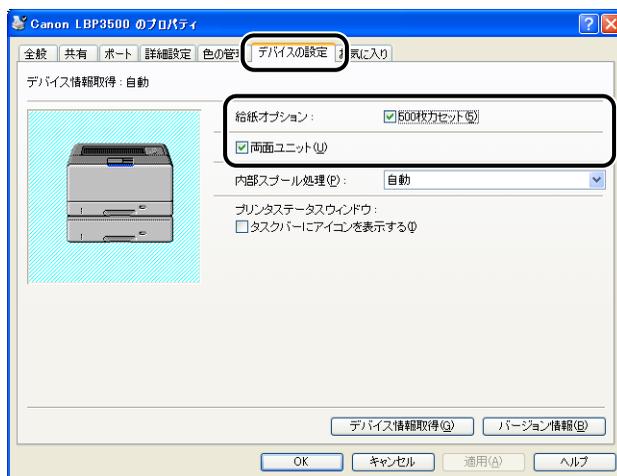
印刷前のプリンタ情報設定

印刷前に、ペーパーフィーダの設定をしてください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

3 ［デバイスの設定］ページを表示して、［給紙オプション］、［両面ユニット］を設定します。

メモ　［デバイス情報取得］をクリックして、ペーパーフィーダなどのデバイス情報を自動的に取得することもできます。

4 ［OK］をクリックします。

アプリケーションソフトから印刷する

CAPT ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットします。

メモ　給紙カセットに用紙をセットする場合は、「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.2-26）、手差しトレイに用紙をセットする場合は、「手差しトレイに用紙をセットする」（➞P.2-45）、両面に印刷する場合は、「両面に印刷する」（➞P.2-69）を参照してください。

2 印刷する PDF ファイルを Adobe Reader で開き、[ファイル] メニューから［印刷設定］を選択します。

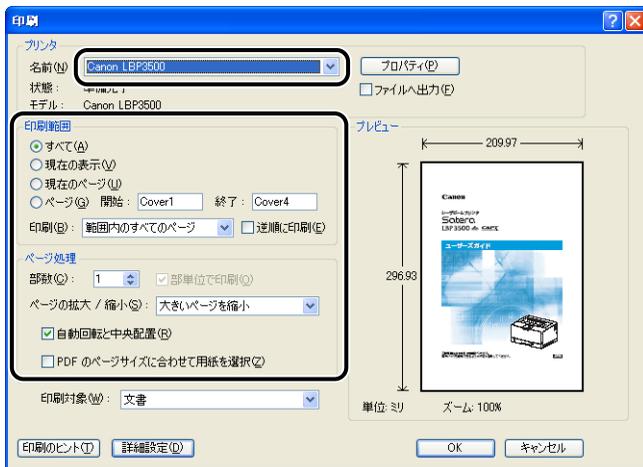
3 印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定して［OK］をクリックします。

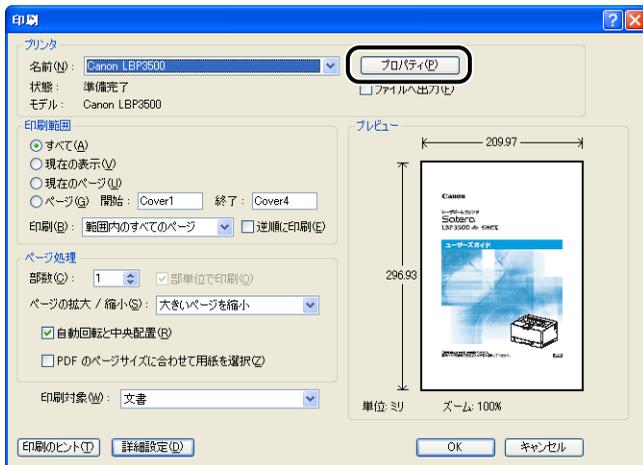
4 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

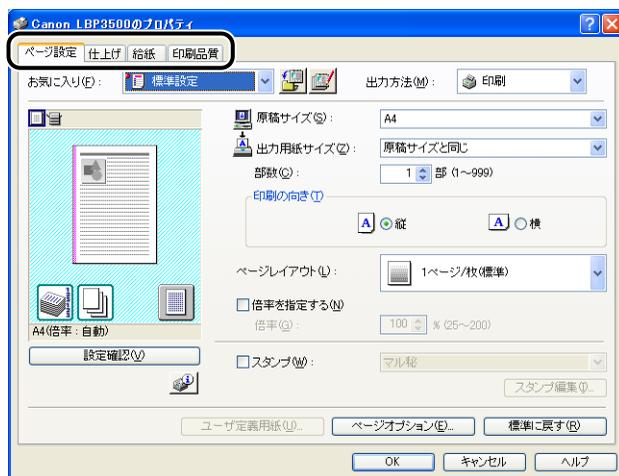
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4

Windowsから印刷するには

5 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、印刷条件を設定します。

メモ　ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000/Vistaの場合は、［プリンタ］フォルダ）で変更することができます。

6 さらに詳しい印刷条件を設定したい場合は、［プロパティ］をクリックします。

メモ　ドキュメントプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

7 [ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] の各ページで印刷条件を設定します。

メモ

- 設定項目の詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」(➞P.4-70) を参照してください。
- ここで設定した内容は、現在開いているファイルに対してのみ有効です。ドキュメントプロパティの内容は、印刷するたびに確認してください。特に、[ページ設定] ページと [給紙] ページの内容を確認することをおすすめします。
- すべてのファイルに対しての初期設定は、[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダから [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスを開いて行います。(➞ [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダから [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスを表示する：P.4-10)

8 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

9 [OK] をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ

- 正常に印刷できないときは、「第 7 章　困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」(➞P.4-16) では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

印刷条件を設定する

LBP3500 では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示させ、それぞれのダイアログボックスにある各ページの機能を設定します。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべてのジョブに対しての初期設定を指定することができます。
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタの各種設定やよく使う機能を「お気に入り」として登録することができます。

メモ

- ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの設定は、プリンタのフルコントロールアクセス権を持っている必要があります。［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトから表示してください。
- プリンタの各種設定をする［デバイスの設定］ページは、「［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」（➞P.4-11）の手順でのみ表示可能です。

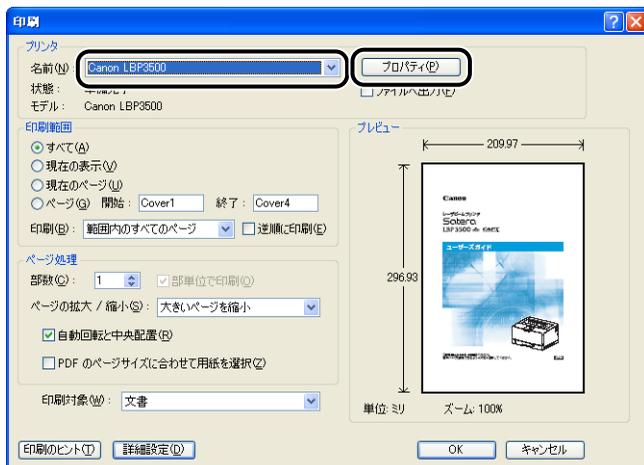
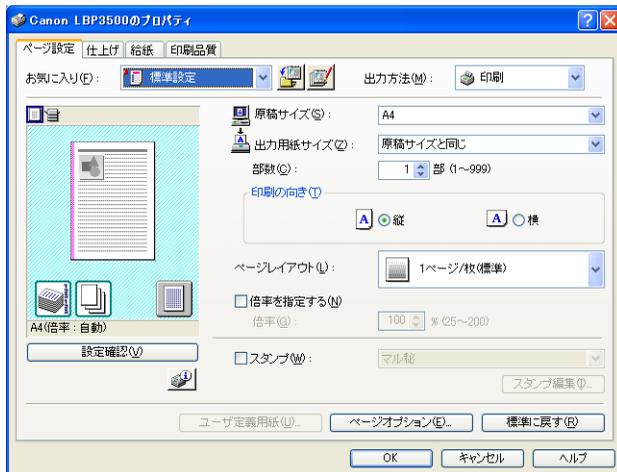
アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

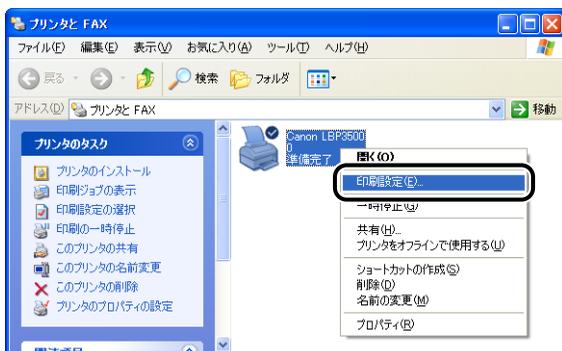
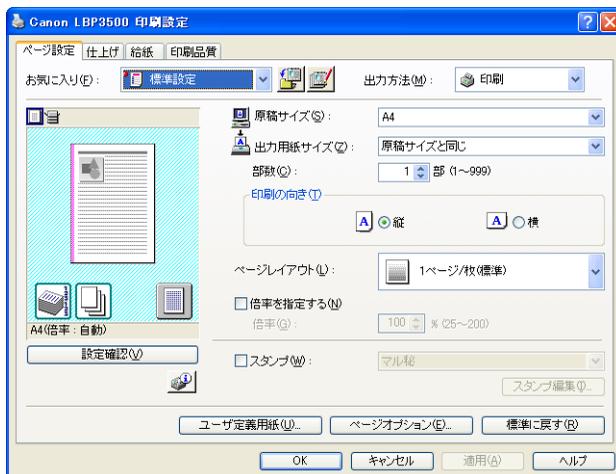
メモ

お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 プリンタ名を確認し、[プロパティ] をクリックします。

[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

[プリンタと FAX]または[プリンタ]フォルダから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを表示する

1 **[プリンタと FAX]または[プリンタ]フォルダを表示します。**

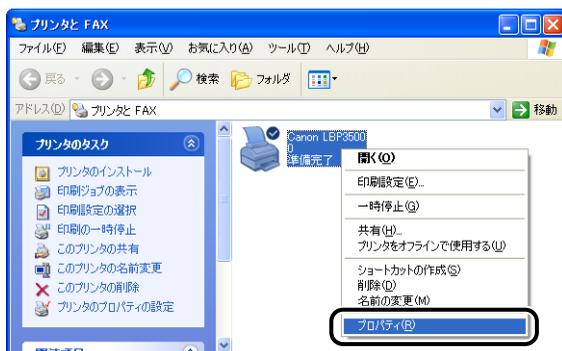
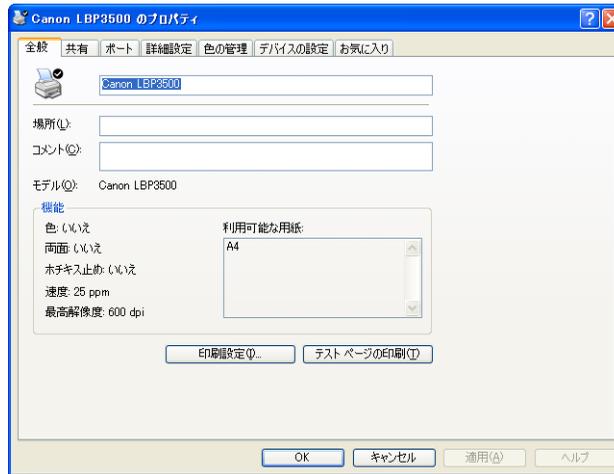
Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

2 **本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから[印刷設定]を選択します。**

[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択しても表示できます。

[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダから [プリンタプロパティ] ダイアログボックスを表示する

1 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➡ [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➡ [プリンタと FAX] の順にクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

印刷を中止／一時停止／再開する

本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。また、操作パネル上の◎（ジョブキャンセル）キーを押して、エラーが発生しているジョブや現在印刷中のジョブをキャンセルすることもできます。

プリンタステータスウィンドウで印刷を中止／一時停止／再開する

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

1 **印刷を開始します。**

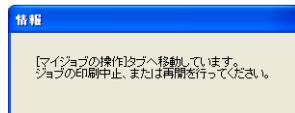
プリンタステータスウィンドウが表示されます。

メモ　プリンタステータスウィンドウの［環境設定］メニューの［プリンタステータスウィンドウの表示］の設定によっては、プリンタステータスウィンドウが表示されない場合があります。（→［環境設定］メニューについて：P.4-84）

2 **印刷の中止や一時停止をする場合は、［印刷中ジョブ］タブもしくは［マイジョブの操作］タブの［一時停止］ボタンをクリックします。**

4

Windowsから印刷するには

［印刷中ジョブ］タブの［一時停止］ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示され、［マイジョブの操作］タブに移動します。

3 **［ジョブ操作］ボタンで行いたい操作のボタンをクリックします。**

● **印刷を中止する**

❑ ［ ］（印刷中止）をクリックします。

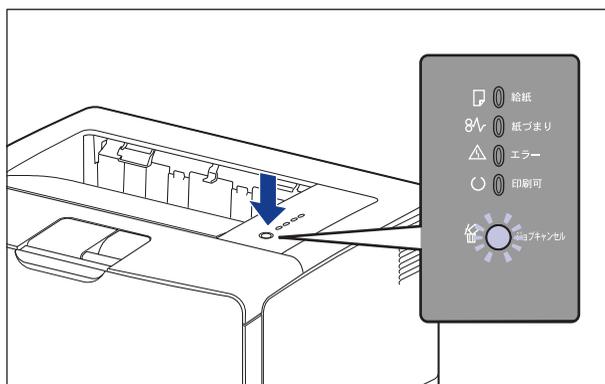
● **印刷を一時停止する**

❑ ［ ］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

❑ ［ ］（再開）をクリックします。

ジョブキャンセルキーでジョブをキャンセルする

1 ◎（ジョブキャンセル）キーを押すと、ジョブをキャンセルします。

重要

- 印刷中のジョブのうち、すでにデータの受信が終わった状態のページは、キャンセルすることができません。
- 印刷枚数が 1 枚のジョブは、キャンセルすることができません。
- キーを押したときのジョブと、キーを離した時のジョブが異なる場合、ジョブはキャンセルされません。
- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の［ジョブキャンセルキー設定］ダイアログボックスの［エラー中のジョブをキャンセル可能にする］や［印刷中のジョブもキャンセル可能にする］の設定によっては、ジョブをキャンセルすることができない場合があります。プリンタステータスウィンドウ（Windows）の［ジョブキャンセルキー設定］ダイアログボックスについては、「［デバイス設定］メニューについて」（➞P.4-85）を参照してください。ステータスモニタ（Macintosh）の［ジョブキャンセルキー設定］ダイアログについては、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

メモ

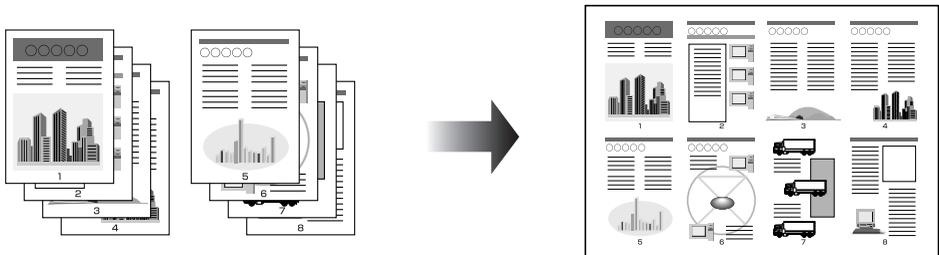
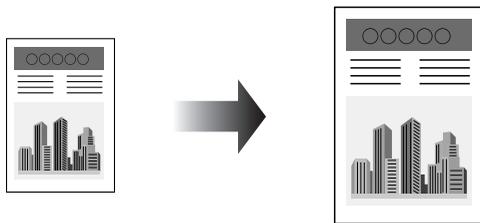
キーを押している間はジョブキャンセルランプ（オレンジ色）が点灯し、キーを離した時点でジョブキャンセル処理を開始します。ジョブのキャンセル処理中はジョブキャンセルランプ（オレンジ色）が点滅します。

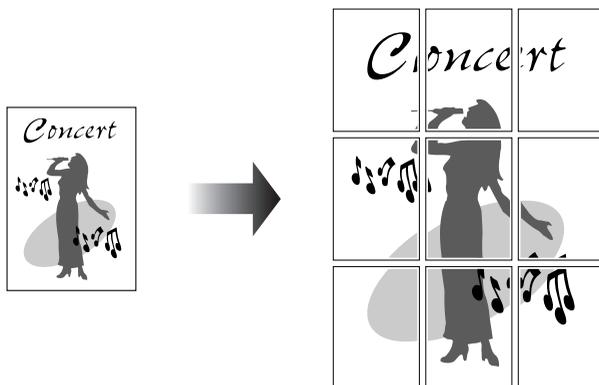
いろいろな印刷機能を使用する

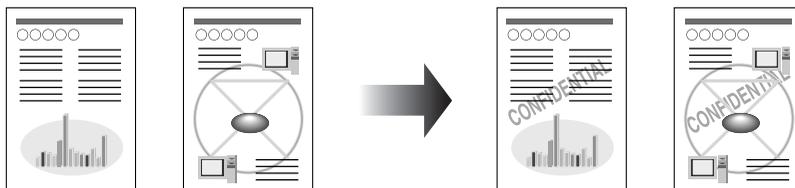
ここでは、Windows をお使いの場合のいろいろな印刷機能を説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

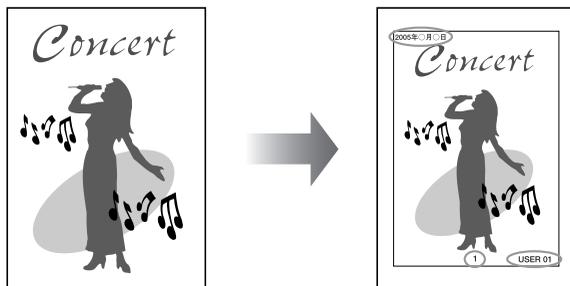
こんなことができます

プリンタドライバを使用すると、次のような印刷をすることができます。

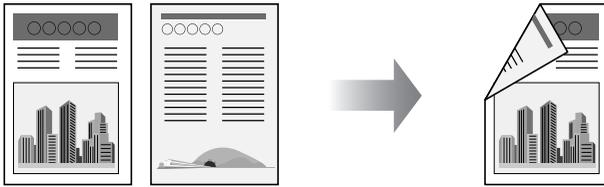
■ **用紙 1 枚に複数ページを印刷する（→P.4-43）**
1 枚の用紙に複数のページを印刷することができます。

■ **拡大／縮小して印刷する（→P.4-45）**
A4 サイズの原稿を B5 サイズの用紙に縮小して印刷したり、逆に B5 サイズの原稿を A4 サイズの用紙に拡大して印刷します。任意の倍率で拡大縮小することもできます。

■ ポスター印刷を行う（→P.4-47）

1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷することができます。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントを作成します。

■ スタンプを付けて印刷する（→P.4-48）

アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（［COPY］や［DRAFT］などの透かし文字）を重ね合わせて印刷することができます。

■ ページに枠や日付を付けて印刷する（→P.4-50）

出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷することができます。

■ 印刷方法を選択して印刷する（→P.4-52）

オプションの両面ユニットを装着すると、印刷方法を片面印刷だけでなく、両面印刷や製本印刷を選択して印刷することができます。

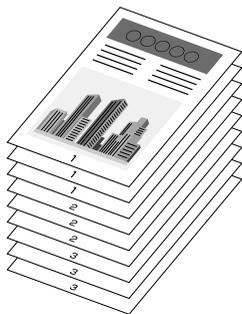
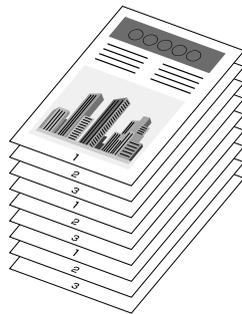
- ［両面印刷］
  2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙の表と裏の両面に印刷することができます。

- ［製本印刷］
  1 枚の用紙の両面にそれぞれ 2 ページずつ印刷し、2 つ折りにするだけで、そのまま本のように 1 ページ目から順序どおりにとじることができます（したがって、1 枚の用紙に表裏で 4 ページ分が印刷されることになります）。
  たとえば、全部で 12 ページの文書を製本印刷するときは、1 枚の用紙の両面に 2 ページずつ印刷され、合計 3 枚の用紙に出力されます。製本印刷ではページ番号が順番どおり並ぶように印刷順序が調整されるため、出力された用紙 3 枚をまとめて 2 つ折りにしてとじるだけで本を作ることができます。
  また、2 つ折りにする枚数を指定し、指定した枚数ごとに 2 つ折りにしたものをまとめてとじて、本を作ることもできます。

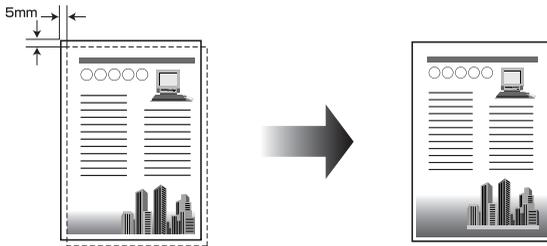
■ とじしろを付けて印刷する（→P.4-54）

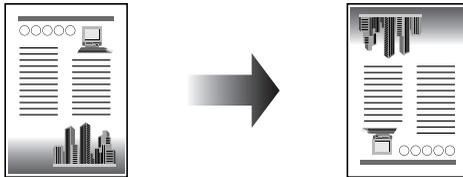
出力する用紙にとじしろを付けて印刷することができます。

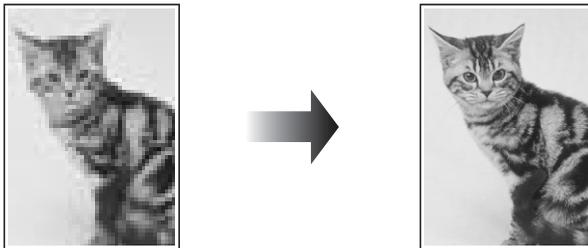
■ 排紙方法を設定して印刷する（→P.4-55）

排紙方法を［仕上げ］ページの［排紙方法］にある以下の項目から設定することができます。

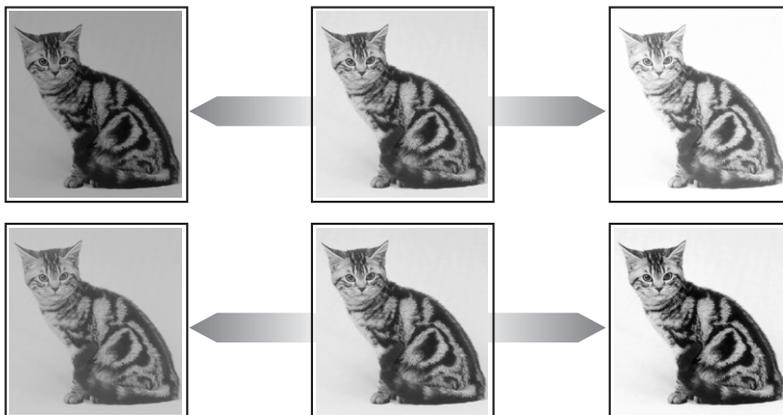
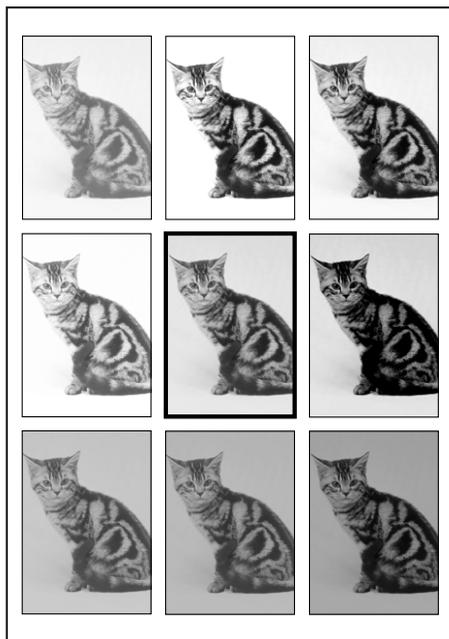
- ［指定しない］
  ページごとに指定された部数を印刷します。
  たとえば、1 ～ 3 ページまでを 3 部印刷すると、1、1、1、2、2、2、3、3、3 の順で印刷されます。

- ［ソート］
  ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。
  たとえば、1 ～ 3 ページまでを 3 部印刷すると、1、2、3、1、2、3、1、2、3 の順で印刷されます。

■ 用紙の左上を原点として印字する（→P.4-56）

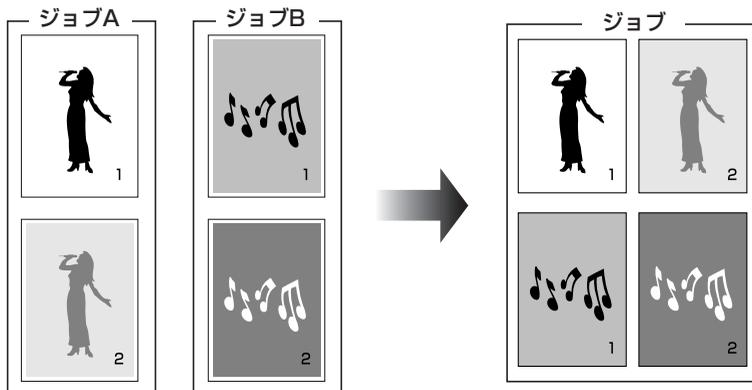
通常、有効印字領域である用紙の左上 5mm（封筒は 10mm）を原点として印刷されるため、用紙いっぱいに印刷する原稿などは、一部の方向（右下など）が欠けて印刷されることがあります。このような場合に、用紙の左上余白 0mm を原点として印字し、上下左右とも均一に印刷するように設定することができます。

■ 印刷の向きを 180 度回転して印刷する（→P.4-57）

画像を 180 度回転させて用紙に印字することができます。特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

■ 粗い画像を補正してなめらかに印刷する（→P.4-58）

低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷することができます。

■ トナー濃度を調節して印刷する（→P.4-59）

トナーの濃度を調節して印刷することができます。

■ 明るさやコントラストの設定をする（→P.4-61）
明るさやコントラストを設定して印刷を行うことができます。

■ グレー調整サンプルを印刷する（→P.4-63）
［グレー調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。

■ **ジョブを編集する（→P.4-67）**

2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションの印刷ジョブの編集も可能です。また、ジョブのプレビュー表示もできます。

プリンタドライバのページについて

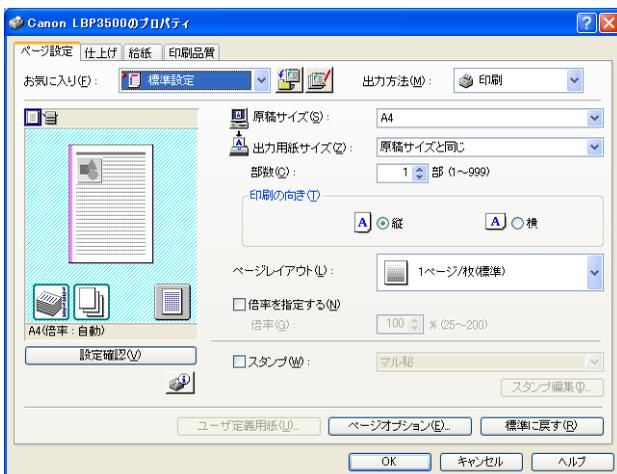
［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページのタブをクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［ページ設定］ページ
  - ·［仕上げ］ページ
  - ·［給紙］ページ
  - ·［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［全般］ページ
  - ·［共有］ページ
  - ·［ポート］ページ
  - ·［詳細設定］ページ
  - ·［色の管理］ページ
  - ·［セキュリティ］ページ
  - ·［デバイスの設定］ページ
  - ·［お気に入り］ページ

メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］ページは、Windows が表示するページです。これらのページの詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

[ページ設定] ページ

[ページ設定] ページでは、次の印刷条件を設定できます。

設定項目 / ボタン	内容
[原稿サイズ]	アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。
[出力用紙サイズ]	実際にプリンタから出力する用紙サイズを選択します。
[部数]	印刷する部数を指定します。
[印刷の向き]	用紙の方向に対する印刷の向きを指定します。
[ページレイアウト]（➞P.4-43）	・ [N ページ / 枚]（N =1、2、4、6、8、9、16） 複数ページの原稿を 1 枚の用紙に印刷します。アプリケーションソフトによっては部単位で印刷する機能がありますが、本機能と同時に使用しないでください。 ・ [ポスター (N x N)]（N = 2、3、4） 1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせてポスターのような大きなプリントができます。
[配置順]	[ページレイアウト] で [N ページ / 枚]（N=2、4、6、8、9、16）を設定したときに、用紙にページを配置する順序を選択します。
[倍率を指定する]（➞P.4-46）	原稿を任意の倍率で拡大／縮小して印刷するときにチェックマークを付け、目的の拡大／縮小率を入力します。
[スタンプ]（➞P.4-48）	アプリケーションソフトで作成した原稿にスタンプ（[COPY]、[DRAFT] などの透かし文字）を重ね合わせて印刷することができます。スタンプ印刷を行うには、この項目にチェックマークを付け、右側のリストからスタンプとして印刷する文字を選択します。

設定項目 / ボタン	内容
[スタンプ編集](→P.4-49)	スタンプ印刷の詳細設定を行うには、このボタンをクリックします。
[ユーザ定義用紙]	定形サイズ以外の用紙を印刷に使用する場合は、このボタンをクリックして独自のサイズの用紙を設定します。
[ページオプション](→P.4-50)	このボタンは、日付、ユーザ名、ページ番号を印刷したい場合や用紙に枠を付けて印刷したい場合にクリックします。

■ [ユーザ定義用紙] ダイアログボックス

[ユーザ定義用紙] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

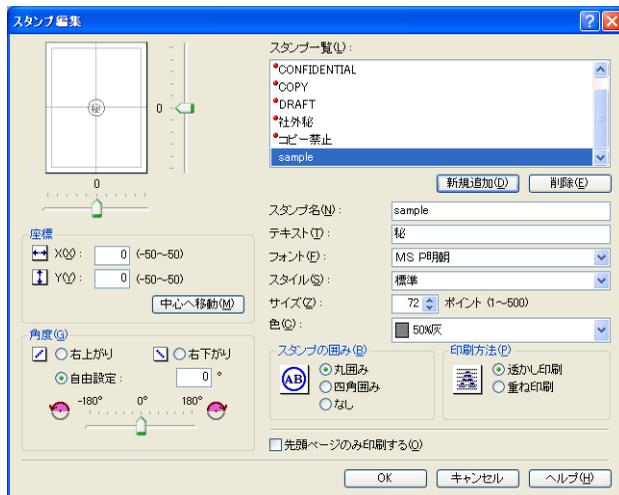
このダイアログボックスでは、印刷に使用する定形サイズ以外の用紙(ユーザ定義用紙)の幅と高さを設定します。

登録できるユーザ定義用紙は、ご使用のシステム環境によって異なります。

設定項目 / ボタン	内容
[用紙一覧]	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の [名前] と [サイズ] が表示されます。左側に赤印がついている用紙は、定形用紙および [ユーザ定義 (名称固定)] です。これらの定形用紙および [ユーザ定義 (名称固定)] は削除することができません。
[ユーザ定義用紙名]	登録するユーザ定義用紙の名前を入力します。
[単位]	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位([ミリメートル] または [インチ])を選択します。
[用紙サイズ]	ユーザ定義用紙の高さと幅([高さ]≧[幅])を設定します。用紙サイズは、縦長([高さ]≧[幅])かつ、定義可能な範囲内で指定してください。
[削除]	[用紙一覧]で選択されているユーザ定義用紙を削除します。ただし、あらかじめ用意されている定形用紙と [ユーザ定義 (名称固定)] を削除することはできません。
[登録]	ユーザ定義用紙を登録します。

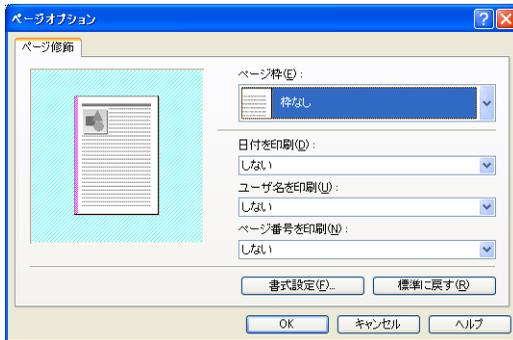
■ [スタンプ編集] ダイアログボックス（→P.4-49）

[スタンプ編集] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しくスタンプを登録したり、登録済みのスタンプの設定項目を編集することができます。

設定項目 / ボタン	内容
[座標]	スタンプを印字する位置を縦横それぞれ -50 ～ 50 の範囲で設定します（0 は用紙の中央の位置を表します）。プレビュー画面の右側または下にある、つまみを使って座標を設定することもできます。
[中心へ移動]	スタンプを印字する位置を中心に戻します。
[角度]	スタンプを印字する角度を設定します（0°は用紙に対して水平方向を表します）。
[スタンプ一覧]	登録されているスタンプの一覧を表示します。左側に赤印がついているスタンプは、あらかじめ用意されているスタンプです。これらあらかじめ用意されているスタンプは削除することができません。
[新規追加]	新しいスタンプを登録するには、このボタンをクリックして、[スタンプ編集] ダイアログボックスで内容を設定します（スタンプは最大 50 個まで追加登録できます）。
[削除]	[スタンプ一覧] で選択したスタンプを削除するには、このボタンをクリックします。ただし、あらかじめ用意されているスタンプを削除することはできません。
[スタンプ名]	新しいスタンプを登録するときに、[ページ設定] ページの [スタンプ] に表示する名前を入力します。
[テキスト]	スタンプとして印刷する文字列を入力します。

設定項目 / ボタン	内容
[フォント]	スタンプとして印刷する文字列のフォントの種類（TrueType フォントのみ）を選択します。
[スタイル]	フォントのスタイルを選択します。
[サイズ]	スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを設定します。
[色]	スタンプとして印刷する文字列の色を選択します。本プリンタはモノクロ機のため、スタンプの色はすべてグレースケールで印刷されます。
[スタンプの囲み]	スタンプとして印刷する文字列の周囲に枠を付けるかどうかを設定します。
[印刷方法]	スタンプの印刷方法を［透かし印刷］、［重ね印刷］の 2 種類から選択します。
[先頭ページのみ印刷する]	スタンプを 1 ページ目だけに印刷する場合にチェックマークを付けます。

■ ［ページオプション］ダイアログボックス（→P.4-50）

［ページオプション］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、出力する用紙に印刷する枠、日付、ページ番号などを設定します。

設定項目 / ボタン	内容
[ページ枠]	用紙の周囲に印刷する枠の種類を選択します。枠を印刷すると、枠を印刷する分だけ元の原稿は縮小して印刷されます。
[日付を印刷]	日付を印刷することができます。
[ユーザ名を印刷]	コンピュータに登録されているユーザ名を印刷することができます。
[ページ番号を印刷]	ページ番号を印刷することができます。

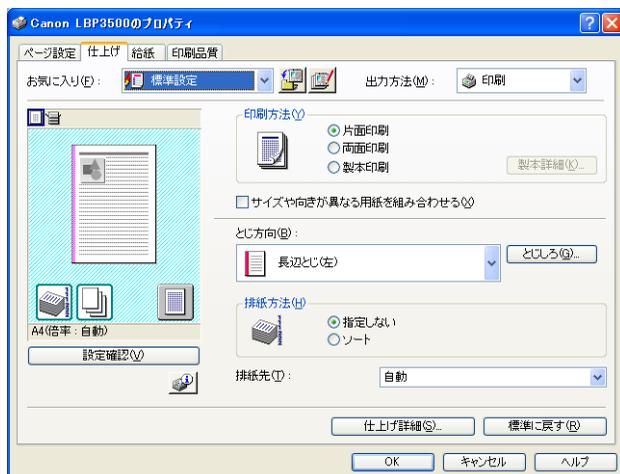
設定項目 / ボタン	内容
[書式設定]	日付、ページ番号などを印刷する際のフォントの書式を設定するには、このボタンをクリックします。

■ [書式設定] ダイアログボックス

[ページオプション] ダイアログボックスの [書式設定] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでは、日付やページ番号などを印刷する際のフォントの書式を設定します。

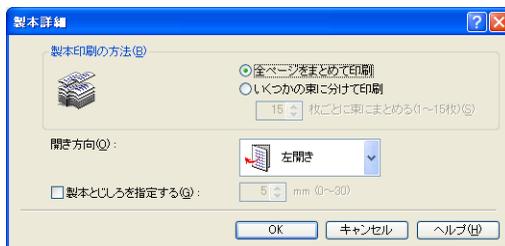
設定項目 / ボタン	内容
[フォント]	印刷する文字列のフォントの種類（TrueType フォントのみ）を選択します。
[スタイル]	フォントのスタイルを選択します。
[サイズ]	印刷する文字列のフォントサイズを設定します。
[色]	印刷する文字列の色を選択します。本プリンタはモノクロ機のため、印刷する文字列の色はすべてグレースケールで印刷されます。

[仕上げ] ページ

[仕上げ] ページでは、次の印刷条件を設定できます。

設定項目 / ボタン	内容
[印刷方法]（→P.4-52）	印刷方法（片面印刷、両面印刷、製本印刷）を設定します。
[製本詳細]	[製本印刷] の詳細設定を行うには、このボタンをクリックします。
[サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる]	1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合、[サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる] にチェックマークを付けて、排紙時の [用紙の揃え方] や [とじしろ] の設定を行います。設定を行うには、[詳細設定] をクリックします。
[詳細設定]	[用紙の揃え方] の詳細設定を行うには、このボタンをクリックします。
[用紙の揃え方]	[詳細設定] ダイアログボックスで設定した内容を表示する情報フィールドです。
[とじ方向]（→P.4-54）	印刷原稿のとじ方（どの辺をとじるか）を設定します。
[とじしろ]（→P.4-54）	印刷した用紙をとじる場合は、このボタンをクリックしてとじしろの幅を設定します。
[排紙方法]（→P.4-55）	排紙方法を設定します。
[排紙先]	印刷した用紙をどの排紙先に排紙するかを設定します。
[仕上げ詳細]	[仕上げ詳細] ダイアログボックスを表示して仕上げに関する詳細設定や使用する用紙に合わせた印字処理などを行うには、このボタンをクリックします。

■ [製本詳細] ダイアログボックス

[製本印刷] を選択した場合、必要に応じて [製本詳細] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、製本印刷に関する設定を行います。

設定項目 / ボタン	内容
[製本印刷の方法]	[製本印刷] の単位（まとめて印刷するページ数）を設定します。

設定項目 / ボタン	内容
[開き方向]	[製本印刷] を行うときのとじる方向を設定します。[ページ設定] ページの [印刷の向き] の設定が [縦] の場合は [左開き] または [右開き] を選択できます。また、[印刷の向き] が [横] の場合は [上開き] または [下開き] を選択できます。
[製本とじしろを指定する]	[製本印刷] を行うときのとじしろの幅を設定するときにチェックマークを付けます。用紙の中央部（折り目の位置）からの距離（0 ～ 30mm）を入力します。

■ [詳細設定] ダイアログボックス

[サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる] にチェックマークを付けて、[詳細設定] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでは、1 つのジョブに異なるサイズや異なる向きのデータを印刷する場合の、排紙時の [用紙の揃え方] などを設定します。

設定項目 / ボタン	内容
[用紙の揃え方]	サイズや向きの異なる用紙を組み合わせるときの、[用紙の揃え方] のパターンを選択します。
[とじしろ]	この項目を設定すると、印刷物の片側に余白が作成されます（この余白を [とじしろ] と呼びます）。この余白は印刷物をとじるときに役立ちます。[とじしろ] として設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。
[画像処理]	[とじしろ] を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。

■［とじしろ指定］ダイアログボックス（→P.4-54）

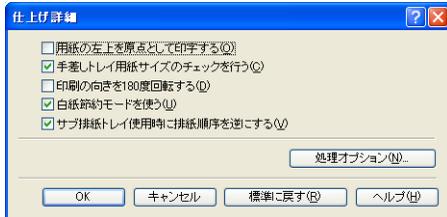
［とじしろ］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、とじしろの幅と画像の処理方法を設定します。

設定項目 / ボタン	内容
［とじしろ］	この項目を設定すると､印刷物の片側に余白が作成されます（この余白を［とじしろ］と呼びます）。この余白は印刷物をとじるときに役立ちます。［とじしろ］として設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。
［画像処理］	［とじしろ］を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。

■［仕上げ詳細］ダイアログボックス

［仕上げ詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷処理に適用するさまざまな項目を設定します。

設定項目 / ボタン	内容
［用紙の左上を原点として印字する］（→P.4-56）	通常、有効印字領域である用紙の左上　5mm（封筒は 10mm）を原点として印刷されるため、用紙いっぱいに印刷する原稿などは、一部の方向（右下など）が欠けて印刷されることがあります。この項目にチェックマークを付けると、用紙の左上余白 0mm を原点として印字されます。

設定項目 / ボタン	内容
［手差しトレイ用紙サイズのチェックを行う］*	この項目にチェックマークを付けると、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なる場合、メッセージが表示され、印刷を一時停止します。 ［出力用紙サイズ］で設定した用紙サイズに印刷するときは、手差しトレイに正しい用紙をセットしなおします。現在セットされている用紙に印刷するときは、［エラー復帰］ボタンをクリックします。 ただし、以下のジョブは［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、メッセージは表示されずに、現在セットされている用紙で印刷します。 ・電源をオフ／オンした直後のジョブ ・スリープモードから復帰した直後のジョブ ・用紙をセットしなおした直後のジョブ チェックマークを消すと、用紙サイズの設定が異なっていてもメッセージは表示されずに、現在セットされている用紙で印刷します（ただし、印刷速度が低下することがあります）。
［印刷の向きを 180 度回転する］（→P.4-57）	画像を 180 度回転させて用紙に印字します。 特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。
［白紙節約モードを使う］	この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブに白紙ページがある場合、白紙ページは排出されません。
［サブ排紙トレイ使用時に排紙順序を逆にする］	サブ排紙トレイは、上向き（フェースアップ）で排紙されるため、1 ページ目から印刷するとページ順が逆に積み重なって排紙されます。この項目にチェックマークを付けると、最終ページから印刷するため、ページ順を揃えて排紙することができます。
［処理オプション］	文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかに印刷したい場合や両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷するかどうかの設定などを行う場合は、このボタンをクリックして［処理オプション］ダイアログボックスで設定します。また、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、印刷データを EMF（メタファイル）形式でスプールするかどうかの設定を行うこともできます。

* 封筒角形 2 号の場合は、用紙サイズの設定が異なっていてもメッセージは表示されずに、印刷します。

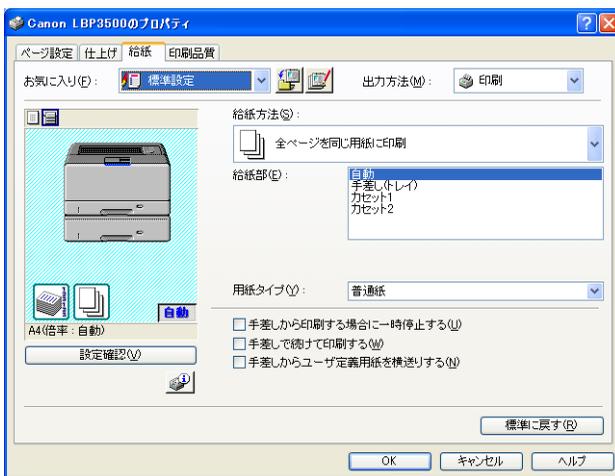
■ ［処理オプション］ダイアログボックス

［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、仕上げに関する詳細な設定を行います。

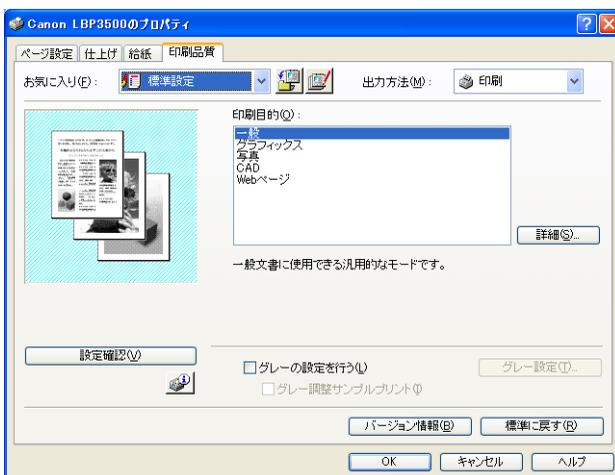
設定項目 / ボタン	内容
[スーパースムーズ]	スムージング処理を行うかどうかを設定します。 スムージング処理を行うと、文字や図形のギザギザの輪郭がなめらかに印刷されます。
[特殊印字処理]	使用している用紙やプリンタの使用環境によって、印字品質が低下することがあります。この［特殊印字処理］には、いくつかの印字品質に関するトラブルを解決するための設定が用意されています。
[メタファイルスプーリングを行う]（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）	印刷データを EMF（メタファイル）形式でスプールするかどうかを設定します。
[両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する]	この項目にチェックマークを付けると、両面印刷のジョブの最後のページが片面の場合、通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。

［給紙］ページ

［給紙］ページでは、次の印刷条件を設定できます。

設定項目 / ボタン	内容
[給紙方法]	給紙方法を選択します。

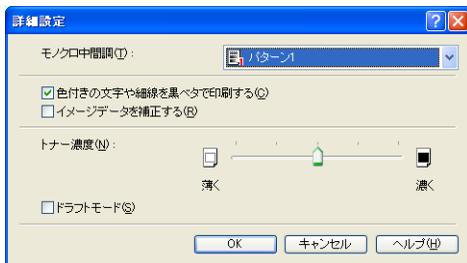
設定項目 / ボタン	内容
［用紙の指定］	［給紙方法］で選択した項目に応じて各ページの用紙を指定します。 ・［自動］ 印刷する用紙のサイズやタイプに応じて、給紙する位置を自動的に切り替えます。 ・［手差し（トレイ）］／［カセット 1］／［カセット 2］（オプションのペーパーフィーダ装着時のみ表示） 選択した給紙部から給紙します。それぞれの給紙部には、以下のタイプの用紙がセットできます。 ［手差し（トレイ）］の場合： －普通紙（60 ～ 90g/m^2） －厚紙（91 ～ 199g/m^2） －はがき －封筒 －ラベル用紙 － OHP フィルム ［カセット 1］／［カセット 2］の場合： －普通紙（60 ～ 90g/m^2）
［用紙タイプ］	プリンタで使用する用紙の種類を選択します。（→P.2-4）
［手差しから印刷する場合に一時停止する］	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。
［手差しで続けて印刷する］	給紙カセットからの給紙中に用紙がなくなり、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズがどの給紙カセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。
［手差しからユーザ定義用紙を横送りする］	手差しトレイから以下のサイズのユーザ定義用紙を横送りする場合に、この項目にチェックマークを付けます。 ・幅 148.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 297.0mm

[印刷品質] ページ

[印刷品質] ページでは、次の印刷条件を設定できます。

設定項目 / ボタン	内容
[印刷目的]	原稿の内容に合わせて適切なモードを[印刷目的]から選択すると、内容に合った最適な設定で印刷を行うことができます。[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。[印刷目的]で選択した印刷設定をお好みに合わせて変更するには、[詳細]をクリックします。
[詳細]	[詳細設定]ダイアログボックスを表示して印刷設定をお好みに合わせて変更するには、このボタンをクリックします。
[グレーの設定を行う](➞P.4-61)	グレーに関して独自の設定をするときにチェックマークを付けます。グレーに関して詳細設定を行うには、[グレー設定]をクリックして[グレー設定]ダイアログボックスを表示します。
[グレー設定](➞P.4-61)	[グレーの設定を行う]にチェックマークを付けてグレーに関して独自の設定をするには、このボタンをクリックします。
[グレー調整サンプルプリント](➞P.4-63)	この項目にチェックマークを付けると、[グレー設定]をクリックしたときに表示される[グレー調整]ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に[調整後の画像]が印刷され、[調整後の画像]の周りに[明るさ]と[コントラスト]をそれぞれ1目盛り分変更した画像が印刷されます。

■［詳細設定］ダイアログボックス

［詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

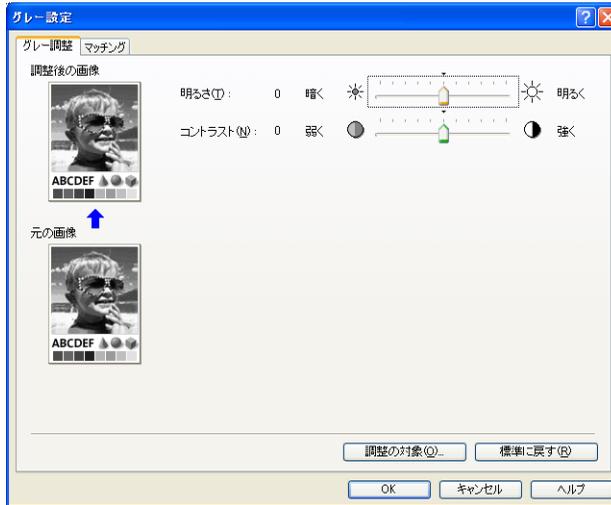
このダイアログボックスでは印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。

設定項目 / ボタン	内容
［モノクロ中間調］	モノクロデータの中間調を印刷するときのディザパターンの種類を選択します。
［色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する］	色付きの文字やCAD画像などの細線が破線で出力される場合は、本項目にチェックマークを付けてください。細い線などがきれいに印刷できる場合があります。
［イメージデータを補正する］（→P.4-58）	写真画像などのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定してください。
［トナー濃度］（→P.4-59）	印刷するトナーの濃度を調節します。
［ドラフトモード］	ドラフトモードは、テスト印刷をするために使用します。ドラフトモードを使用すると、データを間引いて印刷が行われます。

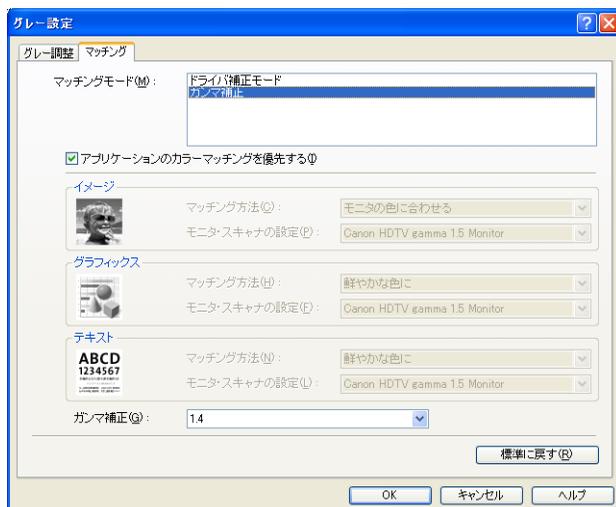
重要　ドラフトモードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

■ [グレー設定] ダイアログボックス

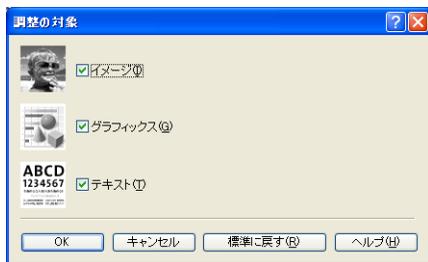
[グレー設定] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには [グレー調整] ページと [マッチング] ページがあります。

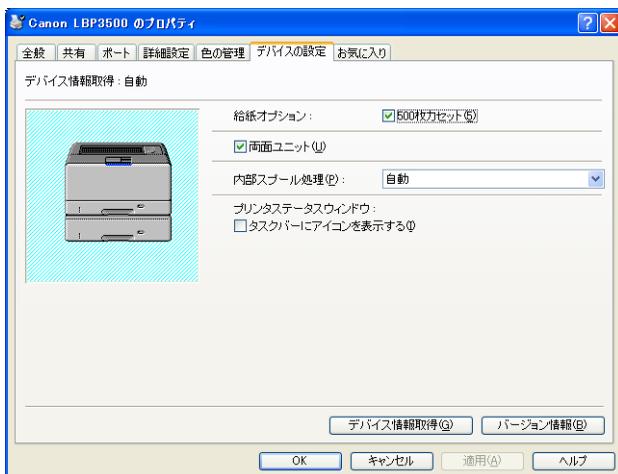
- [グレー調整] ページ
  このページでは、印刷するときの明るさやコントラストを調整します。

設定項目 / ボタン	内容
[調整後の画像]	調整後のサンプルが表示されます。
[元の画像]	調整前のオリジナルのサンプルが表示されます。
[明るさ] (➞P.4-61)	印刷するときの明るさを調整します。
[コントラスト] (➞P.4-61)	印刷するときのコントラストを調整します。
[調整の対象]	[調整の対象] ダイアログボックスを表示してどの種類の印刷データに関して調整を行うかを設定します。

- ［マッチング］ページ
  このページでは、原稿を印刷するときの色補正の処理方法を設定します。
  プリンタドライバ側で色補正を行う場合は、イメージデータ、グラフィックスデータ、テキストデータのそれぞれに対して補正を行うことができます。色補正を行わない場合は、原稿の明るさを調節する［ガンマ補正］を設定します。

設定項目 / ボタン	内容
［マッチングモード］	色補正の処理方法を設定します。
［アプリケーションのカラーマッチングを優先する］	この項目のチェックマークを消すと、プリンタドライバ側で設定したカラーマッチング処理を優先して印刷することができます。アプリケーション側のカラーマッチングを優先して印刷するときは、この項目にチェックマークを付けます。
［マッチング方法］	マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。
［モニタ・スキャナの設定］	使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目（お使いのコンピュータに登録されているプロファイルが表示されます）を選択します。
［ガンマ補正］	［マッチングモード］を［ガンマ補正］に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。［ガンマ補正］は、原稿中の最も明るい部分や最も暗い部分を損なわないように、印刷結果の明るさを調節することができます。出力した結果がオリジナル画像（スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成された図形・表・グラフなど）に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。

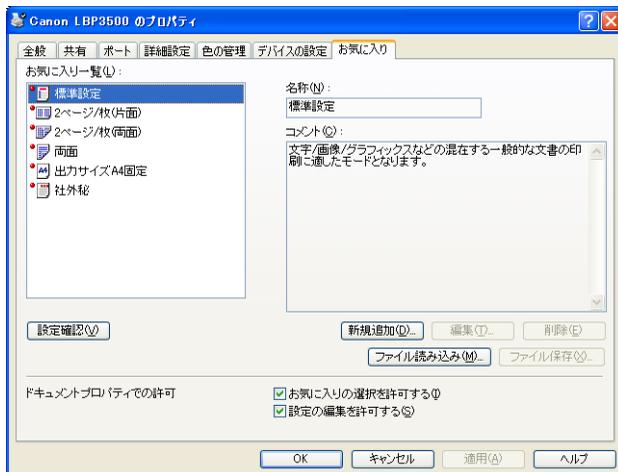
■［調整の対象］ダイアログボックス

［グレー設定］ダイアログボックスの［グレー調整］ページにある［調整の対象］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

設定項目 / ボタン	内容
［イメージ］	写真画像などのイメージデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。
［グラフィックス］	図形、表、グラフなどのグラフィックスデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。
［テキスト］	文字などのテキストデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

[デバイスの設定]ページ

[デバイスの設定]ページでは、プリンタの給紙オプションやプリンタステータスウィンドウの表示のしかたなどを設定できます。

設定項目 / ボタン	内容
[給紙オプション]	給紙オプションを装着している場合は、チェックマークを付けます。
[両面ユニット]	オプションの両面ユニットを装着している場合は、チェックマークを付けます。
[内部スプール処理]	[内部スプール処理](コンピュータ内部でのジョブの処理)を行うかどうかを設定します。[内部スプール処理]を行わないと、使用できる機能が限定されます。[自動]、[ホスト側での処理を無効にする]のいずれかを選択できます。[自動]に設定すると、内部スプールを行うかどうかは、印刷する設定内容によって自動的に切り替わります。
[タスクバーにアイコンを表示する]	この項目にチェックマークを付けると、画面右下のタスクバーにプリンタステータスウィンドウを表示するためのアイコンが追加されます。プリンタステータスウィンドウを表示するときは、タスクバーのアイコンをクリックし、[Canon LBP3500]をクリックします。
[デバイス情報取得]	このボタンをクリックすると、給紙オプションなどのデバイス情報が自動的に取得され、プリンタドライバの設定値に反映されます。

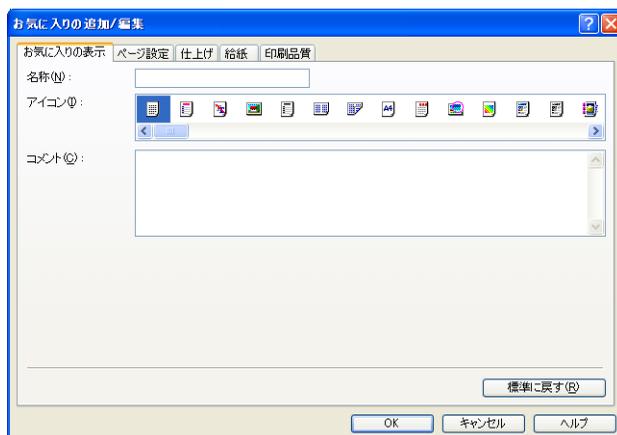
[お気に入り] ページ

新しい「お気に入り」を追加したり、すでに登録済みの「お気に入り」を編集することができます。

設定項目 / ボタン	内容
[お気に入り一覧]	現在「お気に入り」として登録されている項目を一覧表示します。
[名称]	[お気に入り一覧] で選択されている項目の名前を表示します。
[コメント]	[お気に入り一覧] で選択されている項目に対するコメントを表示します。
[設定確認]	このボタンをクリックすると、[設定確認] ダイアログボックスが表示されます。現在の全てのページの設定を一覧で確認できます。
[新規追加]	このボタンをクリックすると、[お気に入りの追加 / 編集] ダイアログボックスが表示され、新しい「お気に入り」を追加することができます。
[編集]	[お気に入り一覧] で目的の「お気に入り」を選択してこのボタンをクリックすると、[お気に入りの追加 / 編集] ダイアログボックスが表示され、登録済みの「お気に入り」の [名称]、[アイコン]、[コメント] および設定内容を変更することができます。ただし、あらかじめ用意されている「お気に入り」を編集することはできません。
[削除]	[お気に入り一覧] で選択されている項目を削除します。ただし、あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。
[ファイル読み込み]	ファイルとして保存されている「お気に入り」の項目を読み込み、[お気に入り一覧] に追加します。

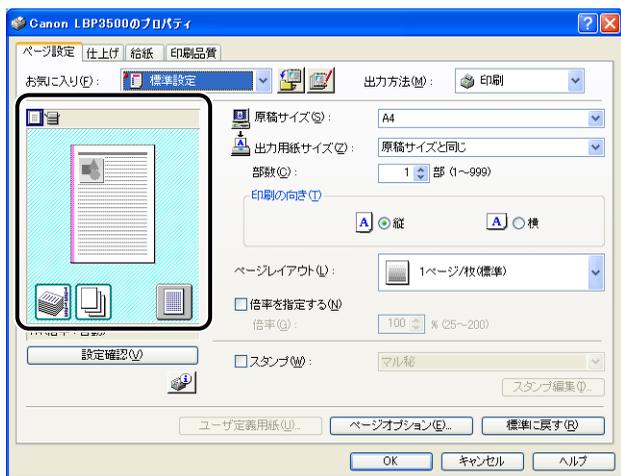
設定項目 / ボタン	内容
[ファイル保存]	[お気に入り一覧] で選択されている項目をファイルとして保存します。ただし、あらかじめ用意されている「お気に入り」を保存することはできません。
[ドキュメントプロパティでの許可]	2 つのチェックボックスを使って、[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスで許可する操作を設定します。
[お気に入りの選択を許可する]	この項目にチェックマークを付けると、[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスで「お気に入り」を選択できるようになります。[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスで「お気に入り」を選択できないようにするには、この項目のチェックマークを消します。
[設定の編集を許可する]	この項目にチェックマークを付けると、[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスであらかじめ用意されている「お気に入り」の設定の他に、さらに任意の設定を追加できるようになります。

■ [お気に入りの追加 / 編集] ダイアログボックス

[新規追加] または [編集] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の [名称]、[アイコン]、[コメント] や印刷条件を設定します。

設定項目 / ボタン	内容
[名称]	「お気に入り」の名前を入力します。
[アイコン]	「お気に入り」のアイコンを選択します。
[コメント]	「お気に入り」に関するコメントを入力します。

プレビュー画面について

［ページ設定］、［給紙］、［仕上げ］ページにあるプレビュー画面には、現在の設定が表示されます。また、プレビュー画面をクリックすることによって［とじ方向］、［ページレイアウト］、［排紙方法］などの設定を行うことができます。

プレビュー画面の左上にあるアイコン（、）のどちらを選択しているかで、プレビュー画面での操作が以下のように異なります。

■ を選択している場合

［とじ方向］、［ページレイアウト］、［印刷方法］（［片面印刷］、［両面印刷］のみ）の設定ができます。

プレビューのページ枠を左クリックすると、［とじ方向］を設定できます。

プレビューのページ枠内を繰り返し左クリックすると、［ページレイアウト］の設定が［1ページ / 枚（標準）］、［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］の順に繰り返し変更されます。

プレビューを右クリックすると、［1 ページ / 枚（片面）］、［2 ページ / 枚（片面）］、［4 ページ / 枚（片面）］を選択できます。オプションの両面ユニットを装着している場合は、［1 ページ / 枚（両面）］、［2 ページ / 枚（両面）］、［4 ページ / 枚（両面）］も選択できます。

また、プレビューの右下にあるアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
	オプションの両面ユニットを装着している場合は、［片面印刷］と［両面印刷］の切り替えができます。

■ を選択している場合

給紙部の指定や［排紙方法］が設定できます。

プレビューのプリンタの給紙部（手差しトレイや給紙カセット）を左クリックすると、給紙部を指定することができます。印刷する用紙のサイズやタイプに応じて、給紙部を自動的に切り替えたい場合は、プレビューの右下にある［自動］を左クリックします。

また、プレビューを右クリックすると、［排紙方法］を設定することができます。

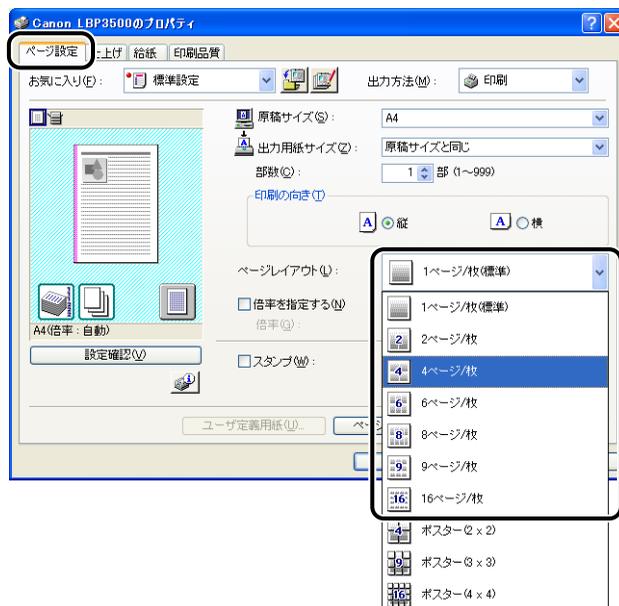
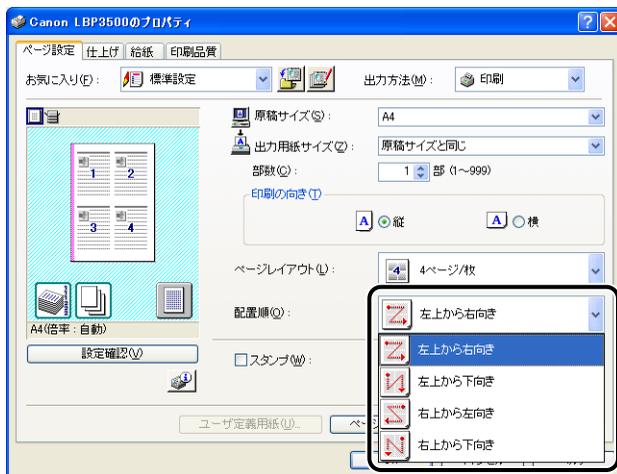
［給紙方法］で［最初と最後の用紙を指定して印刷］、［最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷］、［表紙の用紙を指定して印刷］のどれかを選択した場合は、各ページの給紙部の指定ができます。

用紙 1 枚に複数ページを印刷する

1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

1 **［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］が［自動］になっているか確認します。**

2 **［ページ設定］ページを表示し、［ページレイアウト］で 1 枚に収めるページ数を選択します。**

選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。

3 2、4、6、8、9、16ページ／枚を選択すると、［配置順］が表示されます。ページを並べる順番を選択します。

メモ　［配置順］プルダウンメニューの選択肢は、印刷する用紙の向きや 1 枚に収めるページ数によって異なります。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

拡大／縮小して印刷する

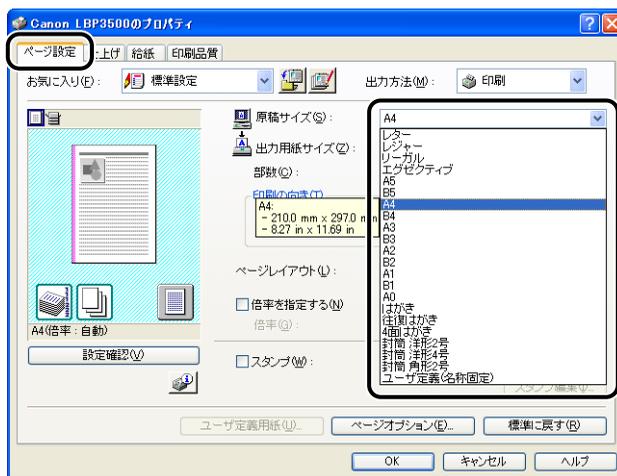
［ページレイアウト］が［1 ページ／枚（標準)］に設定されているとき選択できます。

［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。

倍率を任意に設定することもできます。

設定できる倍率は 25 ～ 200% です。

自動で倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。

2 ［出力用紙サイズ］を指定します。

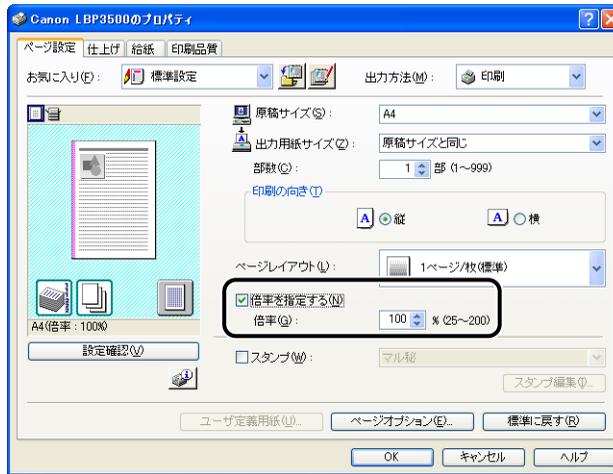
3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

指定した［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

任意に倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。

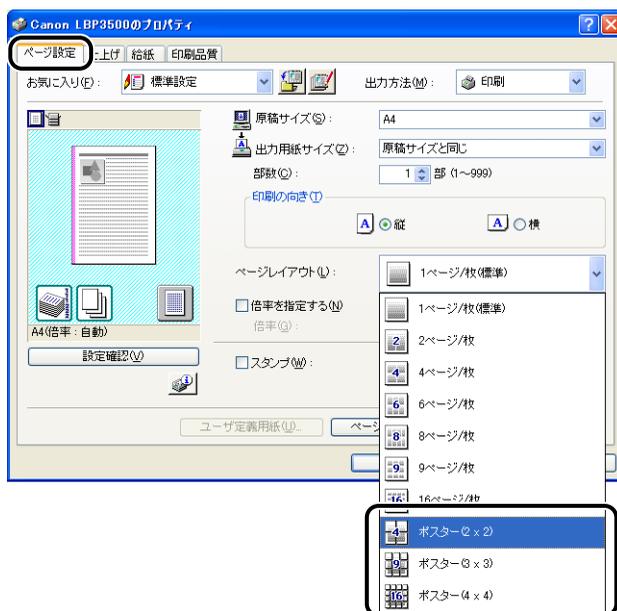
2 ［出力用紙サイズ］を指定します。

3 ［倍率を指定する］にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

ポスター印刷を行う

1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷することができます。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントを作成します。

1 **[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] が [自動] になっているか確認します。**

2 **[ページ設定] ページを表示し、[ページレイアウト] から [ポスター(N x N)] (N = 2、3、4) を選択します。**

印刷後のレイアウトイメージがプレビュー画面に表示されます。

3 **設定内容を確認し、[OK] をクリックします。**

4 **[OK] または [印刷] をクリックします。**

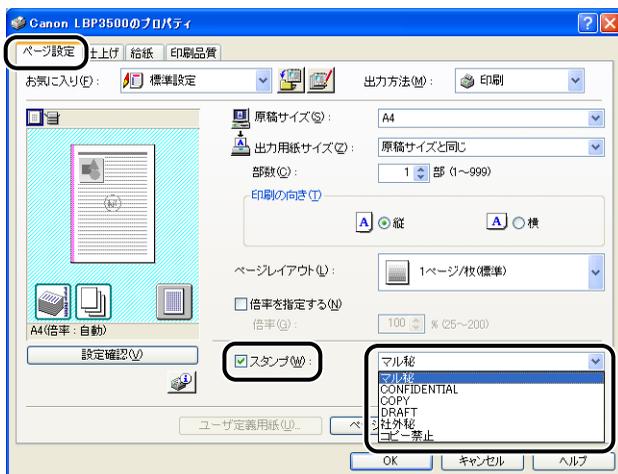
印刷がはじまります。

スタンプを付けて印刷する

アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（［COPY］や［DRAFT］などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。スタンプとして登録されている文字列のリストから使用する文字列を選択します。また、［ページ設定］ページの［スタンプ編集］をクリックして、新しいスタンプを登録したり、すでにあるスタンプを編集したりすることもできます。

スタンプを付けて印刷する

1 ［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］が［自動］になっているか確認します。

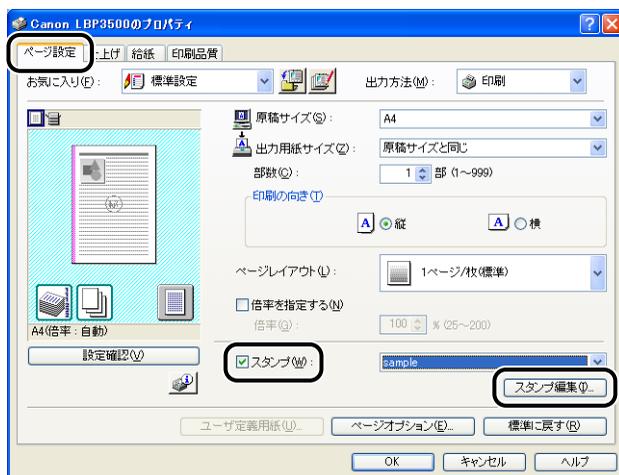
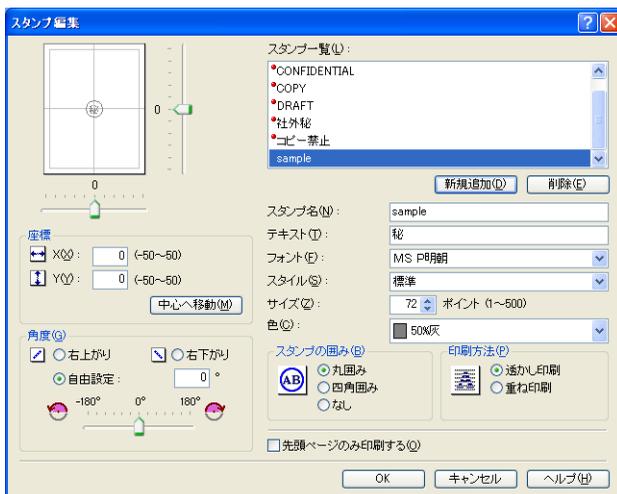
2 ［ページ設定］ページを表示し、［スタンプ］にチェックマークを付け、［スタンプ］の右側にあるリストから、スタンプとして印字する文字列を選択します。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

スタンプを編集する

1 ［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］が［自動］になっているか確認します。

2 ［ページ設定］ページを表示し、［スタンプ］にチェックマークを付けて［スタンプ編集］をクリックします。

3 必要に応じて項目を設定します。

メモ
- 設定項目の詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」(➞P.4-70)を参照してください。
- 新しくスタンプを登録する場合は、[新規追加]をクリックします。
- あらかじめ登録されているスタンプの変更はできません。

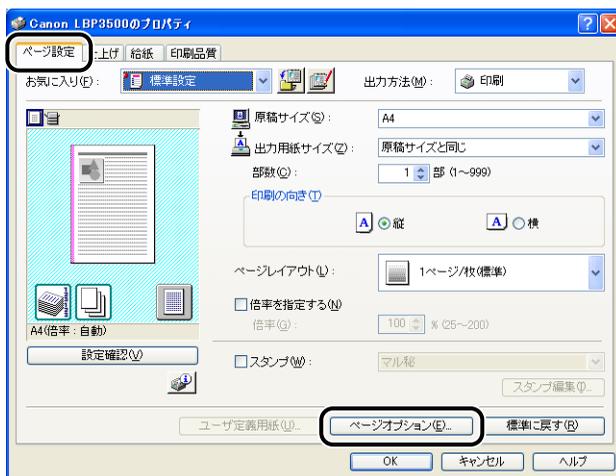
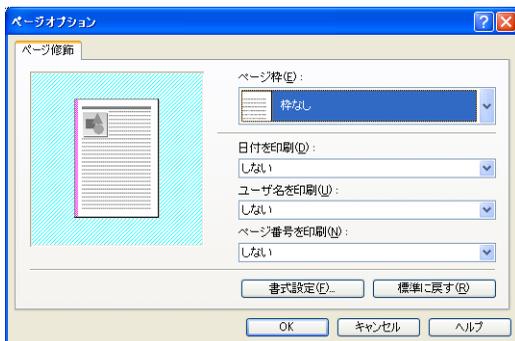
4 **設定内容を確認し、[OK]をクリックします。**

[ページ設定]ページに戻ります。

ページに枠や日付を付けて印刷する

出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷します。

1 **[デバイスの設定]ページを表示し、[内部スプール処理]が[自動]になっているか確認します。**

2 **[ページ設定]ページを表示させ[ページオプション]をクリックします。**

3 必要に応じて項目を設定します。

メモ 設定項目の詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」（➞P.4-70）を参照してください。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［ページ設定］ページに戻ります。

5 ［OK］をクリックします。

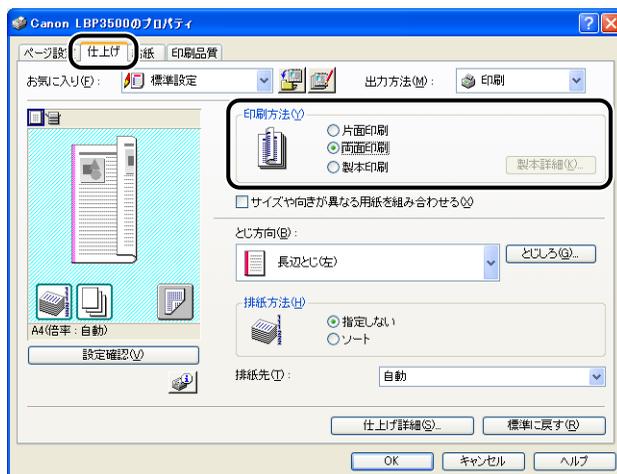
6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

印刷方法を選択して印刷する

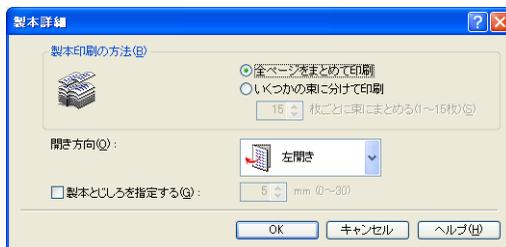
印刷方法（片面印刷、両面印刷、製本印刷）を設定します。両面印刷、製本印刷をする場合は、オプションの両面ユニットが必要です。

重要　［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］が［ホスト側での処理を無効にする］に設定されていると、［製本印刷］の機能は使用できません。

1 **［仕上げ］ページを表示し、［印刷方法］で［片面印刷］、［両面印刷］、［製本印刷］のいずれかを選択します。**

［片面印刷］：　用紙の片面に印刷を行います。

［両面印刷］：　オプションの両面ユニットを使用して、用紙の両面に印刷を行います。

［製本印刷］：　オプションの両面ユニットを使用して、製本印刷を行います。製本印刷とは、用紙を 2 つ折りにしてひとつの本になるように、1 枚の用紙の表と裏にそれぞれ 2 ページ分のデータを並べて印刷する処理です。製本印刷の詳細設定を行う場合は、［製本詳細］をクリックします。

2 ［製本印刷］を選択した場合、必要に応じて［製本詳細］をクリックして、以下の項目を設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」（➞P.4-70）を参照してください。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［仕上げ］ページに戻ります。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

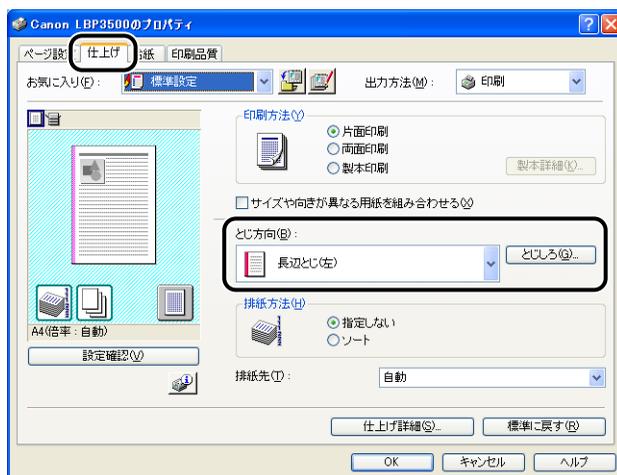
5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

とじしろを付けて印刷する

出力する用紙にとじしろを付けて印刷することができます。とじしろとして設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。

また、とじしろを設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを設定することもできます。

1 [仕上げ］ページを表示し、[とじ方向］でとじしろを付ける方向を設定し［とじしろ］をクリックします。

2 必要に応じて項目を設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」(→P.4-70) を参照してください。

3 設定内容を確認し、[OK］をクリックします。

[仕上げ］ページに戻ります。

4 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

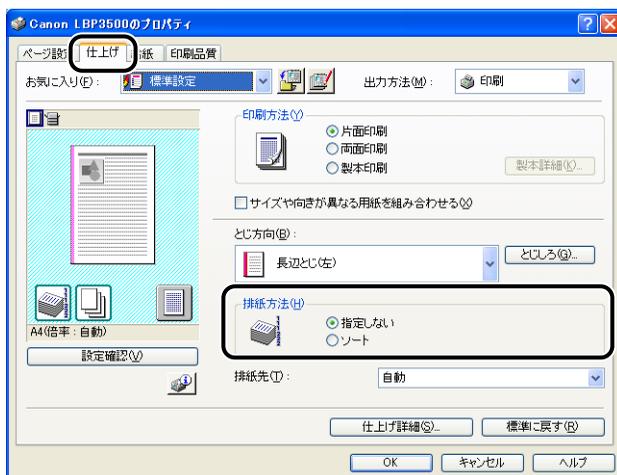
5 [OK]または[印刷]をクリックします。

印刷がはじまります。

排紙方法を設定して印刷する

排紙方法を[仕上げ]ページの[排紙方法]にある以下の項目から設定します。

- [指定しない]
  ページごとに指定された部数を印刷します。
  たとえば、1 ～ 3 ページまでを 3 部印刷すると、1、1、1、2、2、2、3、3、3 の順で印刷されます。
- [ソート]
  ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。
  たとえば、1 ～ 3 ページまでを 3 部印刷すると、1、2、3、1、2、3、1、2、3 の順で印刷されます。

1 [仕上げ]ページを表示し、[排紙方法]で排紙方法を選択します。

2 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

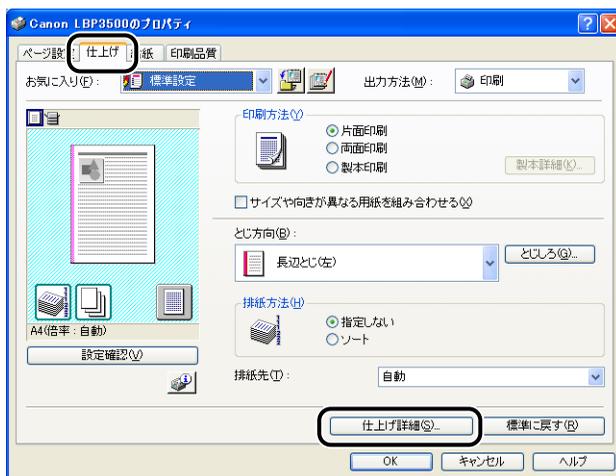
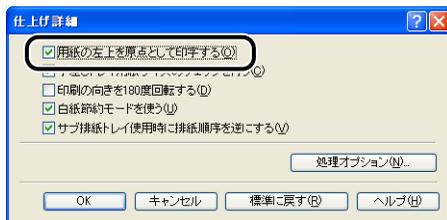
3 [OK]または[印刷]をクリックします。

印刷がはじまります。

用紙の左上を原点として印字する

通常、有効印字領域である用紙の左上 5mm（封筒は 10mm）を原点として印刷されるため、用紙いっぱいに印刷する原稿などは、一部の方向（右下など）が欠けて印刷されることがあります。このような場合に、用紙の左上余白 0mm を原点として印字し、上下左右とも均一に印刷するように設定します。

重要
- 印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、[用紙の左上を原点として印字する］の機能は無効となります。

1 [仕上げ］ページを表示し、[仕上げ詳細］をクリックします。

2 [用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付けます。

3 設定内容を確認し、[OK］をクリックします。

[仕上げ］ページに戻ります。

4 ［OK］をクリックします。

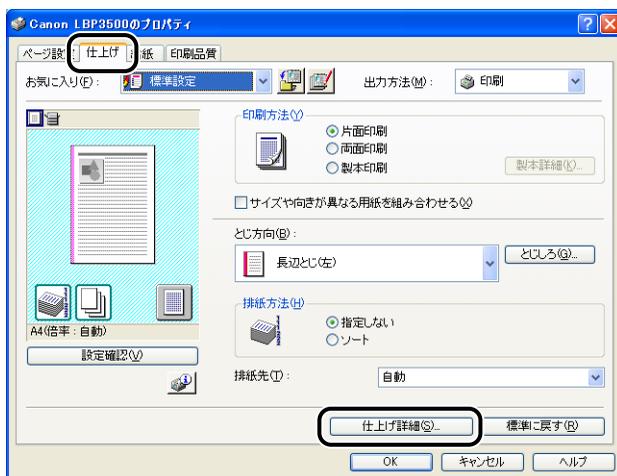
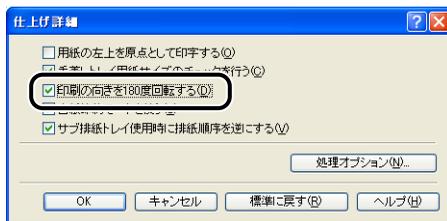
5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

印刷の向きを 180 度回転して印刷する

画像を 180 度回転させて用紙に印字します。

特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［仕上げ詳細］をクリックします。

2 ［印刷の向きを 180 度回転する］にチェックマークを付けます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［仕上げ］ページに戻ります。

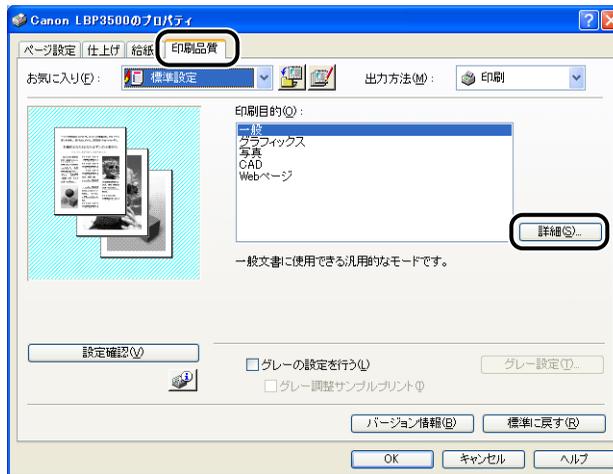
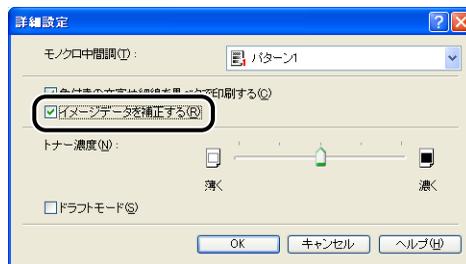
4 ［OK］をクリックします。

5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

粗い画像を補正してなめらかに印刷する

写真画像などのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷することができます。

1 ［印刷品質］ページを表示して、［詳細］をクリックします。

2 ［イメージデータを補正する］にチェックマークを付けます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［印刷品質］ページに戻ります。

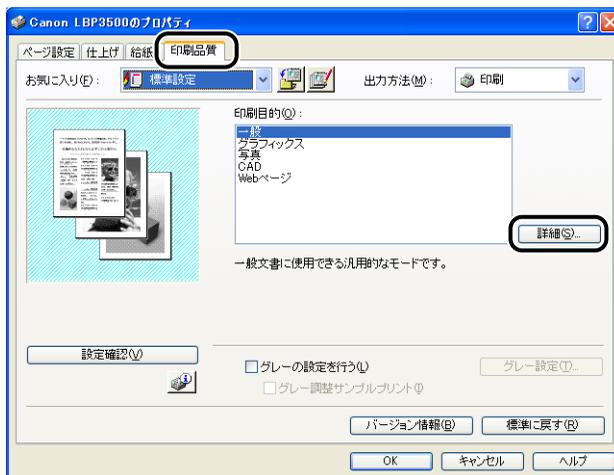
4 ［OK］をクリックします。

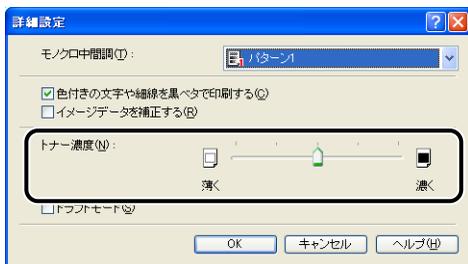
5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

トナー濃度を調節して印刷する

トナーの濃度を調節して印刷します。

1 ［印刷品質］ページを表示して、［詳細］をクリックします。

2 ［トナー濃度］のつまみを左右にドラッグして、トナー濃度を調節します。

右へ動かすと濃くなり、左へ動かすと薄くなります。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［印刷品質］ページに戻ります。

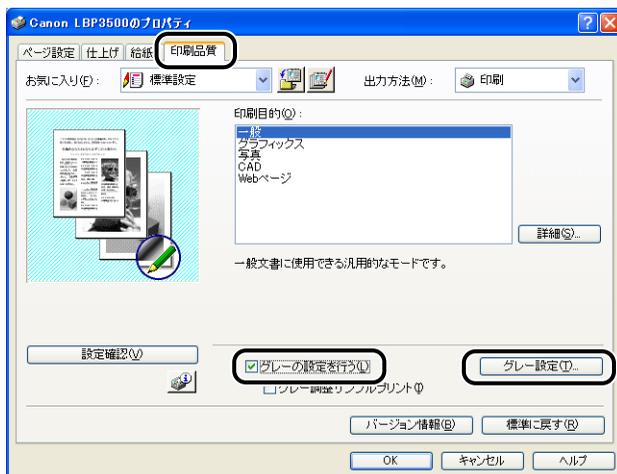
4 ［OK］をクリックします。

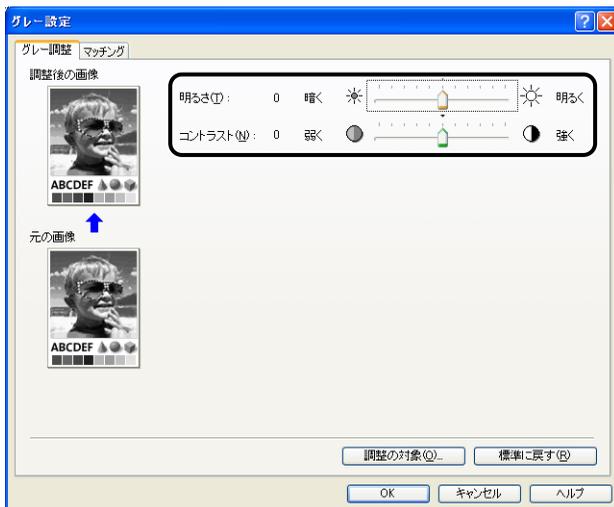
5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

明るさやコントラストの設定をする

明るさやコントラストを設定して印刷を行うことができます。

1 ［印刷品質］ページを表示し、［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け［グレー設定］をクリックします。

2 ［グレー調整］ページを表示し、印刷するときの明るさ、コントラストを調整します。

［明るさ］のつまみを右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。
［コントラスト］のつまみを右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

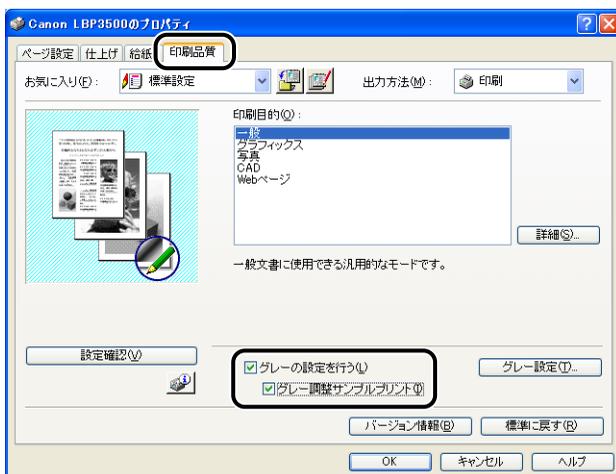
［印刷品質］ページに戻ります。

明るさとコントラストを調整した画像のサンプルを印刷することができます。詳しくは、「グレー調整サンプルを印刷する」（➞P.4-63）を参照してください。

グレー調整サンプルを印刷する

［グレー調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に［調整後の画像］が印刷され、［調整後の画像］の周りに［明るさ］と［コントラスト］をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。出力を調整するのに役立ちます。

1 ［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］が［自動］になっているか確認します。

2 ［印刷品質］ページを表示し、［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け、［グレー調整サンプルプリント］にチェックマークを付けます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

重要　グレー調整サンプルプリントをする場合は、［ページ設定］ページの［ページレイアウト］は必ず［1 ページ / 枚 (標準)］を選択してください。

4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

グレー調整サンプルが印刷されます。

重要　グレー調整サンプルプリントを終了したあとは、［グレー調整サンプルプリント］のチェックマークを消してください。

「お気に入り」を設定する

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の４つのページで設定した印刷条件を、まとめて保存／読み込みできます。また、設定を追加、編集、選択することができます。

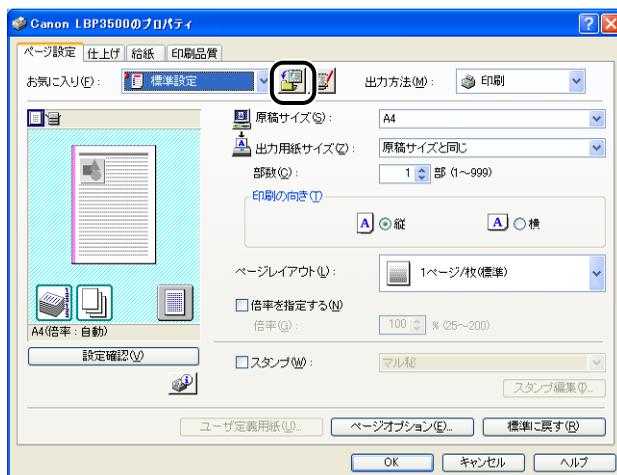
印刷条件を「お気に入り」として保存するときは、次の手順で行います。

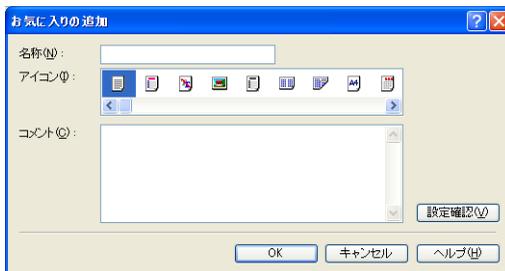
［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ
- 「お気に入り」はログインユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- プリンタの名称を変更すると、保存した「お気に入り」が読み込めなくなります。名称を元に戻すと読み込み可能になります。

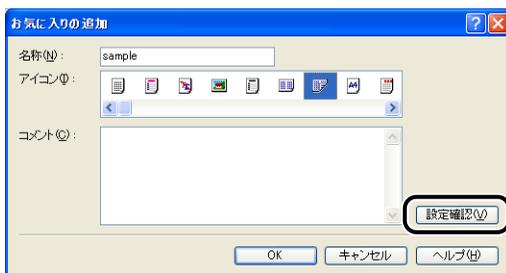
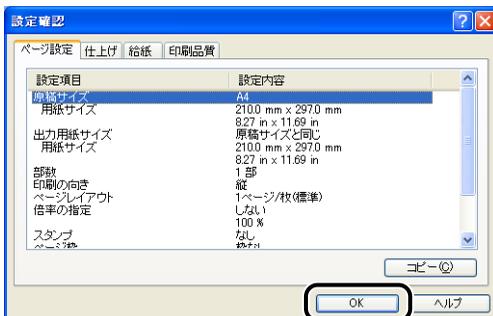
「お気に入り」の新規追加

1 ［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、および［印刷品質］の各ページで登録したい内容を設定します。

2 ［ ］（お気に入りの追加）をクリックします。

3 ［名称］に「お気に入り」の名前を入力します。

［アイコン］では、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、［コメント］に入力します。

メモ　［名称］には全角、半角にかかわらず 31 文字まで、［コメント］には全角、半角にかかわらず 255 文字まで入力できます。

● **設定内容の確認**

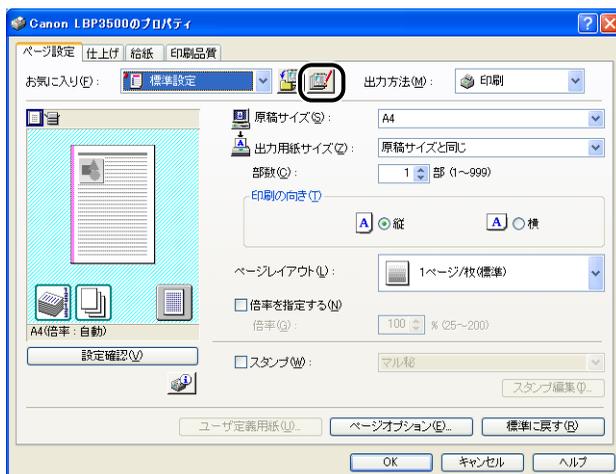
❏ ［設定確認］をクリックします。

❏ ［OK］をクリックすると、［お気に入りの追加］ダイアログボックスに戻ります。

4 [OK] をクリックします。

最初のページに戻ります。

設定したお気に入りの名称が、[お気に入り一覧] リストに追加されていることを確認します。

お気に入りの編集／削除

お気に入り情報の変更や保存、[お気に入り一覧] リストからの削除などができます。

1 [ ] (お気に入りの編集) をクリックします。

2 「お気に入り」の情報を編集します。

● 編集のしかた

- ❏ [名称]、[アイコン]、[コメント]の登録内容を変更できます。
- ❏ [ ]、[ ]をクリックすると、選択されている「お気に入り」を並べ替えることができます。
- ❏ [ファイル読み込み]をクリックすると、あらかじめ保存しておいたファイルから「お気に入り」の情報を読み込みます。
- ❏ [ファイル保存]をクリックすると、選択されている「お気に入り」の情報をファイルに保存します。ファイルに保存しておくと、いったんリストから削除した「お気に入り」をもう一度使うことができます。
- ❏ [アプリケーションの設定を優先させる]にチェックマークを付けると、アプリケーションソフトで設定した[原稿サイズ]、[印刷の向き]、[部数]の項目を優先して印刷します。「お気に入り」を変更しても前記の項目は、アプリケーションソフトの設定が有効になります。

● 削除のしかた

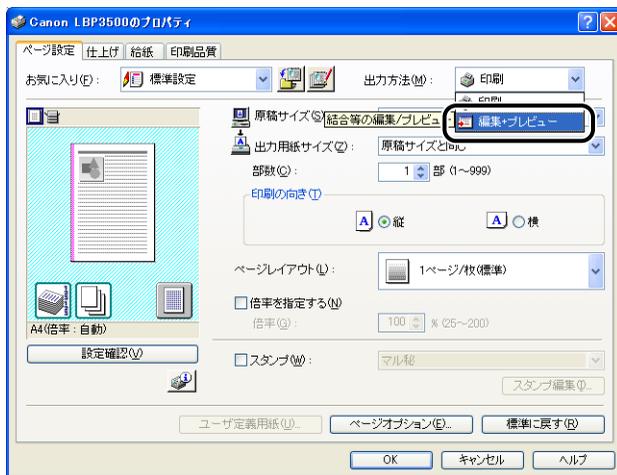
- ❏ [削除]をクリックすると、「お気に入り」がリストから削除されます。

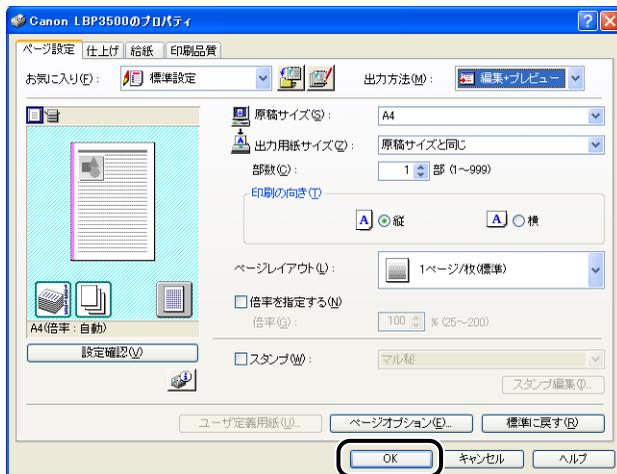
重要　削除できるのは独自に登録した「お気に入り」だけです。あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。また、各ページで選択中の「お気に入り」も削除することはできません。

ジョブを編集する

2つ以上のジョブを1つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションの印刷ジョブの編集も可能です。
また、ジョブのプレビュー表示もできます。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスで[ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質]のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

1 [出力方法] から [編集 + プレビュー] を選択します。

2 [編集 + プレビュー] モードのメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。

3 各ページで印刷条件の設定を行い、[OK] をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

お使いのアプリケーションによっては、［印刷］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示され、ジョブがリストに表示されます。

5 編集したいジョブを同様に手順 1 から 4 を繰り返します。

6 ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでリストにあるジョブの編集を行います。

メモ

- ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでの詳しい設定方法については、Canon PageComposer のヘルプをご覧ください。
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスで［編集 ＋ プレビュー］モードを選択し、［ ］（ロック）を設定している場合は、印刷時に必ず［Canon PageComposer］ダイアログボックスが起動します。

オンラインヘルプの使いかた

プリンタ ドライバやプリンタステータスウィンドウの使用方法や各機能の詳細については、次の方法でオンラインヘルプを表示して、オンラインヘルプに記載されている説明をご覧ください。

重要

Windows Vista の場合、オンラインヘルプを表示するには、Windows ヘルプアプリケーション(WinHlp32.exe)が必要です。Windowsヘルプアプリケーション(WinHlp32.exe)がインストールされていない場合は、Microsoft 社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
ダウンロード方法などについては、プリンタドライバやプリンタステータスウィンドウの［ヘルプ］をクリックし、［Windows ヘルプとサポート］ダイアログボックスを参照してください。

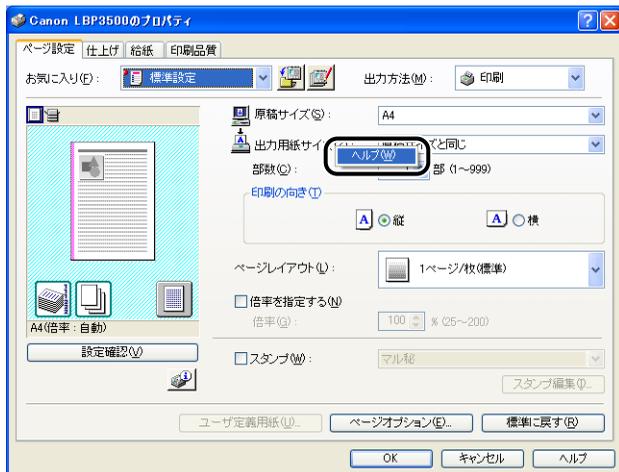
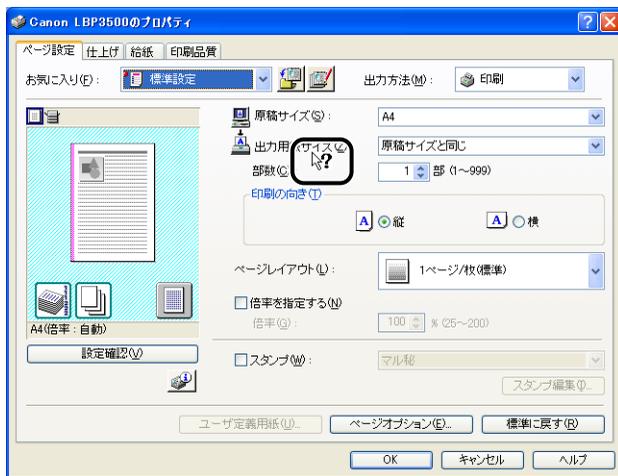
メモ

ここでは、Windows をお使いの場合のオンラインヘルプの使いかたを説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

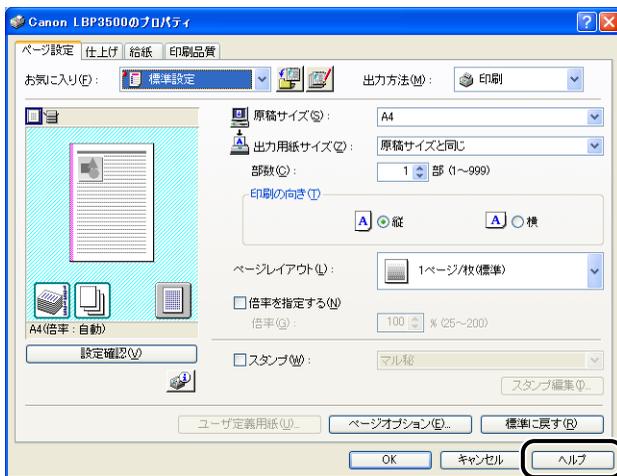
画面上の項目に対するオンラインヘルプを表示する

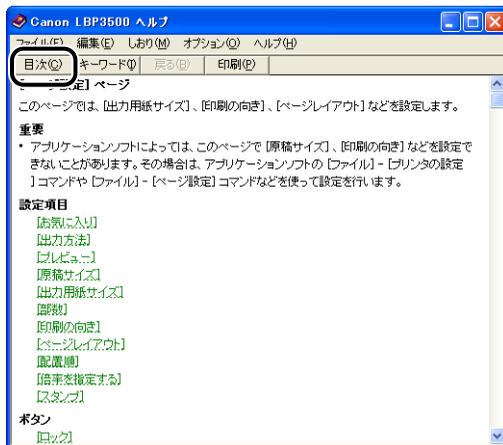
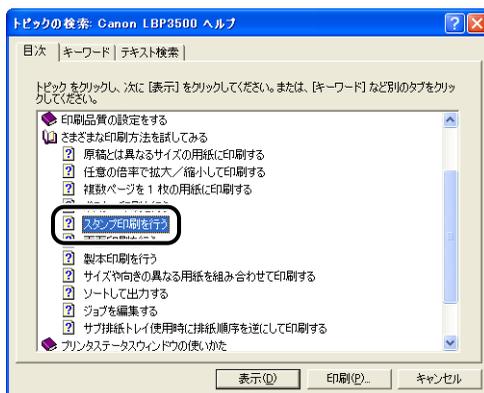
プリンタドライバやプリンタステータスウィンドウの画面上にある項目に対するオンラインヘルプを表示する方法は次の 3 種類あります。

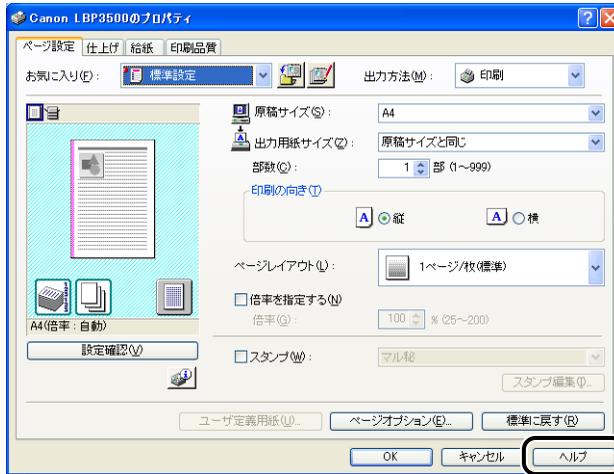
- オンラインヘルプを表示させたい項目を右クリックして、ポップアップメニューの［ヘルプ］をクリックします。

4 Windowsから印刷するには

- ［タイトルバー］の［?］（ヘルプ）をクリックし、［？］のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。（Windows Vistaの場合、この方法で表示することはできません。）

- コンピュータのキーボードの［TAB］キーを押して表示させたい項目を選択し、［F1］キーを押します。

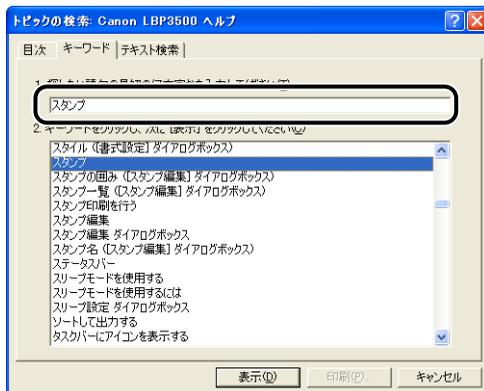
操作方法に対するオンラインヘルプを表示する

プリンタドライバやプリンタステータスウィンドウの操作方法に対するオンラインヘルプを表示する場合は、次の手順で行います。

1 **［ヘルプ］をクリックします。**

2 ［目次］をクリックします。

3 知りたい操作方法のタイトルをダブルクリックします。

キーワードで知りたい項目を検索して、オンラインヘルプを表示する

キーワードで知りたい項目を検索して、オンラインヘルプを表示する場合は、次の手順で行います。

1 [ヘルプ] をクリックします。

2 [キーワード] をクリックします。

3 キーワードを入力し、知りたい項目を表示します。

4 知りたい項目のタイトルをダブルクリックします。

メモ

お使いのOSによっては、自動的に作成された語句の一覧が［テキスト検索］に表示されます。表示された語句の一覧から知りたい項目に関連する語句を選択して、オンラインヘルプを表示することもできます。

取扱説明書について

ここでは、プリンタに付属の CD-ROM に収められている取扱説明書をお使いのコンピュータにインストールする方法とアンインストールする方法を説明します。

メモ　Macintosh をお使いの場合、取扱説明書のインストールやアンインストールはできません。

取扱説明書をインストールする

プリンタに付属のCD-ROMに収められている取扱説明書をお使いのコンピュータにインストールする場合は、以下の手順で行います。

1 付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

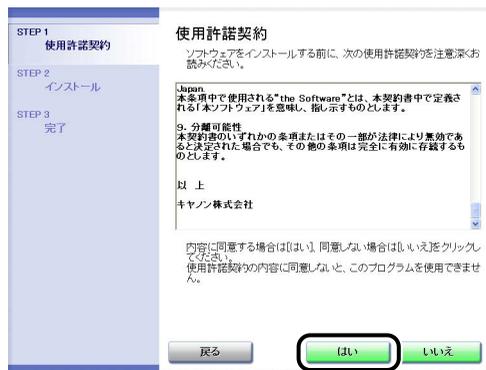
すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要
- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示された場合は、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ・Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［許可］をクリックします。

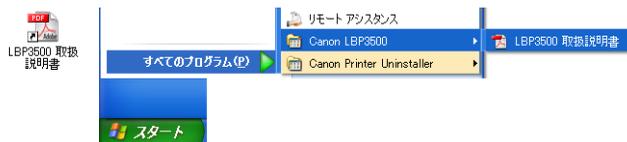
2 ［選んでインストール］をクリックします。

3 ［プリンタドライバ］のチェックマークを外してから［インストール］をクリックします。

4 内容を確認して、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

5 インストール完了の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

6 [終了]をクリックします。

取扱説明書のインストールが完了しました。
取扱説明書をご覧になる場合は、デスクトップに作成された[LBP3500 取扱説明書]をダブルクリックするか、[スタート]メニューの[すべてのプログラム](Windows 2000の場合は[プログラム])に追加された[Canon LBP3500]-[LBP3500 取扱説明書]を選択して、取扱説明書を表示させてください。

取扱説明書をアンインストールする

取扱説明書をアンインストールする方法は、お使いの OS によって異なります。お使いの OS に応じたアンインストール方法を参照してください。

- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合（→P.4-78）
- Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合（→P.4-79）

重要　取扱説明書が Administrators の権限でインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログオンしてからアンインストールしてください。

メモ　お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.8-19）を参照してください。

Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合

アンインストーラで CAPT ソフトウェアのアンインストールを行うことで、インストールした取扱説明書もアンインストールされます。CAPT ソフトウェアのアンインストールについては、「CAPT ソフトウェアのアンインストール」（→P.3-81）を参照してください。

CAPTソフトウェアのアンインストールをせずに取扱説明書のみをアンインストールする場合は、以下を削除してください。

- 「¥Program Files¥Canon¥LBP3500」
  - ・「Manuals」フォルダ
- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）の［Canon LBP3500］を右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択してください。
- デスクトップ
  - ・［LBP3500 取扱説明書］（［Index.pdf］のショートカット）

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［フォルダアクセスの拒否］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

Windows XP/Server 2003/Vista（64ビット版）の場合

プリンタドライバをアンインストールしても、取扱説明書はアンインストールされません。取扱説明書をアンインストールする場合は、次のファイルやフォルダを削除してください。

- 「¥Program Files (x86)¥Canon¥LBP3500」
  - ・「Manuals」フォルダ
- デスクトップ
  - ・［LBP3500 取扱説明書］（［Index.pdf］のショートカット）

プリンタドライバのアンインストールをせずに取扱説明書のみをアンインストールする場合は、次の操作も行ってください。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］の［Canon LBP3500］を右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択する

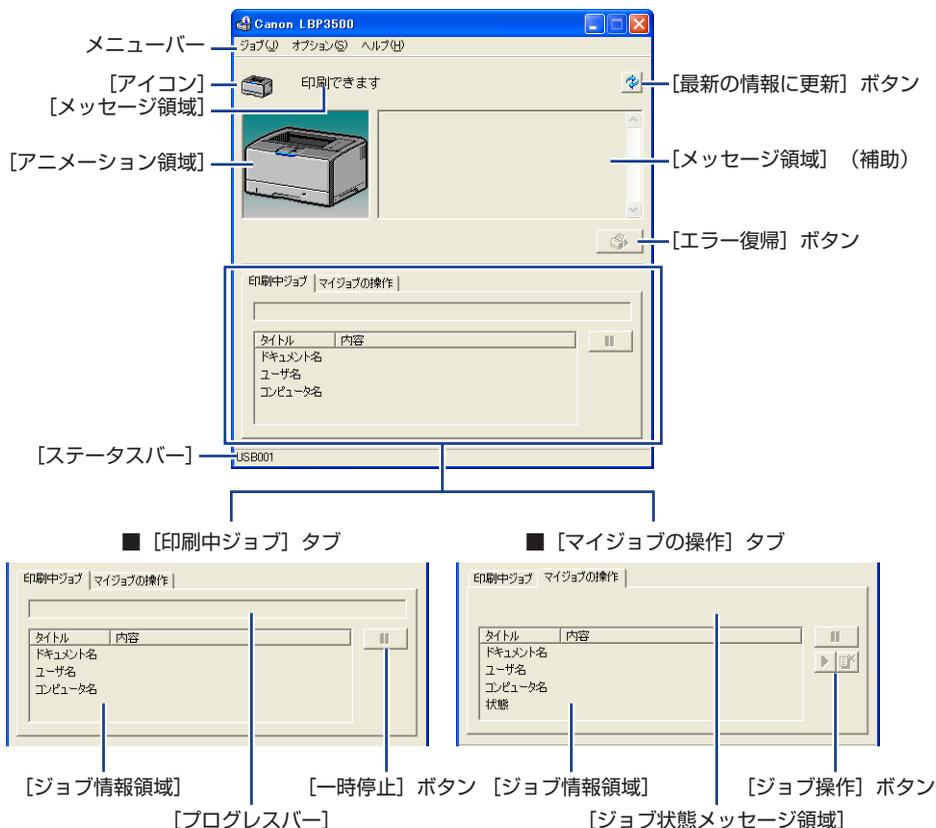
メモ　［フォルダアクセスの拒否］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

プリンタステータスウィンドウについて

プリンタステータスウィンドウは、LBP3500 プリンタのステータス（操作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

メモ　サウンドを使用するには、お使いのコンピュータに PCM 音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」（→P.4-70）を参照してください。

■ メニューバー

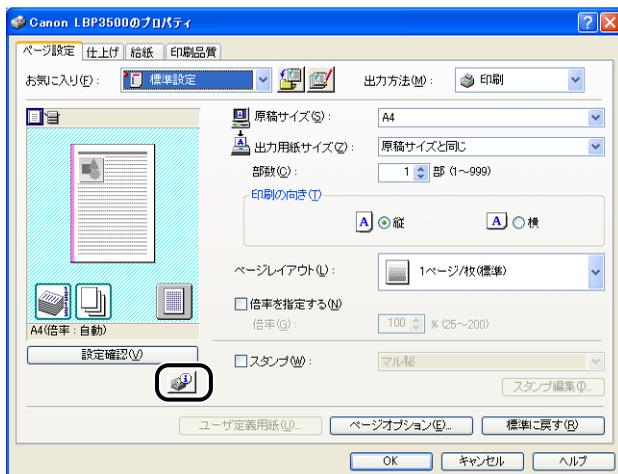
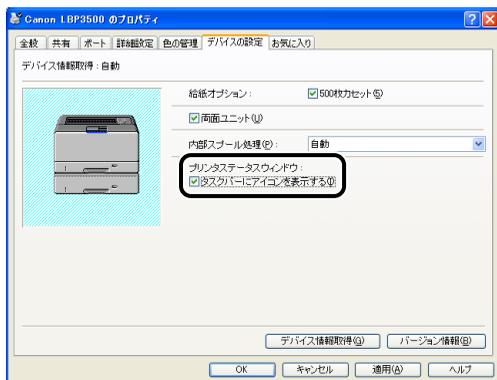
[ジョブ]メニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。また、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、[エラー復帰]を選択すると、ジョブを再開することができます。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
[オプション]メニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定やプリンタの定着ローラのクリーニングなどを行います。
[ヘルプ]メニュー	知りたい項目をキーワードを用いて検索したり、プリンタステータスウィンドウの[バージョン情報]を表示します。

■ その他の機能

[アイコン]	プリンタの状態を表示します。
[メッセージ領域]	プリンタの状態を短文で表示します。
[メッセージ領域](補助)	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
[アニメーション領域]	プリンタの状況をグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
[最新の情報に更新]ボタン	プリンタのステータスを取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
[エラー復帰]ボタン	印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。
[印刷中ジョブ]タブ	[プログレスバー]： 印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。 [一時停止]ボタン： ジョブを一時的に停止します。 [ジョブ情報領域]： ジョブに関する情報を表示します。
[マイジョブの操作]タブ	[ジョブ状態メッセージ領域]： ジョブの状態を表すメッセージが表示されます。 [ジョブ操作]ボタン： 印刷の一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。 [ジョブ情報領域]： ジョブに関する情報を表示します。
[ステータスバー]	プリンタの接続先を表示します。 メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の 2 通りあります。

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［ページ設定］ページなどにある［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして起動します。

- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［デバイスの設定］ページにある［タスクバーにアイコンを表示する］にチェックマークを付けます。Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックし、［Canon LBP3500］をクリックして起動します。

プリンタステータスウィンドウは、印刷中やエラー発生時などには自動的に表示されます。プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［環境設定］にある、［印刷開始時に表示］を選択していない場合は、印刷中には表示されません。（➞［環境設定］メニューについて：P.4-84）

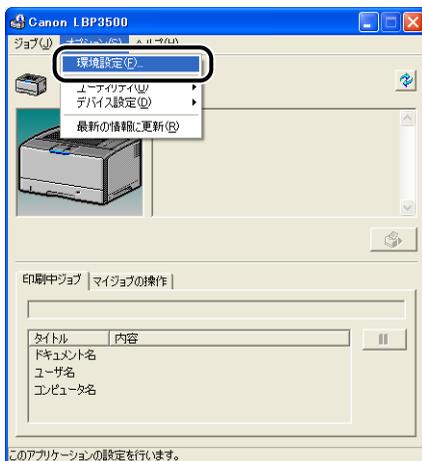
・印刷中

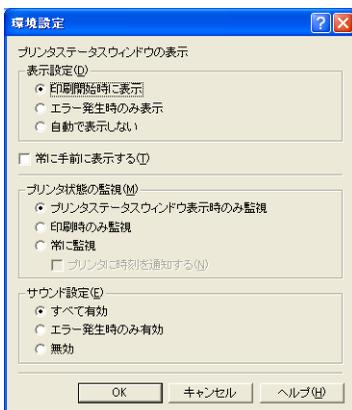
・エラー発生時

[環境設定] メニューについて

[環境設定] メニューでは、プリンタステータスウィンドウの自動表示、サウンドの設定、ステータスの監視などの設定ができます。

各設定の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプの表示方法は、「オンラインヘルプの使いかた」(→P.4-70) を参照してください。

1 [オプション] メニューから [環境設定] を選択します。

[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2 各設定を確認し、[OK] をクリックします。

[ユーティリティ] メニューについて

[ユーティリティ] メニューでは、プリンタの定着ローラのクリーニングやプリンタステータスプリントなどを行います。

■ **[クリーニング]**
印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合に、定着ローラを清掃します。清掃することで、印字不良の発生を防止します。詳しくは、「定着ローラを清掃する」(→P.5-15) を参照してください。

■ **[プリンタステータスプリント]**
プリンタのオプション設定や印刷した総ページ数などの現在のプリンタの情報が印刷されます。詳しくは、「プリンタの機能を確認したいときには(Windows のみ)」(→P.7-57) を参照してください。

■ **[ネットワークステータスプリント] (ネットワークボード装着時のみ)**
オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が印刷されます。詳しくは、ネットワークガイド/本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

■ **[印字位置調整プリント]**
[印字位置調整プリント] ダイアログボックスを表示します。[印字位置調整プリント] ダイアログボックスで印字位置を確認したい給紙部を選択し、印字位置調整プリントを印刷して、印字位置を確認します。詳しくは、「印字位置を調整する」(→P.5-18) を参照してください。

[デバイス設定] メニューについて

印字位置がずれているときの調整やスリープの設定など、プリンタに対する設定を行います。

■ **[印字位置調整]**
[オプション] メニューの [ユーティリティ] にある [印字位置調整プリント] で出力した印字位置調整プリントで印字位置を確認し、この項目で印字位置 (横位置) を調整します。詳しくは、「印字位置を調整する」(→P.5-18) を参照してください。

■ **[ジョブキャンセルキー設定]**
ジョブキャンセルキーを使用してキャンセルすることができるジョブを設定します。このダイアログボックスでの設定は、すべてのユーザのジョブに対して有効となります。

■［スリープ設定］

スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。コンピュータからデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が［移行時間］で設定した時間を経過したときに、スリープモードに移行します。スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモードを使用する場合は、［スリープモードを使用する］にチェックマークを付けて、スリープモードに移行するまでの時間を［移行時間］で設定します。詳しくは、「消費電力の節約（スリープモード）について」（→P.1-12）を参照してください。

■［カセット設定］

［給紙］ページの［給紙部］を［自動］に設定した場合（自動給紙選択時）に、どの給紙カセットを使用するかや、給紙カセットからユーザ定義用紙を印刷する場合、セットしたユーザ定義用紙の送り方向（置き方）を設定します。詳しくは、「給紙部の選択」（→P.2-14）、「ユーザ定義用紙をセットする場合」（→P.2-35）を参照してください。

■［ネットワーク設定］（ネットワークボード装着時のみ）

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能をもっているOS の場合、プリンタのネットワークの設定がされていないと、ネットワーク環境で使用するためのソフトウェアをインストールするときにプリンタを探索できないことがあります。そのような場合、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続して、プリンタドライバをインストールし、事前にこのダイアログボックスでネットワークの設定を行います。詳しくは、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

［最新の情報に更新］について

［オプション］メニューから［最新の情報に更新］を選択すると、プリンタの最新の情報を取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（最新の情報に更新）をクリックしても同様の操作ができます。

［エラー復帰］について

［ジョブ］メニューから［エラー復帰］を選択すると、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。ただし、［エラー復帰］を選択して、ジョブを再開した場合、正しく印刷されないことがあります。以下の場合は［エラー復帰］の機能は使用できません。

- 紙づまりが起こった、用紙がなくなったなどのプリンタ本体の問題で印刷が停止している場合
- 他のユーザのジョブが停止している場合（ただし、コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では［エラー復帰］の機能は使用可能）

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（エラー復帰）をクリックしても同様の操作ができます。

プリンタステータスウィンドウに、「ディスク容量が不足しています」というメッセージが表示されている場合は、不要なファイルを削除してから、[エラー復帰]を選択してください。

プリントサーバを使用しているときの表示

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけでなく、クライアントのプリンタステータスウィンドウにも表示されます。

プリントサーバが立ち上がっていない場合はクライアントのプリンタステータスウィンドウは表示されません。

• プリントサーバのプリンタステータス

・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

[印刷中ジョブ]タブ		[マイジョブの操作]タブ		ジョブの動作
[ジョブ情報領域]	[一時停止]ボタン	[ジョブ情報領域]	[ジョブ操作]ボタン	
先頭のジョブが表示される	有効 *1	先頭のジョブが表示される *2	有効	[一時停止]:すべてのジョブが一時停止する [再開]: すべてのジョブが再開する [印刷中止]:先頭のジョブが中止される

*1:[一時停止]ボタンをクリックすると、[マイジョブの操作]タブに移動します。

*2:プリントサーバとなるコンピュータ上で印刷した場合は、そのジョブが表示されます。

・サウンドを流します。

・プリントサーバに誰もログオンしていないとステータスは表示されません。(印刷は可能です。)

• クライアントのプリンタステータス

・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

[印刷中ジョブ]タブ		[マイジョブの操作]タブ		ジョブの動作
[ジョブ情報領域]	[一時停止]ボタン	[ジョブ情報領域]	[ジョブ操作]ボタン	
プリントサーバにある先頭のジョブが表示される	自分のジョブが[ジョブ情報領域]に表示されている場合:有効 * 他のユーザのジョブが[ジョブ情報領域]に表示されている場合:無効	自分のジョブの先頭のジョブが表示される	有効	[一時停止]:すべての自分のジョブが一時停止する [再開]: すべての自分のジョブが再開する [印刷中止]:自分の先頭のジョブが中止される

*: [一時停止]ボタンをクリックすると、[マイジョブの操作]タブに移動します。

・[エラー復帰]ボタンは他のユーザのジョブが停止している場合、使用できません。

・[プログレスバー]は他のユーザのジョブが印刷されている場合、グレー表示になります。

・ユーザが一致するクライアントのみ、サウンドを流します。

ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、次のいずれかのプロトコルが使用できる環境が必要です。

・TCP/IP

・NetBEUI

5

CHAPTER

日常のメンテナンス

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
トナーの残量が少なくなりました。	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
トナーカートリッジが寿命になった可能性があります。	トナーカートリッジが寿命になった可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします
トナーがなくなりました。	トナーカートリッジが寿命になったとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジに交換してください

重要　印字がかすれたり、印字むらが出るときは、メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP3500	Canon Cartridge 509（キヤノン　トナーカートリッジ　５０９）

メモ　本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」*に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・同梱されているトナーカートリッジの場合：約 6,000 ページ

・交換用のトナーカートリッジの場合
Canon Cartridge 509：約 12,000 ページ

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準

トナーカートリッジの交換

次の手順で新しいトナーカートリッジと交換してください。

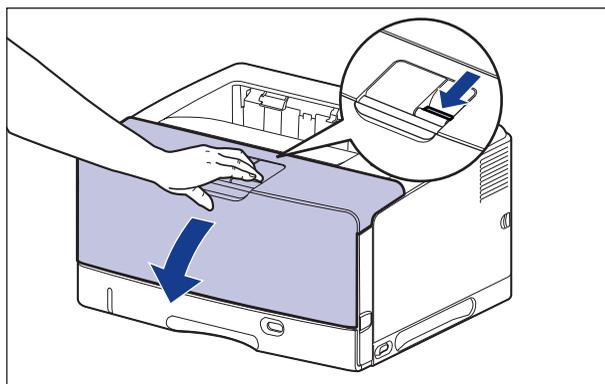
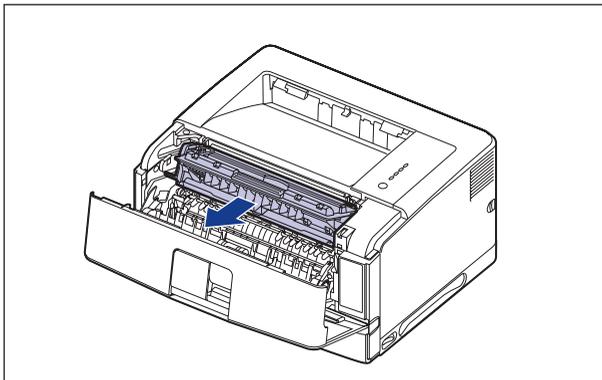
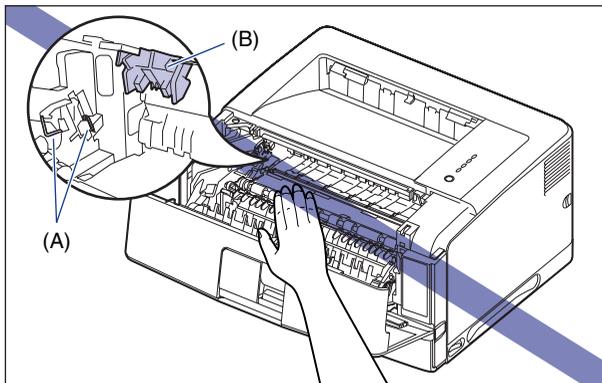
警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

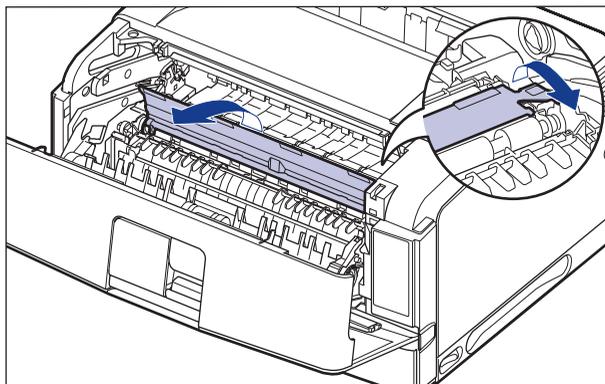
重要 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

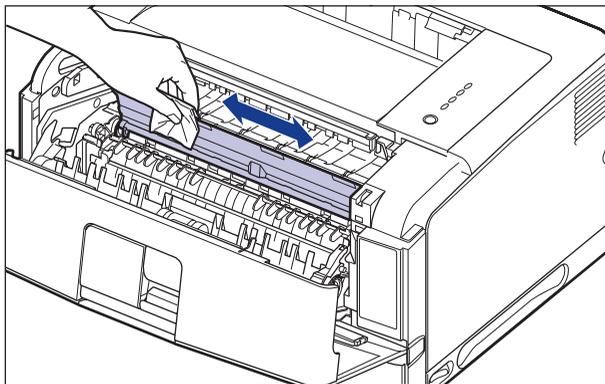
メモ
- トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」(➞P.5-12)を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

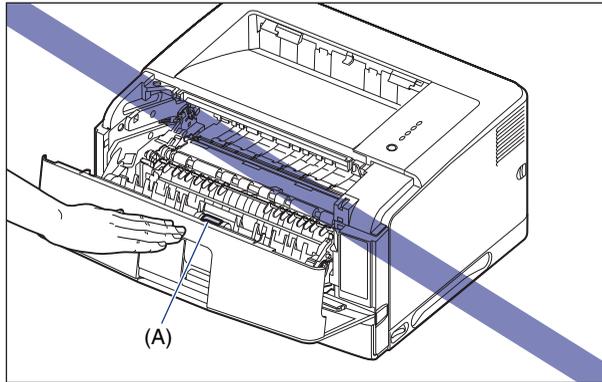
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要　図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

3 搬送ガイドを清掃します。

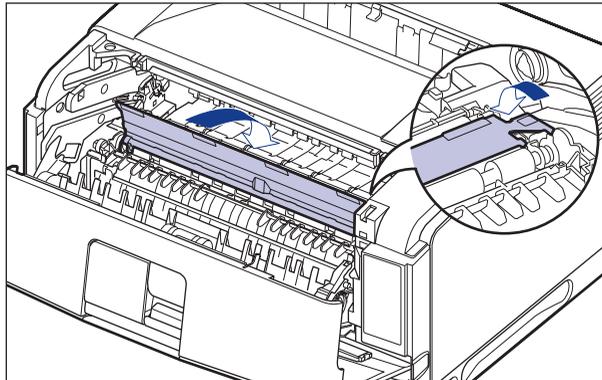
● 搬送ガイドを持ち上げます。

搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。

注意　搬送ガイドから手を離さないでください。搬送ガイドが勢いよく元の位置に戻り、けがの原因になることがあります。

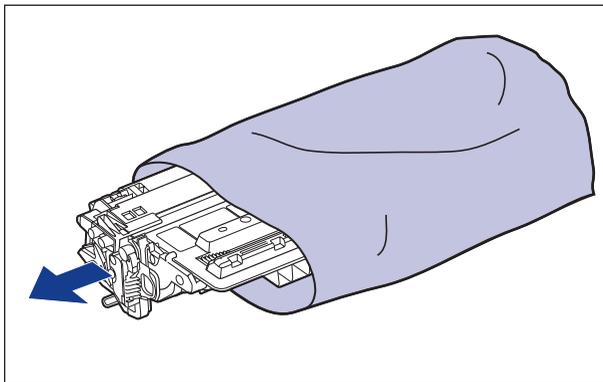
● 水を含ませて固く絞った布で、搬送ガイドに付いている紙粉やトナーをふき取ります。

ふき取ったら、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。

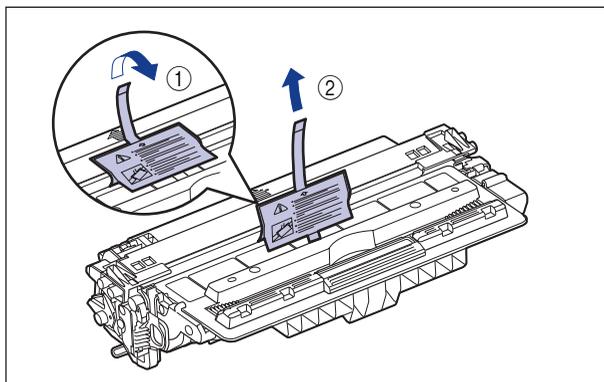
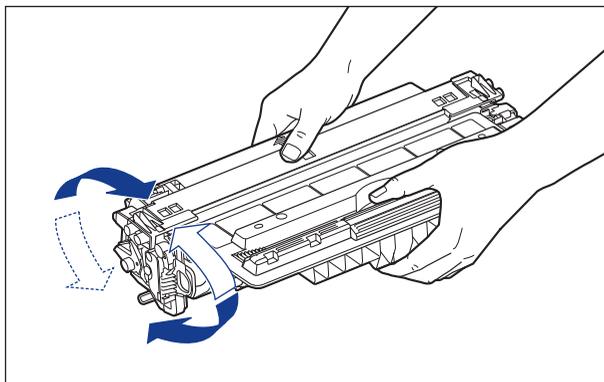
重要　• 中性洗剤などのクリーニング溶液は、 絶対に使用しないでください。

- 給紙ローラ（A）には、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。

- 搬送ガイドに水分や紙粉が残らないようにしてください。
- 必ず最後にからぶきしてください。内部に水分が残ると、故障の原因になります。

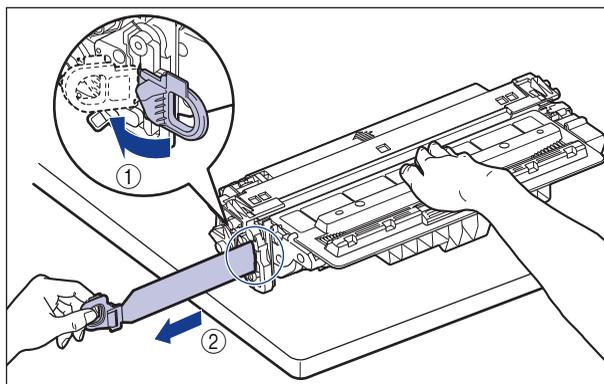
● 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。

⚠注意 元の位置に戻るまで搬送ガイドから手を離さないでください。搬送ガイドが勢いよく元の位置に戻り、けがの原因になることがあります。

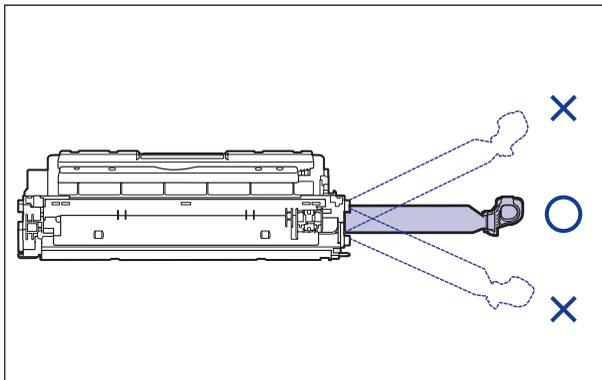
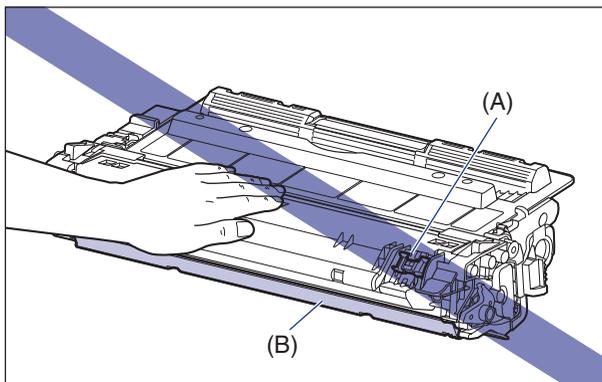
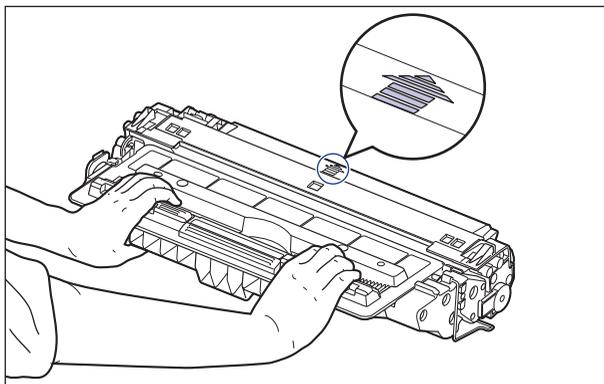
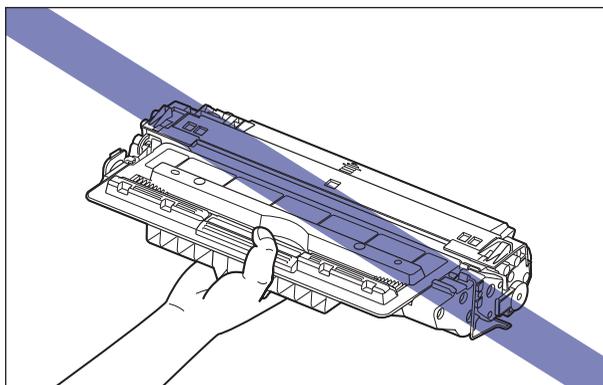
4 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

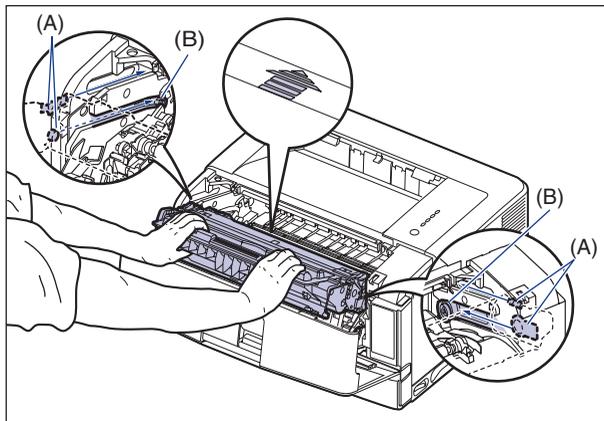
保護袋は左右に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。

重要 トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

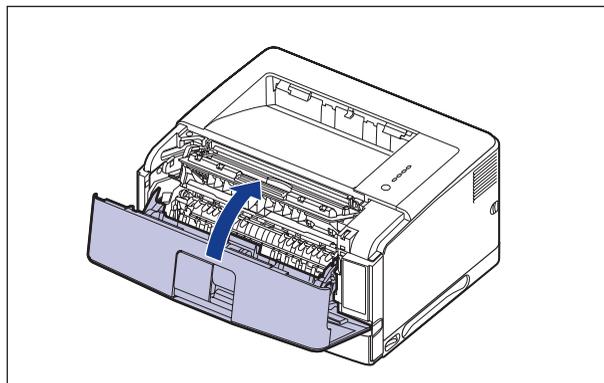
5 トナーカートリッジを押さえながらテープをゆっくりと引き上げてはがし ①、黒い保護シートごと取り外します ②。

6 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

7 トナーカートリッジを平らな場所に置き、図のようにタブを折り ①、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 72cm）をゆっくりと引き抜きます ②。

シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

注意　シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリ（A）に触れたり、ドラム保護シャッター（B）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

8 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

重要　指示された以外の持ち方をしないでください。

9 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

トナーカートリッジの（A）をトナーカートリッジガイド（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

10 前カバーを閉めます。

前カバーは確実に閉めます。

重要

- 前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意しております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**http://canon.jp/recycle**

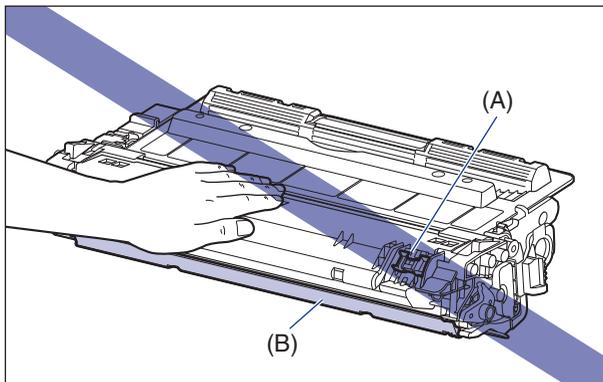
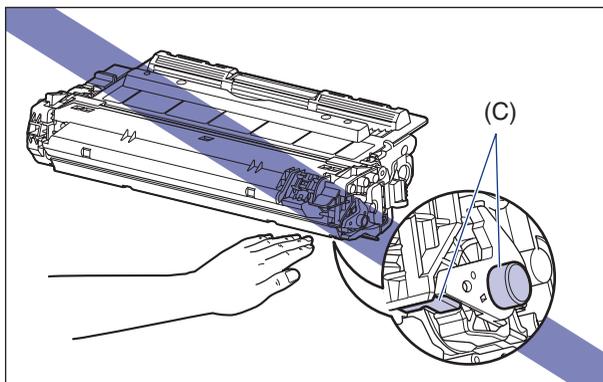
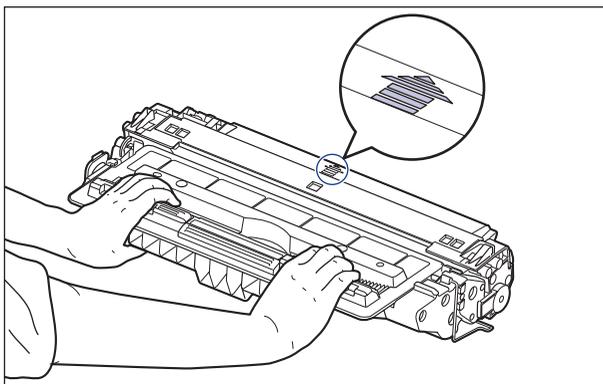
トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

⚠警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- プリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

- トナーカートリッジメモリ（A）に衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。また、内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッター（B）を開けないでください。

- 電気接点部（C）など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要
- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

メモ
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

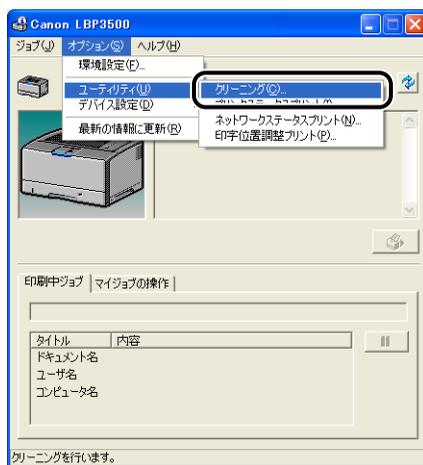
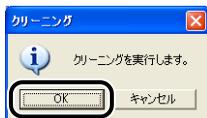
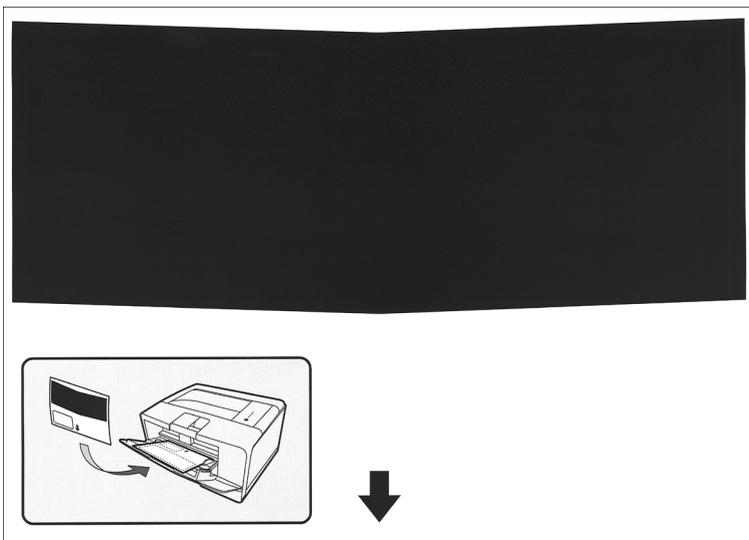
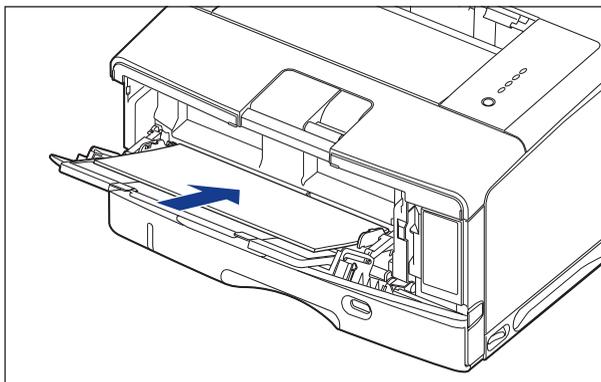
1 **手差しトレイまたは給紙カセットに、A4 サイズの白紙用紙をセットします。**

2 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-82）を参照してください。

3 **プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［クリーニング］を選択します。**

確認のメッセージが表示されます。

5
日常のメンテナンス

4 ［OK］をクリックします。

クリーニングページが印刷されます。

5 クリーニングページの印刷された面を下にして、手差しトレイにセットします。

用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ

- クリーニングの実行には、約 75 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。
- クリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行っても、印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、印刷したクリーニング用紙を使わずにA4 サイズの白紙を手差しトレイにセットして、クリーニングを再度行ってください。

印字位置を調整する

特定の給紙部からの印字位置がずれている場合にプリンタステータスウィンドウから印字位置を調整することができます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- 両面印刷時の２面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや［仕上げ］ページの［とじ方向］の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章便利な印刷機能」を参照してください。

印字位置の確認

印字位置調整プリントを印刷し、調整する位置を確認します。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

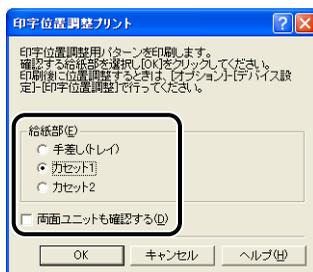
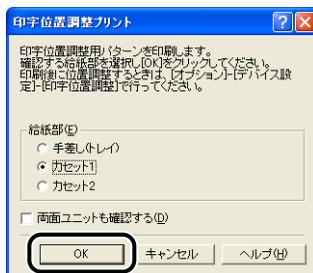
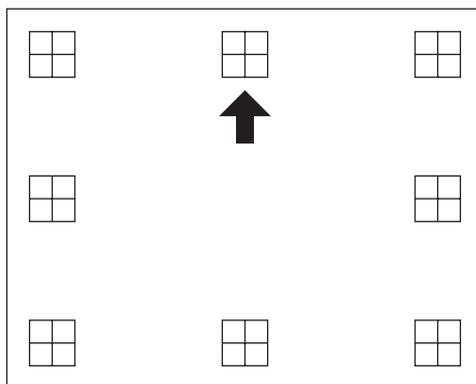
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-82） を参照してください。

2 **［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［印字位置調整プリント］を選択します。**

［印字位置調整プリント］ダイアログボックスが表示されます。

5 日常のメンテナンス

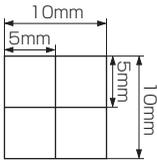
3 ［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで、印字位置を確認したい給紙部を選択します。

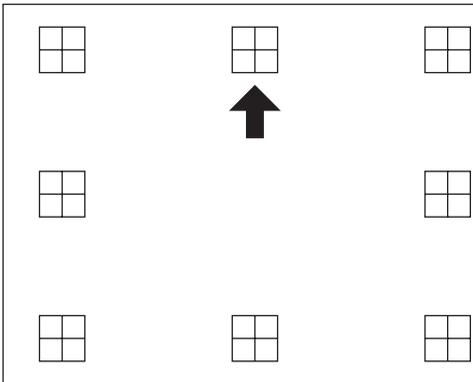
両面印刷時の印字位置を調整する場合は、［両面ユニットも確認する］にチェックマークを付けます。

4 ［OK］をクリックします。

以下のような印字位置調整プリントが印刷されます。印字された矢印の先端が、印字位置調整プリントの上端になります。

次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（→P.5-20）で、調整する位置を設定します。

5
日常のメンテナンス

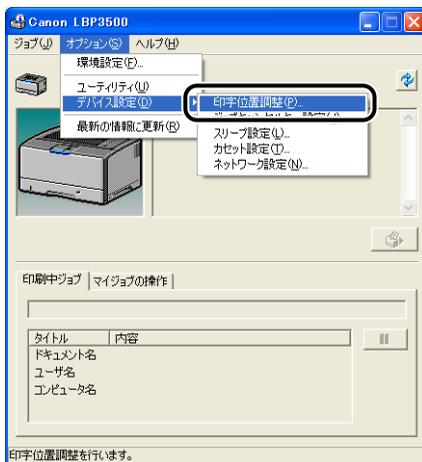
印字位置の調整

印字位置調整プリントの印刷結果を見て、調整する方向と位置を設定します。

印刷された用紙に印字された"⊞"は以下の数値で形成されています。

※用紙の端からそれぞれ5mm

ここでは例として、[印字位置調整プリント] ダイアログボックスの [給紙部] で [カセット 1] を選択し、以下の印字位置調整プリントが印刷された場合の設定を行います。
この場合、左方向に -2.59mm の印字位置の調整を行います。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(➞P.4-82)を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［印字位置調整］を選択します。

［印字位置調整］ダイアログボックスが表示されます。

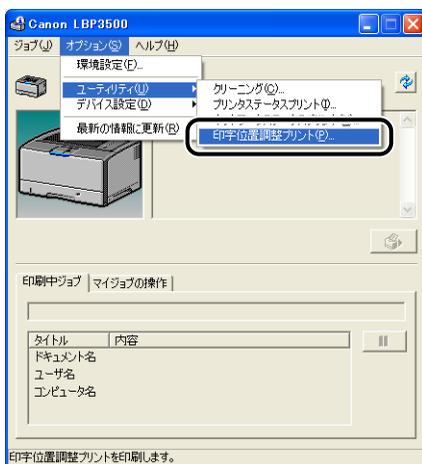
3 ［印字位置調整］ダイアログボックスで印字位置をリストから選択します。

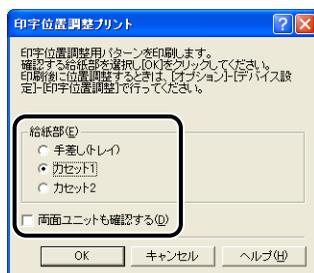
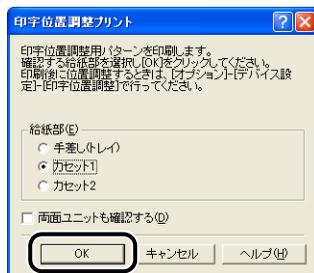
印字位置調整プリントの印刷結果を見て、調整する数値を選択します。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に選択した数値だけ移動します。

重要

初期設定値は、以下の数値に設定されています。
- 手差しトレイ：0.52mm
- カセット 1、2：0.69mm
- 両面ユニット：-0.52mm

4 ［OK］をクリックします。

5 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

［印字位置調整プリント］ダイアログボックスが表示されます。

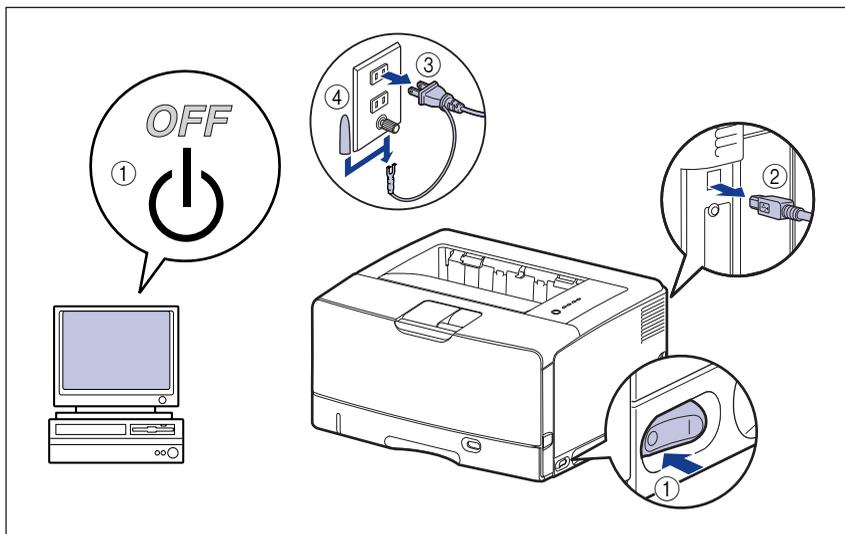
6 ［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで、印字位置を調整した給紙部を選択します。

7 ［OK］をクリックします。

設定変更された印字位置が印刷されます。印刷結果を見て、印字位置の確認をします。さらに印字位置の調整を行う場合は、手順 1 〜 7 を繰り返します。

プリンタの外部を清掃する

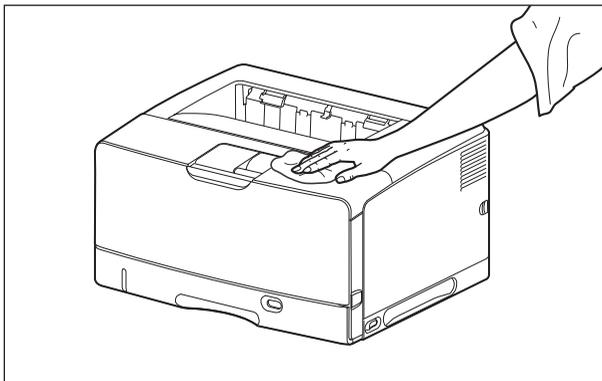
本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や通気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

重要 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

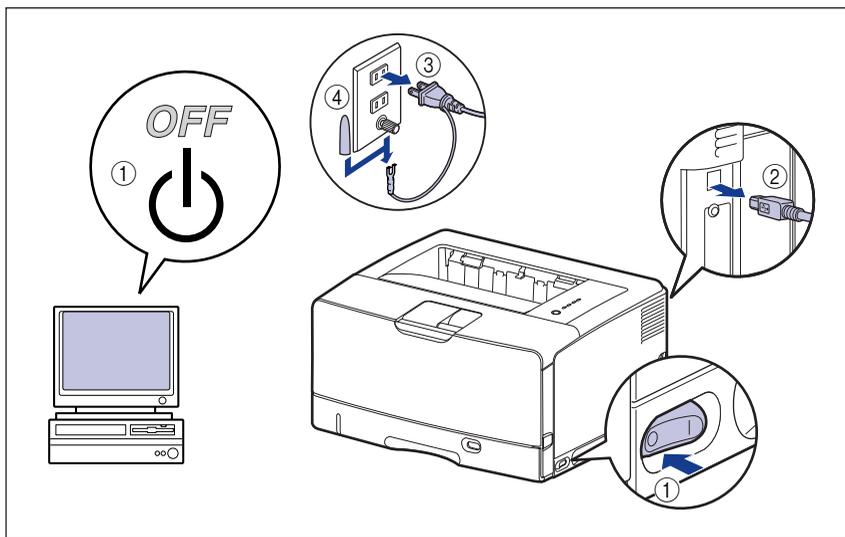
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続して、USB ケーブルを接続します。

プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の手順にしたがって移動させてください。

重要　必ず前カバーやサブ排紙トレイなどが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

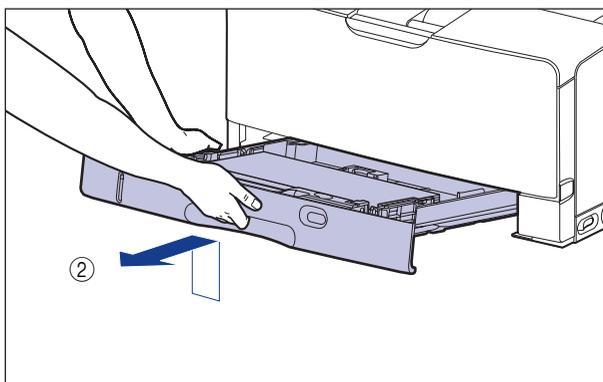
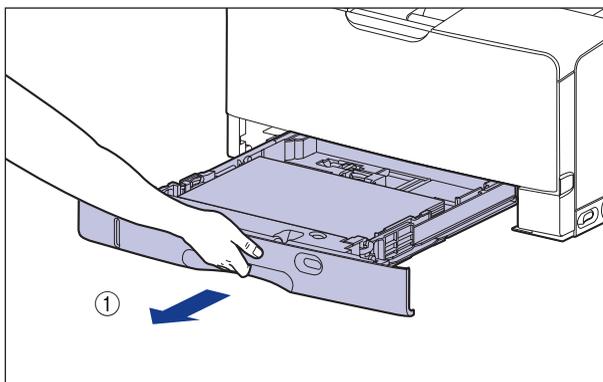
メモ　設置場所については、「設置時にお読みください」を参照してください。

1 **プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

警告　プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

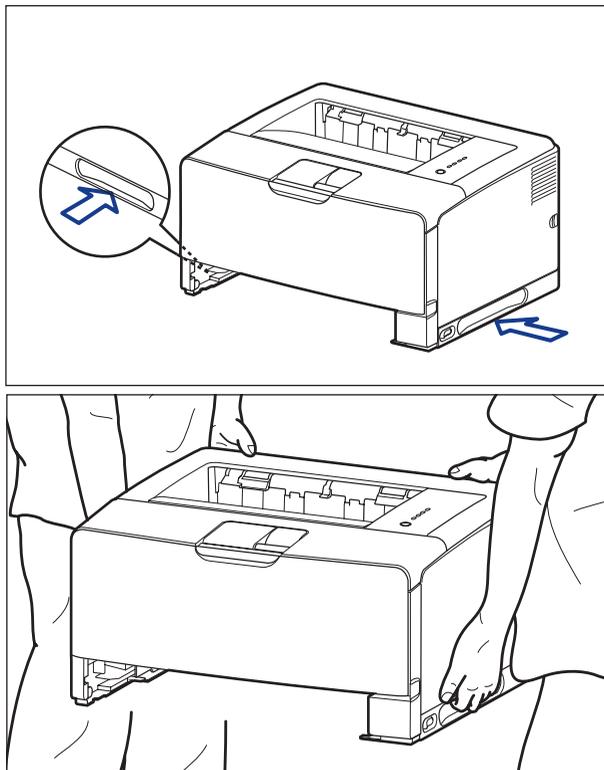
重要　電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

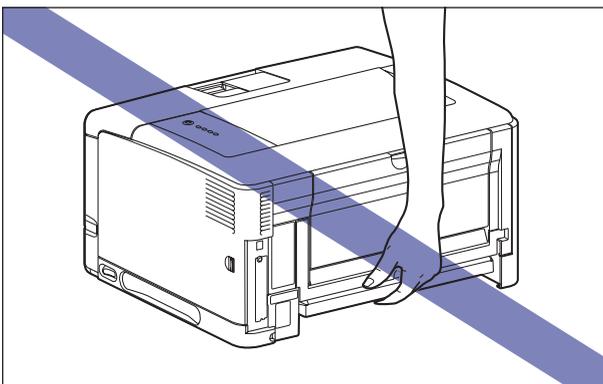
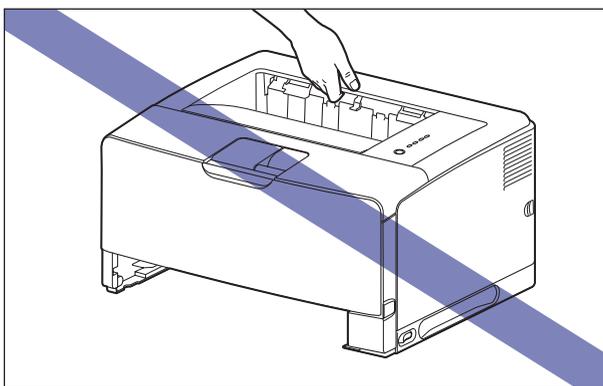
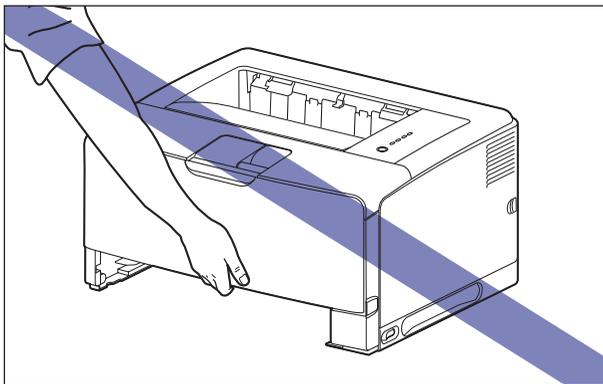
2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

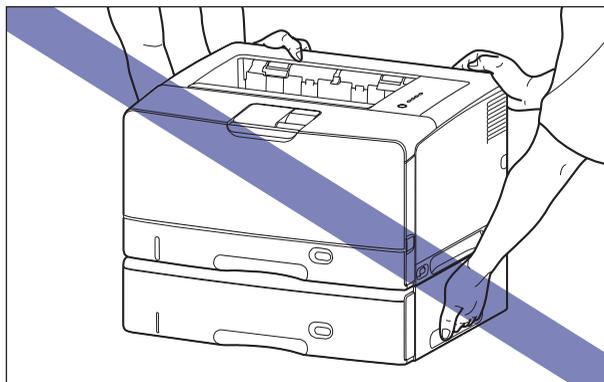
メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」(→P.6-30)を参照してください。

3 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し ①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手の中央部に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

⚠注意 • 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 19.4kg あります。必ず 2 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- 絶対に本体前面や背面など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、本体背面側（A）が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

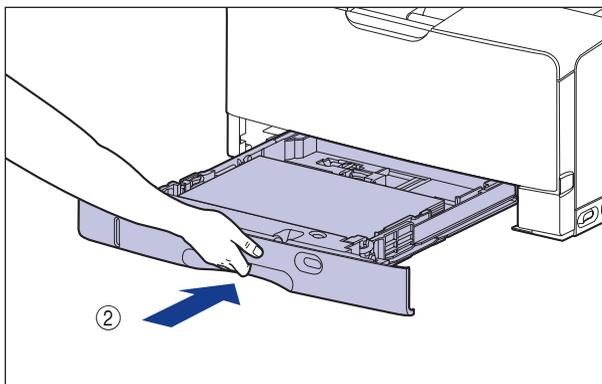
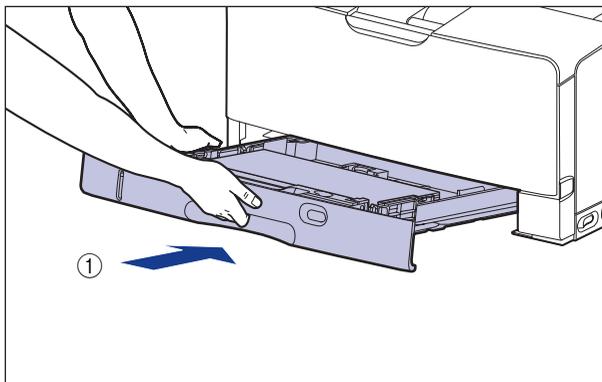
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

メモ　オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.6-4）を参照してください。

5 移動場所にゆっくりとおろします。

注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要　設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

6 給紙カセットを図のように斜めに差し込み ①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします ②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」（➞P.6-26）を参照してください。

7 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 USB ケーブルを接続します。

●プリンタを輸送するときは

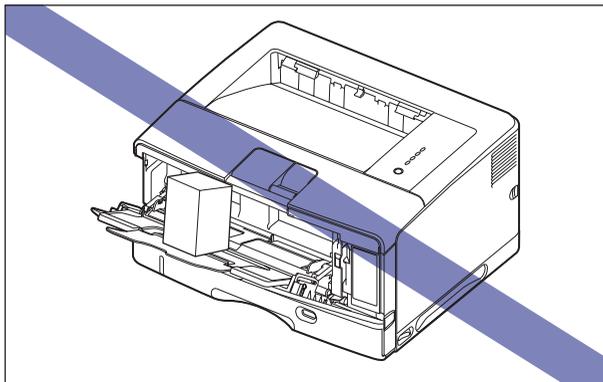
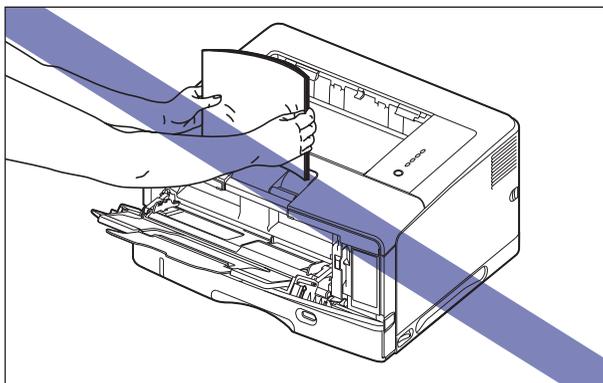
移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。

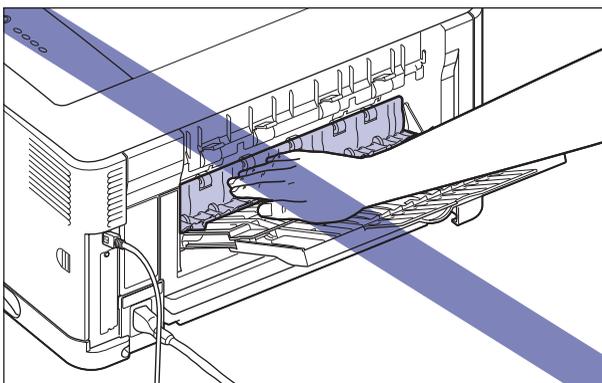
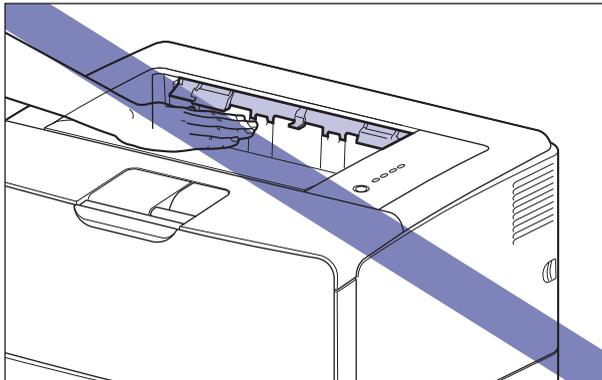
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要

- 本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（➞P.xiii）もお読みください。
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷の品質が低下する原因になります。
- 印刷中に振動を与えないでください。印刷の品質が低下することがあります。

- 印刷中は、絶対にプリンタのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 前カバーやサブ排紙トレイなどプリンタの各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。

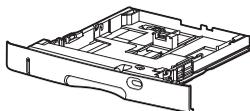
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。
- プリンタの使用中や使用直後は、排紙トレイ周辺やサブ排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、排紙トレイ周辺やサブ排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

オプション品について

この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

給紙カセット

オプション品の名称	差し替え位置	セットできる用紙サイズ	特長
250 枚 ユニバーサルカセット UC-67D	プリンタ本体の 標準カセット	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ定義用紙 ・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm* * 幅が 279.5 ～ 297.0mm の場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm ・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm	本プリンタに同梱されている標準カセットと同一品です。
500 枚 ユニバーサルカセット UC-67KD	オプションの ペーパーフィーダ の給紙カセット	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ定義用紙 ・縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm ・横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm	・A5 サイズの用紙がセット可能です。 ・幅 210.0mm ×長さ 210.0mm 以上のユーザ定義用紙がセット可能です。
500 枚 ユニバーサルカセット UC-67KG	オプションのペーパーフィーダの 給紙カセット	・定形サイズ A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ユーザ定義用紙 ・縦置きの場合：幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm ・横置きの場合：幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm	・ペーパーフィーダユニット PF-67G に同梱されているカセットと同一品です。 ・A5 サイズの用紙はセットできません。 ・幅 100.0mm ×長さ 182.0mm 以上のユーザ定義用紙がセット可能です。

250枚ユニバーサルカセット
UC-67D

500枚ユニバーサルカセット
UC-67KD

・A5サイズセット可能
・最小210.0mm x 210.0mm
のサイズに対応

500枚ユニバーサルカセット
UC-67KG

・A5サイズセット不可
・最小100.0mm x 182.0mm
のサイズに対応

メモ　給紙カセットは、必ず本プリンタに対応したものをご使用ください。

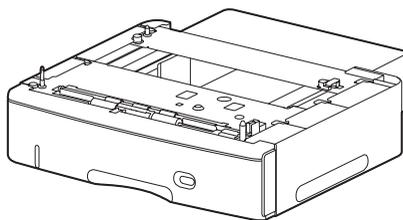
ペーパーフィーダ

本プリンタは、標準状態で給紙カセットと手差しトレイの合計 2 つの給紙元があります。

オプションのペーパーフィーダを装着すると、最大 3 つの給紙元を使用することが可能です。

ペーパーフィーダユニット PF-67G は、ペーパーフィーダと給紙カセット（UC-67KG）がセットになっています。

給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブサイズと以下のユーザ定義用紙を普通紙（64g/m2 の場合）で最大約 500 枚までセットできます。

- 縦置きの場合：幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm
- 横置きの場合：幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm

ペーパーフィーダユニットPF-67G

メモ

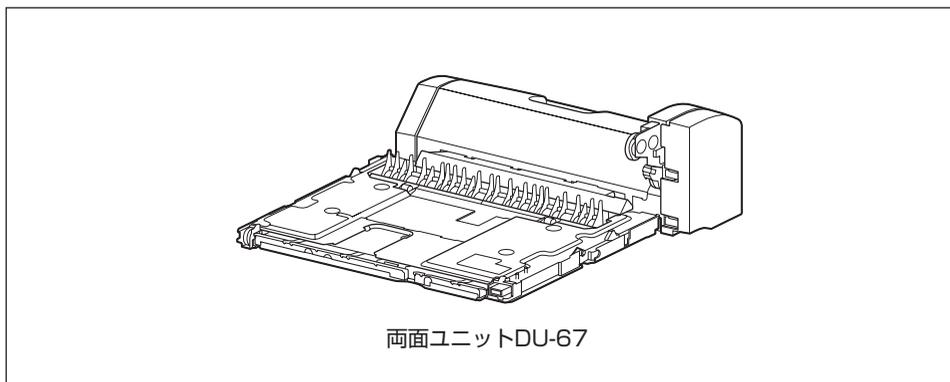
- ペーパーフィーダは、必ず本プリンタに対応したものをご使用ください。
- ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）にはA5サイズはセットできません。オプションの500枚ユニバーサルカセットUC-67KDを装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）。
- ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.6-7）を参照してください。

両面ユニット

両面ユニットDU-67は、自動両面印刷を可能にするためのユニットです。両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けます。定形サイズ（A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ）と以下のユーザ定義サイズの普通紙（60～90g/m^2）に自動両面印刷することができます。

- 縦置きの場合：幅210.0～297.0mm、長さ210.0～431.8mm
- 横置きの場合：幅210.0～297.0mm、長さ148.0～297.0mm

両面ユニットDU-67

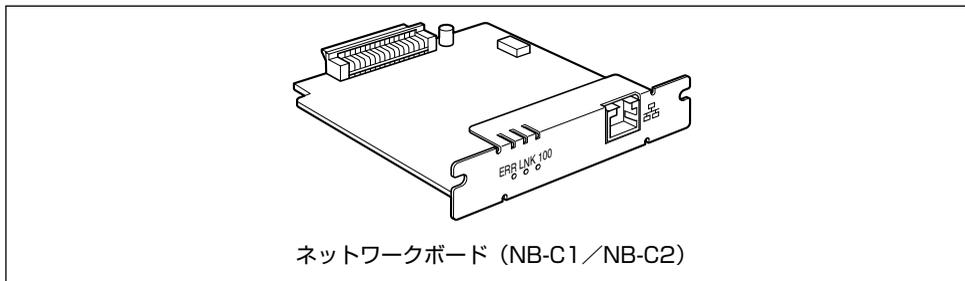
重要

厚紙、OHPフィルム、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4面はがき、封筒には、自動両面印刷できません。

メモ

- 両面ユニットは、LBP3950/3900/3500専用です。他の機種用の両面ユニットは使用できません。
- 両面ユニットの取り付けかたについては、「両面ユニット」（➞P.6-24）を参照してください。

ネットワークボード

ネットワークボードは、本プリンタをLANに接続するためのTCP/IPプロトコルに対応したプリンタ内蔵型ネットワークボードです。ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、コンピュータ上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」も利用することができます。

ネットワークボード（NB-C1／NB-C2）

メモ

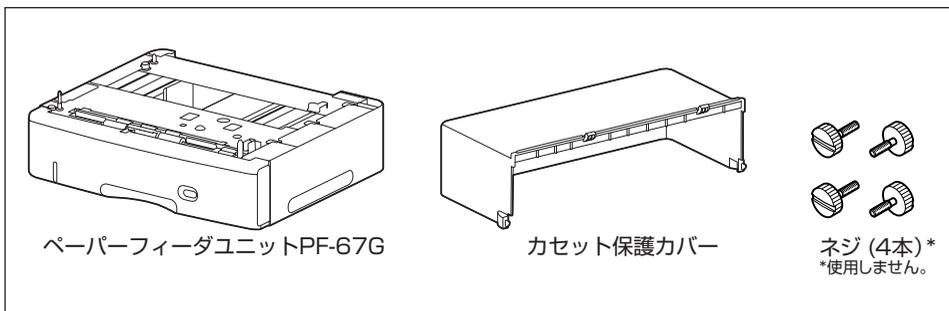
- 「リモート UI」の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- 「NetSpot Device Installer」の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード」（➞P.6-33）を参照してください。
- Macintoshをお使いの場合、Mac OS X 10.4.9以降のみネットワーク接続に対応しています。

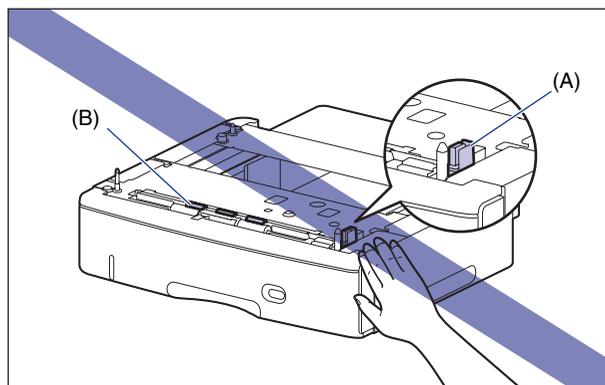
6

オプション品について

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

警告 ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

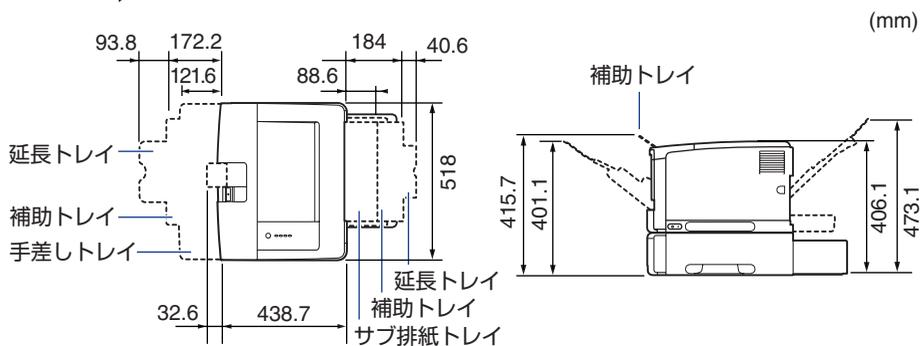
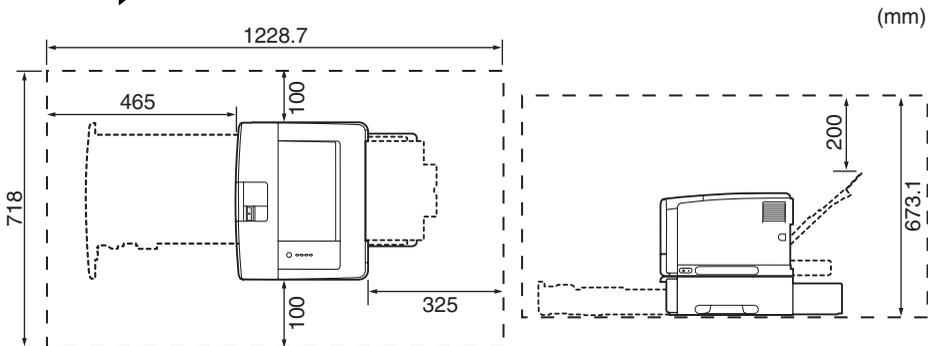
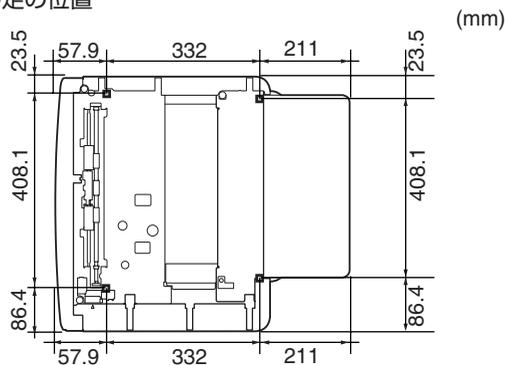
重要 ペーパーフィーダのコネクタ（A）や給紙ローラ（B）には触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

メモ

- ペーパーフィーダの用紙のセット方法は、第 2 章「給紙／排紙のしかた」を参照してください。
- ペーパーフィーダに付属の給紙カセット（UC-67KG）に A5 サイズはセットできません。オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD を装着することで、セット可能です（自動両面印刷も可能）。

6
オプション品について

設置スペース

本プリンタにペーパーフィーダを装着して使用する場合の各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

●プリンタの寸法

●周囲に必要なスペース

●ペーパーフィーダの足の位置

ゴム足の高さは1mm、先端は12mm×12mmの正方形です。

プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

---

1 **プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

重要 電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」(➞P.6-30)を参照してください。

6

オプション品について

3 給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し ①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手の中央部に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

⚠注意 • 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 19.4kg あります。必ず 2 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- 絶対に本体前面や背面など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、本体背面側（A）が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要　必ず前カバーやサブ排紙トレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

6
オプション品について

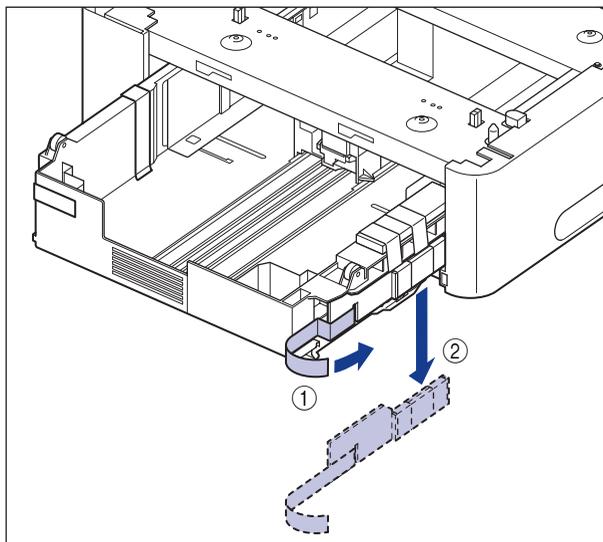
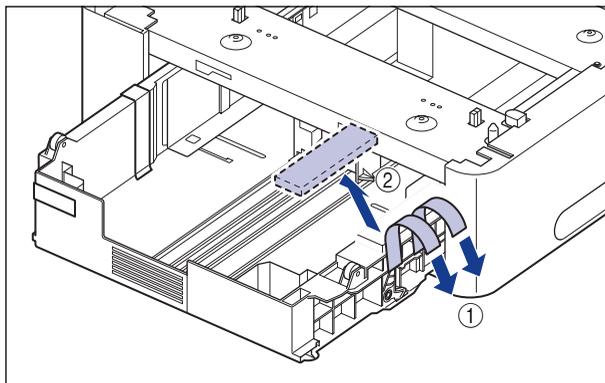
梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

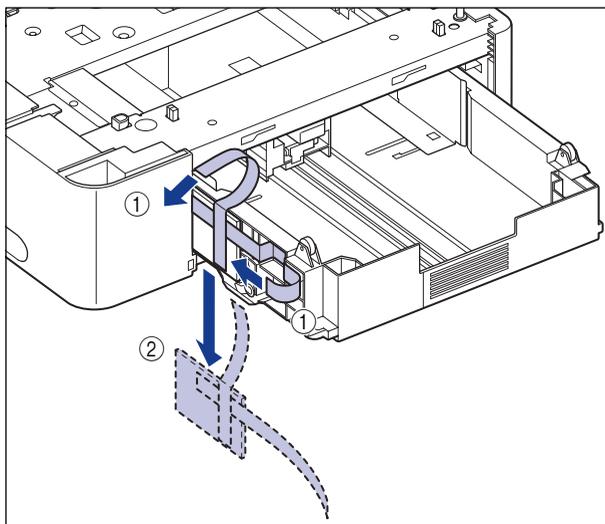
注意
- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

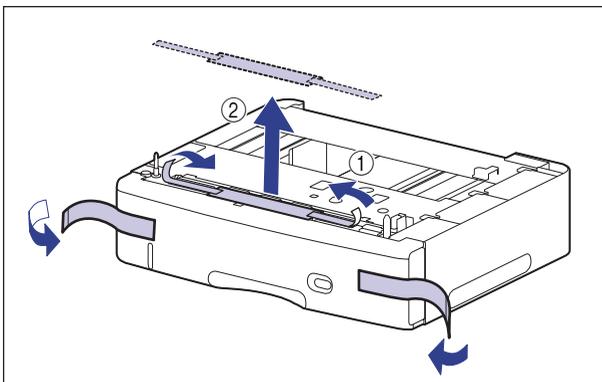
メモ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

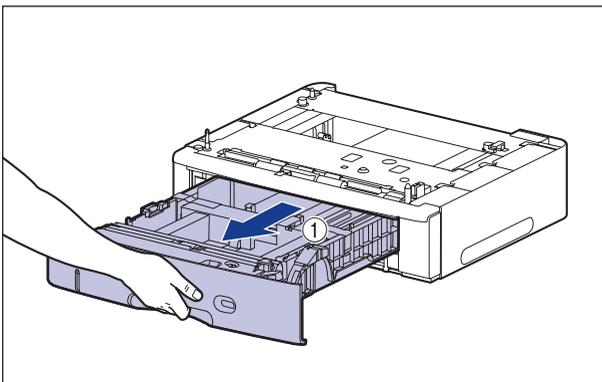
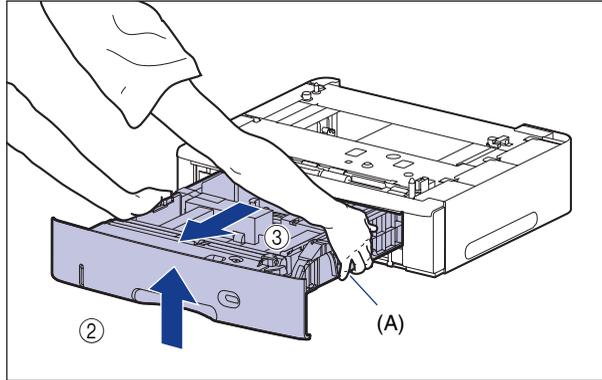
1 **ペーパーフィーダの給紙カセットに貼られている梱包材を取り外します。**

図のようにテープを取り外し ①、テープ付き梱包材を取り外します ②。

図のように２本のテープを取り外し ①、梱包材を取り外します ②。

図のように２本のテープを取り外して ①、テープ付き梱包材を取り外します ②。

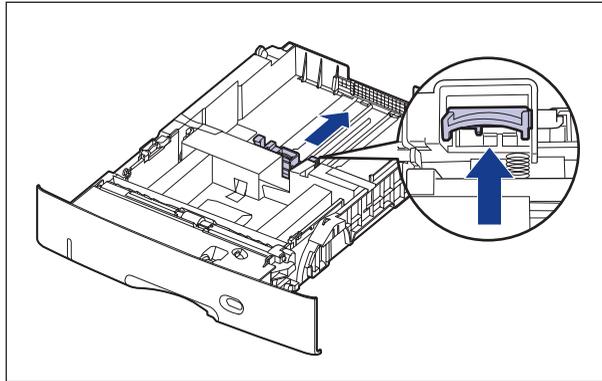
6

オプション品について

2 給紙カセットを止めているテープを取り外します。

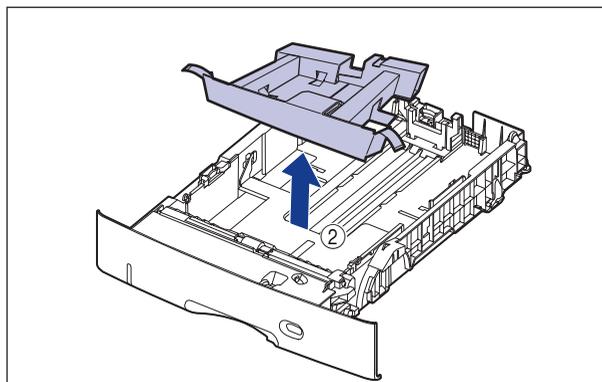
テープ付き梱包材は、2 本のテープを取り外して ①、梱包材と一緒に取り外します ②。

3 ペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、完全に引き出します ③。

重要

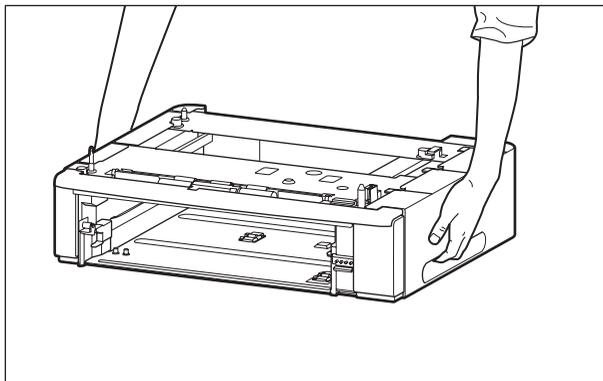
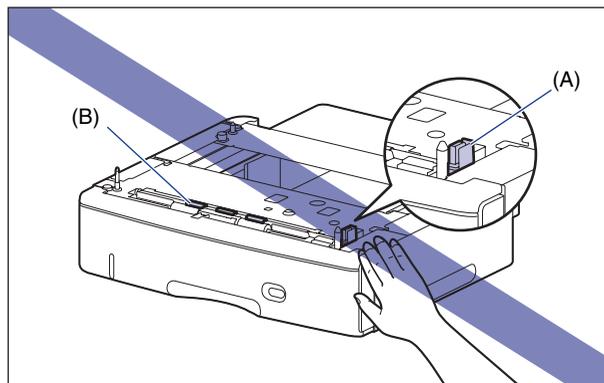
- 給紙カセットは重いので両手でしっかり持ってください。
- 取り出した給紙カセットは、水平で安定した場所に置いてください。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

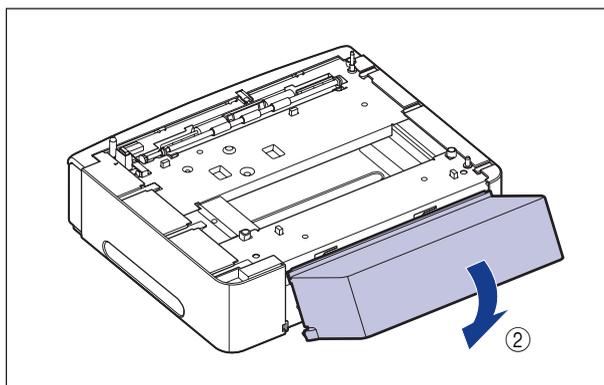
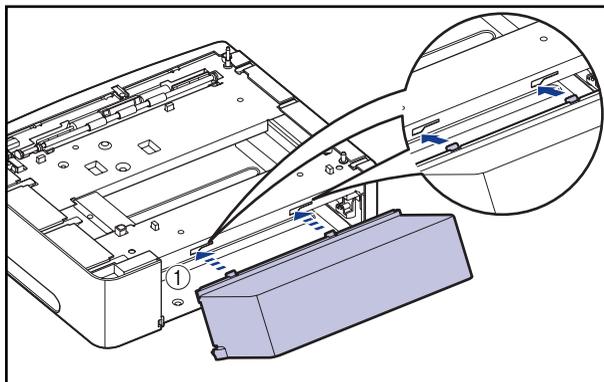
4 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

5 テープと梱包材を取り外します。

図の位置にあるテープを取り外します ①。

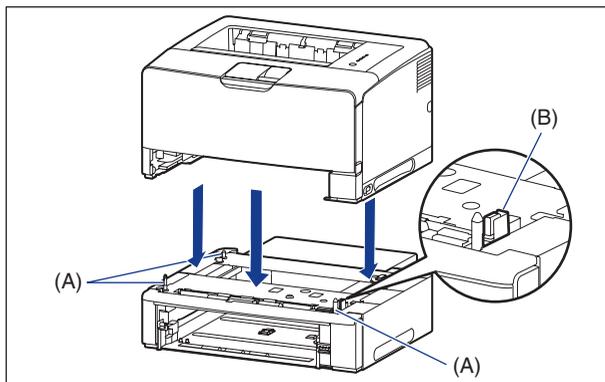
テープ付き梱包材を取り外します ②。

6 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手の中央部を持って運んでください。

重要

- ペーパーフィーダのコネクタ（A）や給紙ローラ（B）には触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

7 カセット保護カバーを取り付けます。

重要　カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

8 プリンタ本体をペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタ本体を載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。

重要 プリンタ本体がペーパーフィーダにうまく載らないときは、一度プリンタを持ち上げて、水平にしてから載せなおしてください。プリンタを持ち上げずに無理に載せようとすると、ペーパーフィーダのコネクタや位置決めピンが破損することがあります。

9 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」（➞P.6-26）を参照してください。

10 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

重要 ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。

メモ ペーパーフィーダを装着した後は、オプション機器の設定が必要になります。オプション機器の設定は、プリンタドライバで以下の操作を行うことで自動的に行うことができます。

・Windows の場合：
［デバイス設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックします。

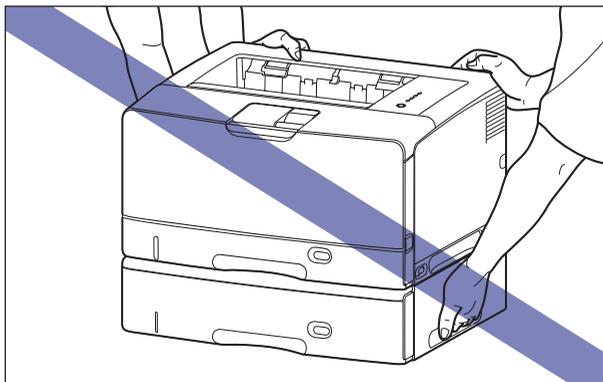
・Mac OS 9 の場合：
［基本設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。

・Mac OS X の場合：
［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

警告 ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要 プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」（➞P.6-30）を参照してください。

3 プリンタ本体、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。

4 カセット保護カバーを取り外します。

5 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

6 ペーパーフィーダを移動します。

7 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

8 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

メモ

オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」(➞P.6-26)を参照してください。

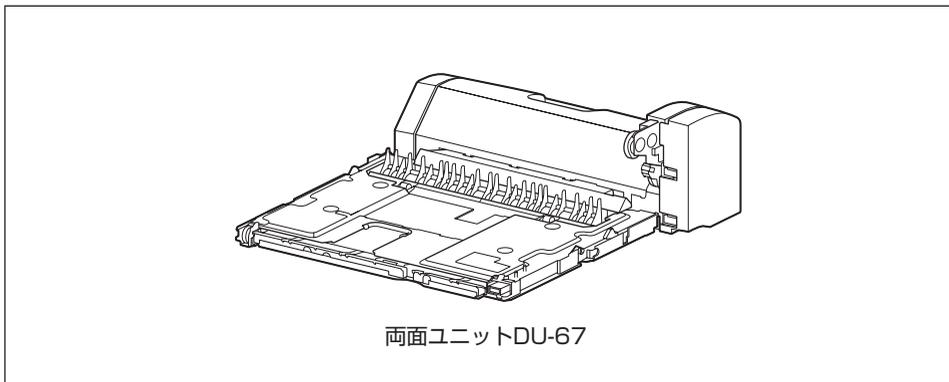
9 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

11 USB ケーブルを接続します。

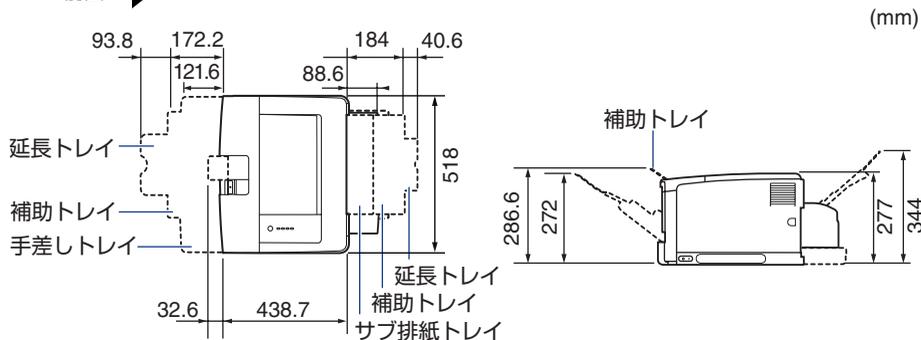
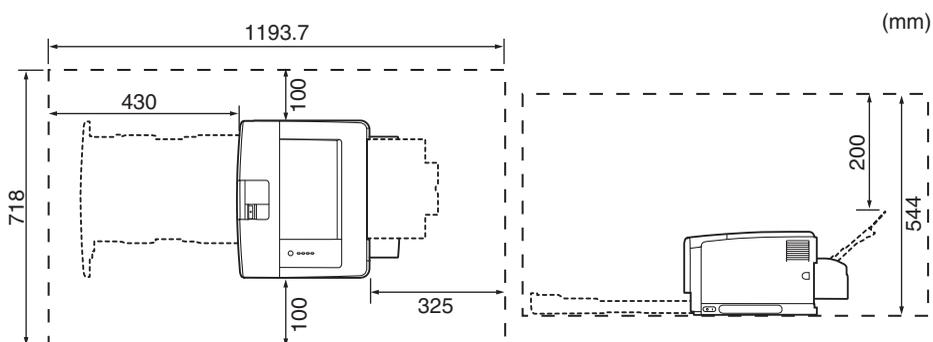
両面ユニット

両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けて使用します。

両面ユニットDU-67

⚠警告　両面ユニットを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

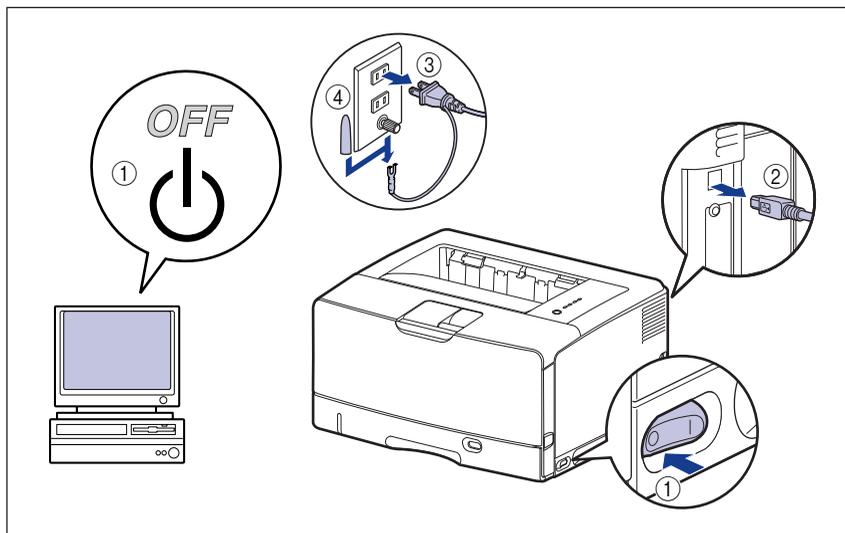
設置スペース

本プリンタに両面ユニットを装着して使用する場合の各部の寸法、および周囲に必要な寸法は次のようになっています。

●プリンタの寸法

●周囲に必要なスペース

両面ユニットを取り付ける

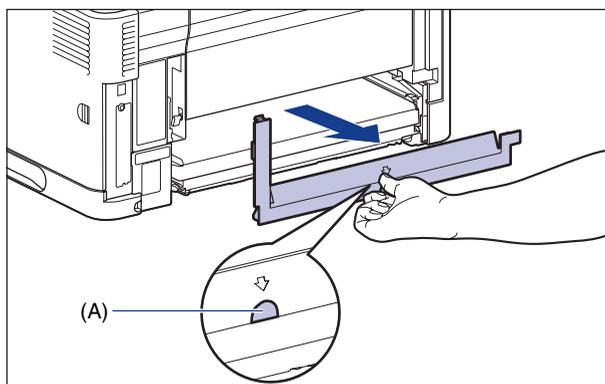
両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けます。

メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

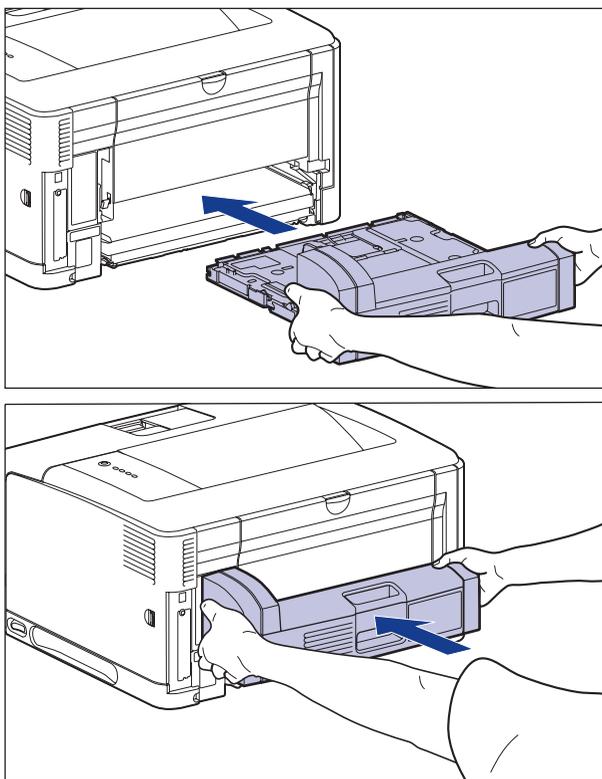
1 **プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。**

重要　電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

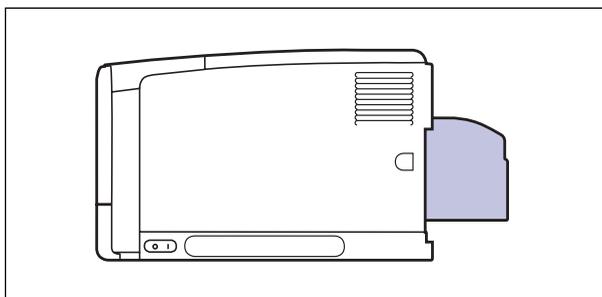
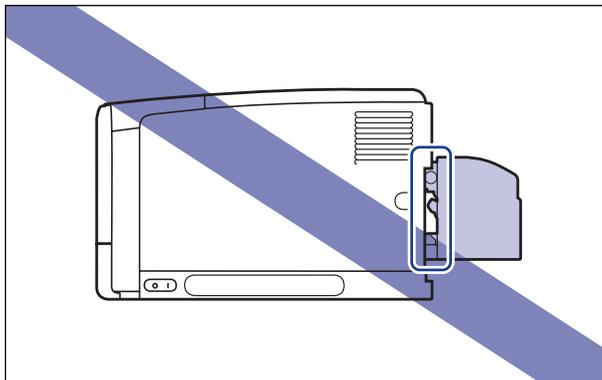
2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

3 両面ユニットカバーを取り外します。

両面ユニットカバーは、取っ手（A）の部分に指をかけて取り外します。

重要　両面ユニットカバーは、捨てずに保管しておいてください。両面ユニットを取り外したときに必要になります。

4 両面ユニットを取り付けます。

図のように両面ユニットを水平にしっかりと奥まで押し込みます。

⚠注意 プリンタと両面ユニットの間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要　両面ユニットが確実に取り付けられていないと（プリンタ背面と両面ユニットの間に隙間が空いていると）、給紙不良の原因になります。

5 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

6 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

7 USB ケーブルを接続します。

メモ　両面ユニットを装着した後は、オプション機器の設定が必要になります。オプション機器の設定は、プリンタドライバで以下の操作を行うことで自動的に行うことができます。

- Windows の場合：
  ［デバイス設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックします。
- Mac OS 9 の場合：
  ［基本設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。
- Mac OS X の場合：
  ［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。

両面ユニットを取り外す

両面ユニットの取り外しは、次の手順で行います。両面ユニットを取り付ける際にプリンタ本体から取り外した、両面ユニットカバーをご用意ください。

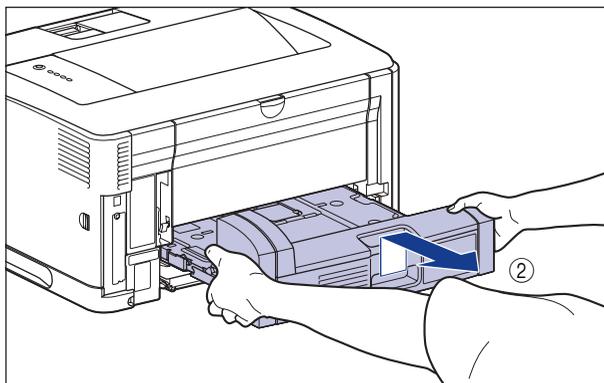
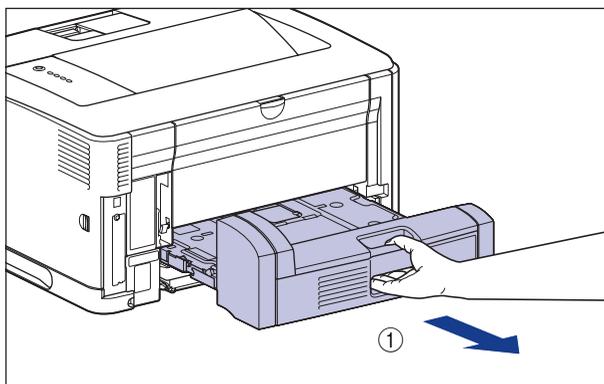
警告　両面ユニットを取り外すときは、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

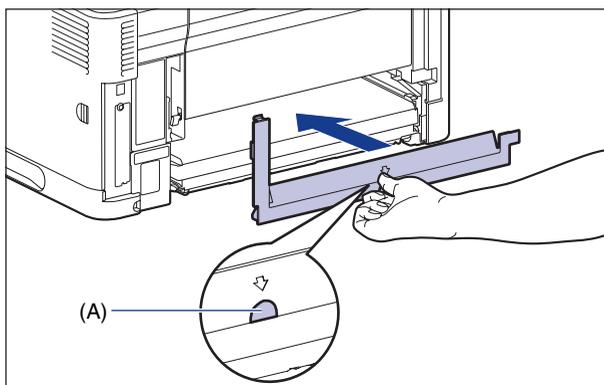
重要　プリンタの移動や修理の際は、両面ユニットを取り外してください。

---

1 **プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

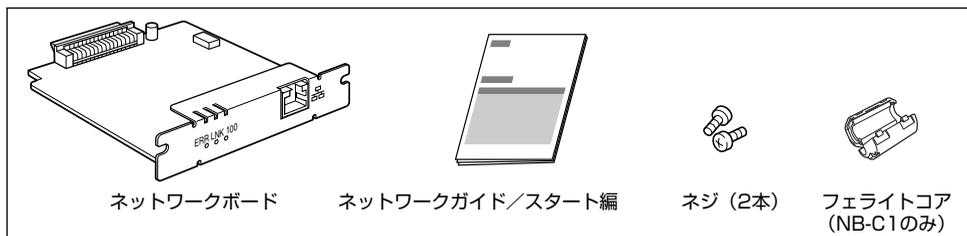
3 両面ユニットを止まる位置までゆっくりと引き出し ①、図のように手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

4 両面ユニットカバーを取り付けます。

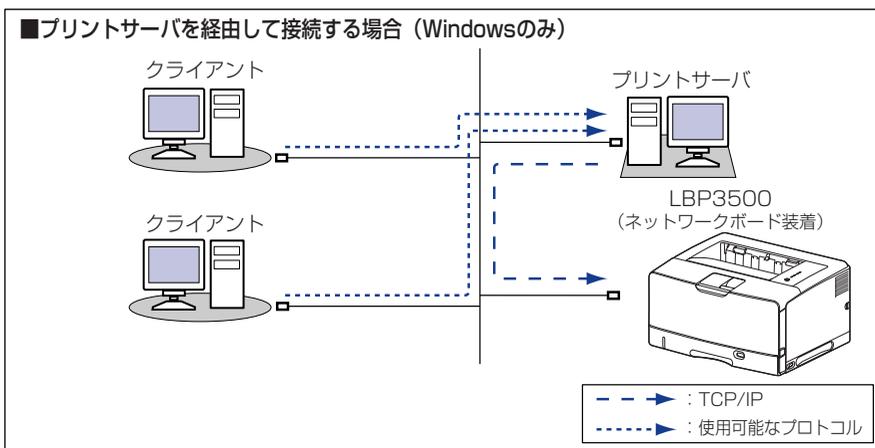
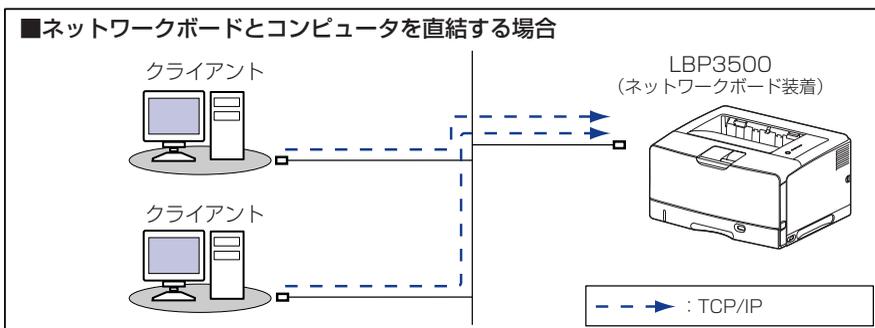
両面ユニットカバーは、取っ手（A）の部分に指をかけて取り付けます。

5 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

6 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

7 USB ケーブルを接続します。

ネットワークボード

ネットワークボードは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

* NB-C2 の場合、お買い求めになったネットワークボードによっては、CD-ROM が付属している場合があります。
* NB-C1 の場合で、フェライトコアが同梱されていないときは、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

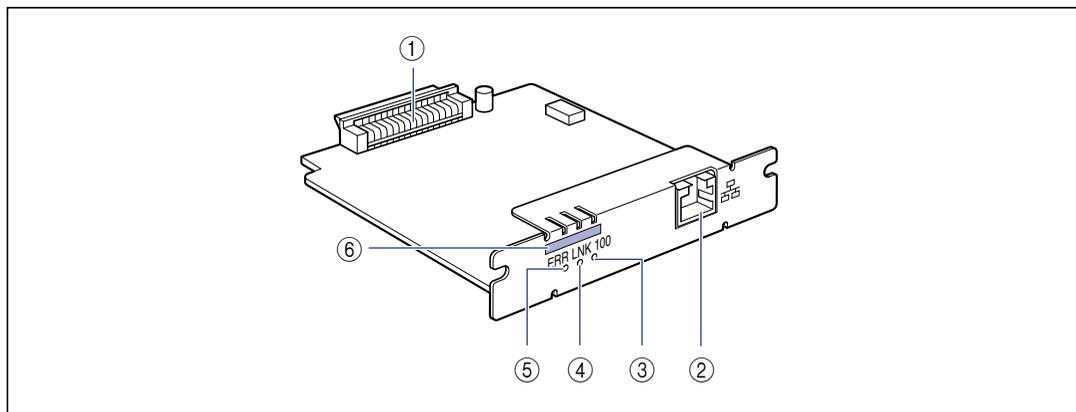
オプションのネットワークボードを装着すると、LBP3500 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

注意
- ネットワークボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してから作業を行ってください。USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにしてから、USB ケーブルを取り外してください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

ネットワークボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
・ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
・静電気の影響を避けるために、ネットワークボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はネットワークボードを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。

メモ
- Macintosh をお使いの場合、Mac OS X 10.4.9 以降のみネットワーク接続に対応しています。
- 本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

各部の名称と機能

① **プリンタ接続コネクタ**
プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

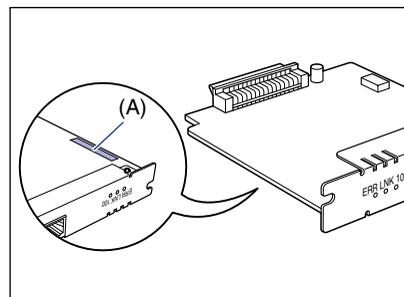
② **LAN コネクタ**
10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

③ **100 ランプ（緑色）**
ネットワークボードが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。
10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

④ **LNK ランプ（緑色）**
ネットワークボードがネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

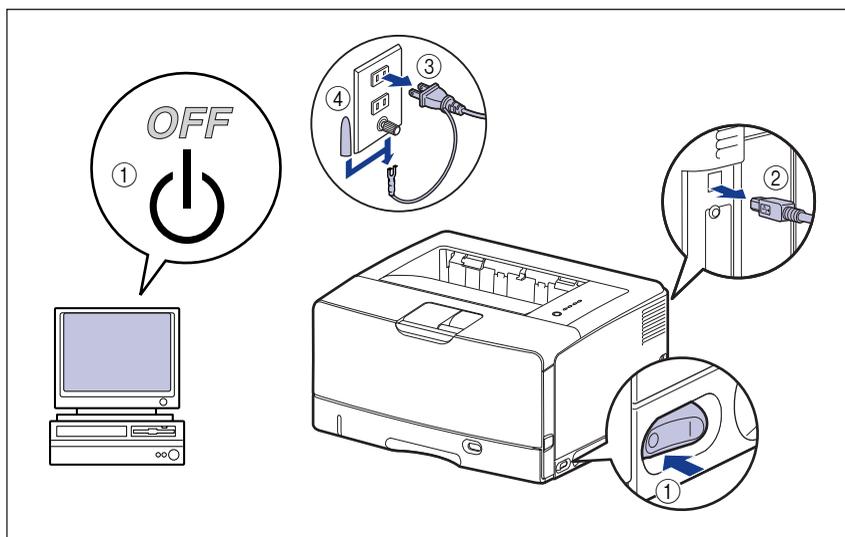
⑤ **ERR ランプ（オレンジ色）**
ネットワークボードが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

⑥ **MAC アドレス**
ARP/PING コマンドを使用して、IP アドレスを設定する場合に必要になります。また、プリンタドライバをインストールする場合に必要になることがあります。

重要　NB-C1では、(A)の位置に記載されています。

ネットワークボードを取り付ける

ネットワークボードは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

メモ　本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

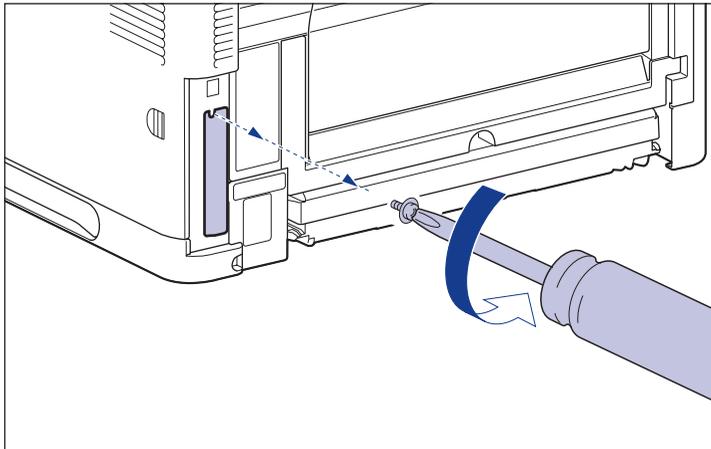
1 **プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**

重要　電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

2 **電源コードを取り外します。**

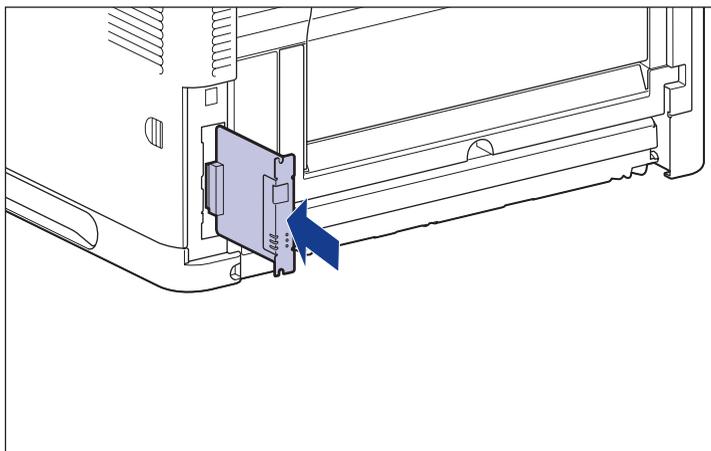
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

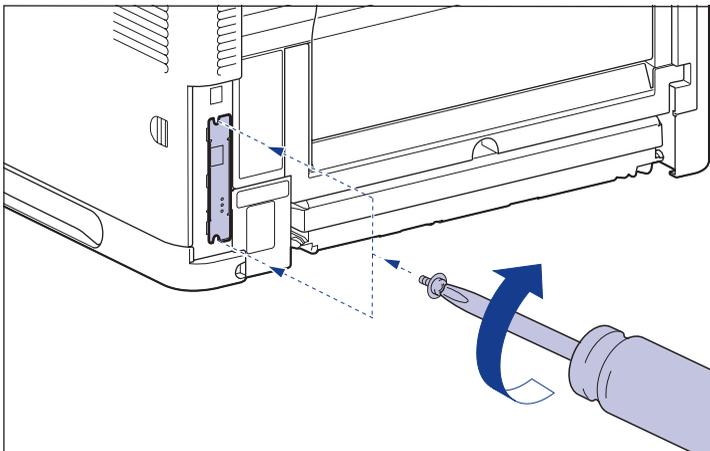
6

オプション品について

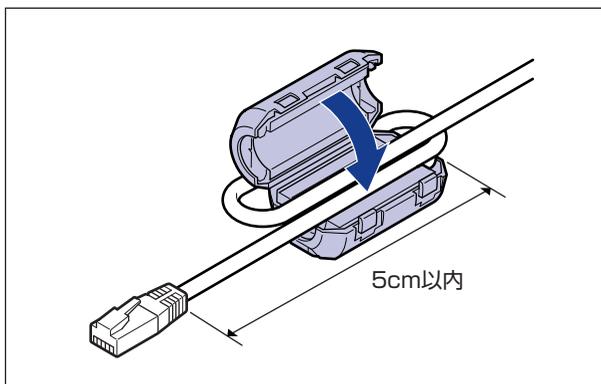
3 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要　取り外した保護板とネジは、ネットワークボードを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

4 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

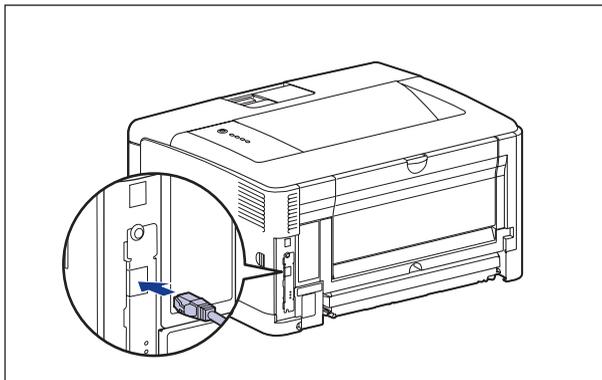
ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

5 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。

6 NB-C1をお使いになる場合は、図のようにLANケーブルにフェライトコアを取り付けます。

フェライトコアはプリンタに接続するコネクタから 5cm 以内の場所に取り付けます。

メモ

フェライトコアは、ネットワークボードに同梱されています。フェライトコアが同梱されていない場合は、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

7 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

8 電源コードを接続します。

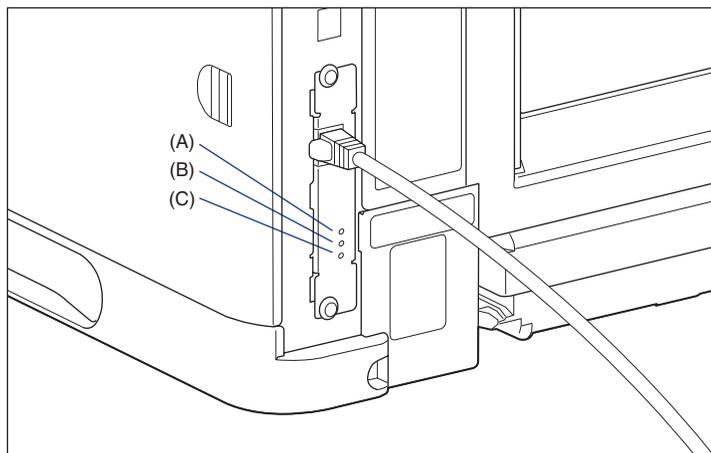
9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

11 電源スイッチの“|”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

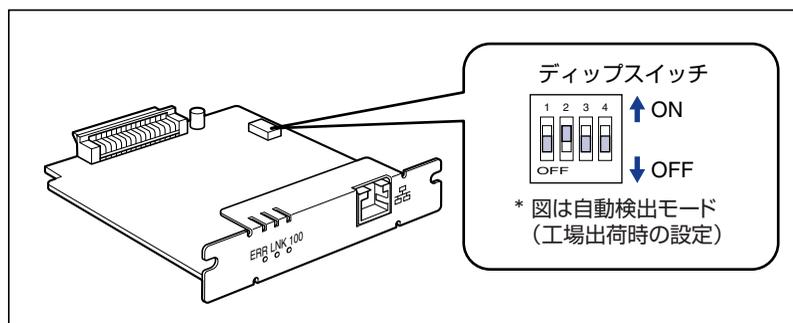
重要 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」(➞P.7-1)を参照してください。

12 ネットワークボードのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば正常です。
（(A)：ERRランプ（B)：LNKランプ（C）：100ランプ）

正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LANケーブルの接続やハブの動作、ネットワークボードの取り付け状態を確認してください。

ネットワークボードを設定する

ネットワークボードは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、ネットワークボードのディップスイッチを設定してください。ディップスイッチの設定は、プリンタの電源をオフにしてネットワークボードを取り外してから行います。ネットワークボードの取り外しの作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	1 2 3 4 OFF ON OFF
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF

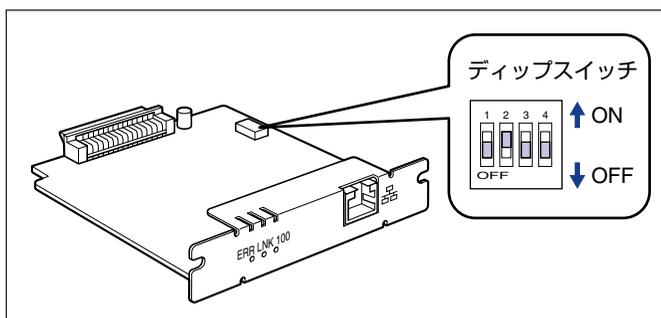
1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

3 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要 ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

4 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.6-41 の表を参照してください。

5 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

7 LAN ケーブルを接続します。

8 電源コードを接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

ネットワークボードの初期化

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、リモート UI、FTP クライアントのいずれかの方法で行います。リモート UI についてはリモート UI ガイド「第 3 章 リモート UIのいろいろな機能」、FTP クライアントについてはネットワークガイド／本編「第 5 章 付録」を参照してください。

もし、上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でディップスイッチを操作して、ネットワークボードの設定値をリセットすることができます。ネットワークボードをリセットする作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

---

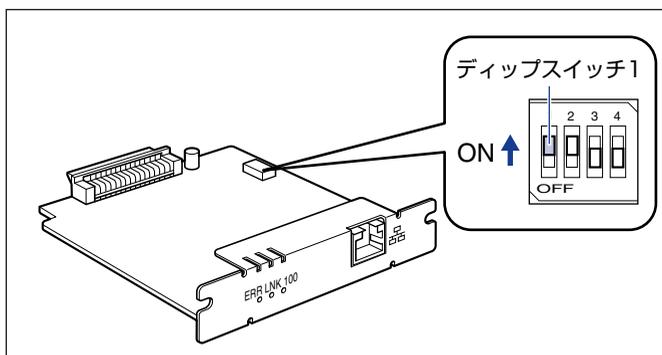
1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

3 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要　ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

4 ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要　ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

5 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

7 電源コードを接続します。

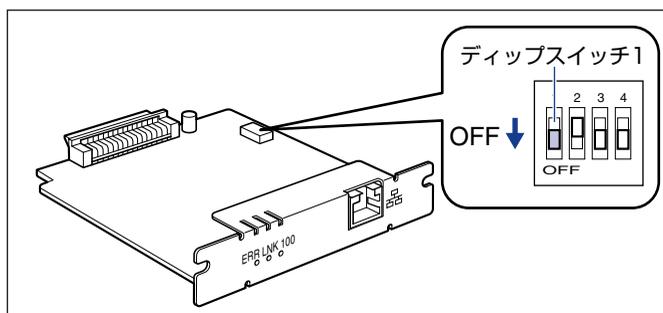
8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 電源スイッチの"|"側を押して、プリンタの電源をオンにし、印刷可ランプが点灯するまで待ってから、電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにします。

10 電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

11 電源コードを取り外します。

12 ネットワークボードを取り外し、ディップスイッチ 1 をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要　ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

13 ネットワークボードを取り付けます。

14 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

15 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントに接続します。

16 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

ネットワークボードを取り外す

ネットワークボードの取り外しは、次の手順で行います。ネットワークボードの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意
- 必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外してから作業を行ってください。USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにしてから、USB ケーブルを取り外してください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

---

1 **プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いてを専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。**

3 **2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。**

取り外したネットワークボードは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 取り外したネジは再度ネットワークボードを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

4 **拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。**

5 **USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。**

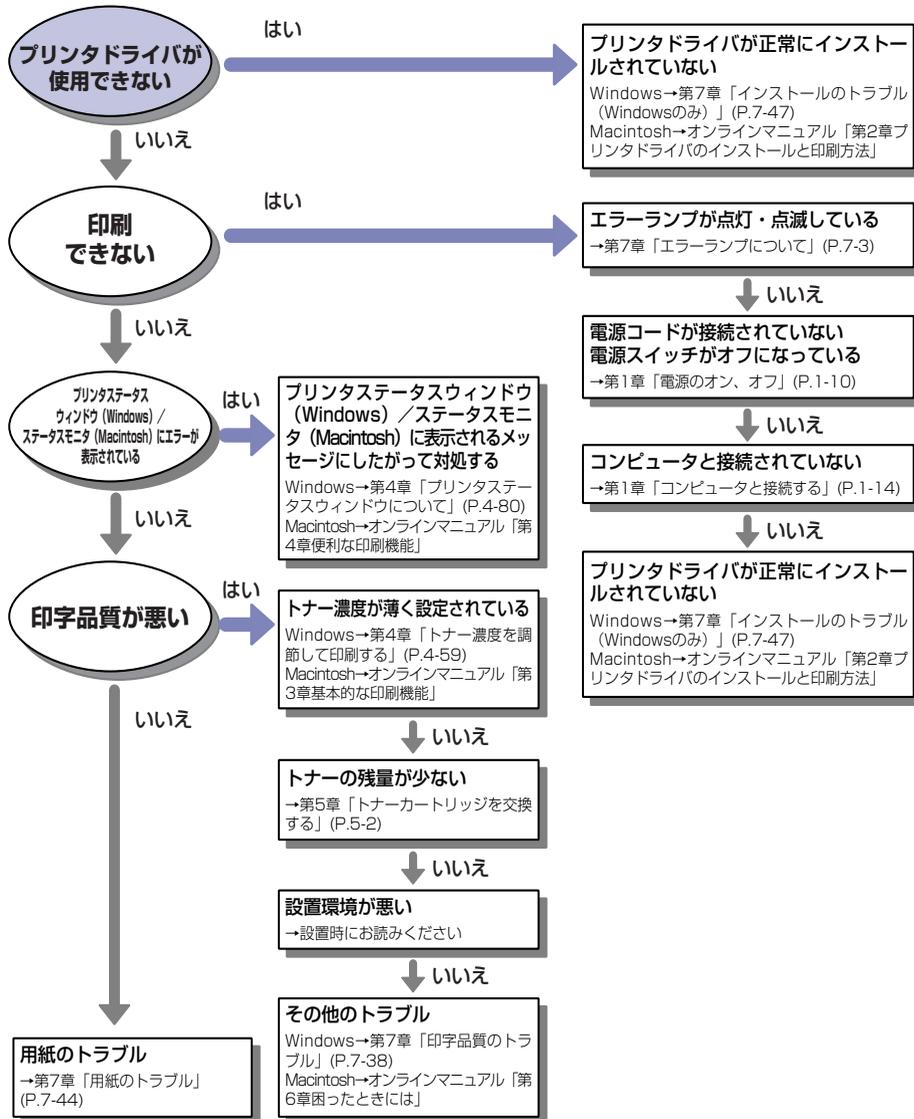
6 **アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

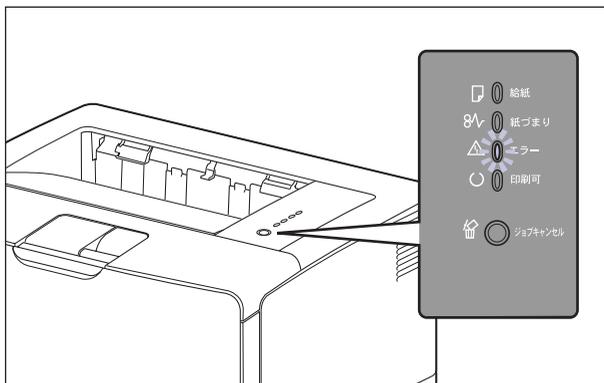
7 **USB ケーブルを接続します。**

困ったときには

この章では、紙づまりが起こったときや印字品質に問題があるときの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

エラーランプについて

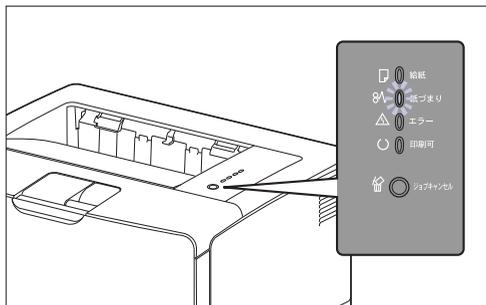
プリンタに何らかのトラブルが起こると、エラーランプ（オレンジ色）が点灯または点滅します。

エラーランプが点灯しているときは、サービスエラーが発生していますので、「サービスコール表示」（➞P.7-35）を参照してください。

エラーランプが点滅しているときは、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の表示にしたがって対処してください。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

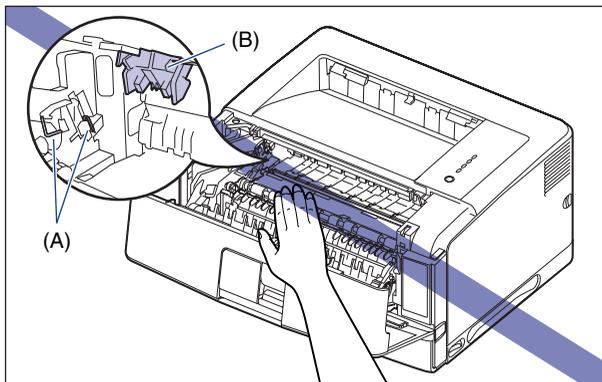
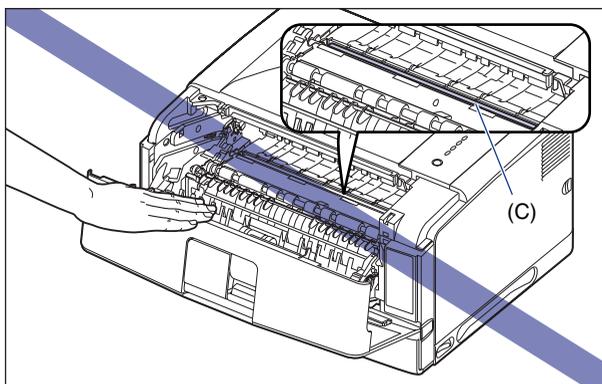
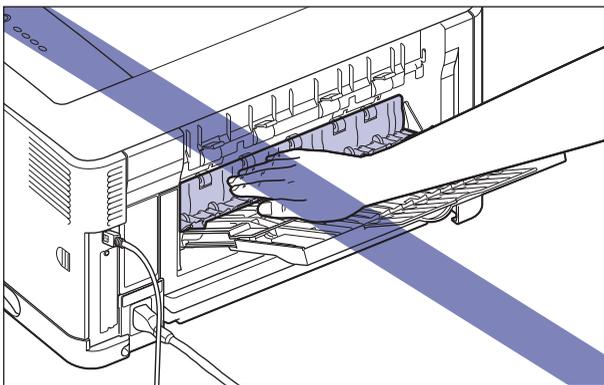
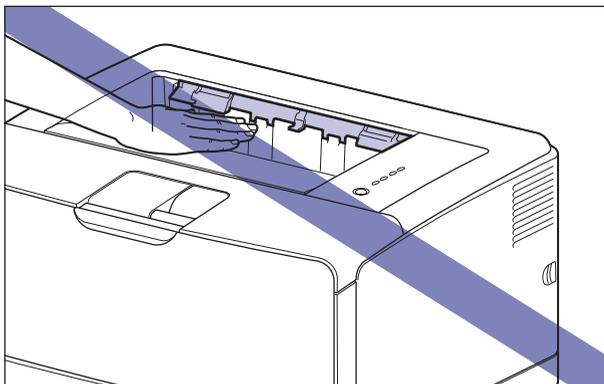
紙づまりが起こったときには

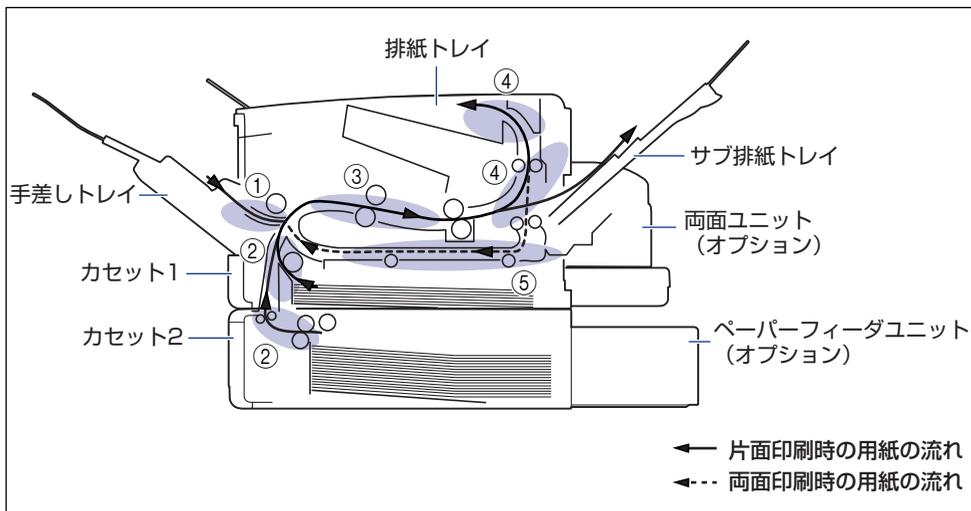
印刷中に紙づまりが起こると、紙づまりランプ（オレンジ色）が点滅し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のメッセージが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。
- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要
- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、印刷中のデータが消去されてしまいます。

- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 印刷するたびに紙づまりが起こるときは、「用紙のトラブル」（→P.7-44）の項目に記載されている、「紙づまりが頻繁に起こる」を参照してください。
- 前カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーを一度開閉してください。
- 図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

- 転写ローラ（C）には、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

- プリンタの使用中や使用直後は、排紙トレイ周辺やサブ排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、排紙トレイ周辺やサブ排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

紙づまりの位置

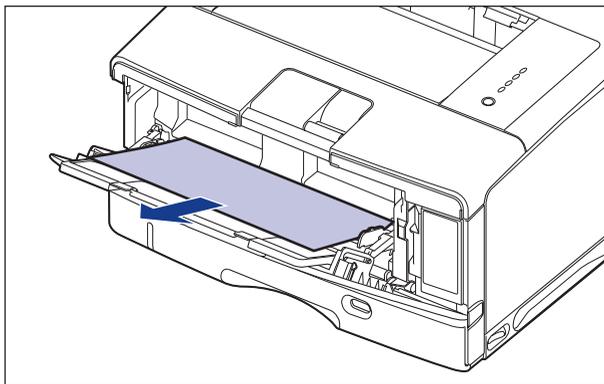
プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

紙づまり位置		メッセージ	参照先
①	手差しトレイ	手差しトレイ	→P.7-8
②	カセット 1/ カセット 2 （ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 1/ カセット 2	→P.7-9
③	前カバー内部	前カバー	→P.7-15
④	排紙トレイ、サブ排紙トレイ	サブ排紙トレイ	→P.7-20
⑤	両面搬送部 （両面ユニット装着時のみ）	両面ユニット	→P.7-26

紙づまりの除去手順

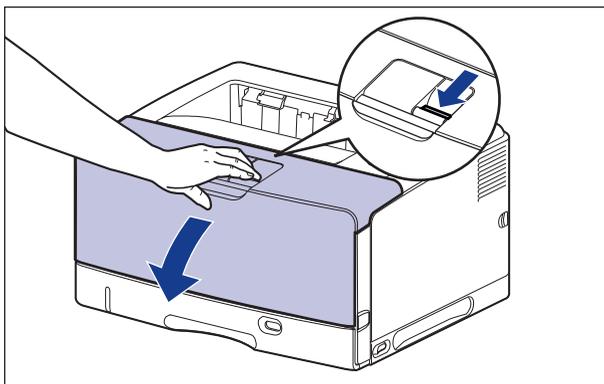
表示されているメッセージに応じてつまった紙を取り除きます。

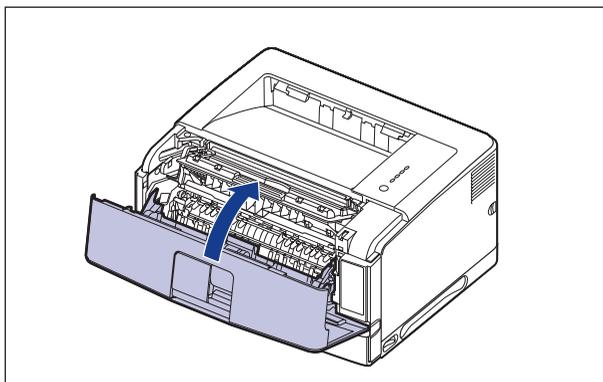
紙づまりの除去（手差しトレイエリア）

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

1 **手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。**

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに「紙づまりの除去（前カバーエリア）」（→P.7-15）に進んでください。

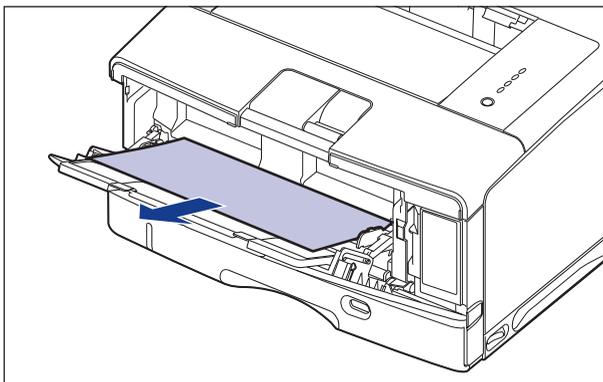
2 **前カバーを開けます。**

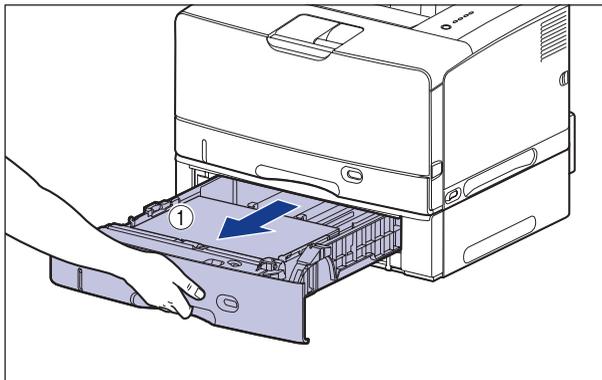
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

3 前カバーを閉めます。

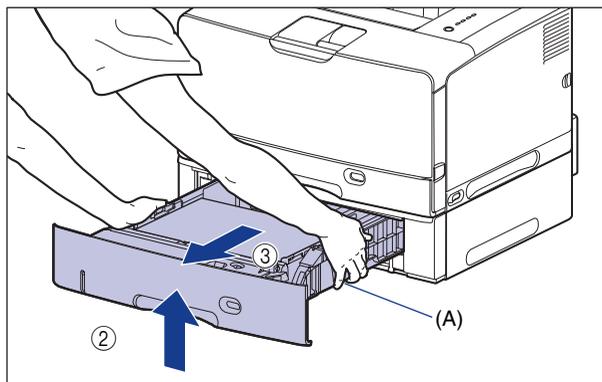
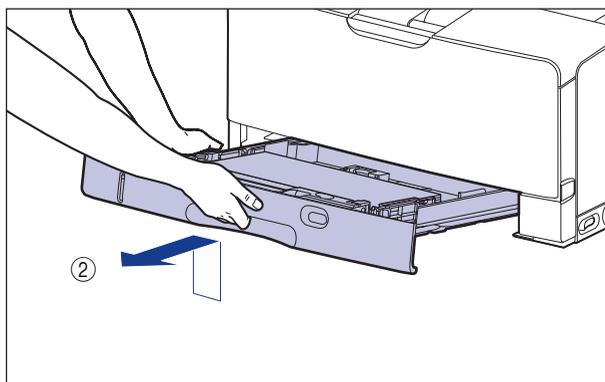
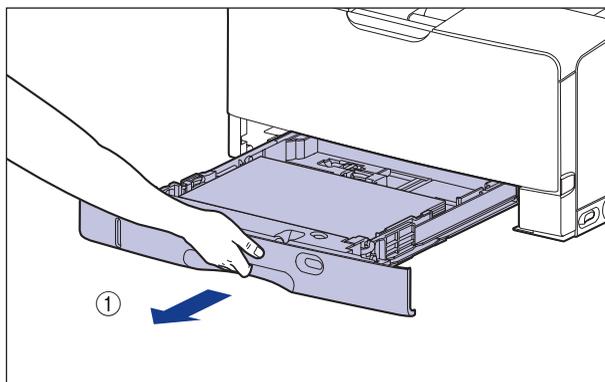
前カバーは確実に閉めます。

重要
- 前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。
- 前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

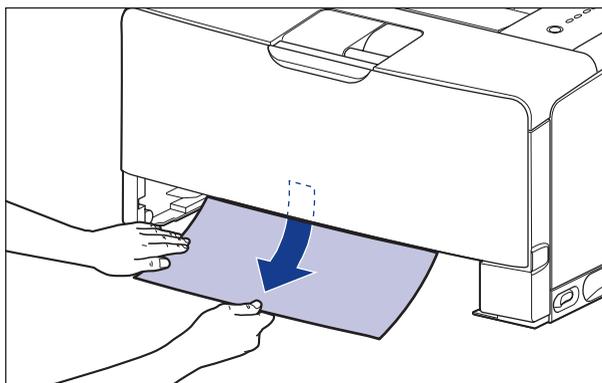
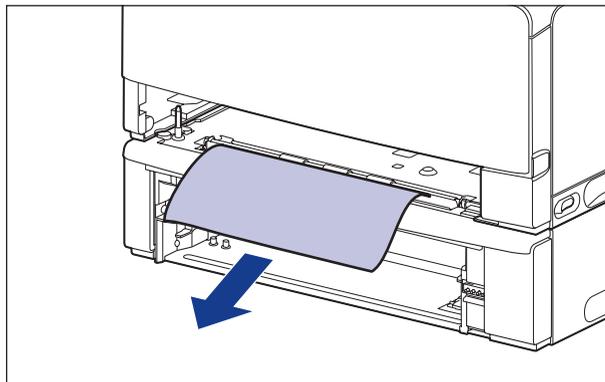
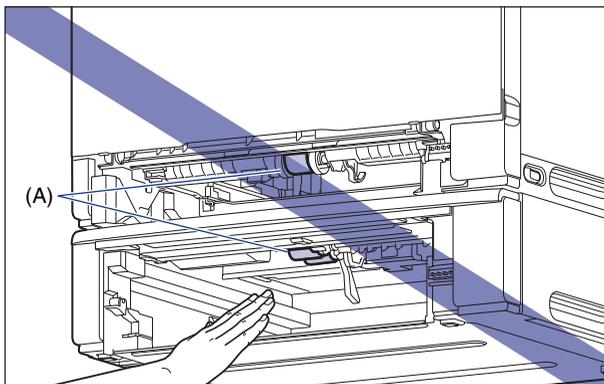
紙づまりの除去（カセット１／カセット２エリア）

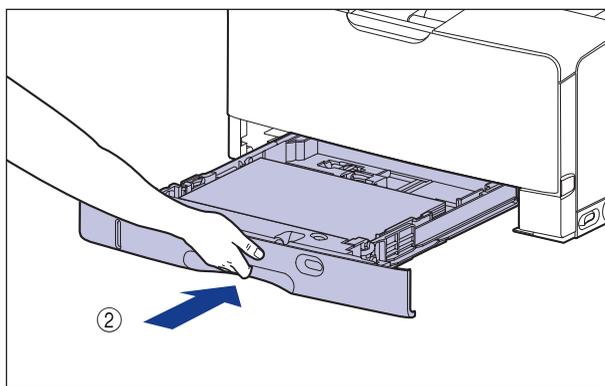
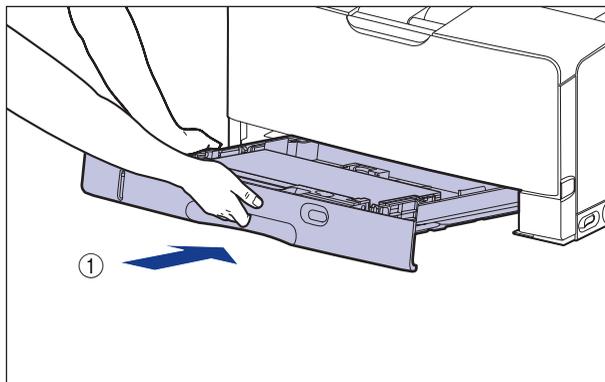
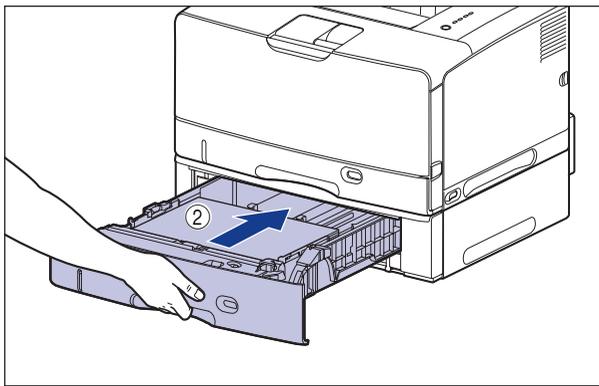
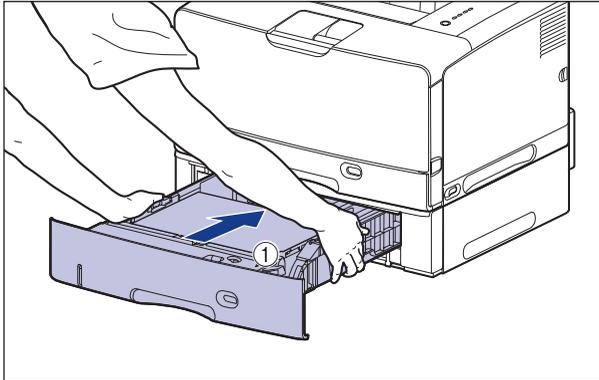
次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

1 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに「紙づまりの除去（前カバーエリア）」（➞P.7-15）に進んでください。

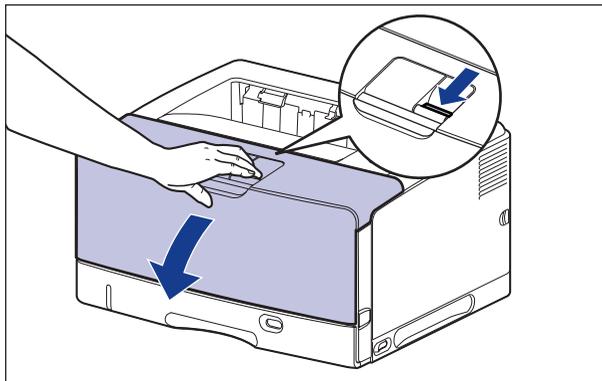
2 ペーパーフィーダが装着されている場合は、給紙カセットを引き出します。

給紙カセットを止まる位置まで引き出します ①。

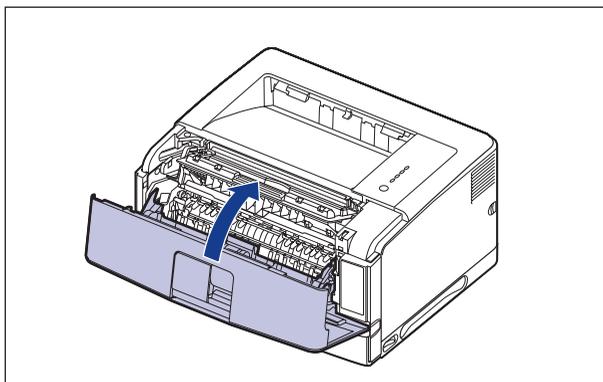
図のように取っ手（A）を両手で持って、給紙カセットの手前を少し持ち上げてから ②、完全に引き出します ③。

3 プリンタ本体の給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し ①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

4 つまっている用紙を取り除きます。

❏ プリンタ本体の給紙カセットに用紙がつまっている場合は、図のように下に引っぱって取り除きます。

❏ ペーパーフィーダとプリンタ本体の間に用紙がつまっている場合は、図のようにプリンタ本体側から取り除きます。

重要 プリンタとペーパーフィーダの給紙ローラ（A）には、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。

5 給紙カセットを図のように斜めに差し込み ①、ゆっくりと水平に押し込んでプリンタ本体にセットします ②。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。

注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

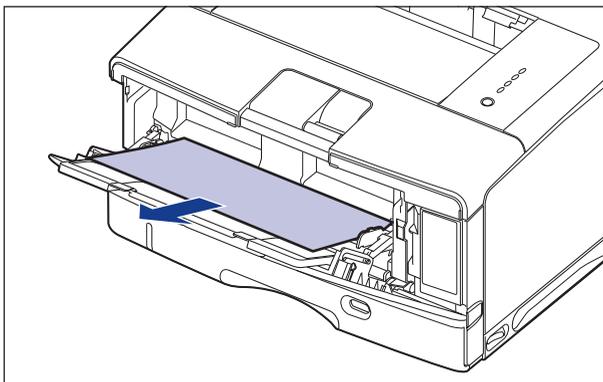
6 前カバーを開けます。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

7 前カバーを閉めます。

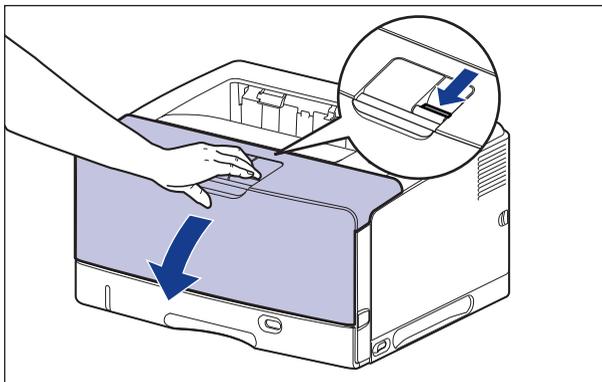
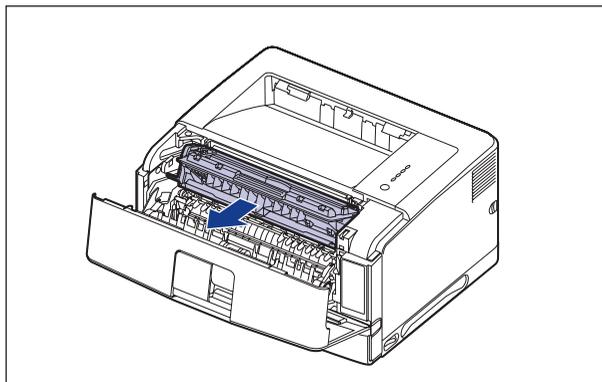
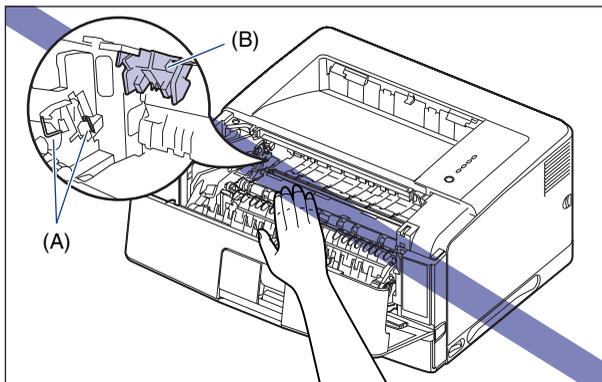
前カバーは確実に閉めます。

重要
- 前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。
- 前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

紙づまりの除去（前カバーエリア）

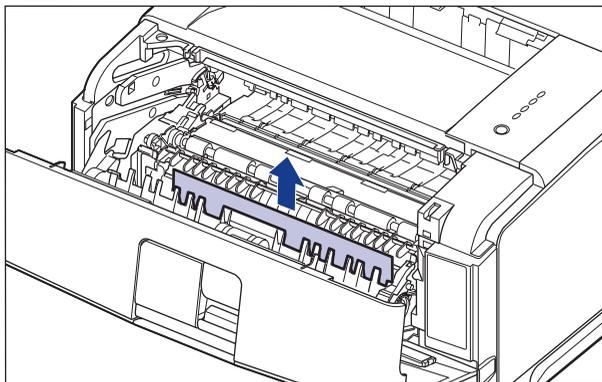
次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

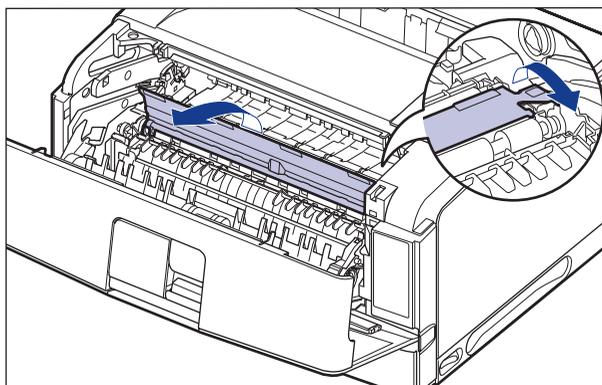
1 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

2 前カバーを開けます。

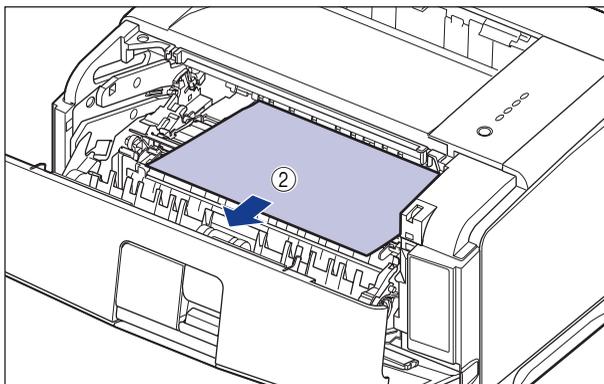
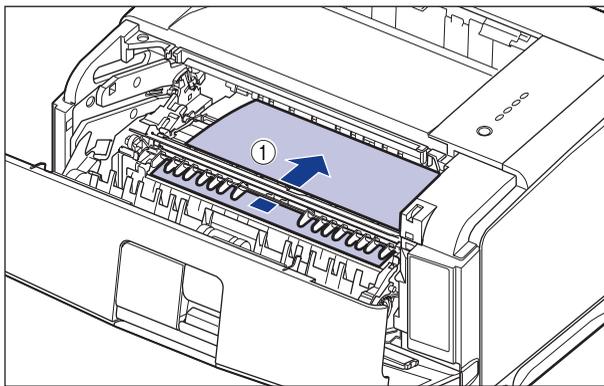
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

3 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要　図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

メモ　トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」(➞P.5-12) を参照してください。

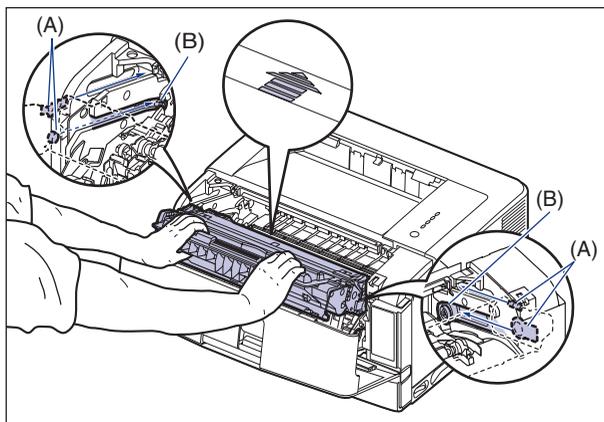
4 トナーカートリッジを保護袋に入れます。

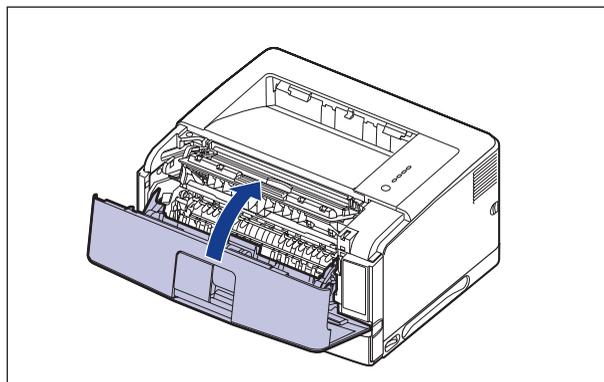
5 前カバー内側につまっている用紙を取り除きます。

6 搬送ガイドを持ち上げます。

搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。

注意　搬送ガイドから手を離さないでください。搬送ガイドが勢いよく元の位置に戻り、けがの原因になることがあります。

7 つまっている用紙を取り除きます。

用紙の手前側を搬送ガイドから送り出してから ①、用紙をゆっくりと矢印の方向に取り除きます ②。定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。

8 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

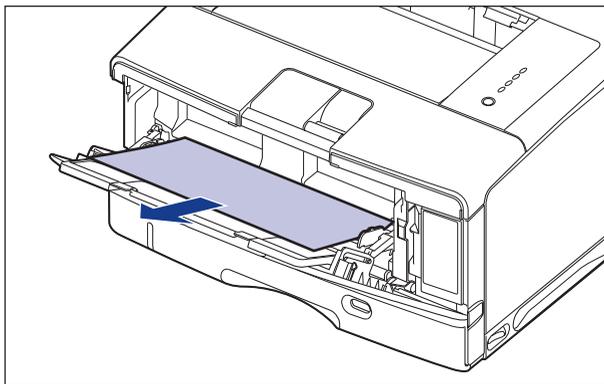
トナーカートリッジの（A）をトナーカートリッジガイド（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

9 前カバーを閉めます。

前カバーは確実に閉めます。

重要

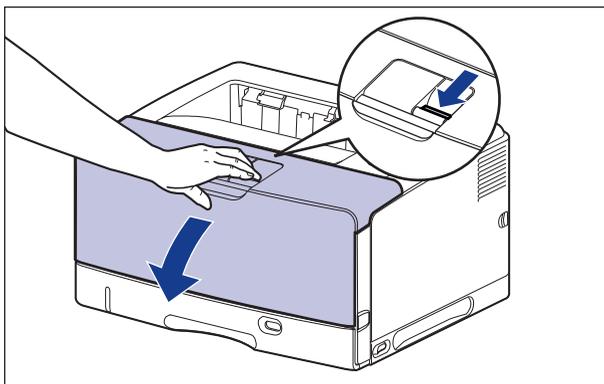
- 前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

紙づまりの除去（排紙トレイ／サブ排紙トレイエリア）

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

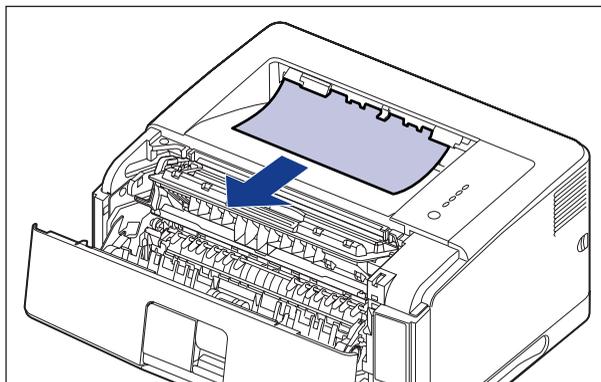
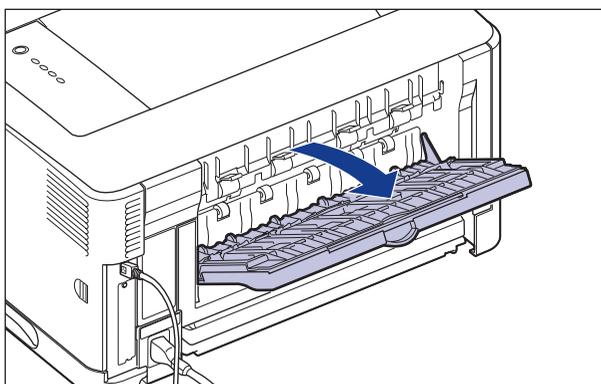
1 **手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。**

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに「紙づまりの除去（前カバーエリア）」（→P.7-15）に進んでください。

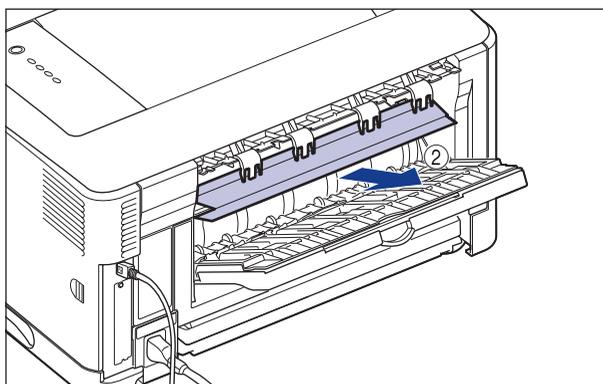
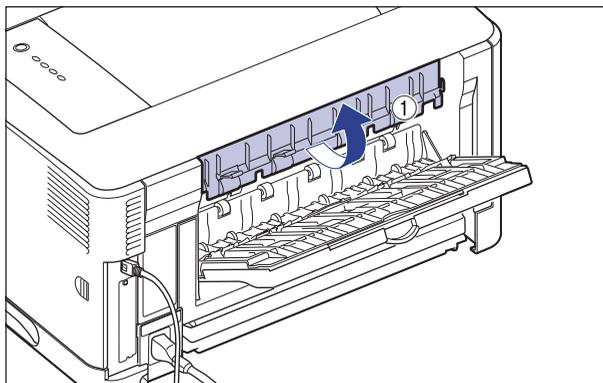
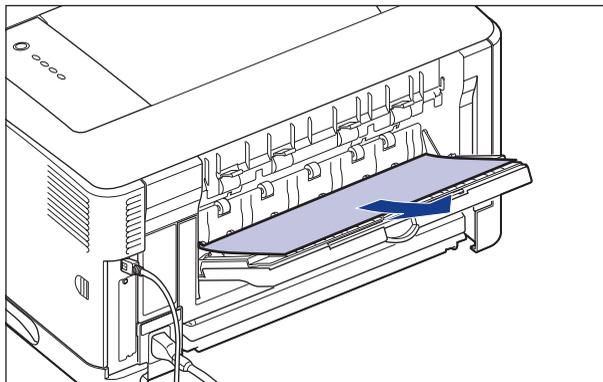
2 **前カバーを開けます。**

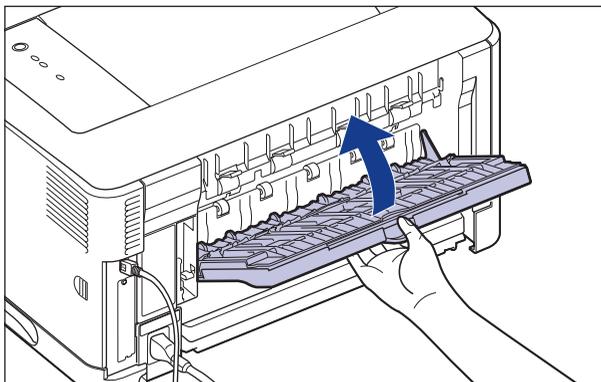
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

3 **排紙先（排紙トレイ、サブ排紙トレイ）につまっている用紙を取り除きます。**

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

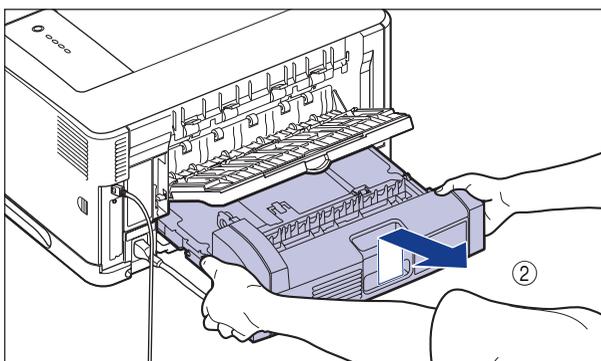
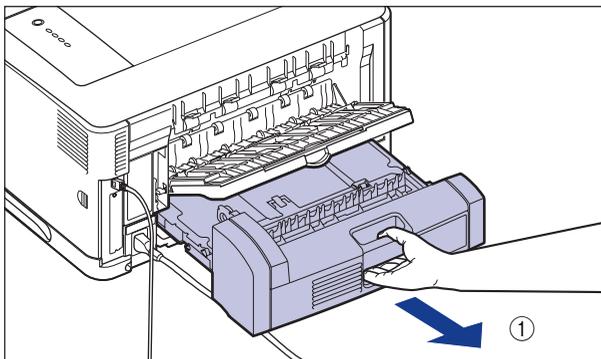
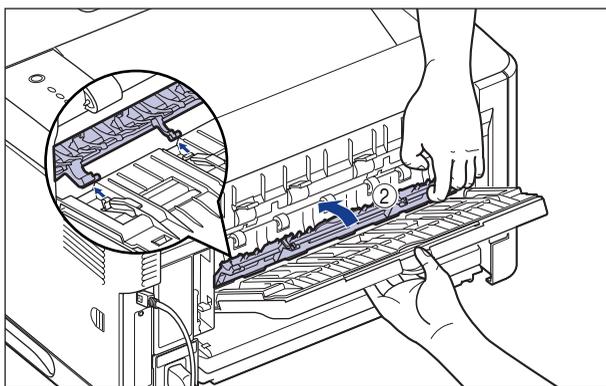
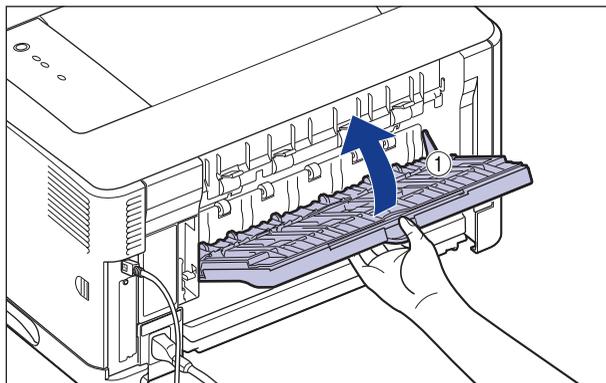
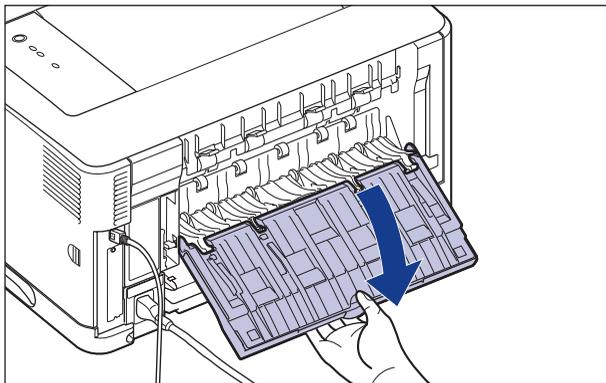
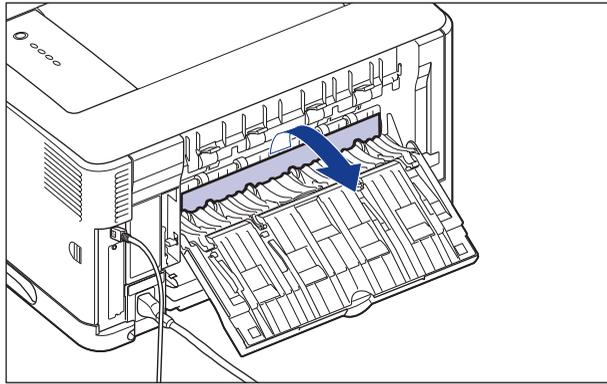
● 排紙トレイを使用していた場合

❏ 排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

❏ サブ排紙トレイを開けます。

❑ サブ排紙トレイ内の白い搬送ガイドを開けて ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

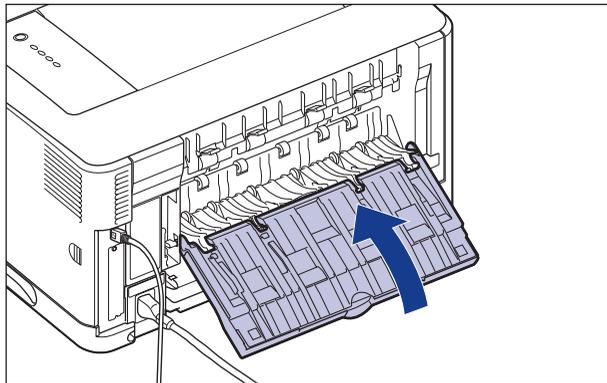
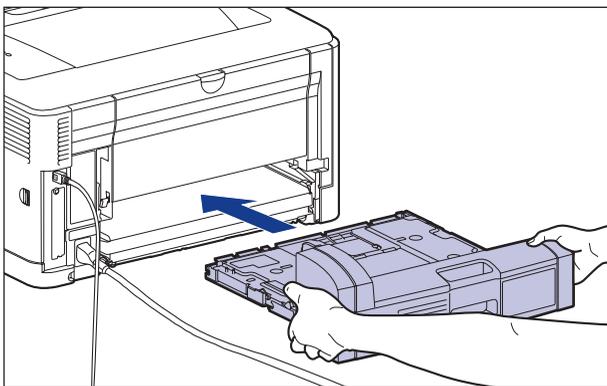
用紙の先端を手前に送り出してから、つまっている用紙を取り除きます。

❑ サブ排紙トレイを使用していた場合は、サブ排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

● 両面ユニットが装着されていない場合

❑ サブ排紙トレイを閉めます。

● 両面ユニットが装着されている場合

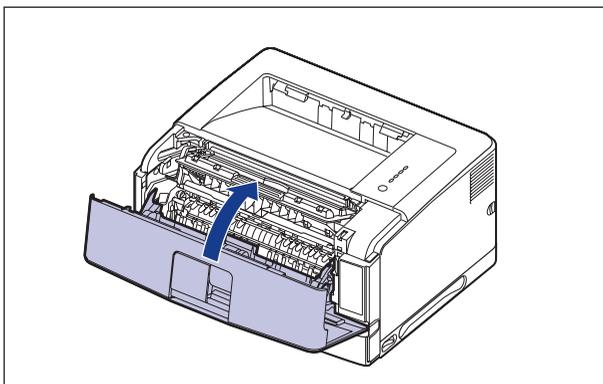
❑ 両面ユニットを止まる位置までゆっくりと引き出し ①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

※ 両面ユニットを取り外すときは、必ず前カバーが開いていることを確認してください。
前カバーが閉じている状態で両面ユニットを取り外すと、印刷可能な状態にするために電源を入れなおす必要があります。
電源を一度切ると、印刷中のデータが消去されてしまいます。

❑ サブ排紙トレイを少し閉じて ①、黒い搬送ガイドのフックを取り外します ②。

❑ サブ排紙トレイを図の位置まで開けます。

❑ つまっている用紙を取り除きます。

❑ サブ排紙トレイを閉めます。

❑ 両面ユニットを図のように持って、水平にしっかりと奥まで押し込みます。

⚠注意 プリンタと両面ユニットの間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

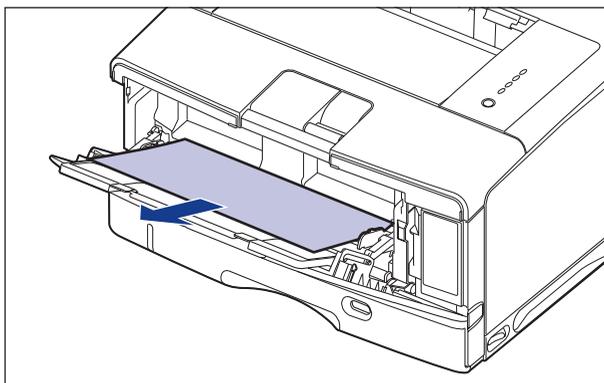
4 前カバーを閉めます。

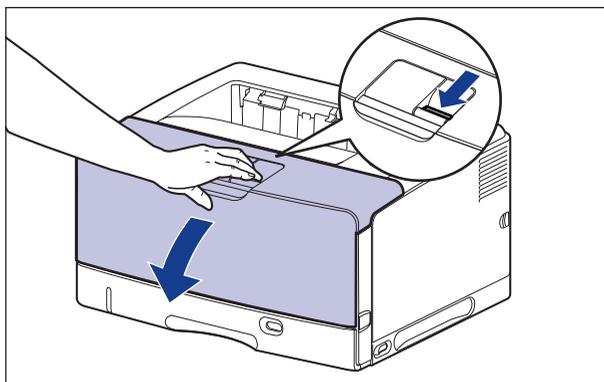
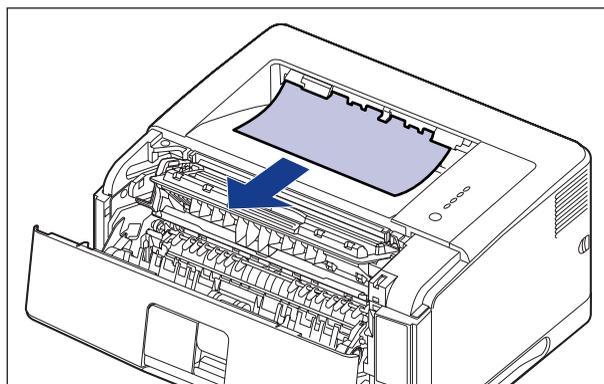
前カバーは確実に閉めます。

重要
- 前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。
- 前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

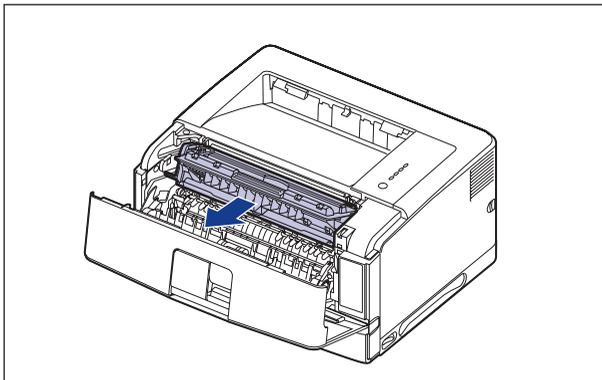
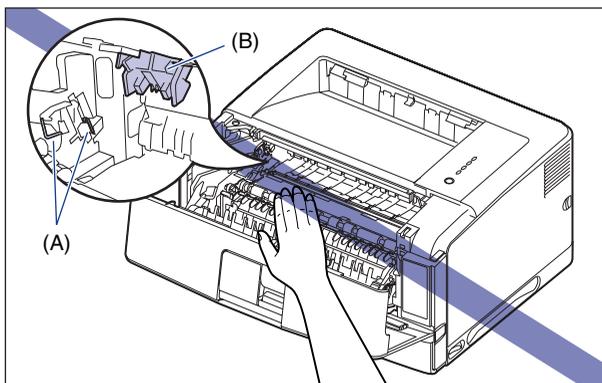
紙づまりの除去（両面ユニットエリア）

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

1 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉めます。

重要
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに「紙づまりの除去（前カバーエリア）」（→P.7-15）に進んでください。

2 前カバーを開けます。

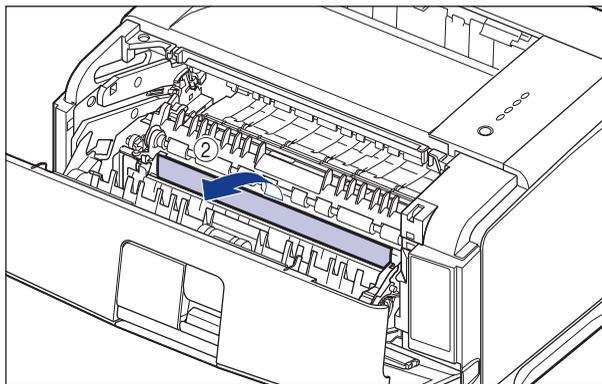
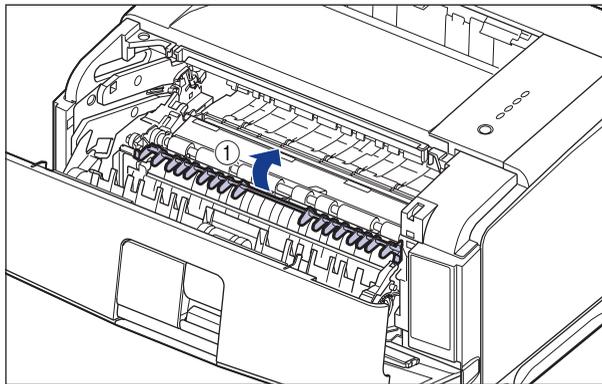
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。

3 排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

4 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要　図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

メモ　トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」(➞P.5-12) を参照してください。

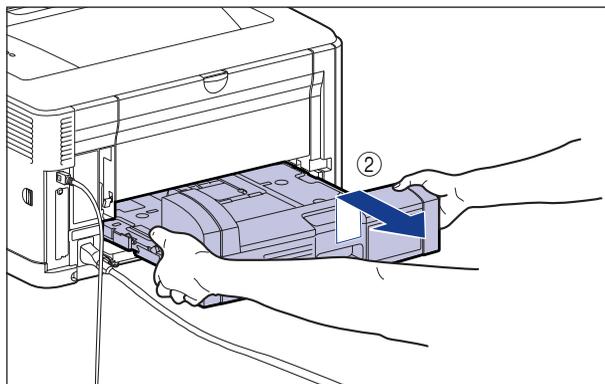
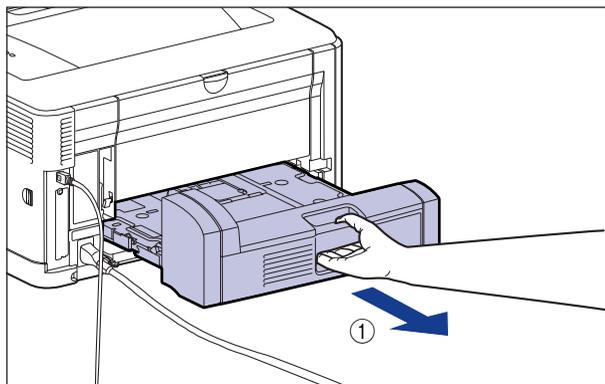
5 トナーカートリッジを保護袋に入れます。

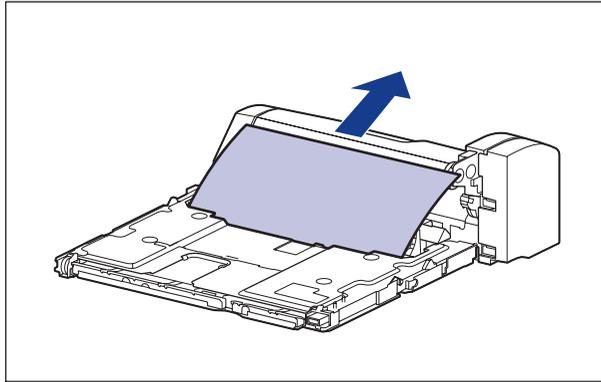
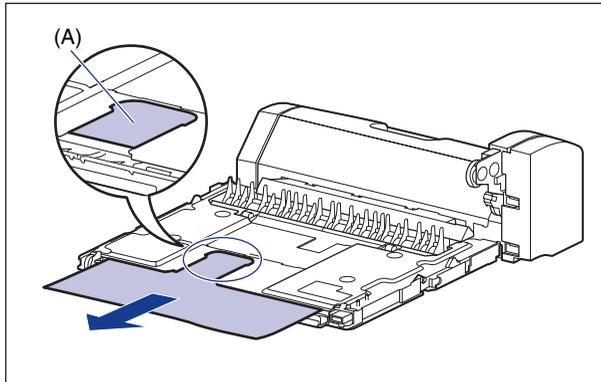
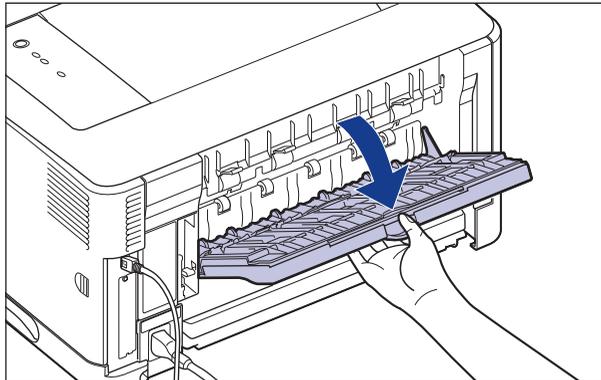
6 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、以下の手順を行ってください。

両面印刷をしていない場合は、次の手順に進みます。

❑ 黒色の搬送ガイドを上げ ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

⚠注意 搬送ガイドから手を離さないでください。搬送ガイドが勢いよく元の位置に戻り、けがの原因になることがあります。

❑ 両面ユニットを止まる位置までゆっくりと引き出し ①、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します ②。

※ 両面ユニットを取り外すときは、必ず前カバーが開いていることを確認してください。
前カバーが閉じている状態で両面ユニットを取り外すと、印刷可能な状態にするために電源を入れなおす必要があります。
電源を一度切ると、印刷中のデータが消去されてしまいます。

❑ 両面ユニットにつまっている用紙を取り除きます。

（A）の部分に用紙が見えている場合は手前に用紙を引っぱって取り除きます。

❑ サブ排紙トレイを開けます。

7

困ったときには

❑ サブ排紙トレイを少し閉じて ①、黒い搬送ガイドのフックを取り外します ②。

❑ サブ排紙トレイを図の位置まで開けます。

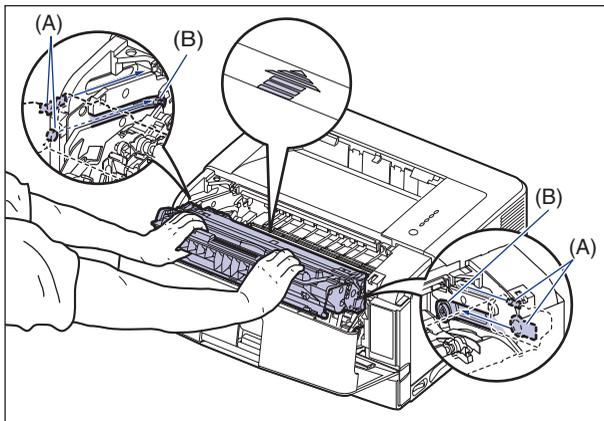
❑ つまっている用紙を取り除きます。

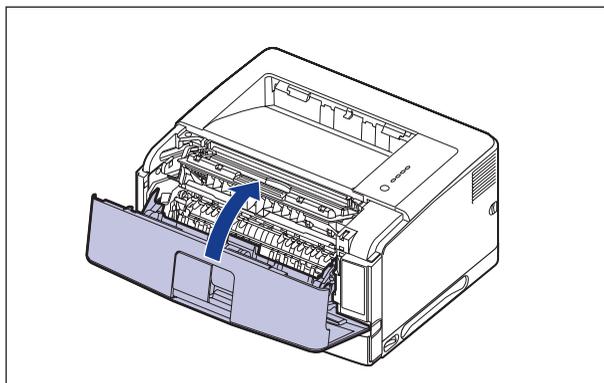
❑ サブ排紙トレイを閉めます。

❑ 両面ユニットを図のように持って、水平にしっかりと奥まで押し込みます。

⚠注意 プリンタと両面ユニットの間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

7 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

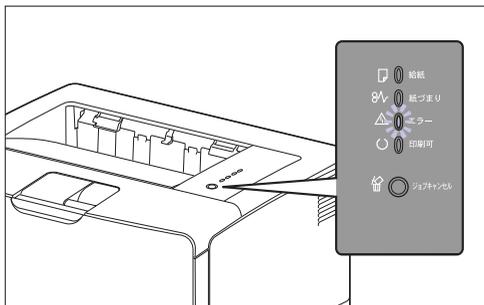
トナーカートリッジの（A）をトナーカートリッジガイド（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

8 前カバーを閉めます。

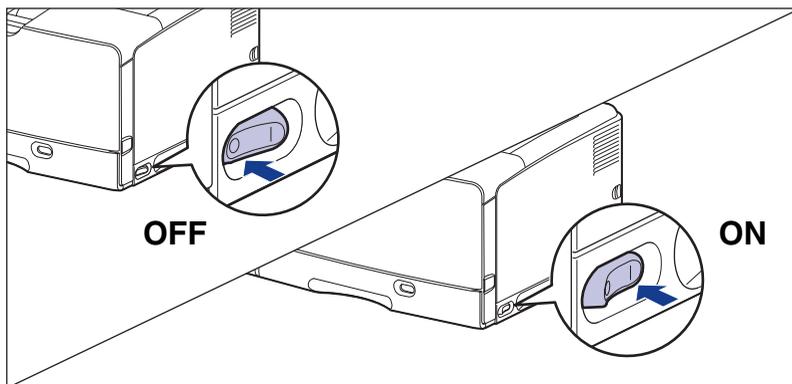
前カバーは確実に閉めます。

重要

- 前カバーが開かないことを確認してください（前カバーとプリンタの間に隙間が空いていたり、前カバーがぐらついていないことを確認してください）。前カバーが確実に閉まっていないと、印字不良の原因になります。
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

サービスコール表示

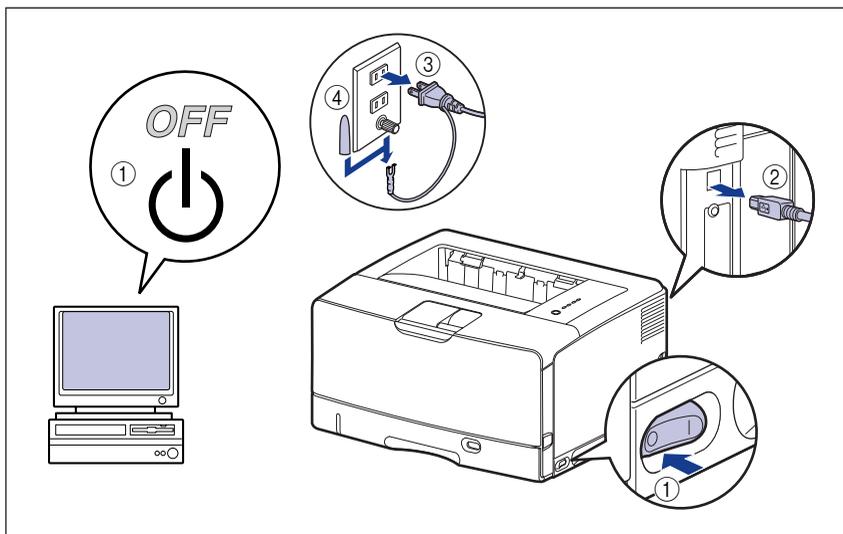
プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、プリンタのエラーランプ（オレンジ色）が点灯し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のようなサービスコールが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

サービスコールが表示されたら、次の手順で電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

1 **電源をいったんオフにし、10秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。**

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に表示されているエラーコードを書きとめます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

3 プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。

重要　電源コードを外した際は、アース線にキャップをして保管してください。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

メモ　不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

印字品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要
- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」（➞P.7-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ
- Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章困ったときには」を参照してください。
- ここに記載されているプリンタドライバの操作方法は、Windowsを例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

白いすじが入る

原因 1　トナーカートリッジがなくなった

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

原因 2　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

部分的に白く抜ける

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 3　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

印字が全体的にうすい

原因 1 ［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置 プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］をクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 ［ドラフトモード］が有効になっている

処　置 プリンタドライバで［ドラフトモード］のチェックマークを消します。
［ドラフトモード］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］をクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

印字が全体的に黒ずむ

原因 1 ［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置 プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］をクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置 プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因 1 トナーがなくなった

処　置 新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2)

原因 2 用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置 適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 3 トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置 新しいトナーカートリッジに交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2)

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　定着ローラが汚れている

処　置　定着ローラを清掃してください。（➞ 定着ローラを清掃する：P.5-15）

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。（➞給紙カセットに用紙をセットする：P.2-26、手差しトレイに用紙をセットする：P.2-45）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処置 1　本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm、ただし洋形 4 号と洋形 2 号の右は 7.6mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。

重要　はがきまたは封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきまたは封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

処置 2　プリンタドライバで［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付け、印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
［用紙の左上を原点として印字する］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

印字位置がずれてしまう

原因 1　［とじしろ］が設定されている

処　置　プリンタドライバで［とじしろ］の設定を［0］にします。
［とじしろ］の設定は、［仕上げ］ページの［とじしろ］をクリックして、［とじしろ指定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない

処　置 アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

原因 3 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［印字位置調整］で印字位置が調整されている

処　置 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［印字位置調整］で適切な値に調整してください。（➞ 印字位置を調整する：P.5-18）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因 アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1 シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置 トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

原因 2 用紙が重なって送られた

処　置 給紙カセットの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。（➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.2-26、手差しトレイに用紙をセットする：P.2-45）

用紙全面が真っ黒に印刷される

原　因 トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置 新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原因 1 用紙や使用環境が適切でない

処置 1 使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について:P.2-2)

処置 2 プリンタドライバで[特殊印字処理]を[特殊設定 1]に設定してください。問題が解決した場合は、[特殊印字処理]を[しない]に戻してください。
[特殊印字処理]の設定は、[仕上げ]ページの[仕上げ詳細]をクリックして、[仕上げ詳細]ダイアログボックスの[処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスで行います。

原因 2 高温、高湿度環境でプリンタを使用している

処 置 プリンタドライバで[特殊印字処理]を[特殊設定 6]に設定してください。問題が解決した場合は、[特殊印字処理]を[しない]に戻してください。
[特殊印字処理]の設定は、[仕上げ]ページの[仕上げ詳細]をクリックして、[仕上げ詳細]ダイアログボックスの[処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスで行います。

文字やパターンの特定部分(塗りつぶした四角い図形を印刷した場合は、用紙の後端側(排紙口側)の一辺)がかすれる

原 因 用紙や使用環境が適切でない

処 置 プリンタドライバで[特殊印字処理]を[特殊設定 5]に設定してください。問題が解決した場合は、[特殊印字処理]を[しない]に戻してください。
[特殊印字処理]の設定は、[仕上げ]ページの[仕上げ詳細]をクリックして、[仕上げ詳細]ダイアログボックスの[処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスで行います。

カラーの線や文字がかすれる

原 因 細い線や文字を使用している

処 置 プリンタドライバで[色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する]にチェックマークを付けます。
[色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する]の設定は、[印刷品質]ページの[詳細]ボタンをクリックして[詳細設定]ダイアログボックスで行います。

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処　置　プリンタドライバで［マッチング方法］の設定を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け、［グレー設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

用紙のトラブル

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

用紙にしわがよる

原因 1　給紙カセットや手差しトレイに用紙を斜めにセットした

処　置　給紙カセットや手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。(➞ 給紙カセットに用紙をセットする:P.2-26、手差しトレイに用紙をセットする:P.2-45)

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 3　用紙が適切でない

処　置　用紙の種類によっては、しわがよることがあります。プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 3］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

紙づまりが頻繁に起こる

原因 1　A4、レターサイズなどの用紙を縦置きにセットした

処　置　横置きにセットし、印刷しなおしてください（A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ、往復はがき、4 面はがきサイズの用紙は横置きのみセット可能です）。(➞ 用紙の置き方（セットする向き）について：P.2-27、P.2-46)

原因 2　用紙が適切でない

処置 1　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.2-2)

処置 2　用紙の種類によっては、紙づまりが頻繁に起こることがあります。プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 2］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

用紙がカールする

原因 1 用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置 新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 2 用紙が適切でない

処　置 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 3 薄手の用紙を使用している

処置 1 プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

処置 2 プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 4］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックし、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの処理オプションをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

原因 4 カールしやすい用紙を排紙トレイに排紙している

処　置 カールしやすい OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒などに印字するときは、サブ排紙トレイに切り替えます。(➞ 排紙先について：P.2-18)

印刷した OHP フィルムに白い粉がつく

原　因 OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した

処　置 OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認してください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章困ったときには」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

重要　プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されないときは、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてください。（➞CAPT ソフトウェアのアンインストール：P.3-81）

2 テストページを印刷します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

■ テストページが適切に印刷される場合

CAPT ソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

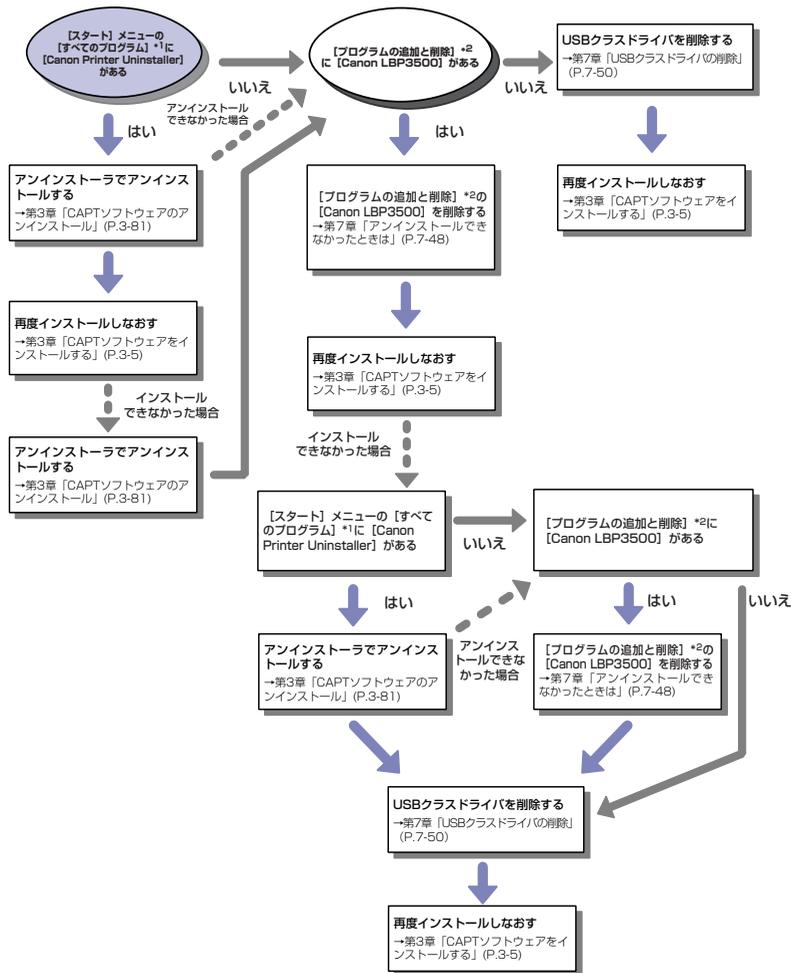
■ テストページが印刷できない場合

CAPT ソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてから、テストページを印刷してください。（➞CAPT ソフトウェアのアンインストール：P.3-81）

インストールのトラブル（Windows のみ）

「USB クラスドライバ」と「LBP3500 プリンタドライバ」のインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ

- ネットワークインストール時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第４章 困ったときには」を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第６章 困ったときには」を参照してください。

*1 Windows 2000 は［プログラム］

*2 Windows 2000 は［アプリケーションの追加と削除］、Windows Vistaは［プログラムのアンインストール］

アンインストールできなかったときは

インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、以下の手順にしたがって CAPT ソフトウェアを削除します。

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をクリックします。

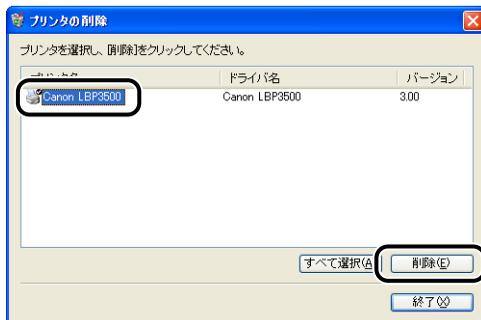
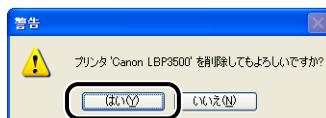
Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➞ [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] ➞ [プログラムの追加と削除] を選択します。
Windows Vista の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

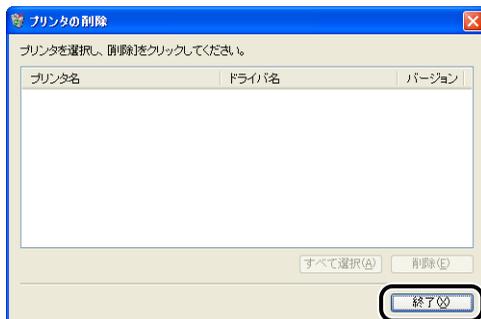
2 [プログラムの追加と削除] ダイアログボックス内の [Canon LBP3500] を選択し、[変更と削除] をクリックします。

Windows 2000 の場合は [アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックス内の [Canon LBP3500] を選択し、[変更と削除] をクリックします。
Windows Vista の場合は、[プログラムと機能] ダイアログボックス内の [Canon LBP3500] を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。

メモ

- ダイアログボックス内に [Canon LBP3500] がない場合は「USB クラスドライバの削除」(➞P.7-50)を行って再度インストールしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。

3 本プリンタを選択し、［削除］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

USB クラスドライバの削除

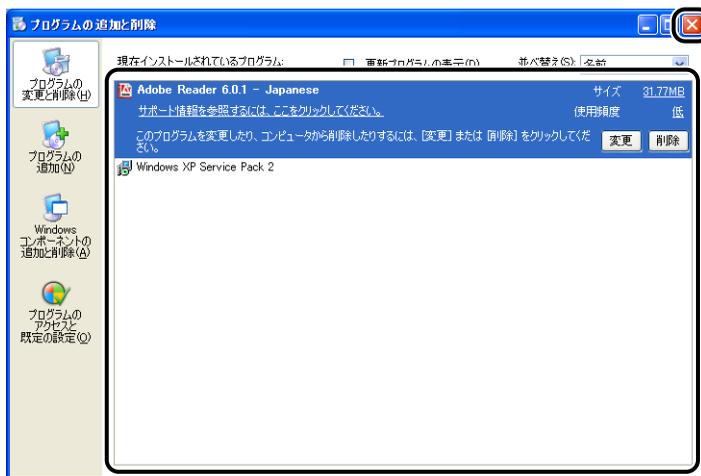
USB クラスドライバの削除は、一度アンインストールを行っても、正しくインストールできなかった場合やアンインストールできなかった場合に行います。

1 **USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［プログラムの追加と削除］を選択します。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

3 **［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3500］がないことを確認し、［✕］をクリックします。**

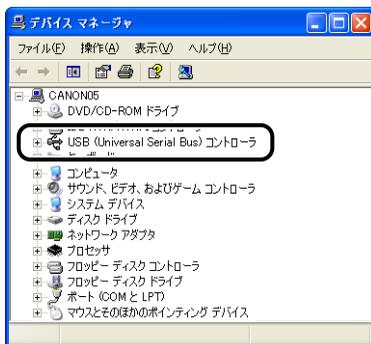
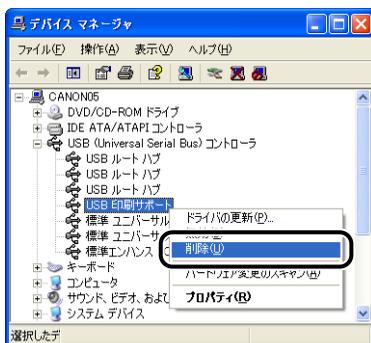
Windows 2000 の場合は、［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3500］がないことを確認し、［✕］をクリックします。
Windows Vista の場合は、［プログラムと機能］ダイアログボックス内に［Canon LBP3500］がないことを確認し、［✕］をクリックします。

メモ ダイアログボックス内に［Canon LBP3500］がある場合は、「アンインストールできなかったときは」(→P.7-48）を参照してダイアログボックス内の［Canon LBP3500］を削除してください。

4 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリックします。**

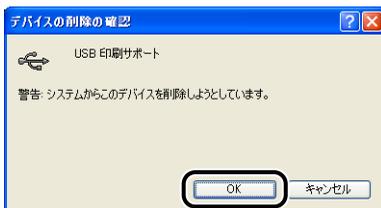
Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［システム］を選択します。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ハードウェアとサウンド］→［ハードウェアとデバイスを表示］をクリックします。

メモ Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

5 **［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB (Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。**

Windows Vista の場合は、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。

6 [USB 印刷サポート] を右クリックして、ポップアップメニューから [削除] を選択します。

重要

- USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下にある場合も正常にインストールされていません。［不明なデバイス］を選択して削除してください。
- 他のデバイスのドライバは、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は［USB 印刷サポート］は表示されません。

7 [デバイス削除の確認]（Windows Vista の場合は [デバイスのアンインストールの確認]）ダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

8 [ ] をクリックします。

［デバイスマネージャ］が閉じます。

9 USB ケーブルをコンピュータから外し、Windows を再起動します。

再起動が終了したらもう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。
（→CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-5）

7

困ったときには

ローカルインストール時のトラブル

CD-ROM からプリンタドライバをインストールするとき、USB ケーブルを接続しても自動認識しない

原因 1 プリンタドライバをインストールする前に、すでに USB ケーブルが接続されていて、プリンタの電源がオンになっている

処 置 プリンタの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外し、再度 USB ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにします。

原因 2 プリンタの電源がオフになっている

処 置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 USB ケーブルが正しく接続されていない

処 置 プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 4 USB ケーブルが合っていない

処 置 本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。本プリンタの USB インタフェース環境は、USB 2.0 Hi-Speed、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。USB ケーブルは、以下のマークがあるケーブルをご使用ください。

原因 5 CD-ROM Setup からインストールできない

処 置 プラグ・アンド・プレイでインストールを行ってください。（➞ プラグ・アンド・プレイでインストールする：P.3-14）

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからプリンタドライバをインストールする場合に、［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］* が選択できない（Windows 2000/XP/Server2003）

原 因 Administrators 権限がないユーザがインストールを行っている

処 置 CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストールには Administrators 権限が必要です。権限のある方がインストールを行ってください。

* Windows 2000 の場合、［ローカルプリンタ］となります。

[プリンタ] フォルダからプリンタドライバをインストールする場合に、「プリンタドライバをインストールしませんでした。アクセスが拒否されました。」というメッセージが表示される（Windows Vista）

原　因　Administrators 権限がないユーザがインストールを行っている

処　置　CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストールには Administrators 権限が必要です。権限のある方がインストールを行ってください。

プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブル

接続するプリントサーバが見つからない

原因 1　プリントサーバが起動されていない

処　置　プリントサーバを起動してください。

原因 2　プリンタが共有設定されていない

処　置　[プリンタプロパティ] ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。

原因 3　プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない

処　置　ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

原因 4　Windows Vista をお使いの場合、[ネットワーク探索] が [有効] に設定されていない

処　置　[ネットワーク探索] を [有効] に設定してください。
[ネットワーク探索] の設定は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックして、[ネットワークと共有センター] で行います。

その他のトラブル

メモ
- オプションのネットワークボード装着時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

LBP3500 が正常に動作しない

原因 1 LBP3500 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置 通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2 CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある

処　置 CAPT　ソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。（➞CAPT ソフトウェアのアンインストール：P.3-81、CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-5）

印刷中にプリンタが一時的に停止する

原　因 幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えて印刷した場合、印字品質を保つため、定着器の冷却を行っている

処　置 そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。定着器の冷却が終わると、機械の駆動が止まり、印刷可能状態になります。印刷中の場合は、冷却が終わると印刷を再開します。

CD-ROM Setup が自動的に表示されない（Windows Vista のみ）

原　因 CD-ROM Setup を自動的に表示する設定になっていない

処　置 ［コントロールパネル］から［CD または他のメディアの自動再生］をクリックし、［すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う］にチェックマークを付け、［ソフトウェアとゲーム］を［プログラムのインストール / 実行］に設定してください。

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる（Windows のみ）

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.8-13）

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されない（Windows のみ）

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをクライアントとして使用している場合に、プリントサーバ側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.8-13）

プリンタの機能を確認したいときには(Windowsのみ)

本プリンタは、プリンタのオプション設定や［総印刷ページ数］などのプリンタの情報が確認できるプリンタステータスプリントの機能を備えています。また、オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が確認できるネットワークステータスプリントの機能も備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ネットワークステータスプリントについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章困ったときには」を参照してください。
- プリンタステータスプリントやネットワークステータスプリントは、Windows をお使いの場合にのみ印刷することができます。

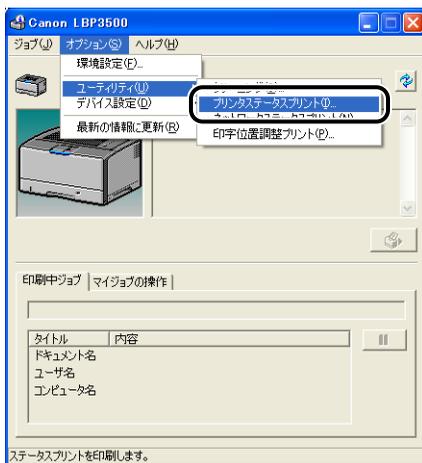
1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(➞P.4-82)を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［プリンタステータスプリント］を選択します。

確認のメッセージが表示されます。

7

困ったときには

3 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

4 プリンタステータスプリントの印刷内容を確認します。

プリンタステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。プリンタのオプション設定や［総印刷ページ数］などのプリンタの情報が確認できます。

重要 ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon ステータスプリント

オプション機器
- カセット2 : あり
- 両面ユニット : あり
- ネットワークボード : あり

デバイス設定
- スリープ設定
  - スリープモード : 使う
  - スリープモード移行時間 : 30 分
- 自動選択
  - カセット1 : する
  - カセット2 : する
- ユーザ定義用紙の送り方向
  - カセット1 : 縦送り
  - カセット2 : 縦送り
- 印字位置調整
  - 手差し(トレイ) : 0.52 mm
  - カセット1 : 0.69 mm
  - カセット2 : 0.69 mm
  - 両面ユニット : -0.52 mm
- ジョブキャンセルキー設定
  - エラー中のジョブキャンセル : する
  - 印刷中のジョブキャンセル : する
- プリンタ日時 : 2005/11/18 14:50

製品名 : LBP3500
コントローラバージョン :
エンジンバージョン :
ドライババージョン :

USB
- ベンダーID : 0x04a9
- プロダクトID : 0x268b
- シリアルナンバー :

カウンタ
- 日時 : 2005/11/18 14:50
- 総印刷ページ数 : 17 ページ
- 両面印刷枚数 : 0 枚
- ジョブ数 : 10 ジョブ

Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

付録

8
CHAPTER

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などを記載しています。

おもな仕様

ハードウェアの仕様

形式	デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度　普通紙 (60～90g/m^2)	A4 連続プリント時 25 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップタイム（電源オンからプリンタがスタンバイになるまでの時間）	17 秒以下 * プリンタの使用条件 (オプション品装着の有無や設置環境など) によって異なる場合があります。
リカバリータイム（スリープからスタンバイになるまでの復帰時間）	15 秒以下
ファーストプリント時間	A4 プリント／フェースダウン排紙時 10 秒以下 * 出力環境によって異なる場合があります。

8

付録

用紙サイズ	**カセット 1**	・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）リーガル、レター、エグゼクティブ ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合： 幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm* * 幅が 279.5 ～ 297.0mm の場合、長さは 210.0 ～ 420.0mm 横置きの場合： 幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm 最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)
	カセット 2 （オプション）	500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD ・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合： 幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合： 幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm 最大積載枚数　約 500 枚　(64g/m^2) 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KG ・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合： 縦置きの場合： 幅 100.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 431.8mm 横置きの場合： 幅 182.0 ～ 297.0mm、長さ 182.0 ～ 297.0mm 最大積載枚数　約 500 枚　(64g/m^2)
	手差しトレイ	・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、封筒角形 2 号 ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合： 幅 98.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 470.0mm 横置きの場合： 幅 148.0 ～ 312.0mm、長さ 148.0 ～ 312.0mm 最大積載枚数　約 100 枚　(64g/m^2)
自動両面印刷 （オプションの両面ユニットが必要です）		・ 定形サイズ A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ ユーザ定義用紙 縦置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 210.0 ～ 431.8mm 横置きの場合：幅 210.0 ～ 297.0mm、長さ 148.0 ～ 297.0mm

8
付録

排紙方式		フェースダウン／フェースアップ
排紙積載枚数		排紙トレイ　約 250 枚（64g/m^2） サブ排紙トレイ　約 50 枚（64g/m^2）
稼働音（ISO9296 に基づく表示騒音放射値）		Lwad（表示 A 特性音響パワーレベル（1B=10dB）） 　スタンバイ時：暗騒音 　プリント時：6.9B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） 　スタンバイ時：32db（A）以下 　プリント時：57dB（A）以下
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度 10 ～ 32.5 ℃ 湿度 20 ～ 80%RH（結露しないこと）
ホストインタフェース		USB インタフェース ・ Windows： 　USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・ Mac OS 9、X（10.3.2 以前）： 　USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・ Mac OS X（10.3.3 以降）： 　USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
ユーザインタフェース		LED ランプ 5 個 操作キー 1 個
拡張ボードスロット		1
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）		動作時平均　約 424W スタンバイ時平均　約 33W スリープモード時平均　約 5W 最大 950W 以下
消耗品	トナーカートリッジ	Canon Cartridge 509 （キヤノン　トナーカートリッジ　５０９） プリント可能ページ数　約 12,000 ページ *1 *1 A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」*2 に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合 *2「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準
質量	プリンタ本体 および同梱品	プリンタ本体（トナーカートリッジは除く）.............. 約 19.4kg トナーカートリッジ.. 約 1.9kg
	消耗品および オプション品	トナーカートリッジ （Canon Cartridge 509）...................................... 約 2.1kg 250 枚ユニバーサルカセット UC-67D*.............. 約 1.9kg 500 枚ユニバーサルカセット UC-67KD*........... 約 3.0kg 500 枚ユニバーサルカセット　UC-67KG*........ 約 2.9kg ペーパーフィーダユニット PF-67G* （カセット含む）.. 約 9.3kg 両面ユニット DU-67*.. 約 3.9kg * 印の製品は、別売のオプションです。

ソフトウェアの仕様

プリンティングソフトウェア	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域	用紙周囲から上下左右 5.0mm を除いた領域（封筒は 10mm、ただし洋形 4 号と洋形 2 号の右は 7.6mm） * 用紙いっぱいにデータがある場合、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ダイアログボックスにある［用紙の左上を原点として印字する］にチェックして印刷しても、データの周囲が欠けて印字されることがあります。その場合はプリンタドライバでデータが欠けないように縮小率を設定し、印刷しなおしてください。 * はがきまたは封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきまたは封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

8

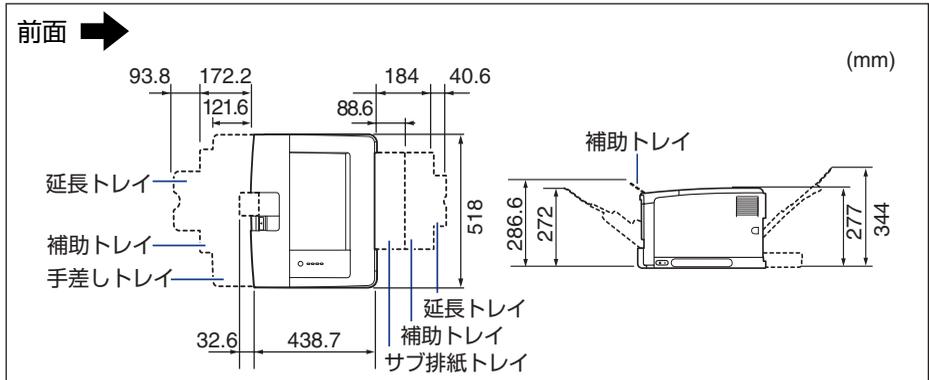
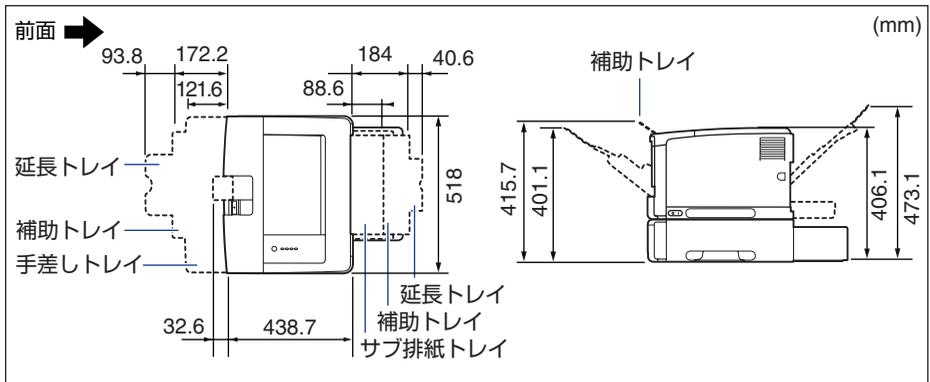
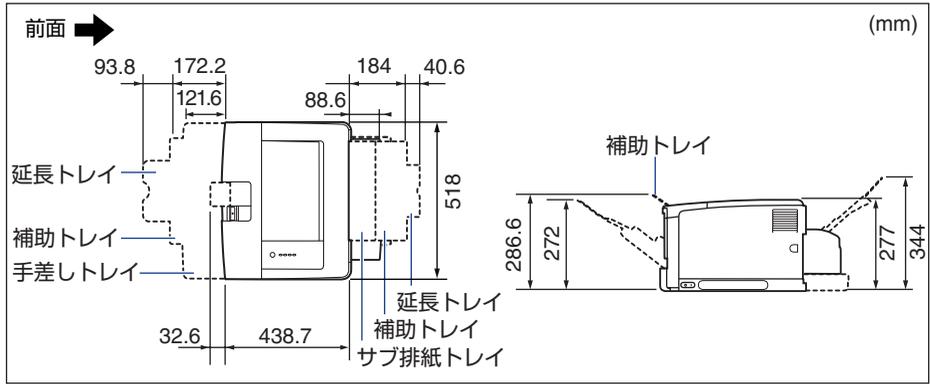
付録

各部の寸法

■ プリンタ本体

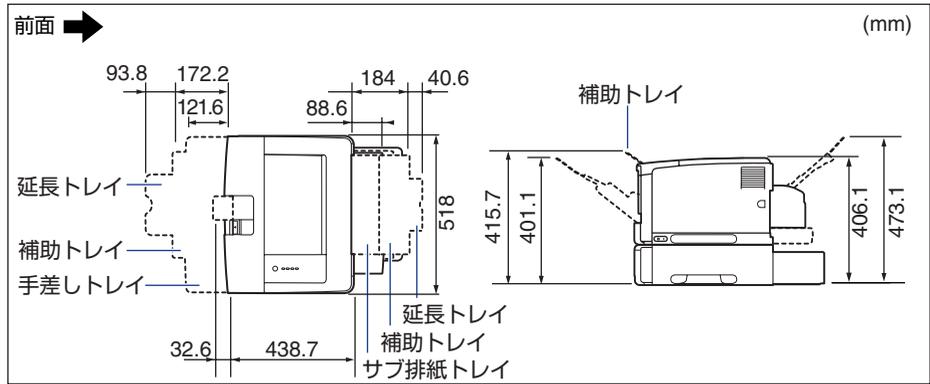
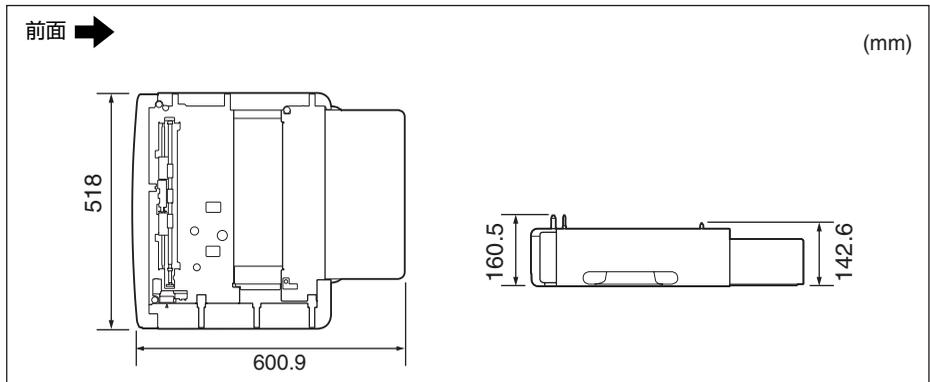
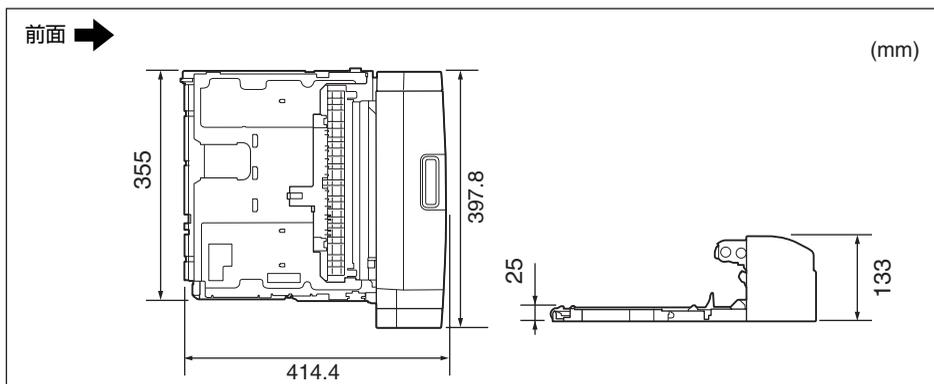
• 標準仕様

• ペーパーフィーダ装着仕様

8
付録

• 両面ユニット装着仕様

• ペーパーフィーダ＋両面ユニット装着仕様

■ ペーパーフィーダユニット PF-67G

8
付録

■ 両面ユニット DU-67

Macintoshをお使いのお客様へ

Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについては、「オンラインマニュアル」を参照してください。

「オンラインマニュアル」は、付属のCD-ROM内の［CAPT］-［Japanese］-［Documents］フォルダに、［GUIDE-CAPT-JP.pdf］というファイル名で収められています。Macintosh をお使いのお客様は、「オンラインマニュアル」をよくお読みのうえ、プリンタの機能を十分に活用してください。

NetSpot Device Installer について

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。NetSpot Device Installer は、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができるソフトウェアです。

NetSpot Device Installer の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ

- 付属の CD-ROM によっては、Macintosh 用の「NetSpot Device Installer」が同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に、Macintosh 用の「NetSpot DeviceInstaller」が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。
- CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にネットワークの初期設定が行われます。「NetSpot Device Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずに手動で IP アドレスを設定しなおす場合に、必要に応じてご使用ください。

8
付録

Print Monitor Installer について（Windows のみ）

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、TCP/IP ネットワーク上のプリンタに接続するためのポート（Canon CAPT Print Monitor）を作成する「Print Monitor Installer」が同梱されています。Canon CAPT Print Monitor の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ

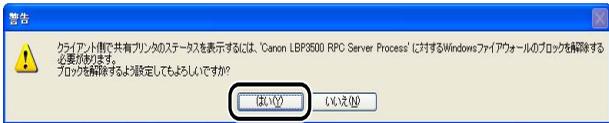
CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にポート（Canon CAPT Print Monitor）の作成が行われます。「Print Monitor Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずにポートを作成したい場合に、必要に応じてご使用ください。

Windows ファイアウォール機能について

Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能があります。

そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。

プリントサーバ（プリンタを直接接続するコンピュータ）側および、クライアント（ネットワーク経由でプリントするコンピュータ）側で以下の操作／設定が必要です。

設定内容		参照先
プリントサーバ側	**■ CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールする場合** インストール中に［警告］ダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックして、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.3-6
	■［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから CAPT ソフトウェアをインストールする場合や、Windows の［エクスプローラ］から CAPT ソフトウェアをインストールする場合 「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.8-14
クライアント側	サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.8-17

重要　「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」をハードディスクにコピーして使用する場合は、付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」に収められている［WF_UTIL］フォルダ内のすべてのファイル（CNAB6FW.EXE、CAPTRGFW.DLL、CNAB6FW.INI）をコピーしてください。

クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする

1 **付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。
Windows Vista をお使いの場合に、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックして手順 3 へ進みます。

2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］（Windows Vista は［コンピュータ］）を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

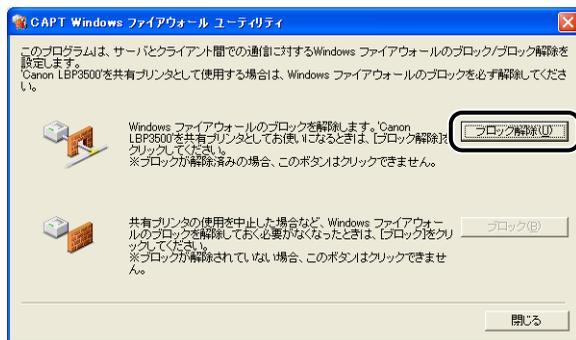
3 **［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAB6FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要

次の方法で［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］を起動することもできます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

- Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB6FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックします。
- Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB6FW.EXE」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

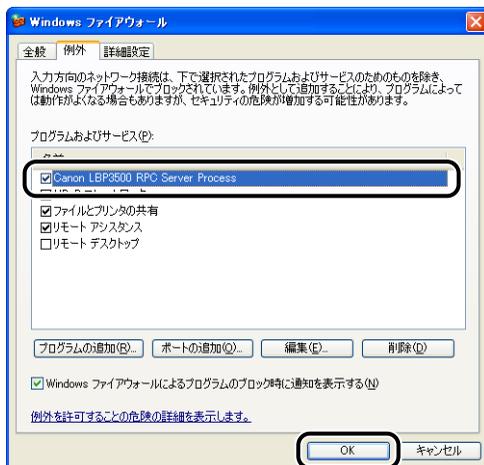
4 **［ブロック解除］をクリックします。**

メモ

既にクライアント側との通信に対するブロックの解除が行なわれている場合は、［ブロック解除］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。

メモ

Windows ファイアウォール機能のブロック解除が正しく行なわれたことを確認するには、次の方法で確認してください。

1. ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスを表示します。
   - Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
   - Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［Windows ファイアウォール］を選択します。
   - Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）
2. ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページで、［Canon LBP3500 RPC Server Process］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。

クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する

1 **付属の CD-ROM「LBP3500 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。
Windows Vista をお使いの場合に、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックして手順 3 へ進みます。

2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］（Windows Vista は［コンピュータ］）を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

3 **［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAB6FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要

次の方法で［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］を起動することもできます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB6FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックします。

・Windows Vistaの場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAB6FW.EXE」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

4 **［ブロック］をクリックします。**

メモ

既に Windows ファイアウォールでクライアント側と通信の遮断（ブロック）が行なわれている場合は、［ブロック］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断（ブロック）されました。

サーバとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する

重要 クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

1 ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスを表示します。

Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［Windows ファイアウォール］を選択します。
Windows Vista の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

8

付録

2 ［Windows ファイアウォール］（Windows Vista は［Windows ファイアウォールの設定］）ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

8

付録

Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する

お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、次の手順で確認することができます。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。

2 ［システムとメンテナンス］→［システム］をクリックします。

3 ［システムの種類］で Windows Vista のプロセッサバージョンを確認します。

32 ビット版の場合は、［32 ビット オペレーティング システム］と表示されます。
64 ビット版の場合は、［64 ビット オペレーティング システム］と表示されます。

FontGallery について

FontGallery には、TrueType フォントとして和文 20 書体、欧文 100 書体が収められています。また、Windows をお使いの場合は、かな 31 書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた 44 書体が収められています。

ご使用になる前に「FontGallery 製品使用許諾契約書」(→P.8-22) を必ずお読みください。

必要なシステム環境

FontGallery および FontComposer を使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要

- かな書体および FontComposer は、Windows をお使いの場合にご利用いただけます。Macintosh をお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGallery は、1 台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

■ Windows 版を使用する場合

- OS
  - · Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - · Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - · Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - · 上記 OS が動作するコンピュータ

メモ

Windows Vista をお使いの場合は、FontGallery および FontComposer はご利用いただけません。

■ Macintosh 版を使用する場合

- OS
  - · Mac OS X 10.4.9 以降の動作がサポートされている機種
- コンピュータ
  - · 上記 OS が動作するコンピュータ

コード表について

2種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV形式のコード表をお使いの場合は、CSV形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

- Windows用
  - ・リッチテキスト形式（*.rtf）
  - ・CSV形式（*.csv）
- Macintosh用
  - ・シンプルテキスト形式
  - ・CSV形式

インストール方法について

Windows で FontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGALLERY］フォルダにあるREADMEファイルをお読みください。

Macintosh で FontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGallery］フォルダにある［FontGallery取扱説明］をお読みください。

■ FontGallery

FontGallery のインストール手順については、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- Windows用
  - ・FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF形式）
- Macintosh用
  - ・FontGallery取扱説明書：［FGallery］フォルダ内の［FontGallery取扱説明］（シンプルテキスト形式）

メモ

- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1書体につき10秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontComposer （Windowsのみ）

FontComposerのインストール手順については、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- FontComposer 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF形式）

重要

FontComposerを使用するには、約10～20MBのハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposerを起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置1台のみに1コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

(1) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンマーケティングジャパンといいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンに請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。
2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAMの全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりL	ゆめのあるふぉんと
こでまりM	ゆめのあるふぉんと
こでまりB	ゆめのあるふぉんと
こでまりH	ゆめのあるふぉんと
からたちL	ゆめのあるふぉんと
からたちM	ゆめのあるふぉんと
からたちB	ゆめのあるふぉんと
からたちH	ゆめのあるふぉんと
さんざしL	ゆめのあるふぉんと
さんざしM	ゆめのあるふぉんと
さんざしB	ゆめのあるふぉんと
さんざしH	ゆめのあるふぉんと
てっせんL	ゆめのあるふぉんと
てっせんM	ゆめのあるふぉんと
てっせんB	ゆめのあるふぉんと
てっせんH	ゆめのあるふぉんと
あしびL	ゆめのあるふぉんと
あしびM	ゆめのあるふぉんと
あしびB	ゆめのあるふぉんと
あしびH	ゆめのあるふぉんと
はしばみL	ゆめのあるふぉんと
はしばみM	ゆめのあるふぉんと
はしばみB	ゆめのあるふぉんと
はしばみH	ゆめのあるふぉんと
さざんかL	ゆめのあるふぉんと
さざんかM	ゆめのあるふぉんと
さざんかB	ゆめのあるふぉんと
さざんかH	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体　W３＋からたちL	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W３＋こでまりL	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W３＋さんざしL	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W３＋てっせんL	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W５＋からたちM	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W５＋こでまりM	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W５＋さんざしM	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W５＋てっせんM	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W７＋からたちB	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W７＋こでまりB	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W７＋さんざしB	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W７＋てっせんB	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W９＋からたちH	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W９＋こでまりH	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W９＋さんざしH	夢のある多彩なフォント
平成明朝体　W９＋てっせんH	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W３＋あしびL	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W３＋さざんかL	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W３＋はしばみL	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W５＋あしびM	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W５＋さざんかM	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W５＋はしばみM	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W７＋あしびB	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W７＋さざんかB	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W７＋はしばみB	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W９＋あしびH	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W９＋さざんかH	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　W９＋はしばみH	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-L＋あしびL	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-L＋さざんかL	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-L＋はしばみL	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-M＋あしびM	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-M＋さざんかM	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-M＋はしばみM	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-B＋あしびB	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-B＋さざんかB	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-B＋はしばみB	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-U＋あしびH	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-U＋さざんかH	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-U＋はしばみH	夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-U＋ｓｅ２H	夢のある多彩なフォント
丸ゴ　Ｃａ-B＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体　ＮＴ－M＋てっせんM	夢のある多彩なフォント
行書体　ＬＣ－M＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

- Windowsをお使いの場合は、FontComposerを使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
* Cataneo Light Swash	*ABCDEF a de 12345*
* Cataneo Regular Swash	*ABCDEF a de 12345*
* Cataneo Bold Swash	***ABCDEF a de 12345***
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	± °′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

＊「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Regular	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Black	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Bold	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Black	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	**ABCDEF abcdef 12345**
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	*ABCDEF abcdef 12345*
Staccato 555	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold Condensed Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ *αβχδεφ* 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Zapf Humanist 601 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Zapf Humanist 601 Ultra	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	***ABCDEF abcdef 12345***

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

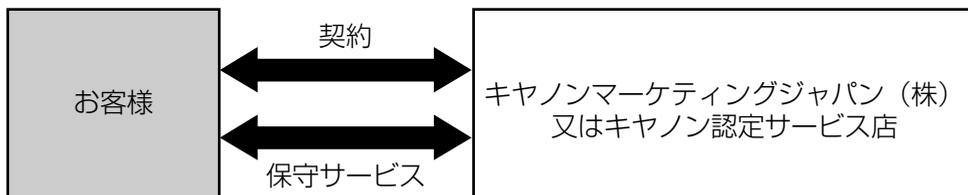
わ

保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)

キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**
従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**
万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**
キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

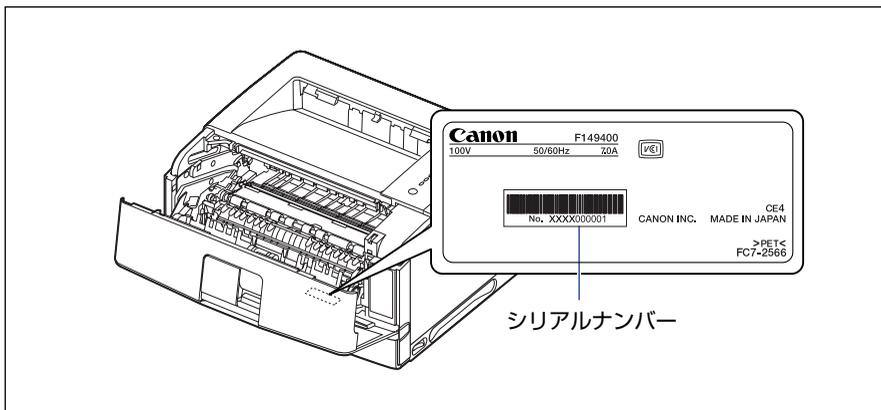
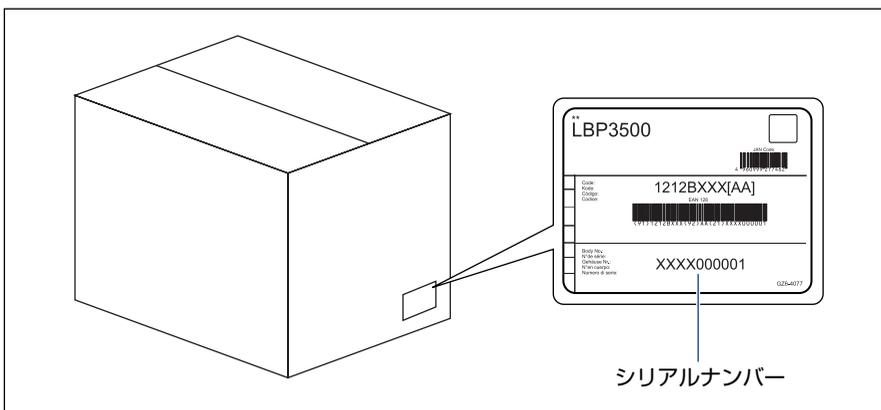
無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

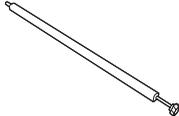
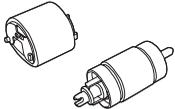
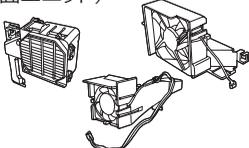
本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 前カバー内側

■ 梱包箱外側

定期交換部品のご案内

本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。定期交換部品の交換は専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。

メモ　定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

定期交換部品	交換の目安	用途
転写ローラ	200,000ページ（A4横片面）	トナーを用紙に転写させるためのローラです。
給紙ローラ（給紙カセット、手差しトレイ）	200,000ページ（A4横片面）	給紙カセット、手差しトレイから用紙を給紙するためのローラです。
ファンモータ（プリンタ、両面ユニット）	25,000時間	冷却用ファンのモータです。

8 付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

本プリンタに付属のCD-ROMのトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。

ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　　LBP3500
　　　本体機番　　LRFA000001
　　　（保証書および前カバー内側、梱包箱外側に記載されています。）

8

付録

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon　キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

FA7-9914　(090)